工 事 仕 様 書

工事名称　三原市芸術文化センター長寿命化改修工事（建築主体工事）

工事場所　三原市宮浦二丁目

工事内容　本工事は，三原市芸術文化センターの建築改修工事を行う。
防水改修工事
外壁改修工事
内装改修工事
建具改修工事
ホール椅子改修工事
外構改修工事

準　則　公共建築工事標準仕様書（建築工事編・電気設備工事偏・機械設備工事偏　最新版），
公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編・電気設備工事偏・機械設備工事偏　最新版），
建築物解体工事共通仕様書（国土交通省官房官庁営繕部監修・最新版）　に基づき施工する。

関係法令等　本工事については，次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。
・建築基準法，同施行令，同施行規則
・消防法，同施行令
・建設業法，同施行令，同施行規則
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律，同法施行令，同法施行規則
・労働安全衛生法，同法施行令，同法施行規則
・建設工事公衆災害防止対策要綱
・大気汚染防止法，石綿障害予防規則
・振動規制法
・土壌汚染対策法
・その他関係法令

疑義変更　本設計図書は，設計の大要を示すものであり，詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。
施工に際して疑義を生じた場合，または軽微な変更を必要とする場合には，速やかに協議し，監督員の指示により施工すること。ただし，これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。

提出書類　施工に先立ち，工事工程表，仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し，監督員の承認を受けること。商品名及び製造者名が記載された材料については，当該商品又は同等品を使用するものとし，同等品を使用する場合は，監督員の承諾を受けるものとする。また，設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。

工　期　本工事は請負契約締結の後，令和5年12月28日をもって工期とする。このうち検査期間として13日間を見込んでいる。

別途工事　三原市芸術文化センター長寿命化改修工事（電気設備工事）
三原市芸術文化センター長寿命化改修工事（機械設備工事）
三原市芸術文化センター長寿命化改修工事（舞台機構設備工事）
三原市芸術文化センター長寿命化改修工事（舞台音響設備工事）
三原市芸術文化センター長寿命化改修工事（舞台照明設備工事）
三原市芸術文化センター長寿命化計画修繕工事（監視カメラ外）

留 意 点

・入札に先立ち現地調査を十分に行い，質疑がある場合は入札前に確認すること。
・三原市芸術文化センター全施設の利用休止期間は令和5年7月1日から12月28日を予定しており，その期間内に集中的に工事を行うものとする。居ながら工事を行う場合は，事前に施設管理者等へ説明を行い，承諾を得るものとする。
・三原市芸術文化センターの営業及び運営等への支障を最小限にとどめるため，工事工程及び作業手順等は最大限配慮をすること。
・別途工事間では互いに協力しあい，相互の工程を考慮したうえで，各自の工程を計画すること。
・施設の所有物に養生や移動を行う場合は，事前に施設管理者に連絡すること。
・解体工事及びアンカー工事等の騒音，振動及び粉じん等の発生が予想される工種については，施工時間及び施工方法等，最大限配慮した計画のもと行うこと。
・施工箇所周囲の備品，機器等については，粉じん対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。
・工事期間中は付近の交通の安全を図ると共に，必要に応じて誘導員を常時配置し，危険防止に努めること。
・工事中に粉じんの発生が予想される工種については，粉じん抑制等，周辺の環境対策のため散水を確実に行うこと。
・第三者災害防止及び飛散防止対策のため，必要に応じて監督員の指示する範囲に，バリケード等を設置すること。
・石綿含有建材の調査について，工事着手前までに書面及び目視調査を，一般建築物石綿含有建材調査者，特定建築物石綿含有建材調査者，建築物石綿含有建材調査者，日本アスベスト調査診断協会の登録者が行うこと。
・石綿含有建材の事前調査結果を工事着手前までに発注者に対し説明を行い，労働基準監督署及び所轄官庁へ報告すること。
・その他石綿の飛散防止等については，改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
・本敷地内の別途工事及び近隣で行われる工事について，取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
・官公庁その他への手続きは，受注者の負担により遅滞なく行うこと。
・工事に伴い各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
・周辺道路については常時，監視を行い，工事車両等により汚損させた場合は，速やかに清掃及び補修を行なうこと。
・台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は，必要な対策を施すこと。また，現場巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。
・受注者事務所，休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
・工事に係る電気，水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
・本工事の外注資材，労務等の調達については，極力，市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は，あらかじめ，理由を添えて発注者の承認を受けること。
・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし，あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は，この限りではない。
・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお，本工事にシステム利用料金を見込む。
・工事完了後，完成図として製本図面（二つ折り・A2版）を1部，及び縮小図面（二つ折り・A4版）を3部提出すること。
・建設工事請負契約約款第38条（部分払）については，令和5年4月以降の適用とする。
・請負契約の締結後，現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置，資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については，主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお，現場施工に着手する日については，請負契約の締結後，監督職員との打合せにおいて定める。

三原市芸術文化センター長寿命化計画修繕工事

建築修繕工事

２０２２年３月

株式会社　槇総合計画事務所

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
C5-00	表紙	–
C5-01	図面リスト	–
C5-02	施工概要・詳細1	–
C5-03	施工概要・詳細2	–
A-00	中表紙【建築】	–
A-02	敷地案内/設計概要/外部仕上表	–
A-03	特記仕様書1	–
A-04	特記仕様書2	–
A-05	特記仕様書3	–
A-06	特記仕様書4	–
A-07a	工事区分表1	–
A-07b	工事区分表2	–
A-08n	内部仕上表1	–
A-09n	内部仕上表2	–
A-10	仕上仕様図1	1/5
A-11	仕上仕様図2	1/5
A-12	全体配置図	1/300
A-13	地階平面図	1/200
A-14	1階平面図	1/200
A-15	2階/舞台上部平面図	1/200
A-16	屋根伏図	1/200
A-17	立面図1(東西面)	1/200
A-18	立面図2(南北面)	1/200
A-19	断面図	1/200
A-20	1階天井伏図	1/200
A-21	2階天井伏図	1/200
A-22	短計・断面詳細図1(リハーサル・楽屋)	1/100
A-23	短計・断面詳細図2(ホール通路・搬入口)	1/100
A-24	短計・断面詳細図3(ホール・ホワイエ)	1/100
A-25	短計・断面詳細図4(ホール・ロビー階段)	1/100
A-26	短計・断面詳細図5(ラウンジ・リハーサル)	1/100
A-27n	外部廻り詳細図1	1/5
A-28n	外部廻り詳細図2	1/5
A-29n	外部廻り詳細図3	1/5
A-30n	外部廻り詳細図4	1/10,1/5
A-41	ホール客席詳細図1(1,2階平面図)	1/100
A-42	ホール客席詳細図2(1,2階天井伏図)	1/100
A-43	ホール客席詳細図3(展開図)	1/100
A-56	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図1	1/100
A-57	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図2	1/60,他
A-58	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図3	1/60,他
A-59n	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図4	1/50,他
A-60	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図5	1/50,他
A-61	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図6	1/50,他
A-62	1階楽屋・事務ゾーン詳細図1	1/100
A-63	1階楽屋・事務ゾーン詳細図2	1/100
A-64	1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図	1/50,他

図面番号	図面名称	縮尺
A-65	ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図1	1/100
A-66	ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図2	1/100
A-67	ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図3	1/100
A-74n	階段詳細図1（ホール階段1・2）	1/50,1/5
A-75	階段詳細図2（ロビー階段）	1/50,1/5
A-78	階段詳細図5（ホール階段3・4）	1/50,1/5
A-79	階段各部詳細（手摺・段鼻）	1/10,1/5
A-86	建具位置図1（1階・2階）	1/200
A-87	建具位置図2（地階・塔屋）	1/200
A-88n	建具表1（FSD）	–
A-89n	建具表2（FSD・SD）	–
A-90n	建具表3（SD・PSD）	–
A-91	建具表4（LD・WD）	–
A-92	建具表5（SH・SW・AD・SWD）	–
A-93	建具表6（AW・AG）	–
A-94	建具姿図1	1/100
A-95	建具姿図2	1/100
A-99	雨水排水・防水範囲図2（2階・屋根）	1/200
L-00	中表紙【外構】	–
L-10	舗装計画平面図	1/300
L-25	駐車場平面詳細図	1/100
L-32	舗装詳細図2	1/10,1/5
SN-00	中表紙【サイン】	–
SN-12	P-L1サインプロット図	1/800
SN-13	CL-9_1南駐輪場西出入口（東側）	1/10
SN-14	CL-9_2公園南西出入口	1/10
SN-15	CL-21_1西駐輪場西出入口（西側）	1/10
SN-16	CL-21_2公園南西出入口（北側）	1/10
SN-17	CM-22_1（南側）,22_2（北側）公園東出入口	1/10
SN-18	CM-22_3北駐輪場出入口	1/10
SN-19	CM-22_4グラウンド出入口	1/10
SN-20	CM-22_5公園北西出入口	1/10
SN-21	CM-22_6アプローチプラザ（北側）	1/10
SN-22	CM-22_7アプローチプラザ（東側）	1/10
SN-23	CS-23_1(南側),23__2（北側）駐車場出入口	1/10
SN-24	CS-24_1南駐輪場東出入口	1/10
SN-30	F-25_1 街角広場	1/10
SN-41	外構平面図グラフィック	–
CH-00	中表紙【ホール椅子】	–
CH-01	製品姿図1	1/10
CH-02	製品姿図2	1/10
CH-03	椅子配置図1F	1/60
CH-04	椅子配置図2F	1/60
CH-05	張地指示図1	1/60,1/120
CH-06	張地指示図2	1/60,1/120

施工概要

1　本工事は本施設の長寿命化を目的とする一環の工事の一部であることから、各仕様は新築工事時の仕様図書（外部仕上表、特記仕様書、内部仕上表、仕上仕様図）に倣うことを原則とする。　A-02～11

2　上述仕様図書の基である国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書は、最新版（平成31年版）とする。（新築工事時：平成16年版）

3　上述仕様図書と施工詳細とで仕様が異なる場合は、施工詳細を上位とする。　C5-02・03

4　上述仕様図書と現状とで仕様が異なる場合や、下地など目視できない部分に安全上・利用上の問題がある損傷を確認した場合は、設計・監理者に報告し、改修方針を定めることとする。

5　リハーサル室・練習室1・2は、必要箇所に遮音・吸音仕様が施されていることから、工事範囲・手順などを記した図書を作成し、設計・監理者に確認の上、施工することとする。　A-56～58

施工詳細

A　外部床

A1　R階陸屋根

A1-1　硬質砕石、ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　A-99
図面に水色・黄色でハッチングされた部分を対象とする。
砕石を補充（対象床面積×厚5㎜）の上、アクリル系散布材にて再硬化。　A-11
断熱材と保護クロスの一部（4㎡）を更新。　A-11
一部（4㎡、図面に黄色でハッチングされた部分）にRDカバーと同仕様の砕石飛散防止用の間仕切を格子状（@500㎜）に新設。（SUS t=1.0、h=100㎜、L=2,000㎜×8ピース）　A-16
周囲のパラペット（防水受けアゴ）天端・立下り（朱色線）にウレタン塗膜防水を施す。　A-27n～30n
壁（B1-1、水色線）はシリコーン珪酸高分子系（MCﾌｧｲﾝ）と同等の含浸撥水剤を施す。

A2　塔屋陸屋根、2階休憩ロビー直上部屋根、北テラス

A2-1　改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　A-99
図面に朱色でハッチングされた部分を対象とする。
床面を高圧洗浄の上、ウレタン塗膜防水（X-2工法、ライトグレー程度）を施す。
周囲のパラペット（防水受けアゴ）天端・立下り（朱色線）にウレタン塗膜防水を施す。　A-27n～30n
壁（B1-1、水色線）はシリコーン珪酸高分子系（MCﾌｧｲﾝ）と同等の含浸撥水剤を施す。

A2-2　ｱｽﾌｧﾙﾄ防水、押えコン仕上　A-99
図面に朱色でハッチングされた部分を対象とする。
床面を高圧洗浄の上、ウレタン塗膜防水（X-1工法、ライトグレー程度）を施す。
周囲のパラペット（防水受けアゴ）天端・立下り（朱色線）にウレタン塗膜防水を施す。　A-27n～30n
壁（B1-1、水色線）はシリコーン珪酸高分子系（MCﾌｧｲﾝ）と同等の含浸撥水剤を施す。

A3　屋上ﾃﾗｽ、屋根

A3-1　伸縮目地　A-99
建物の外部床の全てを対象とする。

B　外壁

B1　1F南･北外壁、2階北外壁、ﾌﾗｲﾀﾜｰ東･西外壁、塔屋階立上り壁　A-17、18

B1-1　ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し
図面に水色・黄色でハッチングされた部分を対象とする。
高圧洗浄の上、シリコーン珪酸高分子系（MCﾌｧｲﾝ）と同等の含浸撥水剤（シラン・シロキサン系コンクリート含浸防水材等）を施す。
伸縮目地のｼｰﾘﾝｸﾞ打替え。
含浸撥水剤を施す壁（水色線）とウレタン塗膜防水を施すパラペット（朱色線）の施工範囲は、外部廻り詳細図を参照のこと。　A-27n～30n

B2　ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ･ｱﾙﾐ建具

B2-1　ｻｯｼ廻り、笠木廻等
ｼｰﾘﾝｸﾞ打替え。

B2-2　各種取合い
ｼｰﾘﾝｸﾞ打替え。

C　外構

C1　駐車場、敷地内道路　A-12
配置図に朱色か水色でハッチングされた部分を対象とする。

C1-1　擬石ﾌﾞﾛｯｸ舗装
敷地内道路（水色でハッチングされた部分）を対象とする。　L-10、32

C1-2　ﾗｲﾝ
駐車場1・2（朱色でハッチングされた部分）を対象とする。　L-25

D　内部　A-08～11、14、15

D1　壁　A-14、15
1・2階平面図に朱色か水色でハッチングされた部分に面する壁を対象とする。

D1-1　有孔ｹｲｶﾙ板EP　A-59、60
練習室1・2を対象とし、EP-Uを全面に再塗装。
練習室1のW9（クロス緞子張り）はW5a（有孔珪酸カルシウム板EP-U）に変更済み。　A-10、11
練習室1は、破損した箇所（5㎡）の取替え。

D1-2　木練付有孔合板UC　A-57、58
ﾘﾊｰｻﾙ室を対象とし、UCを全面に再塗装。
ﾘﾊｰｻﾙ室のW5c（長穴）はW5a（丸穴）に変更済み。

D1-3　木練付繊維石膏ﾎﾞｰﾄﾞUC　A-57、58
ﾘﾊｰｻﾙ室を対象とし、UCを全面に再塗装。

D1-3'　木練付珪酸カルシウム板UC　A-57、58、62、65～67
UCを全面に再塗装。

D1-4　S柱(耐火塗料)FE　A-61、65、66
既存の耐火塗料を下地として、FEを全面に再塗装。

D1-5　ｺﾝｸﾘｰﾄ杉板打放SC(八角柱含む)　A-65、66
本改修の対象外とする。

D1-6　ｽﾀｯｺ　A-26、67、75

破損部分（2cm×1cm/1箇所、1箇所/壁長1m）はアクリル系塗料でタッチアップ補修とする。

汚損部分（5cm×4m、水掛けによる白濁化）は研磨補修とする。

D1-7　石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-U

表面調整の上、全面に再塗装。

楽屋通路とﾛﾋﾞｰ通路のｸﾗｯｸ（計4箇所、長さ：天井高）にﾊｯﾄ目地を施す。　A62、63

D1-8　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ多彩塗装

全面を表面調整の上、再塗装。

D1-9　鉄部SOP

全面を表面調整の上、再塗装。

D1-10　木部SOP

全面を表面調整の上、再塗装。

D1-10'　木部UC　A-11、57

~~ﾘﾊｰｻﾙ室の木ﾘﾌﾞ（W8）は損傷が激しいため、全面を張替え。~~

~~同上壁のガラスクロスは汚損が激しいため、全面を張替え。~~

D1-11　ｻﾗﾝﾈｯﾄﾊﾟﾈﾙ　A-43

既存骨組を再利用の上、サランネットの（2m×3m、2箇所）全面張替え。

D1-12　鏡　A-60

端部欠損した鏡（2m×2m）の張替え。

D2　天井　A-20、21

原則、本改修の対象外とする。（図面に朱色でハッチングされた部分を対象とする。）

D2-1　岩綿吸音板平型

対象箇所に本仕様の部分ナシ。

D2-2　石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP

ﾎﾜｲｴ2の回転式防煙垂壁（計2箇所、60cm×5・9m）を再塗装。

ﾎﾜｲｴ2のｸﾗｯｸ（計3箇所、長さ：3m）を補修の上、部分再塗装。

ﾗｳﾝｼﾞのｸﾗｯｸ（計2箇所、長さ：0.5m）を補修の上、部分再塗装。

ﾘﾊｰｻﾙ室のｸﾗｯｸ（計1箇所、長さ：1m）を補修の上、部分再塗装。　A-57

D2-3　アルミシームレスルーバー

風除室3の本仕様部分の全面を取換え。（下地鉄骨材と受金物の塗装（SOP）を含む）

D3　床　A-14、15

1・2階平面図に朱色でハッチングされた部分を対象とする。

水色でハッチングされた2階ラウンジの一部は対象とする。

D3-1　P系ｼｰﾄ

対象箇所の本仕様部分の全面を張替え。

守衛室（現仕様：ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB）を加える。

D3-2　ｴﾝﾄﾗﾝｽﾏｯﾄ

対象箇所に本仕様の部分ナシ。

D3-3,　織じゅうたん

対象箇所に本仕様の部分ナシ。

D3-4　ｺﾙｸﾀｲﾙ

対象箇所に本仕様の部分ナシ。

D3-5　ｺﾝｸﾘｰﾄ防塵塗装

対象箇所に本仕様の部分ナシ。

D3-6　ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA

対象箇所の本仕様部分の全面を張替え。（2階ラウンジの一部（5㎡）を加える）

D3-7　ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB

対象箇所の本仕様部分の全面を張替え。（守衛室はP系ｼｰﾄに仕様変更）

D3-8　ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ

対象箇所の本仕様部分の全面を研磨の上、UC再塗装。

1階ホワイエ1サッシ際のバーチ無垢材（1,350×130×15mm、計6箇所）を張替え。

D4　楽屋　A-62、64

大･中楽屋ｸﾛｰｾﾞｯﾄの扉を外された開口（展開図に朱色でハッチングされた部分）の小口に

ﾊﾞｰﾁ無垢材（50×30mm、計46.2m、UC塗装）を張付け。

大楽屋化粧カウンター照明ボックスA-の上部にブラケット（3箇所）を新設。

E　建具　A-14、15、86～93

1・2階平面図に朱色か水色でハッチングされた部分に面する建具を対象とする。

建具位置図と建具表で灰色にハッチングされていない建具を対象とする。

E1-1　鋼製建具SOP

対象建具の本仕様部分の全面を表面調整の上、再塗装。

E1-1'　鋼製建具木練付珪酸カルシウム板UC張付け、鋼製建具有孔珪酸カルシウム板SOP張付け

対象建具の本仕様部分の全面を表面調整の上、再塗装。

SD-113は損傷が激しいため、木練付珪酸カルシウム板の全面を張替え。

E1-1''　鋼製窓SOP

SW-202Bは一時取外し、AW202Aとの間の腰壁甲板の一部（図面に水色でハッチングされた部分）A-57

を補修の上、部分再塗装。

E1-2　木製建具SOP

対象建具の本仕様部分の全面を表面調整の上、再塗装。

E1-3　ｼｬｯﾀｰ

駆動部は本改修の対象外とする。

E1-4　ｼｬｯﾀｰSOP

対象建具の本仕様部分の全面を表面調整の上、再塗装。

E1-5　自動ﾄﾞｱ

開閉装置は本改修の対象外とする。

F　その他

F1　ﾎｰﾙ椅子　CH01～04

張地と座自動緩起立機構の調整。（25席：全1,209の約2%）

F2　ｻｲﾝ（外構）　SN12～41

文字・記号の20%をシルク印刷と同等以上の耐候性を有する印刷方法で再印刷するか、

カッティングシートで代替えとし、周辺案内図（計8箇所）はラッピングシート仕様とする。

建築

図面番号	図面名称	縮尺
A-00	中表紙【建築】	-
A-02	敷地案内/設計概要/外部仕上表	-
A-03	特記仕様書 1	-
A-04	特記仕様書 2	-
A-05	特記仕様書 3	-
A-06	特記仕様書 4	-
A-07a	工事区分表 1	-
A-07b	工事区分表 2	-
A-08n	内部仕上表 1	-
A-09n	内部仕上表 2	-
A-10	仕上仕様図 1	1/5
A-11	仕上仕様図 2	1/5
A-12	全体配置図	1/300
A-13	地階平面図	1/200
A-14	1 階平面図	1/200
A-15	2 階/舞台上部平面図	1/200
A-16	屋根伏図	1/200
A-17	立面図 1(東西面)	1/200
A-18	立面図 2(南北面)	1/200
A-19	断面図	1/200
A-20	1 階天井伏図	1/200
A-21	2 階天井伏図	1/200
A-22	短計・断面詳細図 1(リハーサル・楽屋)	1/100
A-23	短計・断面詳細図 2(ホール通路・搬入口)	1/100
A-24	短計・断面詳細図 3(ホール・ホワイエ)	1/100
A-25	短計・断面詳細図 4(ホール・ロビー階段)	1/100
A-26	短計・断面詳細図 5(ラウンジ・リハーサル)	1/100
A-27n	外部廻り詳細図 1	1/5
A-28n	外部廻り詳細図 2	1/5
A-29n	外部廻り詳細図 3	1/5
A-30n	外部廻り詳細図 4	1/10,1/5

図面番号	図面名称	縮尺
A-41	ホール客席詳細図 1(1,2 階平面図)	1/100
A-42	ホール客席詳細図 2(1,2 階天井伏図)	1/100
A-43	ホール客席詳細図 3(展開図)	1/100
A-56	2 階リハーサル・練習室ゾーン詳細図 1	1/100
A-57	2 階リハーサル・練習室ゾーン詳細図 2	1/60,他
A-58	2 階リハーサル・練習室ゾーン詳細図 3	1/60,他
A-59	2 階リハーサル・練習室ゾーン詳細図 4	1/50,他
A-60	2 階リハーサル・練習室ゾーン詳細図 5	1/50,他
A-61	2 階リハーサル・練習室ゾーン詳細図 6	1/50,他
A-62	1 階楽屋・事務ゾーン詳細図 1	1/100
A-63	1 階楽屋・事務ゾーン詳細図 2	1/100
A-64	1 階楽屋・事務ゾーン各部詳細図	1/50,他
A-65	ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図 1	1/100
A-66	ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図 2	1/100
A-67	ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図 3	1/100
A-74n	階段詳細図 1（ホール階段 1・2）	1/50,1/5
A-75	階段詳細図 2（ロビー階段）	1/50,1/5
A-78	階段詳細図 5（ホール階段 3・4）	1/50,1/5
A-79	階段各部詳細（手摺・段鼻）	1/10,1/5
A-86	建具位置図 1（1 階・2 階）	1/200
A-87	建具位置図 2（地階・塔屋）	1/200
A-88n	建具表 1（FSD）	-
A-89n	建具表 2（FSD・SD）	-
A-90n	建具表 3（SD・PSD）	-
A-91	建具表 4（LD・WD）	-
A-92	建具表 5（SH・SW・AD・SWD）	-
A-93	建具表 6（AW・AG）	-
A-94	建具姿図 1	1/100
A-95	建具姿図 2	1/100
A-99	雨水排水・防水範囲図 2（2 階・屋根）	1/200

建 築 概 要

計画概要

建物名称	三原市新文化施設（仮称）
建築地	三原市宮浦2丁目1番地1号　宮浦公園内
主要用途	劇場
工事種別	別棟　増築
工期	平成17年9月　－　平成19年7月

敷地概要

敷地面積	39,553.68　m²
用途地域	商業地域
防火地域	防火地域指定なし
地域・地区	都市公園内　　高度地区指定なし
容積率	400%
建蔽率	80%（都市公園内の限度容積＝都市公園敷地面積*12%＝4746.44　m²）
日影規制	5mライン：5時間　10mライン：3時間　平均地盤より4m　（但し敷地外に日影が出る場合は「第一種住居地域」として扱う）
前面道路幅員	東側　5m　　西側　18m　　南側　10.5m　　北側　22.4m
斜線制限	道路斜線　1.5W　水平距離 20m
	隣地斜線　2.5W　立上り 31m
	北側斜線　指定なし

構造・規模

構造	鉄筋コンクリート造　鉄骨鉄筋コンクリート造　鉄骨造
基礎・杭	PHC杭、中掘り拡大根固め工法
階数	地上2階　地下1階　塔屋有り
最高の高さ	最高高さ　平均地盤面＋31.252m　（1FL+30.950m）
最高の軒の高さ	最高軒高　平均地盤面＋30.799m　（1FL+30.497m）
	設計GL＝＋1.34（測量図レベル）＝1FL−60mm　　平均地盤面＝1FL−302＝設計GL−242
駐車場	屋外駐車場 96台＋12台（サービスヤード）＝108台　屋内駐車場なし

面積

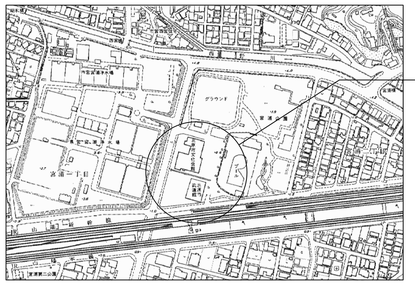
建築面積	新築部分　4,054.03 m²（新文化施設）　　公園内既存部分　115.98 m²（東屋・便所・管理棟）
	計　4,170.01 m²
建蔽率	10.54％　＜　都市公園敷地面積*12%＝4746.44 m²
床面積	新築部分　7440.24　m²（新文化施設）　　公園内既存部分　167.48　m²（東屋・便所・管理棟）
	計　7,607.72 m²
容積率	19.23％　＜　400%

床面積

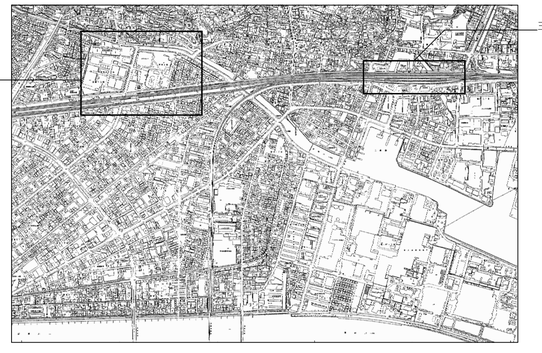
階	容積対象部分（m²）			階高（mm）	用途
地階	1,425.52			6250	空調機械室、電気室、発電機室、熱源機械室、消火ポンプ室、中央監視室
1階	4,078.57			5460	ホール客席、舞台、ホワイエ、楽屋、事務室、会議室
2階	1,689.70			3700	ラウンジ、休憩口ビー、ホール客席、リハーサル室、練習室
塔屋	246.45			5955	排煙機室、換気機械室

案内図

1:5,000　N



広域図



外部仕上表

部　位	箇　所	仕　上	備　考　（別途工事）
□　屋　根	ホール客席部	ステンレスt0.4　竪ハゼ溶接工法　ダル仕上げ　（ER1）	
	リハーサル・練習室エリア	ステンレスt0.4　竪ハゼ溶接工法　ダル仕上げ　（ER1）	
	舞台・休憩ロビー・塔屋階屋根	軽量コンクリート金ゴテ仕上げ（アスファルト防水・外断熱）（ER2a）	避雷針
	2階ラウンジ屋根（一部休憩ロビー上）	硬化砂石仕上げ（アスファルト防水・外断熱）（ER2c）	
	事務・楽屋エリア屋根	磁器質タイル（アスファルト防水・外断熱）（ER2b）	
□　床			
	1階中庭、1階テッキテラス	ボードテッキt20（EF1）	
	2階屋上テラス	磁器質タイル（アスファルト防水・外断熱）（ER2b）	
	地階ドライエリア、北テラス	軽量コンクリート金ゴテ仕上げ（アスファルト防水・外断熱→北テラスのみ）（ER2a）	
	置外機置場		
□　軒　天	北エントランス	アルミ複合板t4.0　FP焼付（EC1）	
	東エントランス	アルミ複合板t4.0　FP焼付（EC1）	
	サブエントランス庇	アルミ複合板t4.0　FP焼付（EC1）	
	搬入口庇	アルミ複合板t4.0　FP焼付（EC1）	
□　外　壁	舞台（フライタワー）	南北面：大型セラミックタイル（EW5）	
		東西面：コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリヤー　（EW1）　　西面一部 花こう岩　（EW7）	
		塔屋階内側壁面：コンクリート打放し（A種）フッ素クリヤー　（EW2）	
	低層部南北面	コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリヤー　（EW1）＋アルミサッシュ、　アルミサッシュ	
	搬入口脇西面	コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリヤー　（EW1）　　一部花こう岩（EW7）	
	2階リハーサルエリア	アルミ複合板t4.0（EW3a）FP焼付、　アルミスパンドレル（EW4a）FP焼付塗装、　アルミサッシュ	
		押出成型セメント板t60（EW6）FP焼付	
	EVシャフト	アルミ複合板t4.0（EW3b）FP焼付	
	屋外機置場（別棟）	外側：コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリヤー（EW1）	
		内側：コンクリート打放し（A種）フッ素クリヤー　（EW2）	
□　開口部	1階一般部	アルミサッシュ（一部片開き窓）B−1	
		東面：フロートガラス　または　調光ガラス	
		南北面：フロートガラス　または　調光ガラス	
	1階楽屋部	アルミサッシュB−1、突出し窓	
		南北面：調光ガラス	
	1階中庭周り	アルミサッシュ（一部片開き窓）B−1	
		フロートガラス	
	2階リハーサル・練習室	アルミサッシュ（FIX）B−1	
		フロートガラス　または　調光ガラス	
	2階休憩ロビー	アルミサッシュ（一部片開き窓）B−1	
		フロートガラス	
	2階ラウンジ	アルミサッシュ（一部片開き窓）B−1	
		フロートガラス	
□　雑	外部手摺一般	ステンレスHL仕上げ	
	ルーバー屋根	アルミルーバー B−1	
	ロビー階段直上部	アルミ製トップライト B−1	
	ハト小屋	コンクリート打放し（A種）フッ素クリアー　（EW2）、　アルミガラリB−1	
	煙道降笠	ステンレス板t2.0、ステンレスFB　HL仕上げ	
	低層部パラペット・軒屋根	アルミパネルt2.0曲げ加工　共にB−1	

建築工事特記仕様書

工　事　概　要

1	工事名称	三原市新文化施設(仮称)新築工事	
2	工事場所	広島県三原市宮浦２丁目１番１号 宮浦公園内	
3	地域地区	都市計画区域内、商業地域　　都市公園内	
4	敷地面積	39,553.68 ㎡	
5	建物用途	劇場	建築基準法・別表第１　　(1)項
			消防法施工令・令別表第１　(1)~イ項
6	建物概要	構造	ＳＲＣ造、ＲＣ造、Ｓ造
		階数	地上２階、地下１階
		最高高さ	１ＦＬ＋30.95m　平均地盤面+31.252m
		建築面積	4,249.95 ㎡（新文化施設 4,054.03 ㎡、屋外機置場 79.94 ㎡、公園内既存 115.98 ㎡）
		延床面積	7,607.72 ㎡（新文化施設 7,440.24 ㎡、公園内既存 167.48 ㎡）

工　事　仕　様

1　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
公共建築工事標準仕様書（平成 16 年版）(以下「標準仕様書」という）による。
2　特　記　事　項
（１）項目および特記事項は◎印を適用する。
（２）特記事項に記載の（．．）内の番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（３）製造所・製品については、記載のメーカー・製品と同等以上とし、あらかじめリストを作成し、監督員の承諾を受けるものとする。又施工業者についてもあらかじめ下請業者リストをを作成し、監督員の承諾を受けるものとする。

０１　一般共通事項

（１）一般事項

◎ 適用範囲　　◎本特記仕様書は、設計図及び標準仕様書に記載のない事項を記載するものである。各工事種目において、他の工事との関連ある事項は、各々該当記載事項を参照する。

◎　疑義　　◎本工事の設計図書に関する疑義は、工事契約前に質疑応答書をもって確かめておくものとする。
◎設計図書に記載なくとも、外観上、構造上、設備上、当然必要と認められるものは、監督員の指示に従い、請負金額の範囲内において施工するものとする。

◎ 優先順位　　◎本工事の設計図書等の優先順位は下記による。
１．質疑応答書
２．特記仕様書
３．設計図
４．公共建築工事標準仕様書 平成 16 年版
５．公共規格及びこれに準ずる規格

◎ 適用基準等　　◎建築工事標準詳細図（平成 13 年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
◎溶接工作基準・同解説（Ⅱ～Ⅸ）日本建築学会
◎鉄筋コンクリート構造配筋要領（平成 11 年版）建設大臣官房官庁営繕部監修
◎建築鉄骨設計基準及び同解説（平成 10 年版）建設大臣官房官庁営繕部監修

（２）工事関係図書

◎ 提出図書　　◎必要関係書類（届出）等は、遅滞なく関係機関に提出のこと
◎本工事　　の施工に伴う提出図書は、下記に定める他、必要に応じて監督員と協議し提出する。また提出部数は監督員と協議のこと。

提　出　図　書	提　出　時　期	備　　考
工事請負契約書	契約後速やかに	控えとなるもの
工事着手書	〃	
工事総合工程表	〃	ネットワーク工程表
現場代理人及び監理技術者届	〃	経歴書・資格証明書
下請負者届（施工業者）	その都度	
製造所・製品リスト	〃	
仮設計画書・計画図	契約締結後１ヶ月以内	
安全管理計画書	〃	
施工計画書・計画図	監督員と協議のこと	各工事毎
総合図（各工事調整図）	施工図提出前	
施工図・製作図	監督員と協議のこと	各工事毎
工事出来高金支払願書	その都度	
工事実施・予定工程表	１週間毎	
工事進捗状況報告書	１カ月毎	工事進捗表・写真
工事日誌	〃	日報添付
打合せ会議議事録	その都度	
官公署届出書類控	その都度	
官公署許認可書	〃	
工事用材料使用承認願	その都度	
材料検収簿	〃	
工事用材料等試験成績報告書	試験後 10 日以内	
鍵リスト	監督員と協議のこと	鍵箱に添付
完成図等	完成後速やかに	（7）完成図等参照

◎ 総合図の作成　　１．工事の着手に先立ち、各施工図の基準となる総合図（CAD）を作成する。
２．施工図に先立ち、建築・設備・別途発注工事の内容をすべて総合図に盛り込んで、これらの接点の細部調整を行い、監督員の承諾を受ける。
３．ランドスケープについても同様に施工図に先立ち、現況、外構、建築・外構設備・別途発注工事の内容をすべて盛り込んで総合図を作成し、これらの接点の細部調整を行い、監督員の承諾を受ける。

（３）工事現場管理

◎現場員　　◎請負者は契約後速やかに下記の現場員候補者を選出し、各員の経歴・資格等を示した人員表を監督員に提出し承諾を受ける。
・現場代理人　・監理技術者　・工事主任技術者　・工事技術者　・図面担当技術者

◎ 電気保安技術者　　◎適用する　　(1.3.3)

◎ 交通安全管理　　◎関係機関と充分打合せの上、交通整理員を配置して安全管理を行う。　(1.3.8)

（４）材　　料

◎ 材　料　等　　◎本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの及び建築材料の製造所・製品は、材料及び製造所一覧表による。
ただし、同等以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。
◎ホルムアルデヒド等を含む材料については、含有量の少ない材料の使用に努めること。また、塗料・接着剤においては、塗布量に留意し、適切な乾燥時間の確保と十分な換気に努めること。

◎ 特別な材料の工法　　◎標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の指定仕様・工法によることができる。

◎ ホルムアルデヒド等の室内濃度の測定　　◎ホルムアルデヒド等の室内濃度を測定し、その結果を報告すること。
測定化学物質名
・　ホルムアルデヒド　・アセトアルデヒド　・トルエン
・　キシレン　・エチルベンゼン　・スチレン
◎測定方法：『営繕工事におけるホルムアルデヒド等測定要領』による。
◎測定箇所：主要居室、その他監督員の指示による。

◎ 材料試験　　◎本工事に使用する材料のうち、標準仕様書に記載されているものの外、監督員から指示のあるものに関しては、その成績表を提出し、又は監督員の認める試験所で試験を行い、確認を受けなければならない。

◎ 発生材の処理等　　◎発生材および産業廃棄物の処理は現場説明書による。

（５）施　　工

◎ 技能士　　◎適用する。　(1.5.2)

◎ 見本施工　　◎実施する。詳細は「２４ 追加特記事項」のモックアップサンプルによる。

◎ 責任施工　　◎特記事項中、責任施工または保証書の指示あるものは請負者及び専門工事業者（防水工事においては所属する組合又は材料メーカーを加える）が連帯して保証書を提出すること。

（６）工事検査及び技術検査

◎ 工事検査・技術検査　　◎標準仕様書及び監督員が別に指示するものについて行う。　(1.6.1)（1.6.2)

（７）完成図等

◎ 工事写真　　◎工事施工状況写真を工事完了後整理の上、監督員に２部提出する。
デジタルカメラ使用の場合は、監督員と協議のこと。

◎ 完成写真　　◎下記のものを監督員に提出する。　(1.7.1)

	撮影カ所数	部数	原版の大きさ
カラー８×10（アルバム）	外部内部合計：　40 カ所	３部	100×125 以上
ポジフィルム	上記撮影箇所	１部	原版のコピー
カラースライド	上記撮影箇所	１部	24×36

◎アルバムの体裁：黒表紙金文字入のアルバムに貼付
◎撮影業者および撮影箇所は監督員と協議のこと。

◎ 完成図等　　◎完成後 15 日以内に下記の完成図を提出すること。

・原図	・１部
・ＣＡＤデータ（ＣＤ-Ｒ）	・２部
・原図サイズ陽画焼製本（表紙文字入り）	・２部
・縮小版Ａ３白焼製本（表紙文字入り）	・４部

◎主要な施工図、製作図　・縮小第二原図　（Ａ３版）　：一式２部
・縮小背　　貼り製本（Ａ３版）（表紙文字入り）　：一式２部

◎ 保全に関する資料　　◎下記のもの、およびその他監督員が指示するものを提出する。

・建築物等の保全に関する説明書 ・機器取扱い説明書・保守点検方法説明書 ・機器性能試験成績書 ・主要な材料や機器の一覧表、仕上材品番リスト ・予備品目録一式 ・非常時連絡先、主要な下請業者、材料納入業者一覧表 ・メンテナンスおよび清掃マニュアル	一式１部

（８）その他

◎ 関連他工事　　◎敷地内において本工事と同時期に行われる関連する他工事は下記の通り。
また本工事に先立ち、既存建物の解体工事が施工される。
・機械設備工事　・電気設備工事
・舞台特殊設備工事　　・公園外構工事　・南側歩道拡張工事

◎ 別途工事との関係　　◎関連他工事に記載された別途工事の工事工程及び納まり等に関して、別途工事施工業者と密接に連絡し、調整にあたらなければならない。
◎別途工事との工事区分は工事区分表による。

◎ 基準レベル　　◎設計１ＦＬ±0＝1.40＊　ＧＬ±0＝1ＦＬ－60＝1.34＊（＊は測量図レベル）

◎ 耐荷重及び耐外力　　◎建築基準法に基づき定められた区分等
・基準風速：Ｖ=32(m/s)　　・地表面粗度区分：Ⅲ
・綜合耐震計画　Ⅱ類　重要度係数(Ⅰ)　1.25　　地震時地域係数　Ｚ＝0.9
・積雪区分　告示 1455 号　広島県建築基準法施行細則による。

０２　仮設工事

◎ ベンチマーク　　◎ベンチマーク（ＢＭ）の設置は、監督員の立合いのもとに行う。

◎ 監督員事務所　　◎規　模：120 ㎡程度　(2.3.1)
事務所は工事打合せに便利なように、請負事務所に近い位置とする。
各請負者協議の上、監督員事務所に係わる諸経費は、請負者が負担する。
◎仕　上：床はニードルパンチ、その他は(表 2.3.2)による。
◎設　備：冷暖房設備、湯沸、便所、通信（電話、ファックス）、コピー、消火器
サーバークライアント型ネットワークによるコンピューターシステム
（サーバー１台、端末４台、出力機器２台（１台は A1 用）、ルーター、ＣＡＤ・ワープロ・表計算等のアプリケーション、その他）　データ通信用回線
◎備　品：机、椅子、書棚、見本棚、ホワイトボード、ロッカー、製図板、靴箱、Ｚライト、懐中電灯、保安帽、防寒着、作業着、長靴、冷蔵庫、その他

◎ 工事用水　　◎有償にて利用できる。

◎ 工事排水　　◎工事排水に有害物が含まれないことを確認すること。

◎ 工事用電力　　◎請負者の引き込みとする。

◎ 仮　囲　い　　◎仕　様：鋼製、高さ３ｍ程度、塗装仕上
◎範　囲：建築外構施工範囲
◎その他：仮囲いに完成予想パースまたは模型写真を掲示する。

◎ 看　　板　　◎本工事現場に掲示する看板は、種類・大きさ・書体・仕上・取付位置など、あらかじめ監督員の承諾を受けて設置する。

◎ 障害物の処理　　◎工事上撤去・移設を要する軽微なものは、本工事の範囲とする。

◎ 仮設建物等　　◎現場事務所、倉庫、下小屋、洗車場等の位置は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。

◎ 保護設備　　◎本工事の施工に当たり、付近住民・近隣建物・工作物・通行人に対して損害を与えないように、必要な保護設備及び誘導標識を計画し、監督員及び各関係者の承諾を得て実施する。　万一損害を与えた場合は、速やかに応急手当・復旧工事をし、これに要した費用は請負者の負担とする。

◎ 掃除・復旧　　◎工事完了後、建物引渡し前に全体の掃除を行い、工事による公道の損傷部は完全に復旧する。

０３　土工事

◎ 一般事項　　◎工事着手の前に根切り方法、山留め工法、排水方法、使用機器および重機等を記した施工計画書を提出し、監督員の承諾を得る。

◎ 埋戻し及び盛土の種別　　◎Ｂ種：根切土および杭残土は建築外構工事で利用するほか、公園部造成（公園外構工事）で利用する。　(3.2.3)(表 3.2.1)

◎ 建設発生土の処理　　◎自由処分　(3.2.5)

◎ 山留め　　◎対象箇所：構造図による。　(3.3.1-3)
◎工　　法：Ａ部分　：ソイルセメント柱列壁（SMW）　H=約 12m
Ｂ部分　：シートパイル　H=約
Ｃ部分　：親杭横矢板　H=約

◎その他　　：図示（地階平面図）の山留め面に地中防振ゴム、地中防振材（発泡ポリオレフィンブロック）を設置する。
その仕様については音響関連工事を参照のこと。

０４　地業工事

◎ 試　験　杭　　◎構造図による。　(4.2.2)

◎ 載荷試験　　◎杭：行わない　　地盤：行わない　(4.2.3)（4.2.4)

◎ 既製コンクリート杭　　◎詳細は構造標準図による。　(4.3.1～5)

施工箇所	構造図による	構造図による
杭の種別	高強度プレストレストコンクリート杭(PHC)	外殻鋼管付コンクリート杭(SC)
規　　格	評定品	評定品
区　　分	ストレート杭：Ａ種、Ｂ種 節付杭　　：Ａ種	SKK490
寸法(D×L)mm×m	構造図による	
長期設計支持力(Kn×本)	構造図による	
先端部形状	開放形	
継手の工法	無溶接継手	
杭頭の処理	構造図による	

◎工法：ＥＸ ＭＥＧＡＴＯＰ工法　国土交通大臣認定　　支持地盤は図示による。

◎ 砂利地業　　◎材　　料：再生クラッシャーラン　厚 50 ㎜　(4.6.2)
◎施工箇所：図示による。

◎ 均しコンクリート地業　　◎図示なき場合は厚さ 50 ㎜　(4.6.5)

◎ 床下防湿層　　◎土間スラブおよび土間コンクリートの直下に設置する。　(4.6.2)（4.6.6)
◎防湿層はポリエチレンフィルム等で 0.15ｔ以上とする。

０５　鉄筋工事

◎ 鉄筋の種類　　(5.2.1)

規格名称	種類の記号	径(㎜)＝呼び名
鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A	D10　D13　D16
鉄筋コンクリート用棒鋼	SD345	D19 以上

◎ 溶接金網　　(5.2.2)

寸　　法	施工箇所
6.0φ×150×150	防水押さえ保護コンクリート部
6.0φ×100×100	浮き床のコンクリート部

◎ 継　　手　　◎呼び名 19㎜ 以上の 柱および梁の主筋：ガス圧接（SD345）　(5.3.4)

◎ 鉄筋のかぶり厚さ　　◎かぶり厚さは構造標準図による

◎ 圧接完了後の試験　　◎試験方法：超音波探傷試験　検査機関と契約した契約書の写しを提出する。(5.4.9)

◎ 梁貫通口の補強　　◎詳細は構造標準図及び構造仕様書による。

０６　コンクリート工事

◎ コンクリートの種類　　◎レディーミクストコンクリート　類別：Ⅰ類　(6.1.3)（表 6.1.1)

◎ コンクリートの強度　　◎設計基準強度：24 N/m㎡　　軽量コンクリート：18 N/m㎡　(6.1.4)

◎ スランプ　　◎柱、梁、スラブ、壁：１８　　基礎、基礎梁、土間スラブ：　１５　(6.2.3)

◎ コンクリートの仕上がり　　◎仕上がり種別　Ａ種：打ち放し仕上げ面　(表 6.2.3)（6.2.5)
Ｂ種：塗り下面　Ｃ種：打ち放しＣ種面
◎コーン等による穴の仕上：打放し仕上の場合は、防水剤入りモルタルを面内に仕上げる。
◎仕上りの平たんさは（表 6.2.4）及び（15.3.2）による。
◎打放し仕上の打ち増しは図示による。表記なき場合は 20mm とする。

◎ 塩化物量及びアルカリ総量　　◎塩化物イオン量：0.3kg/　以下　(6.5.4(a))
◎アルカリ総量：総量 3kg/　以下　(6.5.4(b))

◎ 打込み及び養生　　◎コンクリートの打込みに先だって、設計・施工条件を十分考慮し、適切なる施工計画書を作成し、監督員の承諾を受けるものとする。　(6.8.3-4)

◎ 型枠(せき板)の種別　　(6.9.3)

種別	せき板の材料	施工箇所（詳細は図示による）
杉板	杉小幅板バラ板(厚 15、幅 75～150) 杉小幅板本実　(厚 15、幅 100 程度)	外壁 内壁
(1)	コンクリート型枠合板の日本農林規格による表面加工品：Ａ種	上記以外の打放し仕上の部分
(2)	コンクリート型枠合板の日本農林規格による B-C：B および C 種	モルタル仕上げ部分及び機械室、地下ピット、DS、EPS 等

◎塗　　装：合板の表面加工はウレタン樹脂塗装２回塗り
杉小幅板の箇所は水性剥離材２回塗り
◎合板型枠の転用回数は監督員と協議のこと
◎杉板型枠についての節・色合わせ等は監督員と協議のこと

◎ 試　　験　　◎コンクリートの強度試験は標準仕様書（6.10.4～6.10.6）による。
◎採取した試験体は、工事現場等の請負者の管理下にある場所に保管する。

◎ 特殊工法　　◎トラス鉄筋メッシュ型枠工法：専門業者の責任施工とする。
◎施工箇所：ホール客席部のドーム状屋根躯体

◎ その他　　◎打放し仕上部のコーン割付及び誘発目地の割付は、施工図により監督員の承諾を受ける。
◎構造図に示されてなくても、建築図に含まれている手摺壁・下り壁等は雑ＲＣとして扱う。

◎ 軽量コンクリート　　◎種別：１種　(6.11.1)
◎比重：1.9t/　　設計基準強度：18 N/m㎡

◎ 無筋コンクリート　　◎設計基準強度：18N/m㎡　(6.14.1～3)
◎スランプ：15cm
◎適用箇所：6.14.1(C)による。

０７　鉄骨工事

◎ 鉄骨製作工場　　◎全国鐵構工業連合会（全構連）Ｈグレード以上の工場にて製作すること。　(7.1.3)

◎ 施工管理技術者　　◎適用する。(１級鉄骨製作管理技術者)　(7.1.4)

◎ 鋼材の種別　　◎材質：JIS G 3101　(一般用構造圧延鋼材)　SS400　(7.2.1)
JIS G 3106　(溶接構造用圧延鋼材)　SM490A
JIS G 3444　(一般構造用炭素鋼管)　STK400
JIS G 3466　(一般構造用角形鋼管)　STKR400

◎ 高力ボルト　　◎種別：トルシア形高力ボルト

◎ アンカーボルト　　◎材質：構造用　SNR400　建方用 SS400　(7.2.4)
◎建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法：Ｂ種　(表 7.10.1)

◎ 溶接部の確認　　◎１級溶接施工管理技術者が確認し、報告書を提出する。　(7.6.10)

◎ 溶接部の試験　　◎種　別：超音波探傷試験　(7.6.11)
◎箇所数：構造標準図による。
◎超音波探傷の検査機関と請負者が契約した契約書の写しを提出する。

◎ 耐火被覆　　◎種　　別：ロックウール＋セメント、湿式吹き付け工法　(7.9.2)
◎施工箇所：原則として耐火被覆が必要な隠蔽部の鉄骨
◎所要性能：１時間耐火

◎ 耐火塗料　　◎仕　　様：発泡性耐火被覆：大臣番号：柱：国住指 第 930 号 FP060CN-9400
梁：国住指 第 931 号 FP060BM-9345
◎耐火性能：１時間耐火
◎表面仕上：見えがかり部は平滑に仕上げる。仕上げ塗装（フタル酸樹脂塗装・ＦＥ）
◎施工箇所：鉄骨丸柱

◎ 柱底均しモルタルの工法　　◎Ａ種　(表 7.10.3)
無収縮モルタルの製造所：評価名簿による。

◎ 溶融亜鉛めっき工法　　◎亜鉛めっきの種別：Ａ種　(7.12.3)(表 14.2.2)
溶融亜鉛めっきの付着量は、表 14.2.2 の最小板厚による適合量とする。
素地ごしらえは、JISH9124 溶融亜鉛めっき作業標準による。
◎施工箇所：図示による。

◎ 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合　　◎摩擦面の処理：りん酸塩処理（すべり係数値 0.4 以上）　(7.12.4)

◎ サッシ力骨・その他　　◎鋼材の種別および詳細形状は建具詳細図、構造図による。
◎構造図に示されていなくても、建築図に含まれている下地鉄骨・胴縁等は雑鉄骨として扱う。

０８　コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

◎コンクリートブロック　(表 8.3.1)

適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分
間仕切壁、地下二重壁、塀	空洞ブロック16
衛生配管用裏積みブロック	空洞ブロック08

◎施工箇所および厚さは図示による。

◎　押出成形セメント板　◎形状種類：フラットパネル、タイプⅡ（ノンアスベストタイプ）　(8.5.2)
◎厚 60㎜（壁一般部）、15㎜（防水立ち上がり保護部）

０９　防水工事

◎　アスファルト防水　(9.2.2～5)(9.3.2～4)(表 9.2.1～11)(表 9.3.1)

種　　別		施 工 箇 所
屋根保護防水 密着断熱工法	ＡＩ－１	雨水配管系統図および
改質アスファルト露出防水	ＡＳ－１	防水範囲図による
屋内防水密着工法	Ｅ－２	便所、シャワー室

◎アスファルトの種類：３種　(9.2.2)
◎防水保護層は　(1) 溶接金網＋軽量コンクリート
(2) 硬化砂石押さえとする。硬化砂石は６号砕石＋アクリル系散布材とする
◎外断熱工法の断熱材はポリスチレンフォーム（JIS A9511）Ｂ類３種、厚 25㎜
◎目地材料：成形伸縮目地材＋発泡ポリスチレン系芯材　(表 9.2.1)

◎　地下防水シート　◎種別工程：ベントナイト+特殊改質アスファルト複合シート　2.5ｔ　先付け工法
◎施工箇所：一部地下外壁
◎　塗布防水　◎種　　別：エポキシ樹脂系耐食性塗布防水　　◎施工箇所：汚水槽・雑排水槽
◎　漏水試験　◎屋根防水、防水については水張り試験を行う。
◎試験箇所：監督員が指示する部分で行う。

◎　シーリング　◎種　　別：被着体によるシーリングの種別は(表 9.6.1)による。
◎施工箇所：図示による。

◎　止水版　◎種　　別：水膨張ゴム系止水板(ステンレスメッシュ入)
◎施工箇所：地下部コンクリート打継ぎ箇所

◎　施工保証書　◎次の期間の施工保証書を提出する。　アスファルト防水：10 年　シート防水：10 年

１０　石工事

◎　天然石張り　◎品　　質：壁、床とも１等品
◎表面仕上：(表 10.2.1)(表 10.2.2)による。
◎石の種類

名称	仕上	石種程度（産地）	標準割付・石厚
ライムストン　壁	粗面仕上げ	モカクリーム程度（ヨーロッパ産）	277×1200　40t 171×1200　40t
花崗岩　壁	水磨き	花崗岩（中国産）グレー	675×1350　25t
~~花崗岩　床~~	~~Ｊ Ｐ~~	~~花崗岩（中国産）~~	~~675×~675　25t~~

◎施工箇所：図示による。

◎　保護（防汚）塗装　◎シリカ系浸透性撥水剤　記号：ＳＣ
◎施工箇所：ライムストンの箇所

１１　タイル工事

◎　伸縮調整目地及び誘発目地　◎屋内タイルの入り隅部、建具枠廻り、設備器具取り合い　(11.1.3(b))

◎　タイルの材料　◎種　　別　(11.2.1)

施工箇所	名称	形状寸法	生地	仕様
外壁	大型セラミック	140x1350x40t	焔器質	特注品特注色
テラス床	磁器質タイル	300x300x9~13	磁器質	既製品標準色
厨房・シャワー室床壁	半磁器質タイル	200x200	壁:陶器質 床:炻器質	既製品標準色
客用便所床	テラゾータイルＡ	400x400x13	――	既製品標準色
客用便所壁	テラゾータイルＢ	400x400x12	――	既製品標準色
一般便所	大判タイル	397x397x12	磁器質	既製品標準色

◎大型セラミックタイル：押出し成形焼成特注品、ハンギング金物留め工法
◎テラゾータイルの種類：テラゾータイルＡ　石英石入り　400 角　厚 13㎜
テラゾータイルＢ　大理石入り　400 角　厚 12㎜

◎　壁タイル張り工法　◎接着剤張り　便所：タイプⅡ　シャワー室：タイプⅠ　(表 11.2.2)
◎タイルの試験張り：行わない

１２　木工事

◎　木材の表面仕上げ　◎(表 12.1.1)のＡ種

◎　木材の含水率　◎(表 12.2.1)のＡ種

◎　造作材の等級　◎(表 12.2.2)のＡ種

◎　樹種および仕様　◎無垢材、集成材、練付等の仕様および形状寸法の詳細は図示による。

主な施工箇所	仕　様	樹　種
ホール、ホール階段ﾗｳﾝｼﾞ、練習室１壁	・ＳＣＢ板木練付ＵＣ	バーチ(北欧産)
リハーサル室壁	・木リブ着色ＵＣ ・合板木練付着色ＵＣ	スプルス無垢リブ材 バーチ(北欧産)

※代用樹種については監督員と協議のこと

◎　フローリング　◎施工箇所：ホール客席、ホワイエ、ホール階段、リハーサル室、練習室など
◎仕 上 材：メープル単層本実　厚 15㎜　幅 75㎜、長さ 600㎜以上の乱尺、釘留め工法
◎表面仕上：着色ポリウレタン塗装（光重合ポリウレタン塗装 UV 処理３H 程度）

◎　縁甲板　◎施工箇所：舞台、袖舞台
◎仕 上 材：ひのき無節集成材 本実　厚 30㎜ 幅 100㎜程度、釘留め工法
◎表面仕上：ワックス塗り

◎　ボードデッキ　◎施工箇所：デッキテラス、中庭 1,2
◎仕 上 材：ジャラ　厚 20㎜、幅 90㎜程度、素地

◎　木製巾木　◎

種　別	仕　　様
木ＳＯＰ	スプルスの上に合成樹脂調合ペイント
木練付ＵＣ	バーチ練り付けウレタンクリヤーラッカー塗装

※代用樹種については監督員と協議のこと

１３　屋根及びとい工事

◎　ステンレス竪樋溶接工法　◎材質仕上：ステンレス 22Ｃｒ系　0.4ｔ　ＢＡダル
◎緊結方式：シーム溶接後、鎚折りを行う　標準ハゼピッチは 450ｍｍ以内
◎吊 り 子：通し吊り子 0.3×30×25(SUS304)
◎裏 打 材：ガラス繊維積層体(不織布被覆) 4t
◎下　地　：高密度グラスウールボード 25ｔ（96kg/　）ゴムアスシート １ｔ
◎施工箇所：メインホール曲面屋根、リハーサル練習ユリア勾配屋根

◎　アルミパネル曲げ加工　◎材質仕上：アルミ 2.0t　Ｂ－１種／無着色陽極酸化塗装複合皮膜 14＋7μ
◎形　　状：曲げ加工：外部詳細図による
◎裏 打 材：裏貼り断熱材（ウレタンフォーム）t=4.0　防湿材（ゴムアスシート）
◎施工箇所：風除室庇屋根、パラペット部軒屋根

◎　とい　◎材種：竪樋隠蔽部　　配管用鋼管白管　(13.6.2)(表 13.6.1)
竪樋外部露出部　　配管用ステンレス管
軒とい　　非加硫ゴム系ルーフィングシート　(9.4.3~4)
◎といの屋内部分は(表 13.6.5)による防露を行う。

◎　ルーフドレイン　◎鋳鉄製打込型

排水形式	防水工法	施工箇所
縦引き排水 横引き排水	アスファルト防水	施工箇所及び数は雨水配管系統図・防水範囲図による
縦引き排水	改質アスファルト露出防水	

◎ステンレス製落とし口

排水形式	防水工法	施工箇所
縦引き排水 横引き排水	ステンレス薄板	施工箇所及び数は雨水配管系統図・防水範囲図による

◎　床排水金物　◎形　　式：ネジ込取付タイプ
◎施工箇所および箇所は図示による。

◎　施工保証書　◎屋根および樋工事に係る下記期間の施工保証書を提出する。
金属屋根および壁の防水：10 年、雨どい：５年

１４　金属工事

◎　一般事項　◎工事にあたっては製作図を作成し、監督員の承諾を受けるものとする。

◎工　法　◎あと施工アンカーの引抜き耐力の確認試験：JASS の試験方法による。　(14.1.3)

◎　内部ステンレスの仕上　◎図示なき場合は HL とし、HL の番手は見本により監督員に確認する。　(14.2.1)

◎　アルミニウム製品　◎表面処理　(14.2.2)(表 14.2.1)

種別		略号	施工箇所
Ｂ－１種	無着色陽極酸化塗装 複合皮膜 14＋7	Ｂ－１	無着色アルミ全般
Ｄ－１種	フッ素樹脂焼付塗装	FP 焼付	外部着色アルミ全般
	アクリル樹脂焼付塗装	AP 焼付	内部着色アルミ全般

◎表面処理の塗装皮膜および仕上の保護クリヤー剤は全て艶消しとする。

◎　鉄の亜鉛めっき　◎付着量は、(表 14.2.2)の最小板厚による適合量とする。　(14.2.3)

◎　特殊漆喰　◎水溶性石粉入り漆喰特殊金ベラ仕上：略称 S-AN、施工箇所は図示による
◎メーカーの仕様、工法による

◎　防塵塗装　◎一般防塵塗装：ポリウレタン樹脂系　　施工箇所：搬入口その他、仕上表による
◎耐油防塵塗装：エポキシ樹脂系　　施工箇所：発電機室

◎　コンクリート保護塗装　◎下表のコンクリート打放仕上面には部位に応じた種別の保護塗装を行う。
◎種　　別

部位	種別・仕様	施 工 箇 所
外部	常温乾燥型フッ素樹脂クリヤー塗装(低汚染タイプ)　ＦＰ	外部の打放し仕上の箇所
内部	シリカ系浸透性撥水材　ＳＣ	内部の打放し仕上の箇所

１５　左官工事

◎　ひび割れ防止　◎15.1.5 により、適切な処置を行う　(15.1.5)

◎　モルタル塗り　◎施工箇所及び塗り厚は図示による　(15.2.2～6)
◎防水剤（防水剤入モルタル塗り）の種類は監督員の承諾をうける。

◎　床の直均し仕上げ　◎(表 6.2.4)による平坦さを確保する

◎　軽量鉄骨天井下地　◎野縁などの種類：屋内　19 形　　屋内　25 形　(14.4.2)(表 14.4.1)
◎照明器具、吹出し口、その他開口部には必要に応じ増し吊りを行う。

◎　軽量鉄骨壁下地　◎スタッド、ランナーなどの種類は、(表 14.5.1)による。　(14.5.3)

◎　金属成形板張り　(表 14.2.1)
＜アルミニウム＞天井
◎アルミ複合板天井（外部）
・施工個所：外部軒天
・板厚形状：アルミ+樹脂積層板 4.0t　表面処理：焼付塗装

＜アルミニウム＞壁
◎アルミ複合板（外部・内部）
・施工個所：立面図、展開図による　詳細は外部詳細図による
・板厚形状：アルミ+樹脂積層板 4.0t　表面処理：焼付塗装
・
◎アルミスパンドレル（外部）
・施工個所：立面図による　詳細は外部詳細図による
・板厚形状：規格品　加工厚 20ｔ　表面処理：Ｂ－１および焼付塗装

◎外部金属成形板の取付け下地はスチールＺＰ（溶融亜鉛めっき）とする。

◎　アルミニウム製笠木　◎施工箇所：外部詳細図、立面図による
◎形状寸法：アルミ板 2.0ｔ曲げ加工　表面処理：Ｂ－１
詳細は外部詳細図による。パラペット部軒屋根と連続する笠木あり

◎　製作手摺　◎施工箇所及び詳細は階段詳細図、雑詳細図による

◎　タラップ　◎材料種別：SUS304　詳細は雑詳細図による。

◎　桝蓋・点検ハッチ　◎密閉型マンホール蓋 600Φ　詳細は雑詳細図による。
施工箇所：機械室ほか平面図参照
◎床下点検口 600 角　詳細は雑詳細図による。
施工箇所：居室ほか平面図参照

◎　排水側溝蓋　◎ステンレス製グレーチング（枠共）騒音防止型（固定式）　詳細は雑詳細図による
◎施工箇所は図示による

◎　配管ピット蓋　◎詳細は雑詳細図による。
◎施工箇所：機械室　電気室床

１６　建具工事

◎　アルミニウム製建具　(16.2.2)
◎耐風圧性能：Ｓ－３（正圧）＋１６００Pa
・建築基準法施行例第 87 条および建設省告示第 1454 号、第 1458 号による。
・耐風圧性能に対し、主要部材のたわみがＬ=4000㎜ 以下の場合はＬ/150 以下、かつ絶対量20 ㎜以下であり、またＬ=4000㎜ を超えた場合のたわみはＬ/200 以下とする。
◎気密性能　：Ａ－４（２等級線）
◎水密性能　：Ｗ－５（５００Pa）
◎遮音性能　：Ｔ－２（３０等級線）
◎耐震性能　：層間変位角Ｈ・1/300：補修の必要なしに継続使用できること。
：層間変位角Ｈ・1/200：部材に破損、脱落を生じないこと。
：水平震度Ｋ=1.0、垂直震度Ｋ=0.5 に対して、安全であること。
◎表面処理の種別：Ｂ－１　(表 14.2.1)
◎サッシュ型材：新型・既製型の分類、及び枠見込み寸法は建具表　建具詳細図による。

◎　アルミニウム製ガラリ　◎表面処理：Ｂ－１種／無着色陽極酸化塗装複合皮膜 14＋7μ
◎施工箇所：建具位置図にＡＧ 表記の箇所

◎　防火戸　ＦＳＤ　◎煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は別途とする。　(16.1.3)
◎各部仕様はＳＤに準ずる。　(16.3.2～16.3.4)

◎　鋼製建具　ＳＤ・ＰＳＤ　◎規格・施工箇所は建具表による。
◎仕様はＳＤ・ＰＳＤともに標準仕様書による。　(16.3.2～16.3.4)
◎防音戸の遮音性能および詳細は、建具表による。
◎詳細は建具共通詳細図、建具詳細図による。

◎　鋼製軽量建具　ＬＤ　◎規格・施工箇所は建具表による。
◎仕様は標準仕様書による。　(16.4.2～16.4.5)
◎防音戸の遮音性能および詳細は、建具表による。
◎詳細は建具共通詳細図、建具詳細図による。

◎　ステンレス製建具　◎表面仕上の種別は建具表による。　(16.5.4)
◎曲げ加工は原則として角出し曲げ加工とする。　(16.5.5)
◎詳細は外部廻り詳細、建具詳細図による。

◎　木製建具　ＷＤ　◎材料、形状および仕上げは標準仕様書による　(16.6.2～16.6.3)
◎フラッシュ戸見込み：標準 40　フラッシュ戸表面板厚み：シナ合板 5t

◎　自動ドア開閉装置　◎動力方式：電気圧式　(16.8.2)
◎開閉方法：スライディングドア　(16.8.2)
◎制御方式：静止検知型マイコン制御赤外線反射スイッチ
安全光線付、非常信号による非常口開閉システム

◎　重量シャッター　◎種　　類：電動重量シャッター　遮音タイプ　(16.10.2)
◎施工箇所：建具位置図による
◎スラット形式：インターロッキング型
◎開閉機構：上部電動巻上げ式（手動併用）障害物感知装置を設ける。　(16.10.2(d))
◎シャッターケース：設ける。
◎レール・まぐさ：ステンレス製曲げ加工
◎スラット：鋼板製 1.6t、表面仕上は建具表による。
◎電動シャッター、自動扉の施工範囲：一次側電源供給は別途工事とし、二次側配線配管及びスイッチ取付は本工事とする。三相電動機、0.4kw 以上の場合は、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断器及び進相用コンデンサーを設置する。

◎　建具用金物　◎マスターキーは製作する。（３個）　(16.7.4)
◎種別は建具表により、製造所リストの製品同等以上とする。

◎　ガラスの材料　◎標準仕様書の規定による材料又は評価名簿による材料　(16.13.2)
外国製品使用の場合は JIS 同等以上のものとする。
◎ガラスの種類、厚さ、形状、施工箇所は建具表による。

◎　ガラスの種別　◎一般ガラス：フロートガラス　建具表参照
◎調光ガラス：フロートガラスにセラミック焼付（倍強度ガラス）建具表・立面図参照
調光ガラス１：指定パターン焼付　　調光ガラス２：ガラス全面焼付
◎強化ガラス　　建具表参照
◎耐熱強化ガラス　施工箇所：特定防火設備、防火区画に接する部分、ピンスポット室

◎　ガラス留め材　◎ガラス溝の寸法、形状等は、(表 16.13.1)による。
◎防火戸は建築基準法に基づく防火性能認定品とする

１８　塗装工事

◎　防火材料　◎屋内の壁及び天井の塗装仕上材料は、防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定品とする。

◎　見本　◎見本塗り板を監督員に提出し、承諾を得る。

◎　素地ごしらえ　◎種　　別　(表 18.2.1)～(表 18.2.7)

	種別	施 工 箇 所
木部	Ａ種	ＳＯＰ塗装の箇所
	Ｂ種	ＵＣ塗装の箇所
鉄面	Ａ種	焼付け塗装の箇所
	Ｃ種	ＳＯＰ、ＦＥ、ＦＰ塗装の箇所
亜鉛めっき面	Ａ種	鋼製建具
	Ｂ種	ＳＯＰ、ＦＥ、ＦＰ塗装の箇所
モルタル面	Ｂ種	ＥＰ、ＥＰ-Ｕ、ＶＥ塗装の箇所
各種ボード面	Ａ種	ＥＰ、ＥＰ-Ｕ塗装の箇所、(寒) の指定のあるボード面は全面寒冷紗貼りのうえパテしごきとする

◎　錆止め塗料塗り　◎種　　別　(18.3.3)(表 18.3.3)(表 18.3.4)

	種別	施 工 箇 所
鉄面	Ａ種	見掛かり部分、JIS K5625　2回塗り
	Ｂ種	隠蔽部分
亜鉛めっき面	Ａ種	鋼製建具でめっき仕様のもの
	Ｂ種	上記以外の箇所

◎　合成樹脂調合ペイント　◎図中の鉄部及び木部でＳＯＰと記載のある箇所　(18.4.3)(表 18.4.1)(18.4.4)(表 18.4.2)

◎　フタル酸樹脂エナメル　◎屋内の鉄部でＦＥと記載のある箇所　(18.6.3)(表 18.6.2)

◎　常温乾燥型フッ素樹脂　◎屋外の鉄部、ＲＣでＦＰと記載のある箇所　(18.11.2,4)(表 18.11.1,3)

◎　合成樹脂エマルションペイント　◎図面にＥＰと記載の箇所（主に天井、小壁）
◎工程種別：居室及び共用スペースはＡ種とする。　(18.13.2)(表 18.13.1)

◎　防汚型エマルションペイント　◎防汚型アクリルエマルション塗料（一般壁）
◎施工箇所：図面にＥＰ-Ｕと記載の箇所

◎多彩塗装　◎水溶性アクリル樹脂多彩模様塗装
◎施工箇所：各部詳細図、仕上表による

◎　吸音材　◎グラスウール及びロックウール吸音材

施工箇所	密度	厚(㎜)	表面仕様
機械室等の吸音壁、有孔板裏	ＧＷ 32K	50	ガラスクロス巻
リブ壁の吸音材			クロス張り
ＬＧＳ壁内、天井裏、浮き床内	ＧＷ 32K	50	なし
浮き床の立上り部分	ＧＷ 96K	25	なし
遮音間仕切内、扉の充填材	ＲＷ 80K	表記による	なし

◎吸音壁の取付工法：ガラスクロス（104g/㎡）張りの上アンカーピン止め（@450）

◎　壁紙　◎下地基材を法定不燃材とし、不燃認定を受けたもの　(19.8.2)
◎種別及び仕様

種　　別	仕　　様
布クロス	繊維製壁紙　(防火認定番号)不燃 NM-9847　準不燃 QM-9349
ガラスクロス (ペンキ下地)	防火認定品塗装壁紙(裏紙有) (防火認定番号)不燃 NM-0510　準不燃 QM-9572

◎施工箇所：各部詳細図、仕上表による

◎　断熱材　◎屋根保護防水断熱工法：ポリスチレンフォーム（JIS A9511）Ｂ類３種　厚 25
施工箇所は防水範囲図による
◎金属屋根の断熱材：高密度グラスウールボード 25ｔ（96kg/　）屋根詳細図参照
◎型枠兼用断熱材打込み工法

主な施工箇所　　厚(㎜)	
不燃木質セメント板	30

仕　　様：セラミック粉混入木繊セメント板
国土交通大臣認定　不燃認定番号 NM-0236(不燃)
◎断熱材打込み工法：ポリスチレンフォーム（JIS A9511）Ｂ類３種　(19.9.2)

主な施工箇所　　厚(㎜)	
改質アスファルト露出防水スラブ下部、打ち放し外壁部内側	25

◎断熱材現場発泡工法：発泡ウレタンフォーム吹付　(19.9.3)
施工範囲の詳細は図示による

主な施工箇所　　厚(㎜)	
屋根保護防水のルーフドレイン廻りおよび外壁とサッシの取り合い部などで断熱材が切れる部分	20
パラペット部軒屋根、アルミパネル外壁	20

◎セラミック系人造木材　◎施工箇所：天井繰型、ボード納り端部等　略号 ＣＡＷ

◎人造大理石　◎メタクリル樹脂強化無機材　厚 6,10,13㎜

◎　特殊塗装　◎種　　別　(19.2.2)

種　　類		色柄	厚(㎜)	品　　質
発泡層のないもの		無地	2.5	JISA5705 の規格品

◎施　工：標準仕様書による。　(19.2.3)

◎　コルクタイル　◎仕　　様：天然コルク　表面セラミック保護膜付き
◎形状寸法：500×500、厚 4.0㎜

◎　カーペット　◎種　　別：Ｃ種　(19.3.2～19.3.4)(表 19.3.2)
◎工　　法：フェルトグリッパー工法(フェルト厚８㎜)　(19.3.4)

◎　タイルカーペット　◎種別及び仕様

種別	形状寸法(㎜)	仕　　様
タイルカーペットＡ	500×500×7.5	既製品：オプティマムナイロン 100%　防汚・抗菌加工
タイルカーペットＢ	500×500×6.5	既製品：BCF ナイロン 100%

◎　石膏ボード・その他　◎　(19.7.2)

種　　類	記号	厚(㎜)	備　　考
石膏ボード	ＰＢ	9.5（準不・不） 12.5（不）	一般部
強化石膏ボード	ＦＰＢ	12.5（不）15（不） 21（不）	耐火壁、遮音部分
硬質石膏ボード	ＨＰＢ	9.5（不）	遮音部分
繊維石膏ボード	ＦＲＧ	8（不）10（不）	
シージング石膏ボード	ＳＰＢ	9.5（不）	内装の多湿部
けい酸カルシウム板	ＳＣＢ	6（不） 8（不）	木練付下地　内装の多湿部
有孔けい酸カルシウム板	SCB-P	6（不）8（不）	吸音仕様部
平型岩綿吸音板 (JIS A6301 吸音材料)		12（不）	標準色 不燃材料 NM-8599
溝型岩綿吸音板		15（不）	標準色 不燃材料 NM-8599
メラミン樹脂化粧板		1.2	JISK6903 の規格品

※（準）は準不燃認定品　（不）は不燃認定品を示す。
◎目地処理および張り方はは仕上仕様図による。　(19.7.3)

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年5月	特記仕様書2	－	A04Tokki02	A－04

２０　ユニット及びその他の工事

◎ フリーアクセス床　◎床荷条件：中央集中荷重 3000N でたわみ 2.0 ㎜以内　(20.2.2)
◎高　　さ：床高さ 85 ㎜、
◎地震時水平力：1.0G
◎仕　　様：パネルサイズ：500×500　構法：パネル構法支柱分離型独立支柱
材質：新軽量型コンクリート　ボーダー部はメーカー仕様とする。
◎施工箇所は仕上表、施工範囲は平面図による。

◎ 移動間仕切　◎構造形式：上吊りパネル式　　パネル圧接装置付遮音タイプ　(20.2.4)
◎表 面 材：クロス貼り　石膏ボード下地　形状は雑詳細図による
◎施工箇所：大小会議室間

◎ トイレブース　◎　(20.2.5)

表面仕上　　足形状		施工箇所
メラミン樹脂化粧板	巾木型	水廻り詳細図による
木練付け板ＵＣ	巾木型	

◎頭つなぎ（間接照明兼用）、巾木：ステンレス HL
◎ラバトリー金物：グラビティヒンジ、スライドラッチ、戸あたり

◎ 階段滑止め　◎種別及び仕様　(20.2.6)

種　　別	適用箇所	仕　　様
ノンスリップＡ	ビニルシート用	ビニルタイヤ+アルミ一体樹脂押出成形型、W=37
ノンスリップＢ	ＲＣ直均用	タイヤレス型、W=35、SUS

◎施工箇所および納まり詳細は階段詳細図による。

◎ 製作手摺　◎手摺仕様：雑詳細図、階段詳細図による

◎ 床目地棒　◎材種：ステンレスＦＢ　5t　(20.2.7)

◎ コーナービート　◎材種：ステンレス製　規格品

◎ ホワイトボード　◎仕　　様：アルミホーロー白板 JIS S 6052　鋼製建具に表面貼り　(20.2.8)
◎施工箇所：会議室

サイン表示　別途工事　(20.2.10)

◎ 煙突　◎ライニング材：芯材付繊維積層ライニング材　　陣笠：SUS　(20.2.11)
◎詳細は雑詳細図による

◎ 収納家具　◎使用する合板、接着剤等は全てF☆☆☆☆とする。
◎詳細については図示による。

◎ 天井点検口　◎既製品点検口（ボード天井部）　雑詳細図による。
仕　　様：目地タイプの内外枠共耐食アルミニウム合金製アルマイト仕上
寸　　法：450×450（標準）

◎ 屋内消火栓化粧扉　◎ＳＴ-1.6t 曲加工の上ＡＰ焼付塗装　消火器収納型
◎詳細は雑詳細図による。

◎ 丸環　◎材　　質：ステンレス製規格品　雑詳細図による。
◎施工箇所：平面図による。

◎ ウォールガード　◎仕　　様：本体／合成ゴム製　取付金具／スチール　雑詳細図による。
◎施工箇所：楽器庫、搬入口

◎ 鍵箱　◎市販品　鋼製塗装仕上げ、200 本用　壁掛けタイプ

◎ 郵便受　◎既製郵便箱+アルミ複合板表面プレート　鍵付き　雑詳細図による。
◎設置個所：サブエントランス

◎ 流し台・吊戸棚　◎施工箇所：湯沸室　詳細は水廻り詳細図による。
◎寸　　法：流し台 1650×600×850 程度　シングルシンク
吊戸棚 1650×350×880 程度

◎ 洗面カウンター　◎人造大理石（メタクリル樹脂強化無機材）加工
◎詳細は水廻り詳細図による。

◎ 誘導用及び注意喚起用床材　◎ステンレス製ノンスリップ型　　雑詳細図による。
◎施工箇所：平面図に示す範囲

◎ 再生木ルーバー　◎材質寸法：木粉+ポリプロピレン　押出し成形　15ｘ55 低度　パイプ吊り
外部廻り詳細図参照
◎施工箇所：ホワイエ　AW102A

◎ ロールスクリーンボックス　◎材質寸法：雑詳細図による。
◎施工箇所：天井伏図による。

◎ 照明ボックス　◎材質寸法：雑詳細図による。
◎施工箇所：天井伏図による。

◎ 地中防振ゴム　◎材質寸法：防振ゴム(JIS K 6305) 25t を２枚重ね貼り。
隙間には防水テープでマスキングを行う。
◎施工箇所：地階平面図による。

２１　外構 雨水排水工事

◎ 排水管　(21.2.1)(表 21.2.1)(21.3.3)
◎排水管は、ヒューム管（遠心力鉄筋コンクリート管Ｂ型）とする。
◎連通管は、硬質塩化ビニル管（略号ＶＰ管）とする。
◎透水管は砂で使用することの出来る高強度ポリプロピレン不織布を用いた、指定会社の製品同等以上のものとする。

◎ 排水桝　◎排水桝：詳細図による
◎排水桝等に泥溜めを設ける場合は、流出高より 150 ㎜以上の泥溜りを設ける。
◎排水管は、流入高と流出高で 20㎜ の段差を設けることとする。

◎ 側溝　◎側塊は現場打ちコンクリート製（ＲＣ）とする。
◎泥溜部分は指定場所に設け 150㎜ 以上の深さとし、下部は浸透する構造とする。
◎側溝蓋は指定会社の製品同等以上のものとし、泥溜り部分には蓋に表示を行う。

◎ 埋戻し土　◎Ｂ種　(21.2.3)(表 3.2.1)

２２　外構 舗装工事

◎ 施工図　◎ 原則として、次の事項に関する割付図を作成し、監督員に提出する。
1. 平板、舗石等の割付け
2. 建物、道路、園地施設等の構造物との取合い
3. 種類の異なる舗装相互間における取合い
4. 仕上げ高さ及び表面排水勾配の検討
5. 裸地や芝生地との端部の納まり

◎ 路　　床　◎盛土材料の種別：Ｂ種　(22.2.2～5)
◎支持力比（CBR 試験）を行う。測定場所については、監督員と協議

◎ 路　　盤　◎材　　料：再生クラッシャラン RC-40　(22.3.2～5)
◎転　　圧：設計密度は 1840kg/m3 以上とし充分に転圧すること

◎ アスファルト舗装　◎材　　料：開粒度アスファルト改質二型　(22.4.2～6)
◎仕　　様：車道対応

◎ 脱色アスファルト舗装　◎材　　料：透水性脱色カラーアスファルト　(22.6.2～6)
◎仕　　様：茶系指定骨材

◎ 透水コンクリート舗装　◎材　　料：透水コンクリート　骨材粒径 2.5～5㎜（７号砕石）

◎ 洗出しｺﾝｸﾘｰﾄ舗装　◎材料　厚：稲田掘石用骨材、白モルタル、t=30

◎ ブロック系舗装
擬石ブロック舗装-1　◎材料　厚：ノミ切り平板、歩道部 600×600×60
◎仕　　様：黒色特注色研磨仕上げ
擬石ブロック舗装-2　◎材料　厚：ノミ切り平板、車道部 300×300×80
◎仕　　様：特注色磨き仕上げ
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装　◎材料　厚：コルゲートインターロッキングブロック 100×100×60
◎仕　　様：色は見本品を提出し監督員の確認を受ける
小舗石舗装　◎材料　厚：中国産花崗岩小舗石 90×90×90
◎仕　　様：表面ジェットバーナー、他割肌

◎ 縁石
歩車道境界縁石-1　◎材　　料：コンクリートＰＣ縁石 100/110×155×600
◎仕　　様：JIS 特 K-104
歩車道境界縁石-2　◎材　　料：コンクリートＰＣ縁石 100×100×600
◎仕　　様：端部Ｒを JIS 特 K-104 に揃える
歩車道境界縁石-3　◎材　　料：コンクリートＰＣ縁石 100×100×600
◎仕　　様：端部角出し
ｱﾌﾟﾛｰﾁﾌﾞﾗｲﾄﾞ縁石　◎材料　厚：ノミ切りステップ 600×300×190
◎仕　　様：黒色特注色研磨仕上げ

２３　植栽工事

◎ 既存樹木及び植栽地の養生　◎ 工事に先立ち工事に影響する既存樹木についてはすべて養生を行う。養生する樹木の選定、養生方法については監督員に計画書を提出し確認を得る。
◎ 工事に先立ち保存する植栽地については仮囲いなどの養生を行う。養生する植栽地の選定、養生方法については監督員に計画書を提出し確認を得る。

◎ 保存樹木　◎ 保存樹木周辺の工事（開削）に伴い、既存の保存樹木に影響がある部分には保存を前提に工法の工夫を行い、さらに倒木、枯損がないように所定の措置を施す。工法については監督員の確認を得る。

◎ 移植木の先行根回し　◎ 工事に先立ち図中にて指定された移植木については全て着工後すぐに根回しを行い、工事に影響のないよう養生を行う。本体の施工計画にあたっては指定樹木を保護することを前提とし、根回しを行った樹木は枯損させないよう、適宜灌水などの養生管理を行う。

◎ 既存樹木の移植　◎ 工事に影響する既存樹木については本工事の範囲内ですべて敷地内の所定の場所に移植、または仮植を行う。
◎ 高木の移植先が工事に支障のある場合、あるいは未造成の場合は仮植を行う。

◎ 伐採樹木　◎ 伐採樹木はすべての幹、枝、根をチップ加工し、植栽土壌に混合することとする。

◎ 伐採・移植工事　◎ 詳細は図示による

◎ 植栽配置図　◎ 植栽配置図を作成し、監督員に提出する。配植図作成に当たっては、樹木の表裏、真木添木の区別、高木低木の組合せや、架線、照明灯等のほかの工作物との位置関係に留意する。

◎ 管理　◎ 引き渡しまでに生じた雑草については、請負者の負担において除草を行う。
◎ 引き渡しまでの植栽管理については、請負者の負担において行う。

◎ 瑕疵（枯補償）　◎ 樹木類は、引渡し後 1 年以内に枯死、枝条枯損、樹形不良等となった場合は、施主と請負者とが協議して定めた時期に、植栽した材料と同等又はそれ以上のものを納入し、請負者の負担において植替えを。ただし、天災やその他のやむを得ない理由による場合は、両者協議のうえ処理方法を決定する。

◎ 植栽地の確認　◎ 植栽地の pH、透水性、硬度、土質等についての試験を行う。　(23.1.3)
◎ 高木植穴透水試験については、全数において 48 時間試験を行う。
◎ 植栽地が工事の作業用地としてセメント改良などを施した場合においては、植栽を行う範囲全面において、土壌置換及び攪拌、植え穴下部の排水確保を請負者の負担において行う。

◎ 高木植栽　◎ 新規植栽樹木については現地材料検査を行う。

◎ 低木植栽　◎ サンプルまたは写真による検査を行う。

◎ 植栽基盤　◎ 整備工法：Ａ種　(23.2.2～4)
◎ 植込み用土：現場発生の良質土
◎ 土壌改良材：県の緑化マニュアルに準じた改良材とする

◎ 支柱材　◎ 丸太：防腐剤を加圧注入したもの　(23.3.2)
◎ 土壌改良材：県の緑化マニュアルに準じた改良材とする
◎ 竹　：真竹のまっすぐなもの

２４　追加特記事項

◎ 再生資源利用促進計画書の提出　◎あり。内容については監督員の指示による。

◎ モックアップサンプル　◎新型サッシュと調光ガラスの確認
・新型サッシュの木製サンプル（塗装仕上）を作製し、形状の確認を行う。
・調光ガラス３種類程度を、木製サッシュに入れて調光の状況と色を確認する。
◎杉板型枠による打放し仕上

◎ 予備材料の保管　◎タイルカーペット、フローリング、その他特殊な材料については、監督員の指示によりメンテナンス上の予備品として物置に保管する。

２５　昇降機

◎ 仕様　◎形式　速度：人荷用、ロープ式機械室レスタイプ　　速度 45m/min
◎定員　寸法：26 人、積載量 1750kg、カゴ内法 1700Ｗ x 2200D
◎着床　階数：2 箇所　1F～2F
◎そ　の　他：車椅子対応、音声アナウンス、停電時自動着床装置、地震時管制運転
詳細は昇降機詳細図による

２６　音響関連工事

本特記仕様は、施工にあたって所期の音響性能を実現するために必要な遮音、吸音構造、設備の材料、機器の選定、施工方法等の音響に関連する工事について規定するものである。工事請負者が本施設の性格、機能、音響性能の重要性を十分認識し施工にあたることを目的とする。

２６-１．共通事項

（１）音響技術指導
遮音構造、吸音構造、防振構造等、音響に関連した建築工事および各設備工事については、監督員と充分協議をし、技術指導をうけること。

（２）音響性能目標
設計において設定した下記の音響性能の目標値を実現することに対して施工上の十分な配慮を行うこと。

①遮音性能
・練習室 1,2、～ホール間　80dB 以上(500Hz)
・リハーサル室～ホール間　90dB 以上(500Hz)
・練習室 1,2～リハーサル室間　90dB 以上(500Hz)
・練習室 1～2 間　80dB 以上(500Hz)
・練習室 1,2、リハーサル室～直下部分諸室　70dB 以上(500Hz)
・会議室移動間仕切り間　35dB 以上(500Hz)

②設備騒音
・空調設備騒音
ホール舞台、客席　NC-20　　リハーサル室　NC-25
ホールホワイエ　NC-35　　練習室　NC-25
・その他の設備騒音
施設使用時に停止できない設備機器（トランスやポンプなど）より発生する騒音（固体音）については、上記の空調設備騒音の下で感知できないレベルを低減目標とする。

④舞台電気音響設備動作特性
・対象室：ホール
ａ）伝送周波数特性　：　160～5KHz　バラツキ 10dB 以内
ｂ）最大再生音圧レベル　：　95dB 以上（ピンクノイズ信号にて）
ｃ）音圧レベル分布　：　バラツキ 6dB 以内（4KHz バンドノイズにて）
ｄ）安全拡声利得　：　-10dB 以上
ｅ）残留雑音レベル　：　NC-20 以下

（３）施工打合せ等
音響関連の工事に先立ち、施工計画書・要領書、施工図、製作図、試験計画書、サンプル等を作成・製作の上、監督員に提出し、材料・施工方法、納まり、試験方法等および工事工程に関する打合せを行うこと。

（４）施工確認等
主要な工事には監督員の立会い・検査を受けること。また、必要に応じて各工事終了後に報告および記録写真を提出し確認を受けること。

（５）設計変更連絡と承諾
施工段階において種々の理由から、設計図書に指示されていることと異なった施工を行わなければならなくなった場合、その理由を文書で報告し、監督員の指示および承諾を受けること。

（６）音響検査測定
完工時および必要な場合には施工途中において、設計で意図した性能が得られているかどうか、監督員の指定する音響専門機関による音響検査測定を行なう。すべての工事請負者は、検査測定に必要な協力を行うこと。なお、検査測定に掛かる費用は請負者（建築工事にて一括）が負担する。

①検査測定計画書の提出
音響検査測定にあたっては、事前に検査測定の実施計画書を作成し、監督員の承諾を受けること。

②対象室と項目

項目	ホール	練習室２室	リハーサル室
遮音性能	○	○	○
残響時間周波数特性	○	－	○
エコータイムパターン	○	－	－
鉄道走行時騒音	○	○	○
空調設備騒音	○	○	○
舞台音響設備動作特性	○	－	－

③検査測定結果の報告
完工時の検査測定結果は、測定終了後４週間以内に、監督員に報告書を３部提出すること。

２６-２．音響関連 建築工事

（１）遮音、防振構造

①材料
・材料及びその厚さ、密度等は指定のものとすること。また、監督員に見本を提出すること。

②遮音層の欠損処理
・コンクリート躯体、乾式遮音層等の遮音層の厚さが確保できない場合には、遮音性能を維持するために、背面に遮音層を追加すること。

③隙間の処理
・コンクリート躯体以外の PC 版、押出成形板、ＡＬＣ板、コンクリートブロック、各種ボード等による遮音層については、それら構成材料のもつ遮音性能が欠損しないように気密性を確保すること。
・隙間による遮音性能の低下を防ぐために、コンクリート躯体等の遮音層には原則として隙間を設けない。隙間がどうしても生じる場合には、遮音層の性能を維持できる方法で隙間の処理を行うこと。
・コンクリート躯体以外の乾式遮音層（押出成形板、コンクリートブロック、各種ボード等による遮音層）については、それらとコンクリート躯体との取り合い部、デッキスラブとの取り合い部、構造鉄骨との取り合い部などの隙間の処理を、乾式遮音層の遮音性能が維持できる方法（モルタル充填、ロックウール充填、石膏ボード増し貼り、鉛シート貼り、シーリング等）で入念に行うこと。
・ボード積層による遮音層については、ボードは目違い貼りとし、隙間が生じないようにすること。

④地中防振構造
・地中防振構造については、鉄道振動に伴う固体音がホール運用に関して支障とならないように、鉄道振動の建物への伝搬防止を目的としたものである。鉄道振動帯域において 5dB 以上の低減を目標とする。
・材料およびその厚さ、ゴム硬度等は設計図及び特記の指示に従うこと。施工にあたっては、施工要領書、施工詳細図および防振支持系選定のための計算書を提出すること。
・防振ゴム取付けにあたっては、ソイルセメント柱表面をモルタル等により、平滑に修正すること。防振ゴムは 25㎜ 厚２層を目違い貼りとし、各層においてゴムの目地はシール等によって隙間の処理を行うこと。
・建物躯体打設においては、防振層であるゴム層へセパレータ等が貫通をしない施工方法を選択すること。
・地中防振層には原則として設備配管等の貫通をしないこと。ライフライン等でやむを得ず貫通する場合には、必要な対策を行うこと。
・建物躯体周辺部の外構工事においては、地中防振層に音響ブリッジが生じない構造とすること。
・地中防振材（発泡ポリオレフィンブロック）の取付けにおいても同様の方針とする。

⑤防振遮音構造（リハーサル室、練習室）
・防振遮音構造の施工においては、経験豊富な音響工事専門業者の施工とする。
・施工にあたって、施工要領書、施工詳細図及び防振支持系の選定のための計算書を提出すること。
・防振支持系の固有振動数は 10Hz 以下とすること。
・防振ゴムには均等に正規の荷重がかかるように調整すること。
・防振遮音層と躯体との間には、音響ブリッジがないようにすること。
・防振遮音構造をダクト、配管等が貫通する場合にはブリッジが生じない構造にすること。

⑥防音建具
・防音建具の取付けにあたっては、躯体との間に隙間が生じないように、原則として建具枠内および枠と躯体遮音層間にモルタル充填を行うこと。乾式遮音層に取り付く建具については、建具枠内ロックウール充填、枠裏は鉄板で完全に塞ぐ形状とし、乾式遮音層との取り合い部はシール等によって確実に隙間を防ぐ納まりとすること。
・防音扉については、周辺の戸当り、召合せ部のエアタイトゴムの調整を念入りに行い、気密性を保つようにすること。また、エアタイトゴムの調整方法について、製作図作成にあたって検討を行うこと。
・防音建具の選定にともない、防音建具グレードごとの遮音性能データの提出を行うこと。
・防振遮音構造のエクスパンションジョイント部分の扉枠やヒンジ等が固定部と防振部に渡って接触しないように、所定のクリアランスを確保すること。

（２）吸音構造

①材料
材料およびその厚さ、密度等は指定のものとすること。また、監督員に見本を提出し、承諾を受けること。特に、次のような材料の選定、施工にあたっては、十分注意し施工すること。
・グラスウール、ロックウール等の吸音材は、JIS A 6301 の吸音材料に規定された製品を使用すること。
・有孔板、リブ等の吸音材の表面仕上げをする場合には、有孔板の孔径、孔中心間隔、リブ寸法、間隔等、指定されたとおりとすること。
・吸音材の被覆や塗装、有孔板等の表面仕上げ材の処理（塗装等）については、あらかじめ監督員の承諾を得ること。
・音響特性の明らかでない材料については、監督員の指示により吸音率データの提出をすること。
②反射、吸音構造の構成
・反射、吸音構造の詳細図を作成し、あらかじめ監督員（係員）の承諾を得ること。特に有孔板、リブ等の表面仕上げ材と吸音材、空気層による吸音構造については、互いの位置関係に注意すること。

（３）内装仕上げ

①ビリツキの防止
・内装および内装下地は、音によってビリツキが生じないよう、下地の溶接等による補強、ビスの増し打ち、接着剤併用等の配慮をすること。特に金物同士の取り合い部分については、ゴムを挟む、全溶接とするなど注意を行うこと。

②反射面の仕上げ
・内装仕上げボード貼りについては、原則として多層貼り間には空隙が生じない施工方法とし、多層貼り仕上げが一体となるようにすること。また、各層の間は接着剤併用貼りとすること。
・モルタル充填の上にボード貼りを行う場合においても、モルタル層とボード間に空隙が生じないように、接着剤を併用の上、モルタルと仕上げボード貼りが一体となるようにすること。

③スピーカ周辺の仕上げ等
・スピーカ前面等の仕上げについては下地配置等のわかる詳細図を作成し、舞台電気音響設備施工者と十分な打合せを行うこと。また、監督員の承諾を得ること。
・スピーカ用開口面、開口部の表面仕上げ、吊り込み下地、キャットウォーク等については、スピーカからの放射音の邪魔をしないように、関係工事部門と十分協議しながら施工図を作成し、監督員の承諾を受けた上で施工すること。
・スピーカ設置後の向きの微調整とメンテナンスを容易にするためのアクセスルートを確保すること。スピーカ本体や吊り金具等が建築躯体や内装、軽鉄下地、設備などに接触しないこと。
・スピーカ設置スペースに発生する音のこもり、共鳴などの障害を防止するため、原則としてスピーカ背後周辺を、中高音域スピーカに対してはグラスウールボード 32k-50㎜ 直貼り相当、低音域スピーカに対してはグラスウールボード 32k-50㎜×2 重貼り相当の吸音力を有する吸音処理を内装仕上げとして建築工事で行う。さらに吸音対策が必要な場合については、音響設備工事にて吸音対策を行う。

④内装仕上げ面積の調整
・ホール客席椅子の吸音力特性試験を行ったデータを内装施工前の内装変更が可能な時期までに椅子工事請負者は監督員に提出する。その試験結果によって内装の吸音面積を調整することがある。これについては監督員の指示に従うこと。

（４）屋根
・金属屋根工事については、詳細図を作成し、事前に監督員の承諾を受けること。

２６−３．音響関連 設備工事（別途工事）

（１）機器の選定と騒音及び振動データの提出
・電気、空調、給排水衛生、昇降設備等の機器類は騒音、振動の少ない機器を選定すること。
・空調機、送風機、ポンプ、冷凍機、昇降機等の主要な設備機器等ついては、騒音、振動についてのデータを監督員に提出をすること。
・消音器等の消音性能については監督員にデータを提出すること。
・耐気口の発生騒音については、必要に応じて監督員にデータを提出すること。

（２）工場検査と据付後の調整
・空調機、送風機等の主要な機器については、工場出荷時に発生騒音、振動の検査・測定を行なうこと。必要に応じて監督員が工場出荷検査に立ち会う。据付後は調整を行い、その結果を監督員に報告すること。

（３）防振工事
・騒音、振動源となり得るホール周辺の機器、ダクト、配管、煙突、変圧器、昇降設備等は、原則として防振を行うこと。その範囲は監督員の指示による。
・各防振材は、所定の荷重が均等にかかるように調整設置すること。
・機器の防振支持構造については、詳細図とともに防振計算書を提出すること。

（４）躯体及び遮音構造の貫通処理
・遮音構造にやむをえず貫通する場合は、貫通するダクト･配管との間に生じる隙間に対して、ロックウールまたはモルタル充填､ボード､鉛シート､シーリング等の併用により遮音構造の遮音性能を損なわない方法で隙間の処理をすること。
・躯体へのダクト、配管等の貫通部は振動伝達の防止をはかるため、防振貫通処理を行うこと。その範囲は監督員の指示による。
・防振遮音構造をダクト、配管等が貫通する場合には音響ブリッジが生じない方法とすること。
・ダクト、配管、ラック等の貫通によるクロストークが原因による遮音欠損が生じないように、遮音外装及び吸音ダクト等の設置し遮音性能を確保すること。

（５）空調設備（排煙設備を含む）
・室内設備騒音低減目標値を満足するために必要な吸音ダクトの設置、ダクトの遮音等の対策を行うこと。
・各系統の消音計算書の提出を行うこと。
・ダクト、配管からの透過音が支障となる場合、鉛シートや鉛シートとグラスウールの複合構造などによる遮音外装を必要に応じてダクトおよび配管に施すこと。

（６）地中防振工事に係わる必要な処理
鉄道振動伝搬防止のために行われる地中防振工事箇所については、原則として設備配管等の貫通をしないこと。ライフライン等がやむを得ず貫通する場合には、防振貫通処理など必要な対策を行うこと。

（７）音響機器・回線へのノイズ混入防止対策
・音響機器およびマイクロホン回線に建築設備機器・配線に起因するノイズが混入しないように、状況に応じて対策を施すこと。この対策は、基本的にノイズ源側で行うこと。ノイズは、建築・設備の複雑な経路より混入するため、発生後の対策は困難を極める。そのため、全工事部門・関係者が一致協力して対策にあたること。
・電力供給設備から音響機器・回線に混入する電磁誘導他ノイズを防止するため、トランス、配電盤等の強電機器および配線の離隔距離の確保、必要に応じて、接地された金属配管の使用などの対策を施すこと。
・空調ファン・ポンプ、エレベータ他のモータ類、照明機器等に電力を供給するインバータについては、音響機器・回線に可聴ノイズ障害を与えないように、キャリア周波数可変機構、10mA以下の漏洩電流の設備機器を選定すること、および必要に応じてインバータの接地された金属筐体への収納、インバータ入出力ケーブルは３芯撚り線としシールドまたは金属管に収納、モータの単独接地、入力側にノイズカットトランスを挿入するなどの対策を行うこと。
・電磁誘導ノイズ、インバータノイズ対策に要する一切の費用は請負者の負担とする。

２６−４．音響関連 舞台設備工事（別途工事）

（１）共通
・遮音構造をやむを得ず貫通するケーブルダクト、配管、ラック、配線等は、遮音構造の性能を損なわないように、ロックウール充填、石膏ボード、鉛シート、シーリング（ウレタン系等）、耐火パテ等により遮音構造との隙間およびダクト、配管内部等の処理を行うこと。
・防振遮音構造をケーブルダクト、配管、配線、ラック等が貫通する場合には音響ブリッジが生じない構造とすること。
・舞台および客席、主要付属室における建築・設備レイアウトについては、運営機能や使い勝手に支障をきたさないように、全工事部門・関係者で一致協力して総合図（平面、展開）を作成し、十分な調整を行ない、監督員の承諾を得た後に施工すること。

（２）舞台機構及び舞台照明設備
・舞台機構、舞台照明設備に関連する機器については騒音、振動の少ない機器を選定すること。
・舞台機構、舞台照明設備等の機器については監督員の指示により、騒音、振動データの提出を求めることがある。
・吊り物、昇降装置の動作時に異常騒音の発生がないようにすること。
・照明、調光器の動作時にも異常騒音の発生がないようにすること。
・音響機器・回線に対してノイズ障害を与える設備機器・配線については、3.(7)に示す対策を施すこと。
・照明の配線については、うなり音等が生じないようにケーブルの配線の並び等に十分注意を行うこと。

（３）舞台音響設備

①スピーカの設置
・スピーカ用開口面、開口部の表面仕上げ、吊り込み下地、キャットウォーク等については、スピーカからの放射音の邪魔をしないように、他の工事部門と十分協議しながら施工図を作成し、監督員の承諾を受けた上で施工すること。
・設置後の向きの微調整とメンテナンスを容易にするためのアクセスルートを確保すること。スピーカ本体や吊り金具等が建築躯体や内装、軽鉄下地、設備などに接触しないようにし、さらに必要ならば防振対策を施すこと。
・スピーカは基本的に防振吊りとし、スピーカからの放射音によって、周辺の建築内装及び空調ダクト等のビリツキが発生しないように、吊りボルトの位置等を関係部門にて調整の上、施工すること。
・スピーカ設置スペースに発生する音のこもり、共鳴などの障害を防止するため、原則としてスピーカ背後周辺を、中高音域スピーカに対してはグラスウールボード32k−50mm直貼り相当、低音域スピーカに対してはグラスウールボード32k−50mm×2重貼り相当の吸音力を有する吸音処理を内装仕上げとして建築工事で行う。さらに吸音対策が必要な場合については、音響設備工事にて吸音対策を行う。
・落下防止対策、耐震対策は厳重に行うこと。

②ノイズ混入防止
・音響機器・回線に対してノイズ障害を与える設備機器・配線については、3.(7)に示す対策を施すこと。
・電気各系統の配線ルート複合図を作成して整理し、音響回線のシールド、各線間の離隔、ボンディングアース等の必要な対策を確実に行うこと。音響用回線と他の回線を平行して配線する場合には特に注意し、十分な離隔距離を取ること。

③機器の設置と調整
・各機器については承認願い図を提出し、確認を受けてから施工すること。各音響機器はモデルチェンジのサイクルが短いので、竣工時にできる限り良いものが納入できるように、柔軟に対応すること。
・工場において製作した機器は、形状、寸法、塗色、機能及び性能について出荷前に関係者立会いの下で検査を実施し、現場に搬入すること。
・調整室内のレイアウト図を作成し、確認を受けてから施工すること。特に、調整室から舞台への見えかかりについては十分に注意すること。
・機器類の設置にあたっては、完工時までの間にほこり、過度の湿気、熱気等にさらされないように対策を行うこと。
・機器間を接続し、正常動作を確認した後に、各機器の入出力レベルを設定、また音量や音質を調整し、設計で意図した性能を満足するかどうか自主検査を行い、監督員に報告して確認を受けること。場合によってはスピーカの向きや位置を変更することもあり得るので、工程上余裕を持って行うこと。
・調整作業にあたっては、目標としている物理特性を目安としながらも、聴感による特性を必ず確認すること。

④取扱い説明
各機器及びシステムについては、関係者に取扱い説明を行うとともに、取扱い説明書を提出すること。

２６−５．音響関連 客席椅子工事（別途工事）
・ホール客席椅子については、監督員に製作図を提出の上、承諾後サンプルを製作すること。
・ホール客席椅子については、種類別に未着席時および着席時の JIS A 1409 による吸音力特性試験を行ったデータを建築内装施工前の内装変更が可能な時期までに監督員に提出すること。なお、試験結果によっては変更が生じることがある。これについては監督員の指示に従うこと。

略　号 一覧表

一般	ＢＭ	ベンチマーク	２Ｆ	２階
	ＦＬ	基準床面	Ｂ１Ｆ	地下１階
	ＳＬ	コンクリートスラブレベル	ＧＬ	基準地盤面
	ＤＨ	扉高さ	ＣＨ	天井高さ
	Ｌ	長さ	Ｗ	幅
	ｔ	厚さ	Ｈ	高さ
	Ｄ・φ	直径	ｒ・Ｒ	半径
	@	間隔	ＥＶ	エレベーター
	ＨＣ	車椅子用便所	ＳＫ	掃除用流し
	ＥＰＳ	電気配線スペース	ＤＳ	ダクトスペース
	ＰＳ	パイプスペース	ＤＰＳ	ダクトパイプスペース
	ＯＡ	外気	ＳＡ	給気
	ＲＡ	環気		
躯体	ＳＲＣ	鉄骨鉄筋コンクリート	Ｓ	鉄骨
	ＲＣ	鉄筋コンクリート	ＬＧＳ	軽量鉄骨
	ＣＢ	コンクリートブロック	ＡＬＣ	軽量気泡コンクリートパネル
	ＰＣ	プレキャストコンクリート		
	Ｈ−	Ｈ形鋼	Ｓｔ	鋼（スチール）
	ＰＬ−	平板・スチールプレート	ＦＢ−	平鋼・フラットバー
	Ｃ−	溝形鋼	Ｌ−	山形鋼
	ＺＰ	溶融亜鉛めっき		
仕上	ＡＬ	アルミニウム	ＳＵＳ	ステンレス
	ＨＬ	ヘアーライン	ＰＨＬ	ランダムヘアーライン
	ＪＰ	ジェットバーナポリッシュ仕上	ＷＪ	ウォータージェット仕上
	ＲＬ	竪樋	ＲＤ	ルーフドレイン
	ＡＷ	アルミサッシ	ＡＧ	アルミガラリ
	SD･PSD	鋼製建具	ＦＳＤ	防火戸
	ＬＤ	鋼製軽量建具	ＷＤ	木製建具
	ＲＴ	防煙たれ壁		
	ＧＷ	グラスウール	ＲＷ	ロックウール
	ＰＢ	石膏ボード	ＦＰＢ	強化石膏ボード
	ＦＲＧ	繊維石膏ボード	ＨＰＢ	硬質石膏ボード
	ＳＰＢ	シージング石膏ボード	ＣＡＷ	セラミック系人造木材
	ＳＣＢ	珪酸カルシウム板	ＳＣＢ−Ｐ	有孔珪酸カルシウム板
	Ｂ−１	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	Ｃ−１	無着色陽極酸化皮膜
	ＯＡ	フリーアクセス床	Ｍ−	雑詳細番号
塗装	ＥＰ	合成樹脂エマルションペイント塗装		
	ＥＰ−Ｕ	防汚型アクリルエマルションペイント塗装		
	ＶＥ	塩化ビニル樹脂エナメル塗装		
	ＦＥ	フタル酸樹脂エナメル塗装		
	ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント塗装		
	ＦＰ	常温乾燥型ふっ素樹脂エナメル塗装		
	ＦＰ焼付	ふっ素樹脂焼付塗装		
	ＡＰ焼付	アクリル樹脂焼付塗装		
	ＵＣ	ウレタン樹脂ワニス塗装　黄色防止ウレタン塗装込み		
	ＣＬ	クリヤーラッカー塗装		
	ＯＳ	オイルステイン塗装		
	Ｓ−ＡＮ	特殊漆喰（水溶性漆喰特殊金ベラ仕上）		
	ＳＣ	シリカ系浸透性撥水剤		

外構・音響	ＴＷ	擁壁天端	ＢＷ	擁壁下端
	ＴＣ	縁石天端	ＢＣ	縁石下端
	ＴＰ	桝仕上げ高	ＩＮＶ	管低高
	ＮＣ−	騒音基準値		
設備（別途）	ＬＤ	ライティングダクト	ＰＤＬ	ペンダント照明
	ＳＰＬ	スポット照明	ＢＲ	ブラケット照明
	ＦＬ	蛍光灯	−ｉ	間接照明
	ＥＬ	非常用照明		
	ＢＨ	避難口誘導灯	ＣＰ	通路誘導灯
	ＳＰ	スピーカー	ＢＬ	ブリーズライン

製造所・製品・施工業者等一覧表

◎ 下記の製造所・製品・施工業者　同等以上とする。

土工事	山留め工事	野間産業、ヒロセ
地業工事	既製杭工事	大同コンクリート、ジオトップ、日本コンクリート
鉄筋コンクリート	トラス鉄筋メッシュ型枠工法	栗本鉄工所
鉄骨	製作所 耐火塗料	全構連Ｈグレード以上広島県製作所 化工機商事：ナリファイア程度
押出成形セメント板	押出成形セメント板	ノザワ：アスロック程度、三菱マテリアル：メース程度
防水	防水工事 防水硬化砂石押え	東西アスファルト事業共同組合又は 日本アスファルト防水工業組合の会員 日新工業：カチトール程度
石　タイル	自然石 テラゾータイル 大型セラミック 大判タイル 磁器質タイル 陶器質タイル 半磁器質タイル	安藤大理石、コアド Ａ：ストーンイタリアーナ：クォーツバーゴ程度 Ｂ：ＡＢＣ商会：アボグラニット程度 アルテック、イナックスステラ アドヴァン：ギヤマンテ程度 ダントー：コンチネンタル程度 ＴＯＴＯ：ピオティカ程度 ＴＯＴＯ：デラックフロアー程度
木	造作木工事 フローリング等	高島屋スペースクリエイツ、大丸装工、匠ＳＡＳＡＫＩ
屋根	ステンレス屋根	三晃金属、元旦ビューティ工業
金属	アルミ複合板 アルミスパンドレル 製作金物 アルミ 製作金物 スチール	トステム建鐵：リニアパネル程度、日新建材、山中産業 日新建材、菊川工業、下野金属、理研軽金属工業 日新建材、菊川工業、下野金属、理研軽金属工業 日新建材、菊川工業、下野金属、理研軽金属工業
建具	アルミ建具 鋼製建具 シャッター 建具金物 　取手 　レバーハンドル、錠 　ドアクローザ、丁番 ガラス	ＹＫＫａｐ、三協アルミ、トステム建鐵 三和シャッター、トステム、文化シャッター 三和シャッター、トステム鈴木シャッター、文化シャッター ユニオン：Ｇ630 程度 美和ロック、ゴール リョービ、東京萬 旭硝子、日本板硝子、フィグラ
塗装	一般塗料 特殊漆喰 多彩塗装 シリカ系浸透性撥水材 耐油防塵塗装	大日本塗料、日本ペイント、エスケー化研 ドッカーレ：スタッコアンティコ程度、フッコー ドッカーレ：ベルール程度、フッコー：モア程度 アムテック：ハイドロサーム程度、ケミックス ＡＢＣ商会：ケミクリート程度

内装	ビニル床シート コルクタイル タイルカーペット 岩綿吸音板 繊維石膏ボード セラミック系人造木材 人造大理石 不燃木質セメント板 パスリブ	東リ、タジマ 東亜コルク：コルクタイル 55 程度、神戸コルク A:インターフェースヒューガ：Kuji 程度 B：スミノエ：スミトロン 80 程度 日東紡：ソーラトン程度、大建工業 エーアンドエーマテリアル：エフジーボード程度 小野田：エースライト程度、宇部興産：ウッディライト程度 デュポン：コーリアン程度 興亜不燃板工業：不燃コーライトボード程度 創建：パスパネル U 程度
ユニット・雑	フリーアクセス床 移動間仕切 収納家具 トイレブース ラバトリーラッチ 煙突ライニング 天井点検口 流し台・吊り戸棚 ユニットシャワー 地中防振ゴム 地中防振材 防振遮音構造ゴム	ニチアス：オメガフロア程度、ナカ工業 小松ウォール：RS−100D（遮音タイプ）程度 造作木工事業者 造作木工事業者 シブタニ ニチアス：カボスタックスーパー程度 ナカ工業：ハイタッチ DX 程度 松下電工：Zｼﾘｰｽﾞｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾀｲﾌﾟ程度 ＴＯＴＯ：USV0812T 程度 ブリジストン：パネラ弾性マット程度 JSP：ミラーブロック 15S LL25 程度（発泡ｽﾁﾚﾝﾌﾞﾛｯｸ） 特殊内装（音響）工事業者
外構雨水排水	透水管 鋳鉄製側溝蓋、桝蓋	カナフレックスコーポレーション：カナドレン程度 第一機材：DGOS シリーズ程度
外構舗装	ノミ切り平板、ｽﾀｯﾌﾟ インターロッキング 脱色アスファルト 小舗石	日本興業：NT アイ程度 太陽セメント工業：コルゲートシリーズ程度 前田道路：ペブルコートＤ（茶色系自然色）程度 ストーンオフィスモリシタ：中国産花崗岩錆（甫田）程度
外構植栽	地下支持支柱 ﾏﾙﾁ用鉱物繊維改良材 黒曜石パーライト 酸素管	東邦レオ：スーパーグラサボ程度 東邦レオ：オールインワン程度 東邦レオ：ホワイトローム程度： 東邦レオ：D0 パイプ程度
昇降機	昇降機	三菱電機、東芝エレベーター
音響測定	検査測定機関	永田音響設計

工事区分表	建築	電気	空調	衛生	ガス	昇降機	舞台機構	舞台照明	舞台音響	外構設備	別途	備考
A　一般事項												
1　工事用電力・上下水・ガス・電話等												
1　工事用仮設電力・上下水・ガス・電話等の確保、および基本料金、従量料金	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
2　電力・上下水・ガス・電話・ＣＡＴＶ・ネットワークインフラ等　引込負担金											○	本設引込分
3　本設引込後　工事期間中の電力・上下水・ガス・電話等の基本料金											○	
4　本設引込後　工事期間中の電力・上下水・ガス・電話等の従量料金	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
5　工事期間中の本設電力設備の管理および維持		○										詳細は電気主任技術者と協議
2　共通仮設												
1　据付工事等に対する仮設足場（共通部分）	○											
2　通り芯等現場基本墨出し	○											
3　現場内工事用仮設電源	○											
4　各種据付工事に関する現場内搬入経路の確保	○											
B　躯体												
1　躯体・基礎												
1　設備シャフト・スペース等の躯体および仕上げ	○											床面の防塵塗装仕上げ含む
2　大型設備（重荷重）機器コンクリート基礎		○	○	○				○				建築図図示による大型機器等
3　同上　架台		○	○	○				○				
4　一般設備（軽荷重）機器のコンクリート基礎		○	○	○		○	○	○	○			盤、ポンプ、ファン等
5　屋上・屋外における設備機器コンクリート基礎	○											
6　同上　架台		○	○	○								
7　同上　防水仕上げおよびその他防水部分との取合い	○											
8　設備機器設置に対する構造体補強	○											
9　設備機器設置用アンカーボルトの構造体緊結（箱入れ、モルタル埋戻等）		○	○	○		○	○	○	○			
10　コンクリートダクト	○											
2　水槽												
1　各躯体水槽の区画形成、勾配確保、防水、内部仕上、断熱等	○											汚水、雑排水、雨水、消火、蓄熱槽　等
2　マンホール、タラップ取付	○											
3　人通口、連通管取付およびポンプ釜場	○											
3　その他												
1　床配管ピット、床配線ピット	○											内部仕上げ、ピット蓋含む
2　排水側溝	○											グレーチング蓋含む
3　煙突および煙導取付用フランジ、反出口、煙突内雨水排水	○											
C　開口・穴明け												
1　構造体												
1　鉄筋コンクリート構造体（ RC)スリーブ取付、箱入れ		○	○	○	○	○	○	○	○			
2　同上　構造体補強	○											
3　同上　開口部補修、穴埋め		○	○	○	○	○	○	○	○			
4　鉄骨構造体（S）スリーブおよび補強	○											
5　鉄骨鉄筋コンクリート構造体（ SRC）単管スリーブおよび構造体補強	○											
6　鉄骨鉄筋コンクリート構造体（ SRC）スリーブ用開口および構造体補強	○											小径スリーブ
7　同上　スリーブ取付		○	○	○	○	○	○	○	○			
8　未使用鉄骨スリーブに対する開口閉塞		○	○	○	○	○	○	○	○			
9　外壁等の構造体貫通スリーブ取付		○	○	○	○	○	○	○	○			
10　同上　構造体補強	○											
11　同上　防水処置および貫通配管等の防水処理		○	○	○	○	○	○	○	○			
12　壁・床等の構造体貫通スリーブ取付		○	○	○	○	○	○	○	○			
13　同上　構造体補強	○											
14　設備機器搬入用フックの構造体取付（打込）および構造体補強												
2　躯体												
1　壁・床首埋込設備に対する躯体開口（仮枠および補修）		○	○	○	○	○	○	○	○			
2　同上　開口部補強	○											
3　客席吹出用躯体開口および吹出口	○											
4　外部へ貫通する配管・ダクト用開口および貫通部の防水処置		○	○	○	○	○	○	○	○			
5　同上　開口における配管・ダクトとの隙間充填、シール処理		○	○	○	○	○	○	○	○			
6　地下外周部二重壁より湧水槽への排水	○											
3　その他												
1　天井取付設備器具（照明、吹出・吸込口等）にともなう天井穴明けおよび開口補強、小口仕上	○											
2　同上　位置出し（墨出し）、開口寸法等の指示		○	○	○	○	○	○	○	○			
3　同上　リブ天井天井材の穴明けとリブ加工	○											
4　壁音取付設備器具（照明、吹出口・吸込口等）にともなう壁音穴明けおよび開口補強、小口仕上	○											石・金属パネル仕上げ、ＡＬＣ等
5　同上　位置、開口指示（墨出し）		○	○	○	○	○	○	○	○			
6　フリーアクセスフロアに対する配線器具取付用開口、配線通過用開口およびカバー	○											
7　同上　配線器具取付、結線		○										
8　フリーアクセスフロア内の設備配線・配管用開口に対する防火区画貫通処理		○	○	○	○	○	○	○	○			
9　防火区画および遮音区画貫通にともなう貫通処理	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
D　建築関連												
1　建具・仕上げ												
1　点検口（天井・壁・床）取付および開口補強	○											設備保守点検用
2　電動シャッター	○											
3　同上　一次側電源供給		○										接地線含む
4　同上　操作スイッチ、リミットスイッチ取付および二次側配管配線	○											
5　自動ドア	○											
6　同上　一次側電源供給		○										接地線含む
7　同上　保守用スイッチ取付および二次側配管配線	○											
2　防煙・防火												
1　防火戸、防火シャッター	○											
2　同上　自動閉鎖装置		○										
3　同上　自動閉鎖装置にともなう防火戸側受け金物取付および補強	○											
4　固定防煙たれ壁	○											
5　可動防煙たれ壁	○											
6　同上　オペレータ	○											
7　同上　配管配線		○										
8　同上　自火報・防排煙受信盤への配管配線		○										制御、表示
3　防音遮音												
1　機械室における防音、遮音処置	○											建具、吸音材など
2　設備機器の騒音対策および騒音振動伝播抑制		○	○	○	○	○	○	○	○			

工事区分表	建築	電気	空調	衛生	ガス	昇降機	舞台機構	舞台照明	舞台音響	外構設備	別途	備考
4　外部仕上げ												
1　外壁、軒天井部ベントキャップ				○								
2　同上　通気管取付				○								
3　化粧マンホール蓋、ハンドホール蓋		○	○	○	○							
4　同上　仕上げ	○											
5　その他												
1　保守用キャットウォーク、タラップ、手摺、フェンス	○											
E　電気設備関連												
1　一般事項												
1　ライティングダクトおよび取付用吊ボルト		○										
2　同上　天井開口および開口補強、下地補強	○											
3　電話交換機、電話機　取付および試験調整											○	
4　同上　配線布設		○										
5　同上　配管対応		○										
6　情報通信設備　引込配線、サーバー、メインスイッチ											○	
7　同上　ネットワーク盤（分岐盤）		○										
8　同上　配線布設		○										情報コンセント含む、引込配線は別途
9　同上　配管対応		○										
10　防犯設備											○	
11　同上　電気錠取付、建具内配線、通電兆番取付	○											
12　同上　電気錠制御盤の設置											○	
13　同上　マグネットセンサー取付用建具枠開口等	○											
14　同上　配管		○										
15　同上　配線、試験調整											○	
2　自家発電設備												
1　発電機および機側盤、補機類		○										
2　床仕上、基礎、床シンダーコンクリートおよび建具よりの雨水侵入抑制	○											床面耐油塗装含む
3　配管ピット、配線ピット、防油提	○											蓋および耐油塗装含む
4　煙突および煙導取付用フランジ、煙突内雨水排水	○											
5　煙導		○										
6　発電機室　給気・排気ファン			○									発電機室用
7　発電機　燃焼用給気ファン			○									燃焼用、発電機運転に連動
8　発電機　燃焼用排気ファン			○									パッケージ換気ファン
3　空調・衛生設備関連取合（動力設備・中央監視設備）												
1　動力制御盤		○										
2　補機盤、機側盤、ユニット盤			○	○								給水ポンプ、システムエアハン等
3　同上　一次側電源供給		○										接地線含む
4　同上　二次側配管配線			○	○								
5　インバータ装置		○										
6　同上　設定および試験調整			○	○								
7　電動機端子部プルボックス		○										配線接続用、モータ付属規格品以外
8　各水槽のフロートスイッチ・電極棒設置および調整			○	○								
9　同上　マンホール型電極保持器			○	○								
10　同上　動力制御盤までの配管配線		○										
11　手元開閉器までの水中ポンプ付属ケーブル				○								
12　自動制御設備			○									
13　中央監視設備			○									
14　電気設備にて設置する盤類から中央監視設備に接続する配管配線			○									受変電、自家発、分電盤、動力制御盤等
15　空調設備にて設置する盤類から中央監視設備に接続する配管配線			○									
16　衛生設備にて設置する盤類から中央監視設備に接続する配管配線			○									
17　動力制御盤から空調設備自動制御盤に接続する配管配線			○									空調自動制御に関連する機器
4　その他												
1　避雷針引下げ導線接続用プレートの構造鉄骨溶接取付	○											
F　空調設備関連												
1　一般事項												
1　パッケージエアコン			○									
2　同上　操作スイッチ取付および二次側配管配線			○									
3　同上　屋内機－屋外機間電源および制御線渡り配線			○									
4　空調換気扇			○									
5　同上　一次側電源供給		○										
6　同上　操作スイッチ取付および二次側配管配線			○									
7　空調機内保守用照明			○									
8　同上　スイッチ取付および二次側配管配線			○									
9　同上　スイッチ一次側への電源供給		○										
2　ガラリ・チャンバー												
1　外壁、軒天井部ガラリ	○											チャンバー接続フランジまで
2　同上　チャンバーおよび雨水排水			○									
3　同上　防火ダンパー	○											
4　サッシュー体型ガラリ、スリット	○											
5　同上　チャンバーおよび断熱対策、雨水排水	○											ダクト接続フランジまで
6　ドアガラリ	○											
7　同上　防火ダンパー	○											
8　意匠吹出口（建築工事）に対するチャンバーボックス取付			○									
3　防火・防煙												
1　防火ダンパー（ FD）			○									
2　防煙防火ダンパー（ SFD）			○									
3　同上　自火報・防排煙受信盤への配管配線		○										制御、表示、復帰
4　機械排煙設備　排煙口			○									
5　同上　排煙オペレータ			○									
6　同上　排煙口より排煙オペレータまでの配管配線		○										
7　同上　自火報・防排煙受信盤への配管配線		○										制御、表示、復帰

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所　一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号　一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦		2005年 5月	工事区分表1	－	A07Kubun	A－07a

工事区分表	建築	電気	空調	衛生	ガス	昇降機	舞台機構	舞台照明	舞台音響	外構設備	別途	備考
C　衛生設備関連												
1　排水設備												
1　床排水金物				○								
2　ルーフドレン	○											
3　雨水縦樋・雨水立管	○											屋内・屋外
4　同上　屋外第一桝・雨水貯留槽等への接続配管	○											
5　屋外雨水桝および配管										○		
6　雨水側溝および会所桝										○		
7　屋外汚水・雑排水排水桝および配管				○								
8　空調設備熱源および空調機等の機器周りドレン配管展開			○									
2　衛生器具設備												
1　洗面カウンターおよびカウンター開口・補強	○											
2　同上　洗面器および取付・シール				○								
3　化粧鏡	○											
4　紙巻器				○								
5　小便器　感知フラッシュバルブ				○								
6　同上　電源供給		○										
7　多目的便所　手摺				○								
8　多目的便所および便所ブース内ベビーシート				○								
9　同上　手摺、ベビーシート取付にともなう下地補強	○											
3　厨房設備												
1　厨房機器：器具　シンク、棚、テーブル				○								設計図示による
2　厨房機器：器具　上記以外											○	
3　同上　に対する電源用分電盤および分電盤より厨房機器までの配管配線		○										接続用配線器具、手元開閉器等含む
4　同上　に対する給水、給湯、ガス等　建屋側管との接続				○								
5　グリストラップ				○								区画貫通部分の耐火処置とも
6　同上　以降排水配管				○								
7　排気フードおよびグリスフィルター			○									
4　消火・防災設備												
1　各消火システム：ポンプ等制御盤				○								
2　同上　一次側電源供給		○										接地線含む
3　同上　二次側配管配線				○								
4　屋内消火栓ボックス				○								
5　同上　パブリックスペース設置のドアパネル	○											位置は図示による
6　同上　発信機・電鈴・表示灯取付用開口				○								
7　フード消火設備および制御盤より二次側配管配線				○								
8　同上　一次側電源供給および制御盤より自火報設備への移報に関する配管配線		○										
9　ガス漏れ警報設備（感知器および警報装置）		○										
10　ガス緊急遮断弁					○							
11　遮断弁制御盤		○										
12　感震器			○									
13　消火器											○	
14　同上　収容ボックス	○											
5　その他												
1　ガス設備					○							
2　流し台、コンロ台	○											
3　同上　ガスコンロ、電気コンロ、電磁調理器											○	
4　ミニキッチン				○								
5　同上　電気湯沸器				○								
6　同上　給排水配管接続				○								
7　ガス給湯器											○	厨房用
8　電気給湯器				○								
H　昇降機設備　本工事区分は　□建築工事に含み積算区分を示す。　□昇降機設備工事に関する工事区分を示す。												
1　三方枠　製作取付						○						
2　同上　開口および開口補強	○											
3　その他　昇降機設備にともなう躯体開口（乗場ボタン・インジケータ）および開口補強	○											
4　乗場敷居持出し用躯体	○											
5　昇降路、機械室内への吊下フック取付および構造体補強	○											
6　レールブラケット、中間ビーム、ファスナー等取付	○											
7　機械室穴明およびエレベータシャフト外油圧・電気配管用スリーブ	○											
8　エレベータ機械室　機械基礎、シンターコンクリートおよび床仕上げ	○											防塵塗装仕上げ
9　マシンビーム受梁、スペーサ	○											
10　エレベータ機械室　照明設備および点検用コンセント設置		○										
11　エレベータ機械室および昇降路に対する煙感知器の設置		○										
12　エレベータ機械室　給排気設備			○									
13　エレベータピット内防水	○											
14　エレベータピット内点検用タラップ取付						○						
15　エレベータピット内保守用コンセント取付		○										
16　エレベータ制御盤						○						
17　同上　一次側電源供給		○										
18　同上　二次側配管配線						○						
19　同上　火災信号および音用／発電機信号供給		○										
20　かご内放送スピーカ設置およびエレベータシャフト内配線						○						
21　同上　非常放送信号供給にともなうエレベータ機械室までの配管配線		○										
22　かご内監視カメラ設置およびエレベータシャフト内配線						○						
23　同上　監視カメラ系統接続にともなうエレベータ機械室までの配管配線		○										
24　エレベータ監視盤						○						
25　同上　エレベータ機械室より監視盤設置室までの配管配線		○										
26　エレベータインターホン						○						
27　同上　エレベータシャフトより監視場所までの配管配線		○										
28　遠隔監視用電話回線の供給		○										
29　かご内空調設備						○						
30　同上　エレベータピットから排水槽までのドレン配管				○								
31　昇降機設備に関する諸手続および官公庁検査の受検						○						
I　舞台機構設備												
1　スノコ（主鉄骨、各受材、補強部材、手摺、階段、タラップ、キャットウォーク、搬入用取外蓋）	○											
2　スノコ上部搬入用天井フック設置	○											
3　上部滑車取付用梁	○											
4　吊物設備機器取付および開口等にともなうスノコ鋼材の加工							○					
5　スノコ鋼材の加工にともなう補強および錆止め塗装							○					
6　スノコ、フライギャラリー、キャットウォークに対する作業用照明、コンセント取付		○										
7　緞帳の製作及び吊込							○					
8　緞帳の製作および吊込										○		

工事区分表	建築	電気	空調	衛生	ガス	昇降機	舞台機構	舞台照明	舞台音響	外構設備	別途	備考
9　スクリーンフレームの製作及び据付							○					
10　スクリーンの製作および吊込							○					
11　音響反射板　本体鉄骨バックフレーム・扉機構の製作及び据付							○					
12　音響反射板　壁、天井、扉の下地および仕上（扉の場合、扉への仕上材取付）	○											
13　音響反射板への照明器具取付および電源配管配線								○				
14　同上　開口および開口補強、下地補強	○											
15　吊物機構制御盤、同操作卓						○						
16　同上　一次側電源供給		○										
17　同上　二次側配管配線							○					
18　二次側配管配線にともなう躯体貫通穴および補修							○					
19　舞台大道具備品の製作および設置											○	
20　リハーサル室　美術バトンおよび照明バトン							○					
21　同上　滑車、巻上機、ワイヤー等							○					
22　同上　天井内設置用架台および滑車取付用下地鋼材	○											
23　同上　制御盤及び二次側配管配線							○					
24　同上　一次側電源供給		○										
J　舞台照明設備												
1　舞台照明設備								○				
2　同上　機器間配管配線								○				
3　調光器盤、主幹盤								○				
4　同上　一次側配管配線		○										
5　同上　二次側配管配線												
6　誘導灯消灯用信号装置		○										
7　同上　消灯連動信号の供給								○				調整室に接点供給
8　フライダクトおよびスポットライト吊込												
9　ポータケーブルおよびケーブルリール設置												
10　フロントサイドライト、シーリングライトの器具吊下パイプ												
11　トーメンタルスポットライトの器具吊下フレーム												
12　音響反射板への照明器具取付および電源配管配線								○				
13　同上　開口および開口補強、下地補強	○											
14　舞台床コンセント									○			
15　同上　床開口および開口補強	○											
16　同上　化粧蓋	○											
17　天井内キャットウォークおよびスノコ	○											
18　持込電源盤　一次側配管配線		○										調光系（3φ 4W）を除く
19　客席照明用ダウンライト、シーリングウオッシュライト		○										
J　舞台音響設備												
1　舞台音響設備									○			
2　同上　機器間配管配線									○			
3　調整室および音響室　分電盤									○			
4　同上　一次側配管配線		○										
5　同上　二次側配管配線									○			機器および各音響盤への電源供給含む
6　非常放送カット信号供給		○										音響室およびリハーサル室
7　非常放送カットリレー（コンセント）		○										練習室1、練習室2
8　調整室　フリーアクセスフロアおよび同開口、開口補強	○											
9　調整室　手元照明用ライティングダクトおよび手元照明器具		○										
10　調整室　映写機およびビデオプロジェクター											○	
11　同上　電源確保		○										分電盤　分岐回路対応まで
12　プロセニアムスピーカ									○			
13　同上　スピーカ全面開口および開口補強、化粧枠		○										
14　同上　天井面サランネット等化粧カバー		○										
15　同上　スピーカ吊込設置用フレーム	○											
16　サイドスピーカ									○			
17　同上　スピーカ全面開口および開口補強、化粧枠	○											
18　同上　天井面サランネット等化粧カバー	○											
19　同上　スピーカ吊込設置用バトンパイプ	○											
20　同上　設置スペース内部吸音処理	○											
21　同上　スピーカメンテナンス用フック	○											
22　同上　下部サブウーハ取付用ベース									○			
23　フロント、シーリングスピーカ									○			
24　同上　壁面スピーカボックスおよび内部吸音処理	○											
25　同上　壁面サランネット等化粧カバー	○											
26　同上　メンテナンス用キャットウォーク	○											
27　2階客席サイド補助スピーカ									○			
28　同上　スピーカ全面開口および開口補強、化粧枠		○										
29　同上　天井面サランネット等化粧カバー		○										
30　同上　スピーカ吊込設置用フレーム	○											
31　三点吊マイク装置									○			
32　同上　天井貫通滑車用天上開口および開口補強、化粧枠	○											
33　舞台床コンセント									○			
34　同上　床開口および開口補強	○											
35　同上　化粧蓋	○											
36　運営系連絡放送システム									○			楽屋、スタッフ、ホワイエ系
37　運営系インターカムシステム									○			舞台運営系
38　運営系インターホン、内線電話		○										
39　運営系映像モニターシステム									○			カメラおよび送出系変調器
40　同上　モニターテレビ											○	
41　同上　モニターテレビ用電源コンセント		○										
42　同上　変調器と共聴ラインとの接続および信号混合		○										
43　同上　モニターテレビへの共聴ライン（モニター映像）供給		○										
44　演出仕込トークバックシステム									○			
45　電気音響に関する調整および測定と報告書の作成									○			
46　建築音響に関する測定と報告書の作成	○											
47　インバータノイズ対策	※	※	※	※		※	※	※	※		※	発生原因側が改善処置を行なうこと

工事名称				年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦		2005年 5月	工事区分表2	-	A07Kubun	A-07b

内部仕上表

階	室名	法規制 排煙	法規制 内装制限	FL SL	床 記号	床 仕上	巾木 記号	巾木 H	巾木 仕上	壁 記号	壁 下地	壁 仕上	廻縁	天井 記号	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考 建築工事	備考 別途工事
B1階	オーケストラピット 将来スペース	–	不	−5990 −6000	F1a	RC直均し	–	–	–	W1c	–	RC打放しC種	–	C1c	RC	RC打放しC種、上部の床組（鉄骨＋木輪組）	直天		
	客席収納庫 将来スペース	–	不	−4390 −4400	F1a	RC直均し	–	–	–	W1c W5d	RC,LGS	RC打放しC種　SCB8	–	C4	RC	PB12.5+9.5　　青畳にGW32kgt=50	1700~2200		
	前室1、2	告二	不	−4390 −4400	F1a	RC直均し	–	–	–	W1c	–	RC打放しC種	–	C1c	RC	RC打放しC種	直天		
	前室3	告二	不	−6230 −6250	F2	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	W1a	RC	RC打放し補修 EP−U	–	C1a	RC	RC打放し補修 EP	直天		
	空調機械室（受水層置場、給水ポンプ置場、屋外給水エリア）	告一	準不	−6240、−5390、−4790 −6250、−5400、−4800	F1a	RC直均し	B1	200	RC打放し、又はCB	W2a、W1c	RC	GW32kgt=50ガラスクロス押え　柱・梁型は全てRC打放しC種	–	C1b	RC	GW32kgt=50ガラスクロス押え	直天	鉄骨階段　RCステップ（直均し）　落下防止材	
	消火ポンプ室	告二	不	−6240 −6250	F1a	RC直均し	–	–	–	W1c	–	RC打放しC種	–	C1c	RC	RC打放しC種	直天		
	熱源機械室	告二	不	−6240 −6250	F1a	RC直均し	B1	200	RC打放し、又はCB	W2a	RC	GW32kgt=50ガラスクロス押え　柱・梁型は全てRC打放しC種	–	C1b	RC	GW32kgt=50ガラスクロス押え	直天		
	発電機室	告二	不	−6050 −6250	F1c	RC直均しの上耐油塗装（軽量コンクリートt=200）	–	–	–	W3 W2b	RC,CB	不燃木毛セメント板t=30打込み　CB側GW32kgt=50ガラスクロス押え 柱・梁型は全てRC打放しC種	–	C2b	RC	不燃木毛セメント板t=30打込み	直天	防油提　配管・配線ピット	
	電気室	告一	準不	−4790 −4800	F1a	RC直均し	–	–	–	W3 W2b	RC,CB	不燃木毛セメント板t=30打込み　CB側GW32kgt=50ガラスクロス押え 柱・梁型は全てRC打放しC種	–	C2b	RC	不燃木毛セメント板t=30打込み	直天		
	中央監視室	告四	下不	−4315 −4400	F3a	タイルカーペットB（OA：H=85）	B2	60	ビニル巾木	W4a,W6b−A	RC	モルタルEP−U PB12.5+9.5EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	2500		
	倉庫	告二	不	−6240 −6250	F1a	RC直均し	–	–	–	W1c	–	RC打放しC種	–	C1c	RC	RC打放しC種	直天		
1階	風除室1、2	–	下不	±0 −100	F3b	タイルカーペットB	–	–	–	詳細図参照	LGS	アルミ複合板t4焼付	–	EC1	LGS	アルミ複合板t4焼付	5160 4000	外壁面（下り壁裏含む）→内断熱（打込み・吹付）	
	ホワイエ1	機排	下不	±0 −600、−800	F6	フローリング UC　（木床組仕様）	–	–	–	詳細図参照	LGS	アルミ複合板t4焼付　S柱：耐火塗料の上FE	–	C4	LGS	PB12.5+9.5寒EP	4500	空調グリル	
	ホワイエ2 東エントランス・北エントランス	機排	下不	±0 −60	F4	フローリング UC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	W6b−D	LGS	PB12.5+9.5　特殊塗装　　S柱：耐火塗料の上FE 八角柱：RC打放しSC（杉板型枠）	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5寒EP	4000	空調グリル（東エントランス）	受付カウンター
	ホール階段1、2	機排	下不	詳細図参照	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木練付UC	W7aR−E	LGS	PB12.5+木練付パネル	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5寒EP	1FL+5020 1FL+4460	RAルーバー　注意喚起材	
	ホール通路1、2	機排	下不	±0、−600、−1100、−1290 −60～−1350	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	W1b　W4a W6b−A	RC/LGS	RC打放しSC（杉板型枠）　モルタルEP−U　八角柱：RC打放しSC（杉板型枠） PB12.5+9.5EP−U　　S柱：耐火塗料の上FE	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5寒EP	1FL+4000 1FL+3250	注意喚起材　腰壁（外壁面）→外壁面→内断熱（打込み・吹付）	
	舞台 舞台通路	機排	下不	−850 −1760	F6	鋳甲板　ワックス　（木床組仕様：H=910）	B3	300	木SOP	W1a W2c　W3# P3−A	RC/LGS LGS	柱・梁型面：RC打放し補修 EP−U FPB21+PB12.5+9.5の上 不燃木毛セメント板30tEP−U または、GWGC押え PB12.5+9.5EP−U	–	C2　C15 C1b　C1c C3+GW	RC LGS	RC打放しC種　　FPB21+PB12.5+9.5（防振ハンガー）EP+GWGC GW32kgt=50ガラスクロス押え PB12.5の下面に GW32kgt=50ガラスクロス押え	直天 4100	ブドウ棚、吊物マシンスペース、フライギャラリー、舞台階段 外壁RC打ち放し面は内断熱（打込み・吹付）	
	音響反射板（仕上材及び下地）									W12A+W11	LGS	FPB15+15の上FRG10+木練付、FRG8+8+8寒EP（共に音響反射板）		C12（反射板）	LGS	FPB15+15の上FRG10寒EP（音響反射板）		音響反射板のバックフレーム以外の仕上げ（鉄骨含む）	音響反射板のバックフレーム（鉄骨）
	舞台前室1、2	告二	不	−850 −880	F2	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	W4a　P1−A P1+GW	RC/LGS	PB15+15EP−U　モルタルEP−U GW32kgt=50GC　GW32kダブル+GC　（スピーカーエリア）	–	C4 C4+GW	LGS	PB12.5+9.5EP PB12.5+9.5の下面に GW32kgt=50ガラスクロス押え　（スピーカーエリア）	3000	PBによる仕切り壁、サランネット壁面（スピーカーエリア）	
	客席部	機排	下不	+1280~+1290~−1700 +1220~−1760	F4 F4#	フローリングUC（モルタル仕様） フローリングUC（根太式）→オクビ開口直上部に限る	詳細図参照			W12A W12B W12C　W14 W13　W10	LGS	FPB15+15の上FRG10+木練付 PB12.5+12.5の上FRG10+木練付 PB15の上FRG10+木練付　SCB−Pt6+木練付、青畳にGW32k50tGC モルタル+PB9.5　EP　ライムストン	詳細図参照	C7a C8 C13　C14	LGS	PB15+15寒EP FPB21+PB12.5+9.5寒EP 2階客席直下天井→　PB15+FRG10木練付　SCB−P木練付+GWボード+PB12.5	詳細図参照	空調グリル　天井内キャットウォーク　間接照明BOX	
	調整室	告四	下不	+1280、+1880 −60	F7	タイルカーペットB（木床組仕様：H=1940） （FL+1280面→SL+モルタル下地、FL+1880面→木下地）	B2	60	ビニル巾木	W5a P2−A　W4a	LGS	SCB−P（吸音仕様、丸孔）EP−U FPB21+HPB9.5+裏目板PB12.5EP−U　モルタルEP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	2340 2940	木組階段、床下点検口+ラダータラップ	
	親子室	告四	下不	+1880 −60	F7	タイルカーペットB（木床組仕様：H=1940）	B3	60	木SOP	W5a P2−A　P3−A	LGS	SCB−P（吸音仕様、丸孔）EP−U FPB21+HPB9.5+裏目板PB12.5EP−U　PB12.5+9.5EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	2340		
	親子室前室	告二	不	+1280、+1880 −60	F7	タイルカーペットB（FL+1280面→SL+モルタル下地、FL+1880面→木下地）	B3	60	木SOP	P3−A W4a	LGS	PB12.5+9.5EP−U　モルタルEP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	2340~2940	木組階段	
	前室1、2	告二	不	−1290 −1320	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木練付UC	W7aR−E	LGS	PB12.5+木練付けパネル	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3000		
	前室3、4	告二	不	+1280 +1250	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木練付UC	W7aR−E	LGS	PB12.5+木練付けパネル	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	2500		
	男子客用便所1、2	機排	下不	−900 −1000	F12+T1	テラゾータイル　（アスファルト防水）	–	–	–	詳細図参照	RC/CB/LGS	テラゾータイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	3000	洗面カウンター、化粧鏡、姿見、便所ブース	衛生器具
	女子客用便所1、2	機排	下不	−1100、−1290 −1200、−1390	F12+T1	テラゾータイル　（アスファルト防水）	–	–	–	詳細図参照	RC/CB/LGS	テラゾータイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	3390（女子1） 3200（女子2）	洗面カウンター、化粧鏡、姿見、便所ブース	衛生器具
	HC1、2	告二	不	−1290 −1350	F12+T2	大判タイル	–	–	–	詳細図参照	LGS	大判タイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700		衛生器具、鏡、手スリ等一式
	喫煙所1、2	機排	下不	−600 −640	F8+T1	テラゾータイル	B3	60	木SOP	W4a	RC	モルタルEP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700		
	休憩室	告四	下不	−1100 −1130	F2	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	P3−A W4a	RC/LGS	モルタルEP−U　PB12.5+9.5EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3000		手洗い器（直付）
	倉庫	告二	不	−1290 −1320	F2	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	W3−A　W1a P4−A	RC/LGS	RC補修EP−U　PB12.5+9.5EP PB12.5+9.5EP−U	J1	C3	LGS	PB12.5 EP	3000	外壁面→内断熱（打込み・吹付）	
	業務通路1.2	告二	不	−850、−1290 −880、−1320	F2	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	W1a　W6b−A P1−A　P3−A	RC/LGS	PB12.5+9.5EP−U　RC補修EP−U FPB15+15EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	3000	階段（RC下地：業務通路1のみ）	
	風除室3	–	下不	±0 −100	F15	タイルカーペットB	–	–	–	詳細図参照	LGS	アルミ複合板t4焼付　または指定色焼付（EV外周）	–	詳細図参照	LGS	ルーバー天井（CH4000の箇所にPB12.5+9.5EP）	詳細図参照	郵便ポスト（取出し面）　誘導鋲 外壁面内側（下り壁裏）→内断熱（打込み・吹付）	
	サブエントランス	機排	準不	±0、−850 −60、−910	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	W6d−A EW3b	LGS	FPB15+15EP−U　アルミ複合板t4指定色焼付	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 寒EP	3250 4000	注意喚起材	誘導案内板（カウンター式）
	ロビー通路	機排	準不	±0 −60	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	P1−A P3−A	LGS	FPB15+15EP−U　PB12.5+9.5EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 寒EP	3250		
	ロビー階段	機排	準不	− −	詳細図参照	フローリングUC　（モルタル仕様）	–	–	–	P3−A W6d−A	LGS	FPB15+15EP−U　PB12.5+9.5EP−U	J1	詳細図参照	LGS	PB12.5+9.5 寒EP	詳細図参照	注意喚起材	
	託児室　ボランティア室	告四	下不	±0 −30	F11	コルクタイル	B3	60	木SOP	W6d−A P3−A	LGS	FPB15+15EP−U　PB12.5+9.5EP−U　柱型：モルタルEP−U	J2 J1	C5 C4	LGS	岩綿吸音板 PB12.5+9.5 EP	3500	ロールスクリーンBOX	手動ロールスクリーン 自立型簡易間仕切
	男子・女子便所	告二	不	±0 −100	詳細図参照	大判タイル　（アスファルト防水）	–	–	–	詳細図参照	RC/LGS	大判タイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	詳細図参照	洗面カウンター、化粧鏡、姿見、便所ブース 外壁面→内断熱（打込み・吹付）	衛生器具
	カフェレストラン	告四	下不	±0 −60	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	W6b−I P3−A	LGS	PB12.5+9.5の上 アルミ複合板t2焼付　PB12.5+9.5EP−U アルミ複合板t4焼付	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 寒EP	詳細図参照	カウンター　ロールスクリーンBOX	手動ロールスクリーン
	厨房	告四	下不	±0 −100	F14	大判タイル　（アスファルト防水）	–	–	–	P3−A P3−F	LGS	半磁器質タイル<H2400　PB12.5+9.5EP>H2400	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700		厨房器具、グリストラップ、フード等一式
	厨房便所	告二	不	±0 −100	F14	大判タイル　（アスファルト防水）	–	–	–	詳細図参照	LGS	半磁器質タイル<H2100　PB12.5+9.5EP>H2100	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700		衛生器具
	HC3、4	告二	不	±0、−850 −100、−950	詳細図参照	大判タイル　（アスファルト防水）	–	–	–	詳細図参照	LGS	大判タイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700		衛生器具、鏡、手スリ等一式
	大会議室　小会議室	告四	下不	±0 −85	F3a	タイルカーペットA（OA：H=85）	B3	60	木SOP	P1−A P4−A	LGS	FPB15+15EP−U　PB12.5EP−U　八角柱：モルタルEP−U	J2 J1	C5 C4	LGS	岩綿吸音板 PB12.5+9.5 EP	4000	移動間仕切　ロールスクリーンBOX	手動又は電動ロールスクリーン（遮光タイプ）
	事務室	告四	下不	±0 −85	F3a	タイルカーペットA（OA：H=85）	B2	60	ビニル巾木	P1−A P3−A	LGS	FPB15+15EP−U PB12.5+9.5EP−U　八角柱：モルタルEP−U	J2 J1	C5 C4	LGS	岩綿吸音板 PB12.5+9.5 EP	4000	ロールスクリーンBOX	手動ロールスクリーン
	前室（荷解き）	機排	準不	−850 −860	F1b	RC直均しの上防塵塗装	B3	60	木SOP	W4a W6b−A P1−A	RC/LGS	モルタルEP−U　PB12.5+9.5EP FPB15+15EP−U	–	C11	LGS	St.ワイヤメッシュ 75*75*5ø,SOP GW32kgt=50ガラスクロス押え	4700		
	搬入口	告二	不	−1400~−1450 −1470~−1550	F1b	RC直均しの上防塵塗装　（アスファルト防水、押えコンt=100）	–	–	–	W4a W6b−A	RC/LGS	モルタルVE PB12.5+9.5VE	–	C9b	LGS	SCB−P6VE（丸孔）	5500 4700	外壁面→内断熱（打込み・吹付）　RCステップ（直均し）　壁ガード	
	楽器庫	告二	不	−850 −910	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	P1−A W6aR−A	RC/LGS	FPB15+15EP−U PB12.5+9.5EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	3000	壁ガード	
	大楽屋（練習室）	告四	下不	−850 −880	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木SOP	P1−A W6aR'−A	RC/LGS	PB12.5+9.5EP−U FPB15+15EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3700	腰壁（外壁面）　外壁面→内断熱（打込み・吹付） 化粧カウンター（洗面部含む）、化粧鏡、造作棚	衛生器具 手動ロールスクリーン（遮光タイプ）
	中楽屋1、2	告四	下不	−850 −880	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木SOP	P1−A W6aR−A	LGS	FPB15+15EP−U PB12.5+9.5EP−U　八角柱：モルタルEP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3700	腰壁（外壁面）　外壁面→内断熱（打込み・吹付） 化粧カウンター（洗面部含む）、化粧鏡、造作棚	
	個室1、2	告四	下不	−850 −880	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木SOP	P1−A W6aR−A	LGS	FPB15+15EP−U PB12.5+9.5EP−U　八角柱：モルタルEP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3700	腰壁（外壁面）　外壁面→内断熱（打込み・吹付） 化粧カウンター（洗面部含む）、化粧鏡、造作棚	
	アーティストラウンジ	機排	準不	−850 −910	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	P1−A　W6b−A W6aR'−A	RC/LGS	FPB15+15EP−U PB12.5+9.5EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	4000	腰壁（外壁面）　外壁面→内断熱（打込み・吹付）	
	楽屋事務室（主催者）	告四	下不	−850 −880	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木SOP	P1−A P3−A	LGS	PB12.5+9.5EP−U　FPB15+15EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3000		

略号表

○ 一般事項、構造
○ 塗装工事
○ 内装工事

DS:ダクトスペース　PS:パイプスペース
EP:合成樹脂エマルジョンペイント
PB:石膏ボード

EPS:電気配線スペース
寒:寒冷紗
GW:グラスウール

EV:エレベーター
SOP:　合成樹脂調合ペイント
CAW:　セラミック系人造木材

t:　厚さ
AP:焼付;アクリル樹脂焼付塗装
SCB:　珪酸カルシウム板

RC:鉄筋コンクリート
FE:フタル酸樹脂エナメル塗装
SCB−P:有孔珪酸カルシウム板

LGS:軽量鉄骨
UC:ウレタン樹脂ワニス塗装
SPB:シージング石膏ボード

CB:コンクリートブロック
VE:塩化ビニル樹脂エナメル塗装
FPB:　強化石膏ボード

St:　鋼
FP:焼付;フッ素樹脂焼付
HPB:硬質石膏ボード

SUS:　ステンレス
EP−U:特殊アクリル樹脂エマルジョンペイント（防汚タイプ）
GC:ガラスクロス

AL:アルミニウム
FRG:繊維石膏ボード
CL:クリヤーラッカー

FB:フラットバー
HL:ヘアライン仕上げ
FP:フッ素樹脂塗装

L:　アングル
ZP:亜鉛亜鉛メッキ
SC:シリコン系浸透撥水性塗料

PL:プレート
AE:　アクリル樹脂エナメル塗装
OS:　オイルステイン

特記

令：令126条の2　　告一：告示1436号第4号ハ（一）　　告二：告示1436号第4号ハ（二）　　告三：告示1436号第4号ハ（三）　　告四：告示1436号第4号ハ（四）　　告示1436号は、平成12年度建設省告示1436号を示す

工事名称																			
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦							年月日 2005年 5月	図面名称 内外部仕上表1	縮尺 −	ファイル名称 A08nFList01	図面番号 A−08

内部仕上表

階	室名	法規制 排煙	法規制 内装制限	FL SL	床 記号	床 仕上	巾木 記号	巾木 H	巾木 仕上	壁 記号	壁 下地	壁 仕上	廻縁	天井 記号	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考 建築工事	備考 別途工事
1階	守衛室	告四	下不	−850 −880	F3b	タイルカーペットB	B2	60	ビニル巾木	P3−A	RC/LGS	PB12.5+9.5EP−U　柱型：モルタルEP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3000		受付カウンター
	楽屋通路	機排	準不	−850 −910	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	B3	60	木SOP	P1−A　W4a W6b−A	RC/LGS	FPB15+15EP−U　モルタルEP−U PB12.5+9.5EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP　アルミ目地	3700	間接照明BOX	
	男子・女子楽屋便所	告二	不	−850 −950	F12+T2	大判タイル　（アスファルト防水）	−	−	−	詳細図参照	RC/LGS	大判タイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700	洗面カウンター、化粧鏡、姿見、便所ブース	
	シャワー室1，2	告二	不	−850 −950	詳細図参照	アスファルト防水の上シャワーユニット	−	−	−	詳細図参照	LGS	SCB8（脱衣スペースのみVE）	J1	直天 C9a	LGS	SCB6 VE（脱衣スペースのみ）	2700	脱衣スペース	
	シャワー室3	告二	不	−850 −950	詳細図参照	脱衣スペース：ビニル床シート シャワースペース：磁器質タイル　（アスファルト防水）	B3	60	木SOP（脱衣スのみ）	詳細図参照	LGS	PB12.5+SPB9.5（脱衣スペース） 半磁器質タイル（シャワースペース）	J2	C9a	LGS	SCB6 VE（シャワースペースのみパスリブ）	2700	脱衣スペース、便所スペース	
	湯沸　自販	機排	準不	−850 −880	F2	ビニル床シート	B3	60	木SOP	P3NGW−A W4a	RC/LGS	PB12.5+9.5EP−U　一部メラミン化粧板張り モルタルEP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700	シンクユニット、吊棚	
	清掃員控室	告四	下不	−850 −880	F2	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	P1−A W4a	RC/LGS	FPB15+15EP−U モルタルEP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2700		
2階	ラウンジ	機排	下不	±0 −30	F3b	タイルカーペットA	詳細図参照			W7aR−E W4a W6b−D	RC/LGS	PB12.5+木練付けパネル モルタルEP−U　PB12.5+9.5 特殊塗装	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5寒EP	詳細図参照	RAルーバー　間接照明BOX　外壁音→内断熱（打込み・吹付）	
	ホール階段3，4	機排	下不	詳細図参照		タイルカーペットA	詳細図参照			W7aR−E W4a	RC/LGS	PB12.5+木練付けパネル モルタルEP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5寒EP	詳細図参照		
	前室1，2	告二	不	±0 −30	F3b	タイルカーペットA	B3	60	木UC	W7aR−E	LGS	PB12.5+木練付けパネル	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3000		
	前室3，4	告二	不	+2085 +2055	F3b	タイルカーペットA	B3	60	木UC	W7aR−E	LGS	PB12.5+木練付けパネル	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	3000		
	客席部	機排	下不	-1870~+2085 -1930~+2025	F4	フローリングUC　（モルタル仕様）	詳細図参照			W12A W12B W12C　W14 W13　W10	LGS	FPB15+15の上FRG10+木練付 PB12.5+12.50上FRG10+木練付 PB15の上FRG10+木練付　SCB−Pt6+木練付，青畳にGW32k50tGC モルタル+PB9.5　EP　ライムストン	詳細図参照	C7a C8 C13　C14	LGS	PB15+15寒EP FPB21+PB12.5+9.5寒EP 2階客席直下天井→　PB15+FRG10木練付　SCB−P木練付+GWボード+PB12.5	詳細図参照	空調グリル　天井内キャットウォーク　間接照明BOX	
	喫煙所	機排	下不	±0 −40	F8+T1	テラゾータイル	B3	60	木SOP	W4a P5−A	RC LGS	モルタルEP−U FPB15+15+15EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	3000		
	男子・女子客用便所1，2	機排	下不	±0 −100	F12+T1	テラゾータイル　（アスファルト防水）	−	−	−	詳細図参照	RC/CB/LGS	テラゾータイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2500	洗面カウンター、化粧鏡、姿見、便所ブース	衛生器具
	機材室1	告二	不	±0 −30	F3b	タイルカーペットB	B2	60	ビニル巾木	W4a W6b−A　P3−A	RC/LGS	モルタルEP−U　PB12.5+9.5EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	2500	外壁音→内断熱（打込み・吹付）	
	音響盤室	告二	不	±0 −30	F2	ビニル床シート	B1	100	下地音	W1a P3−A	RC/LGS	RC補修EP−U PB12.5+9.5EP−U	−	C1b	RC	GW32kgt=50ガラスクロス押え	直天		
	調光盤室	告二	不	±0 −30	F2	ビニル床シート				W2a P1−A	RC/LGS	GW32kgt=50ガラスクロス押え FPB15+15EP−U	−	C1b	RC	GW32kgt=50ガラスクロス押え	直天		
	排煙機室	告二	不	−10 −30	F1a	RC直均し	−	−	−	W1c P1−a寸　P3−a寸	RC/LGS	RC打放しC種　FPB15+15 PB12.5+9.5	−	C2b	−	不燃木毛セメント板t=30打込	直天		
	業務通路	告二	不	±0 −30	F2	ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	W6aR−A W4a　P3−A	RC/LGS	PB12.5+9.5EP−U　モルタルEP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板	2500		
	前室5	告二	不	±0 −300	F7	タイルカーペットB　（木床組仕様：H=300）	B3	60	木SOP	P6+　W6b−A		遮音層+PB12.5+9.5EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板EP	詳細図参照		
	前室6	告二	不	±0 −300	F5a	フローリングUC　（浮室仕様）	B4+	詳細図参照		P6+　W7b−E		遮音層+PB12.5+木練付パネル	J2	C7b+C5	LGS	岩綿吸音板EP	詳細図参照		
	前室7，8	告二	不	±0 −30	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木SOP	P6+　W6b−A		PB12.5+9.5EP−U	J2	C5	LGS	岩綿吸音板EP	2500		
	リハーサル室（多目的練習室）	機排	一（SPC+外）	±0 −300	F5a	フローリングUC　（浮室仕様）	B4+	詳細図参照		P6+　W8 W5c		遮音層+木リブUC（吸音仕様）の上GW32kgt=50ガラスクロス（特注色）押え 遮音層+PB12.5+木パネルUC　SCB−P6（吸音仕様・長孔）木練付		C7b+	詳細図参照	PB15+15寒EP PB12.5+9.5寒EP	詳細図参照	ロールスクリーンBOX	電動ロールスクリーン（遮光）
	機材室2	告二	不	±0 −300	F5下地（浮RC直） +F3a	タイルカーペットB（木床組仕様：2FL−30のRC金ゴテ直からH=630X浮室仕様）	B4+	詳細図参照	木SOP	P6+　W5b		遮音層+SCB−P6（吸音仕様、丸孔）EP−U		C7b+	詳細図参照	岩綿吸音板	詳細図参照		
	倉庫1	告二	不	±0 −300	F5c	ビニル床シート　（浮室仕様）	B4+	詳細図参照	ビニル巾木	P6　その他詳細図参照		遮音層+EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP			
	倉庫2	告二	不	±0 −300	F7−V（倉庫3）	ビニル床シート　（木床組仕様：H=300）	B2	60	ビニル巾木	P6　その他詳細図参照		遮音層+EP−U	J1	C3	LGS	PB12.5 EP			
	練習室2	告四	下不	±0 −300	F5a	フローリングUC　（浮室仕様）	B4+B3	60	木SOP	P6+W5a	LGS	遮音層+SCB−P6（吸音仕様、丸孔）EP−U 但し、H675以下はPB12.5裏打ち（その他はGW）		C7b+	詳細図参照	PB15+15+岩綿吸音板EP PB12.5+9.5寒EP	詳細図参照	ロールスクリーンBOX、姿見	電動ロールスクリーン（遮光）
	練習室1	告四	下不	±0 −300	F5a	フローリングUC　（浮室仕様）	B4+B3	60	木SOP	P6+W9	LGS	遮音層+クロス線子張り（吸音仕様）（H>1350）の上モルトンt=15		C7b+	詳細図参照	SCB−P+GW32kgt=50ガラスクロス押え PB12.5+9.5寒EP	詳細図参照	ロールスクリーンBOX、クロス：不燃仕様	電動ロールスクリーン（遮光）
	男子・女子便所	告二	不	±0 −100	F12+T2	大判タイル　（アスファルト防水）	−	−	−	詳細図参照	RC/LGS	大判タイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	詳細図参照	洗面カウンター、化粧鏡、姿見、便所ブース	衛生器具
	HC	告二	不	±0 −100	F12+T2	大判タイル　（アスファルト防水）	−	−	−	詳細図参照	LGS	大判タイル　PB12.5+SPB9.5EP	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	詳細図参照		衛生器具、鏡、手スリ等一式
	ゴミ　湿沸	告二	不	±0 −30	F2	ビニル床シート	B3	60	木SOP	P6−A　W4a W6b−A	LGS	FPB21+21EP−U　モルタルEP−U PB12.5+9.5EP−U　一部メラミン化粧板張り	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP	2500	シンクユニット、吊棚	
	休憩ロビー	機排	下不	±0 −30	F3b	タイルカーペットB	B3	60	木SOP	詳細図参照	LGS	遮音層+ PB12.5+9.5EP−U　S柱：耐火塗料の上FE PB12.5+9.5EP−U　EV外周：アルミ複合板t4指定色焼付	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5寒EP	2500		
塔屋階	シーリング殺光室	機排	準不	詳細図参照		ニードルパンチカーペット	B2	60	ビニル巾木	詳細図参照	S/LGS	PB12.5+9.5EP−U　（片面張り）	J1	C4	S/LGS	PB12.5+9.5 EP	詳細図参照	St.ワイヤメッシュによるスポット開口 機材用/1トン	
	ピンスポット室	告二	準不	詳細図参照		ニードルパンチカーペット	B2	60	ビニル巾木	詳細図参照	S/LGS	PB15+15EP−U　（片面張り）	−	C4+GW	S/LGS	PB12.5+9.5 + GW32kgt=50ガラスクロス押え	詳細図参照	ガラスによるスポット開口 機材用/1トン	
	排煙機室	告一	準不	2FL+19000 2FL+18990	F1a	RC直均し	B1	200	RC打放し	W3	RC	不燃木毛セメント板t=50打込み 一部FPB15+15の上 不燃木毛セメント板t=50	−	−	RC	不燃木毛セメント板t=50打込み	直天		
	換気機械室	告一	準不	2FL+19000 2FL+18990	F1a	RC直均し	B1	200	RC打放し	W2a W4b	RC CB	GW32kgt=50ガラスクロス押え モルタル金ゴテ素地	−	C1b	RC	GW32kgt=50ガラスクロス押え	直天	鉄骨階段、RCステップ（直均し）	
	前室	告二	不	2FL+19000 2FL+18990	F1a	RC直均し	−	−	−	W1c	RC	RC打放しC種	−	C1c	RC	RC打放しC種	直天	鉄骨階段、RCステップ（直均し）	
共通	階段室1，2	令	下不	詳細図参照		ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	詳細図参照	RC	RC打放し補修 EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP（最上部のみ）　RC打放し補修 EP−U（段裏・踊場裏）	詳細図参照		
	階段室3	令	下不	詳細図参照		ビニル床シート	B2	60	ビニル巾木	詳細図参照	RC/CB	モルタル EP−U	J1	C4	LGS	PB12.5+9.5 EP（最上部のみ）　RC打放し補修 EP−U（段裏・踊場裏）	詳細図参照	注意喚起材	
	アラーム弁室	告二	不	FL=SL	F1a	RC直均し	−	−	−	詳細図参照	RC/LGS	PB12.5素地	−	C1c	−	RC打放しC種	直天		
	DS	告二	不	FL=SL	F1a	RC直均し	−	−	−	詳細図参照	RC/LGS	PB12.5+9.5　FPB15+15+15 FPB15+15　等、又はスタッドあらわし	−	C1c	−	RC打放しC種	直天		
	EPS	告二	不	FL=SL	F1a	RC直均し	−	−	−	詳細図参照	RC/LGS	PB12.5+9.5　FPB15+15+15 FPB15+15　等、又はスタッドあらわし	−	C1c	−	RC打放しC種	直天		
	煙道	令	下不	詳細図参照		RC充填	−	−	−	詳細図参照	RC	RC打放しC種	−	C1c	−	RC打放しC種	−	芯材付繊維積層ライニング材	
	OA風洞	令	下不	詳細図参照		RC打放し	−	−	−	W1c	RC	RC打放しC種	−	C1c	−	RC打放しC種	直天		
	昇降路内	令	下不	詳細図参照		ビット内→　防水材入りモルタル	−	−	−	W1c	RC	RC打放しC種	−	C1c	−	RC打放しC種	直天		
	昇降路外周	−	−			−	−	−	−		RC	アルミ複合板t4指定色焼付	−	−	−	−	−		

略号表 男子・女子楽屋便所

O 一般事項、構造
O 塗装工事
O 内装工事

DS:ダクトスペース　PS:パイプスペース　EPS:電気配線スペース　EV:エレベーター　t: 厚さ　RC:鉄筋コンクリート　LGS:軽量鉄骨　CB:コンクリートブロック　St: 鋼　SUS: ステンレス　AL: アルミニウム　FB:フラットバー　L: アングル　PL: プレート
EP:合成樹脂エマルジョンペイント　意:意匠紗　SOP: 合成樹脂調合ペイント　AP:焼付:アクリル樹脂焼付塗装　FE:フタル酸樹脂エナメル塗装　UC:ウレタン樹脂ワニス塗装　VE:塩化ビニル樹脂エナメル塗装　FP:焼付:フッ素樹脂焼付　EP−U:特殊アクリル樹脂エマルジョンペイント（防汚タイプ）　FRG: 繊維石膏ボード　HL:ヘアライン仕上げ　ZP:溶融亜鉛メッキ　AE: アクリル樹脂エナメル塗装
PB:石膏ボード　GW:グラスウール　CAW: セラミック系人造木材　SCB: 珪酸カルシウム板　SCB−P:有孔珪酸カルシウム板　SPB:シージング石膏ボード　FPB: 強化石膏ボード　HPB:硬質石膏ボード　GC:ガラスクロス　CL: クリヤーラッカー　FP:フッ素樹脂塗装　SC:シリコン系浸透撥水性塗料　OS: オイルステイン

特記

令：令126条の2　告一：告示1436号第4号ハ（一）　告二：告示1436号第4号ハ（二）　告三：告示1436号第4号ハ（三）　告四：告示1436号第4号ハ（四）　告示1436号は、平成12年度建設省告示1436号を示す

| 工事名称 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

床

F1a RC直均し
F1b RC直均しの上防塵塗装
F1c RC直均しの上耐油防塵塗装

[F1a.b]
RC直均し（素地）
RC直均しの上防塵塗装
100±α
SL天端レベル

[F1c]
RC直均しの上耐油防塵塗装
軽量コンクリートt200
200
SL天端レベル

F2 ビニル床シート

ビニル床シート（熱溶着工法）
モルタル金コテ仕上
30(一部20)
SL天端レベル

F3a タイルカーペットA,B（OAフロア）
F3b タイルカーペットA,B（一般）

[F3a]
タイルカーペット
一般型フリーアクセスフロア
基盤：新軽量型コンクリート
支柱：スチール製
クッションゴム
事務室：公議室→85
中会議室→295 85
SL天端レベル

[F3b]
タイルカーペット
モルタル金コテ仕上
30
SL天端レベル

F4 フローリング（モルタル仕様）
F4# フローリング（根太式）

[F4]
木製フローリング（t=15）UC
下地合板（t=12）
モルタル金コテ
@75
60
SL天端レベル

[F4#]
木製フローリング（t=15）UC
下地合板（t=12+12）
下地合板（t=21）
@75
60
※オクヒ開口直上部に限る

F5a フローリング（浮室仕様→リハーサル室、練習室）
~~F5b タイルカーペットA,B（浮室仕様→リハーサル室、練習室）~~
F5c ビニル床シート（浮室仕様→リハーサル室模倣車1）

F5a
木製フローリング（t=15）UC
下地合板（t=15）
@75
コンクリート金コテ仕上げ
ワイヤーメッシュ100X6ø
キーストップpl-1.2t
St.pl-4.5t 250ø
防振ゴム@1000
モルタル束250□
グラスウール32kg/㎥ t=50
SL天端レベル

F5b
タイルカーペット
モルタル金コテ 厳厚t=30

F5c
ビニル床シート
モルタル金コテ 厳厚t=30

130 140 300 65 130
大引：St.C-125x65x6x8 @1000
4.5 39.5 21

F6 フローリングt=15（木床組仕様）
厳甲板t=30（木床組仕様）→舞台のみ

木製フローリング（t=15）UC
※舞台のみ厳甲板t=30+ワックス
下地合板（t=12+12）
@75
根太60*60 @300
大引105*105 @900
束立105*105 @900
モルタル束250□
SL天端レベル
舞台→910
ホリゼミ→600,800
15 24 60 105 204

F7 タイルカーペットA,B（木床組仕様）
F7-V ビニル床シート（木床組仕様、熱溶着工法）

[F7]
タイルカーペット
下地合板（t=12+12）
根太60*60 @300
大引105*105 @900
束立105*105 @900
モルタル束250□
SL天端レベル
1940（300 2階機械室2）（630 2階機械室2）
高さがあるため中間に筋かい等の補強設ね
6.5 24 60 105 195.5

F8+T1 テラソータイルt=13
F8+T2 大判タイルt=12

T1:テラソータイル t=13 既製品 400□
T2:大判タイル t=12 既製品 400□
モルタル金コテ
3
40

F9 縄じゅうたん

縄じゅうたん
グリッパー工法（t=12）
フェルト（t=8）
モルタル金コテ
60

F10 タイルカーペットA,B（OAフロア）

タイルカーペット
床置敷式支柱分離型フリーアクセスフロア
基盤：スチール製165x165,t=2
支柱：異燃性能発泡支持脚
（特殊ポリプロピレン）h=70
不織布t=0.5
RC直均し、SLレベルより t=8~9
70 85
95
165
SL天端レベル

F11 コルクタイル

コルクタイル（t=4）
モルタル金コテ仕上
30
SL天端レベル
（フカシ分含む）

F12+T1 テラソータイルt=13（防水仕様）
F12+T2 大判タイルt=12（防水仕様）
便所廻り

200
20 15 100 15 20
15 15
20 80 20
100
300
T1:テラソータイル t=13 400□
T2:大判タイル t=12 397□
押えコンクリート t=40
（ワイヤメッシュ150*150*6ø程度）
保護モルタル t=15
アスファルト防水 t=10
35 40 100
25

F13+T1 テラソータイルt=13（防水仕様）
F13+T2 大判タイルt=12（防水仕様）
便所廻り

184
20 12.5 100 12.5 20
9.5 9.5
20 80 20
100
300
T1:テラソータイル t=13 400□
T2:大判タイル t=12 397□
押えコンクリート t=40
（ワイヤメッシュ150*150*6ø程度）
保護モルタル t=15
アスファルト防水 t=10
35 40 100
25

F14 大判タイルt=12（防水仕様）
厨房床

144
9.5 12.5 100 12.5 9.5
10
80 20
100
300
壁：
P3-F 又は P**-F
（半磁器質タイル t=7 200□）
厨房側
大判タイル t=13 397□
押えコンクリート t=40
（ワイヤメッシュ150*150*6ø程度）
保護モルタル t=15
アスファルト防水 t=10
35 40 100
25

F15 エントランスマットt=10程度

エントランスマットt=8~10
カーペットタイプ既製品
ナイロン・ポリプロピレン系パイル
防水材入りモルタル 金コテ押えt=30
SL天端レベル
フカシコンt=20
130 10 60 20

壁

W1a コンクリート打放し（C種）RC補修の上 EP-U
W1b コンクリート打放し（杉板型枠）SC
W1c コンクリート打放し（C種） 素地

[W1a]
RC打放補修の上薄塗塗装
t5 EP-U
RC

[W1b] RC打放（杉板型枠）SC

[W1c] RC打放（C種）素地

W2a グラスウールの上ガラスクロス押え（RC下地）
W2b グラスウールの上ガラスクロス押え（CB下地）
W2c グラスウールの上ガラスクロス押え（PB下地）

[W2a]
RC下地
グラスウール 32kg/㎥ t=50
ガラスクロス押え
塩化ビニル化粧ワッシャー @300 程度
塩化ビニル化粧ワッシャー @300 程度

[W2b]
CB下地
強化石膏ボードt=21
石膏ボードt=12.5+9.5

[W2c]
LGS @450内外
ガラスクロス押え →指定色

W3 コンクリート打放し不燃木毛セメント板打込み
W3# 不燃木毛セメント板30t+EP-U（PB下地）

[W3]
RC
不燃木毛セメント板t30打込み
舞台上部「接積機室」のみt=50

[W3#]
LGS @450内外
強化石膏ボードt=21
石膏ボードt=12.5+9.5
不燃木毛セメント板t30 EP-U
不燃木毛セメント板t30 EP-U

W4a モルタル EP-U（RC下地）
W4b （CB下地）

[W4a]
RC下地
モルタル金コテ t=20 EP-U
20

[W4b]
CB下地
モルタル金コテ t=20 EP-U
20

W5a有孔珪酸カルシウム板（吸音仕様、丸孔）t=6 EP-U
W5b有孔珪酸カルシウム板（吸音仕様、長孔）t=6 EP-U
W5c有孔珪酸カルシウム板（吸音仕様、長孔）t=6 木練付け
W5d 珪酸カルシウム板 t=8 VE

(※) 6 (8)
LGS スタッド：C-65X45 @300内外
有孔珪酸カルシウム板（W5a,b 又は練付けタイプ（W5c） t=6
グラスウール 32kg/㎥ t=50 ガラスクロス裏打ち（指定色）
※LGSは黒色塗装とする。特記ない限り（※）=75

・丸孔形状→ 8ø @15 開口率28%
・長孔形状→ 40 40 40 17 17

W6aR,C 仕上げ下地 （PB12.5+9.5：壁付LGS）
W6b 仕上げ下地 （PB12.5+9.5：一般LGS）

[W6aR] RC下地
[W6aC] CB下地
石膏ボード t=12.5+9.5
LGS
60
パテシゴキ
継目：ジョイント工法

断熱材打込RC造の場合
[W6aR'] RC下地
石膏ボード t=12.5+9.5
LGS
66
パテシゴキ
継目：ジョイント工法

[W6b]
石膏ボード t=12.5+9.5
LGS @450内外
W
12.5 9.5
パテシゴキ
継目：ジョイント工法

[W6cR] RC下地
[W6cC] CB下地
20
モルタル t=20

W6cR,C 仕上げ下地 （モルタル下地）
W6d 仕上げ下地 （FPB15+15：一般LGS）
W6e 仕上げ下地 （FPB21+PB12.5+9.5：一般LGS）

[W6d]
強化石膏ボードt=15+15
パテシゴキ
継目：ジョイント工法
LGS @450内外

[W6e]
強化石膏ボードt=21
石膏ボードt=12.5+9.5
パテシゴキ
継目：ジョイント工法
LGS @450内外

W7aR,C 仕上げ下地 （PB12.5：壁付LGS）
W7b 仕上げ下地 （PB12.5：一般LGS）

[W7aR] RC下地
[W7aC] CB下地
石膏ボード t=12.5
パテシゴキ
継目：ジョイント工法
LGS
60
※壁付LGS：K-ワン工法と同等品とする

[W7b]
石膏ボード t=12.5
パテシゴキ
継目：ジョイント工法
LGS @450内外
W
12.5

仕上げ末尾記号
※下記材料のうち、厚さ（t）のあるものは各仕様の寸法に加算していくものとする
W6**-X
W7**-X
仕上げ
-A：EP-U
~~-B：不燃タロス張り~~
~~-C：不燃タロス+EP-U~~
-D：特殊塗装
-E：木練付パネル（珪酸カルシウム板に練付、接着張り）t=6
-F：半磁器質タイル張り（接着張り）t=7 200□ → 厨房内装（上図F14参照）
-H：多彩塗装
-I：アルミ複合板（接着張り） t=2
A~D、Hパテシゴキ有り
E~ パテシゴキ無し

SL~SLマの場合詳細図内において"SLマア"と表記（仕上げは別）

P1 間仕切仕様1（FPB15+15両面張り）

160 (※)
15 15 W 15 15
強化石膏ボード t=15+15
パテシゴキ
継目：ジョイント工法
グラスウール 24kg/㎥ t=50
P1-X
P1-X'
SL~SLマア
P1-X
P1-X'
→仕上げ末尾記号にならう
特記ない限り（※）=160
※仕上げ厚のあるものを接着張り等する場合、厚さ（t）を加算
1h耐火
（TLD-45）

P2 間仕切仕様2（HPB9.5+FPB21+敷目板PB12.5 両面張り）

186 (※)
9.5 21 W 21
12.5 12.5 9.5
強化石膏ボード t=9.5
+強化石膏ボード t=21
+敷目板石膏ボード t=12.5
パテシゴキ
継目：ジョイント工法
グラスウール 24kg/㎥ t=50
P2-X
P2-X'
敷目板 LGS~本おきに交互に抜む
P2-X
P2-X'
SL~SLマア
→仕上げ末尾記号にならう
特記ない限り（※）=186
※仕上げ厚のあるものを接着張り等する場合、厚さ（t）を加算
（TLD-55）

P3 間仕切仕様3（PB12+9両面張り）
P3NGW 間仕切仕様3'（GWなし）

144 (※)
12.5 W 12.5
9.5 9.5
石膏ボード t=12.5+9.5
パテシゴキ
継目：ジョイント工法
グラスウール 32kg/㎥ t=50
※グラスウールなしの場合、「P3NGW-**」と表記
P3-X
P3-X'
SL~SLマア
P3-X
P3-X'
→仕上げ末尾記号にならう
特記ない限り（※）=144
※仕上げ厚のあるものを接着張り等する場合、厚さ（t）を加算

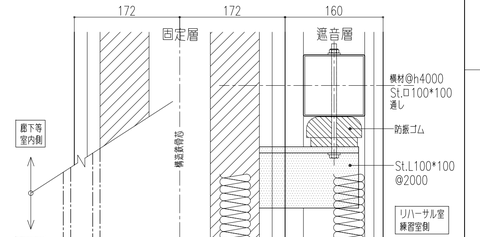
P4 間仕切仕様4 （PB12両面張り）

125 (※)
12.5 W 12.5
石膏ボード t=12.5
パテシゴキ
継目：ジョイント工法
P4-X
P4-X'
SL~SLマア
P4-X
P4-X'
→仕上げ末尾記号にならう
特記ない限り（※）=125
※仕上げ厚のあるものを接着張り等する場合、厚さ（t）を加算
1h耐火

P5 間仕切仕様5 片首施工タイプ（FPB15x3 片首張り）

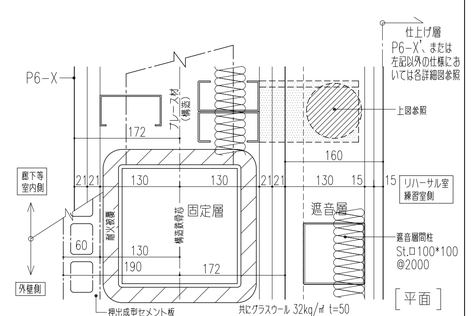
15 15 15
強化石膏ボード t=15+15+15
パテシゴキ
継目：ジョイント工法
グラスウール t=50 24kg/㎥
P5-X
45
SL~SLマア
P5-X
→仕上げ末尾記号にならう
※仕上げ厚のあるものを接着張り等する場合、厚さ（t）を加算
1h耐火

P6 間仕切仕様6 （浮室仕様）
（固定層+遮音層→リハーサル室、練習室）



固定層：強化石膏ボードt=21+21両面張り（室~室間）SL~SLマア
遮音層：石膏ボードt=15+15片面張り

P6-X
→仕上げ末尾記号にならう



※外壁側においては「外部廻り詳細図」参照

外壁面側の内断熱について：
外部に面する躯体壁面内側はポリスチレンフォームt=25打込み（柱・梁型・窓台立上り共）としサッシ取付部などの他部材との取合い部を発泡ウレタン吹付けにて補うものとする
→機械室・排煙機室・換気室、及び化粧として柱型・梁型を見せる箇所は除く

W4a+T1 (T2)
W4b+T1 (T2)
便所廻り

T1：テラソータイル張り（接着張り）
T2：大判タイル張り（接着張り）
RC下地
40
T1：テラソータイル張り（接着張り）
T2：大判タイル張り（接着張り）
CB下地
20
20
40

W7b+T1 (T2), -F
便所廻り

石膏ボード t=12.5
シージングボード t=9.5
T1：テラソータイル張り（接着張り）
T2：大判タイル張り（接着張り）
-F：半磁器質タイル張り □200
LGS @450内外
W
12.5 9.5
20

P1+T1 (T2)
便所廻り

200
20 15 100 15 20
15 15
強化石膏ボード t=15+15
T1：テラソータイル張り（接着張り）
T2：大判タイル張り（接着張り）
グラスウール 24kg/㎥ t=50
1h耐火
（TLD-45）

P4+T1 (T2)
便所廻り

184
20 12.5 100 12.5 20
9.5 9.5
石膏ボード t=12.5
シージングボード t=9.5
T1：テラソータイル張り（接着張り）
T2：大判タイル張り（接着張り）
PS,DS等と取り合う部位は片首張りとなるため、「水廻り詳細図」内平首図より読みとること

P1+T3,-F
便所廻り

200
20 15 100 15 20
15 15
強化石膏ボード t=15+15
片首：テラソータイル張り（接着張り）
片首：大判タイル張り（接着張り）
片首：-F：半磁器質タイル張り 200□
グラスウール 24kg/㎥ t=50
どちらの壁面が各々の仕上げに属するかは「水廻り詳細図」内展開図参照
1h耐火
（TLD-45）

P5+T1 (T2)
便所廻り

15 15 15 20
65
強化石膏ボード t=15+15+15
片首：テラソータイル張り（接着張り）
片首：大判タイル張り（接着張り）
1h耐火

注）：片側：便所仕様壁 ---- 片側：その他仕様壁 の場合
便所廻り

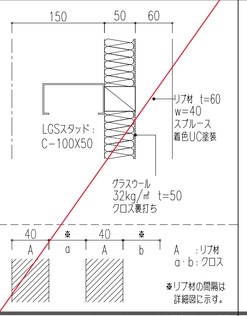
又は W6*-X / W7*-X ～ W7b+T1 (T2)

164
12.5 100 12.5 20
9.5 9.5
パブリック
W6*-X 又は W7*-X
便所側
W7b+T1 (T2)
石膏ボード t=12.5
シージングボード t=9.5
T1：テラソータイル張り（接着張り）
T2：大判タイル張り（接着張り）
グラスウール 24kg/㎥ t=50
上記ボード仕様に準ずる
※スタッドのダブルカウントに注意すること

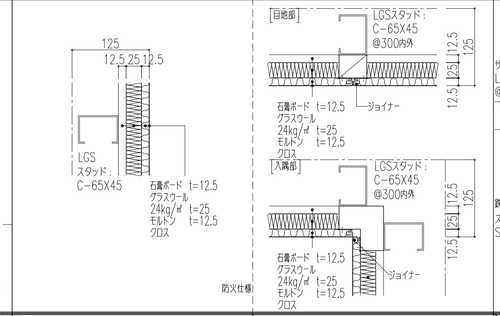
| | | |

壁

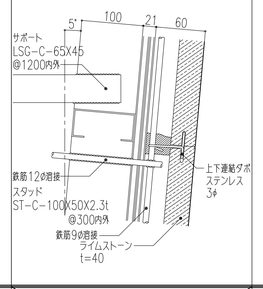
W8 リバーサル室：ホリブ吸音壁（吸音仕様）



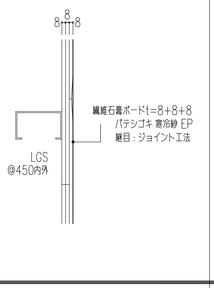
W9 練習室1：クロス巻子張り吸音壁（吸音仕様）



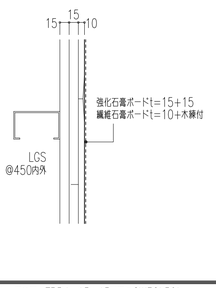
W10 ライムストーン壁 ホール



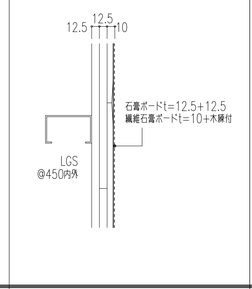
W11 繊維石膏ボード t=8+8+8 全音響吸鈔+EP ホール



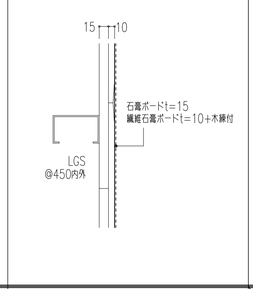
W12A FPB15+15の上、木練付パネル（繊維石膏ボードt=10下地） ホール



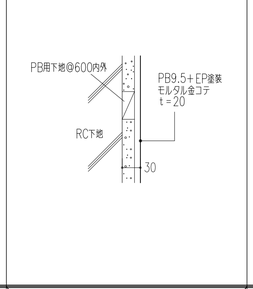
W12B PB12.5+12.5の上、木練付パネル（繊維石膏ボードt=10下地） ホール



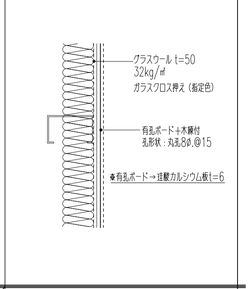
W12C PB15の上、木練付パネル（繊維石膏ボードt=10下地） ホール



W13 モルタル＋EP塗装（RC下地） ホール

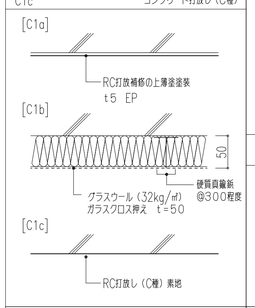


W14 吸音壁 ホール

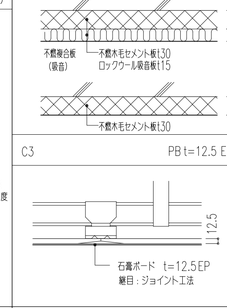


天井

C1a C1b C1c コンクリート打放し（C種）RC補修の上EP / グラスウールガラスクロス / コンクリート打放し（C種）

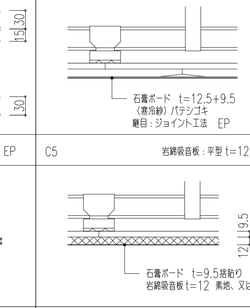


C2a C2b コンクリート打放し不燃木毛セメント板t=30打込み



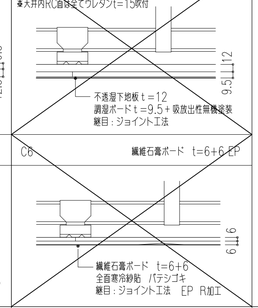
C3 PB t=12.5 EP

C4 PB t=12.5+9.5 EP



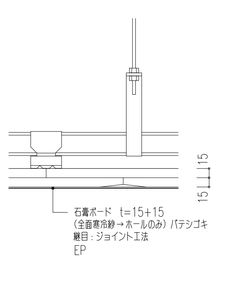
C5 岩綿吸音板：平型 t=12

C5 調湿ボード t=9.5+吸放出性無機塗装

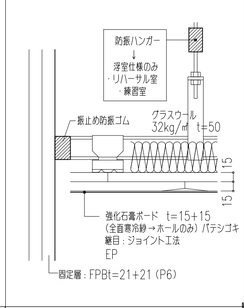


C6 繊維石膏ボード t=6+6 EP

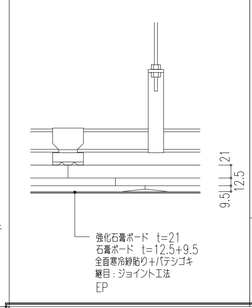
C7a PB t=15+15 全音響吸鈔+EP ホール



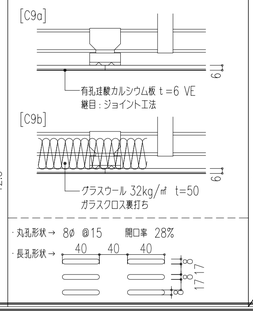
C7b 意匠層：FPB t=15+15背面にGW32k50t（浮室仕様→防振ハンガータイプ→リハーサル室、練習室）



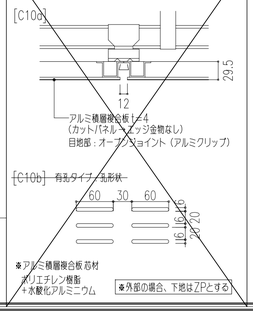
C8 FPBt=21+PBt=12.5+9.5 全音響吸鈔+EP ホール



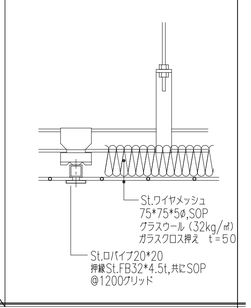
C9a C9b 有孔珪酸カルシウム板 t=6 VE（吸音仕様）



C10a C10b アルミ積層複合板 t=4 ※外部軒天共

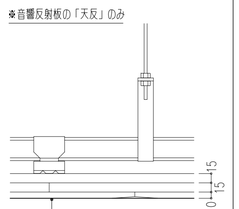


C11 ワイヤメッシュ天井

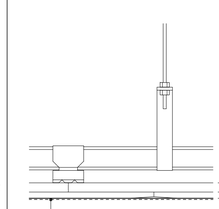


C12 繊維石膏ボードt=10+FPBt=15+15 全音響吸鈔+EP ホール

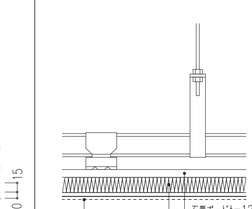
※音響反射板の「天反」のみ



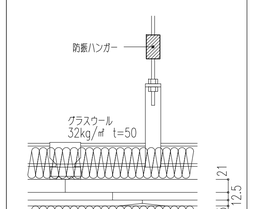
C13 PB15の上、木練付パネル（繊維石膏ボードt=10下地） ホール



C14 吸音天井 ホール

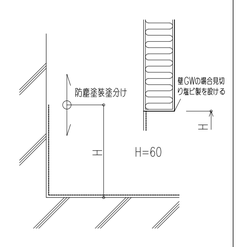


C15 FPBt21+PBt12.5+9.5 +GWGC 袖舞台（下手上部）→換気機械室SL直下のみ

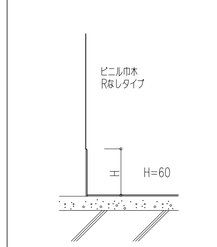


巾木

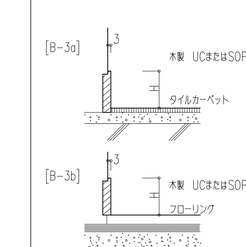
B1 防塵塗装巾木



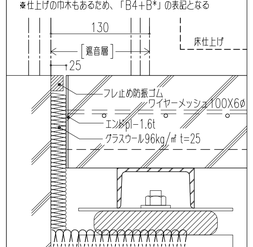
B2 ビニル巾木



B3 木製巾木

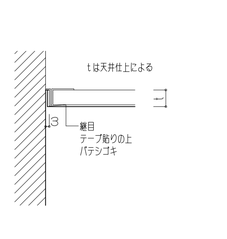


B4 下地足元遊り（浮室仕様→リハーサル室、練習室）



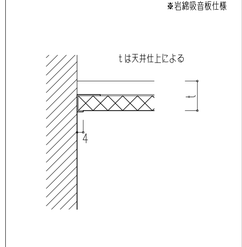
廻縁

J1 塩ビ廻縁1



J2 塩ビ廻縁2

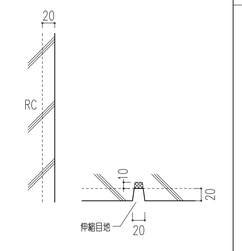
※岩綿吸音板仕様



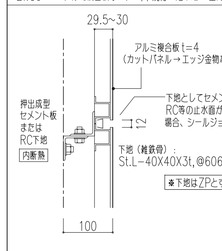
外部仕様

外壁

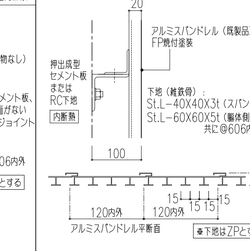
EW1 EW2 コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリア / コンクリート打放し（A種）フッ素クリア



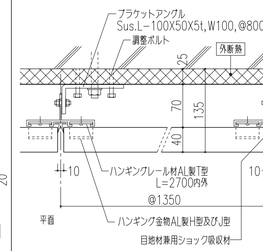
EW3a EW3b EW3c アルミ複合板 t=4 FP焼付（セメント板下地）/（RC下地）/（S下地→室内仕様）



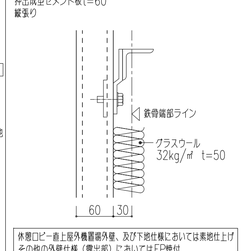
EW4a EW4b アルミスパンドレル（既製品）FP焼付（セメント板下地）/（RC下地）



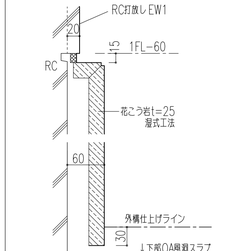
EW5 大型セラミックタイル



EW6 押出成型セメント板

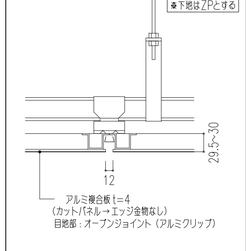


EW7 花こう岩

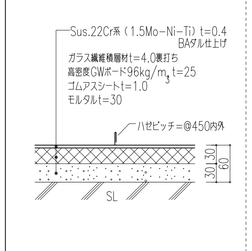


軒天

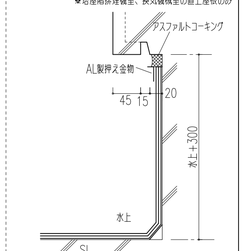
EC1 アルミ複合板 t=4 FP焼付 （S下地）



ER1 ステンレス屋根（竪ハゼ岩綿工法）

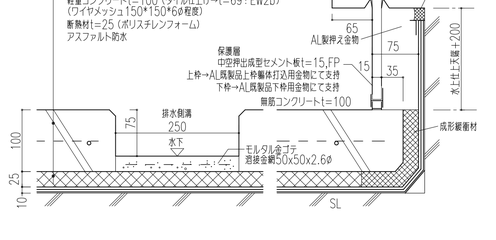


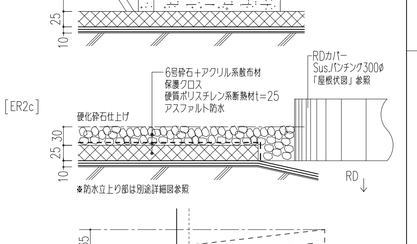
ER3 改質アスファルト露出防水

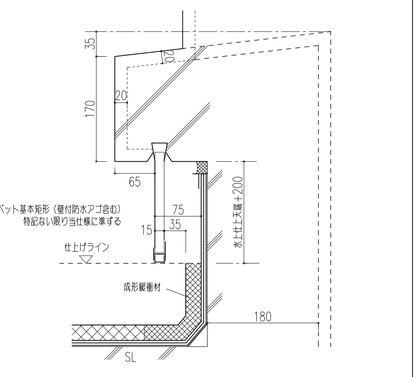


屋根・外部床

ER2a 陸屋根（アスファルト防水） 押えコン仕上げ →側溝集水
ER2b 陸屋根（アスファルト防水） 磁器質タイル仕上げ →側溝集水
ER2c 陸屋根（アスファルト防水） 硬化砂石仕上げ →ポイント集水
※下記以外は各詳細図による

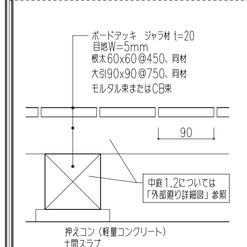






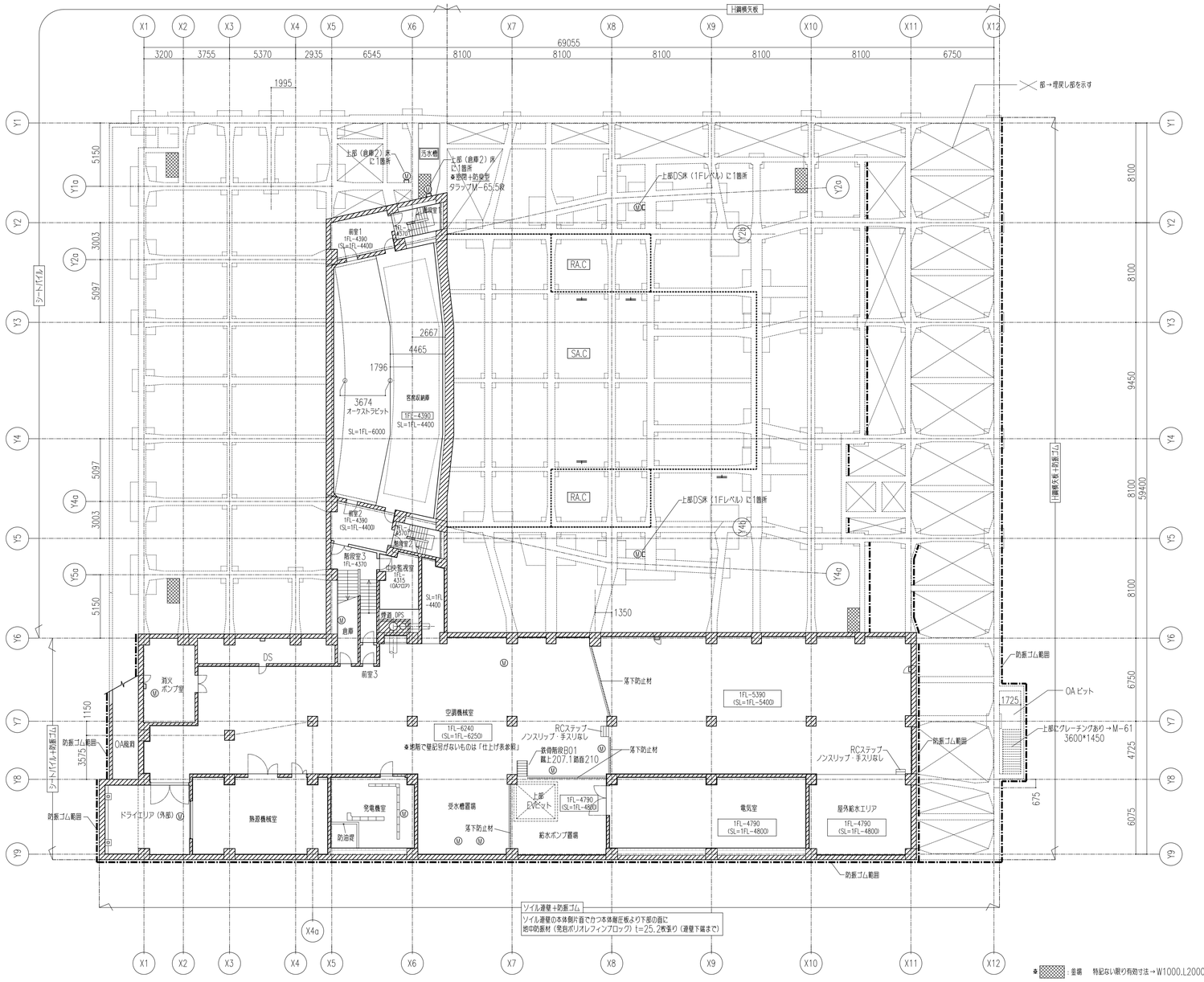
床

EF1 ボードデッキ床

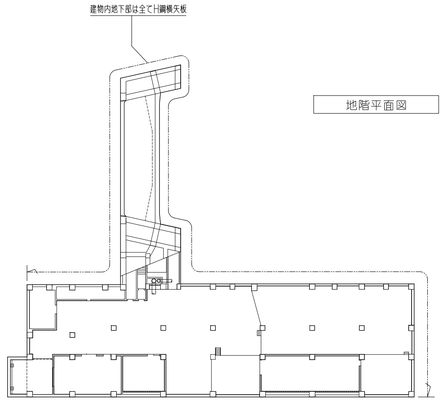


宮浦公園
ベンチ
▽+2.50
飛石園路
座標北
バーキングtotal＝106（サービス含む）
児童遊園
水遊広場
芝生広場
ボスク
駐輪場
40台
遊具
砂場
ベンチ
▽+1.26
▽+1.49
▽+1.72
▽+1.72
東エントランス
▽+1.70
▽+1.70
▽+1.72
4950
2000
8000
3000
アプローチプラザ
点字鋲（注意喚起用）
ポプラ
車寄せ
身体障害者用駐車場
3台
車両通時出入口
+1.00
山陽新幹線高架橋
X12
北エントランス
+1.760
北プラザ
中庭1
中庭2
▽+1.70
4400
サブエントランス
車寄せ
2900
バス停
バス停
駐車場−1
44台
▽+1.70
+1.60
4400
点字鋲（誘導用）
駐車場−2
47台
南側アプローチ
▽+1.70
X1
+1.60▽
+1.70▽
2000
屋外機置場
（別棟）
既存
トイレ
+1.60▽
北側アプローチ
+1.70▽
2500
搬入口
+0.08
3500
サービスヤード
12台（身体障害者用1台含）
600
駐輪場
20台
2000
+1.20
3.1%
+0.21
+0.08
+1.20
+1.10
18.470
街角広場
外周歩道
バス停
都市計画道路（宮沖新倉線）
67.025
バス停
グラウンド
（臨時駐車場）
Y1
Y9

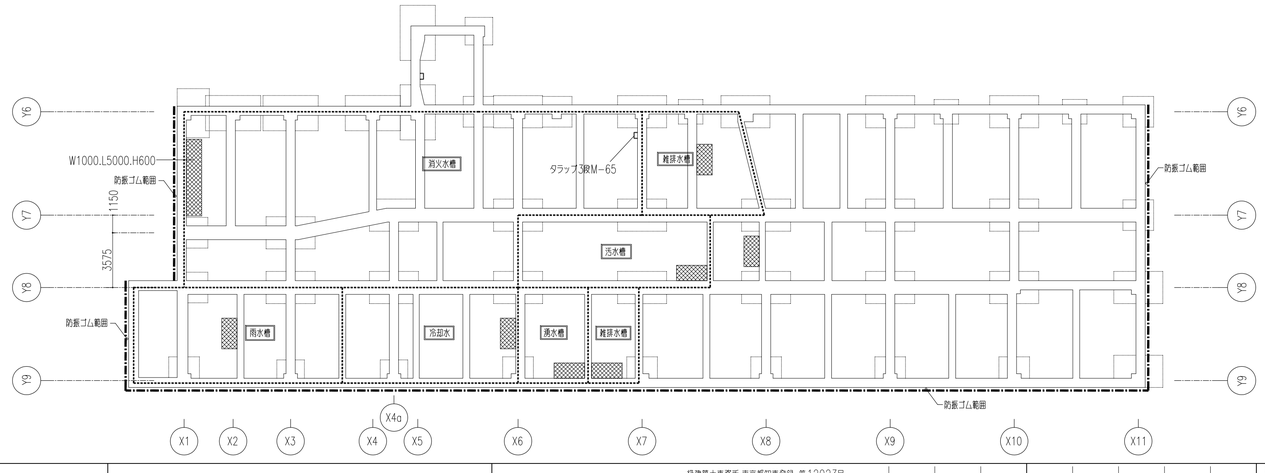
工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	年月日 2005年 5月	図面名称 配置図	縮尺 1:300	ファイル名称 A12Gp-LS02	図面番号 A−12



建物内地下部は全て汁鋼横矢板



地階平面図



機械室下ピット伏図

＊ ▨ : 壁筋　特記ない限り有効寸法→W1000.L2000.H600
＊ Ⓜ : マンホール600φ、鋳鉄製密閉型;M-50
＊ RA,C : RAチャンバー
＊ SA,C : SAチャンバー
＊ ▬・▬・▬ : 防振ゴム範囲→土に接する地中壁首（矩断／断首詳細図と合せて参照）
＊ ⊔ : タラップ

工事名称			年月日	図首名称	縮尺	ファイル名称	図首番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所　一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦		2005年 5月	地階平面図	1:200	A13Gp-BF_070910	A-13

■ 屋外出入口の必要合計幅員（広島県建築基準法施工条例による）
ホール1階客席＝624.14㎡（＞2階客席：297.62㎡＋2階リハーサル室（平土間客席）：139.6㎡）
5.78+3.56+1.21=10.55＞624.14㎡／10㎡*15cm＝9.36m：ok
主要な出口=5.78+3.56=9.32＞10.55/2=5.275：ok

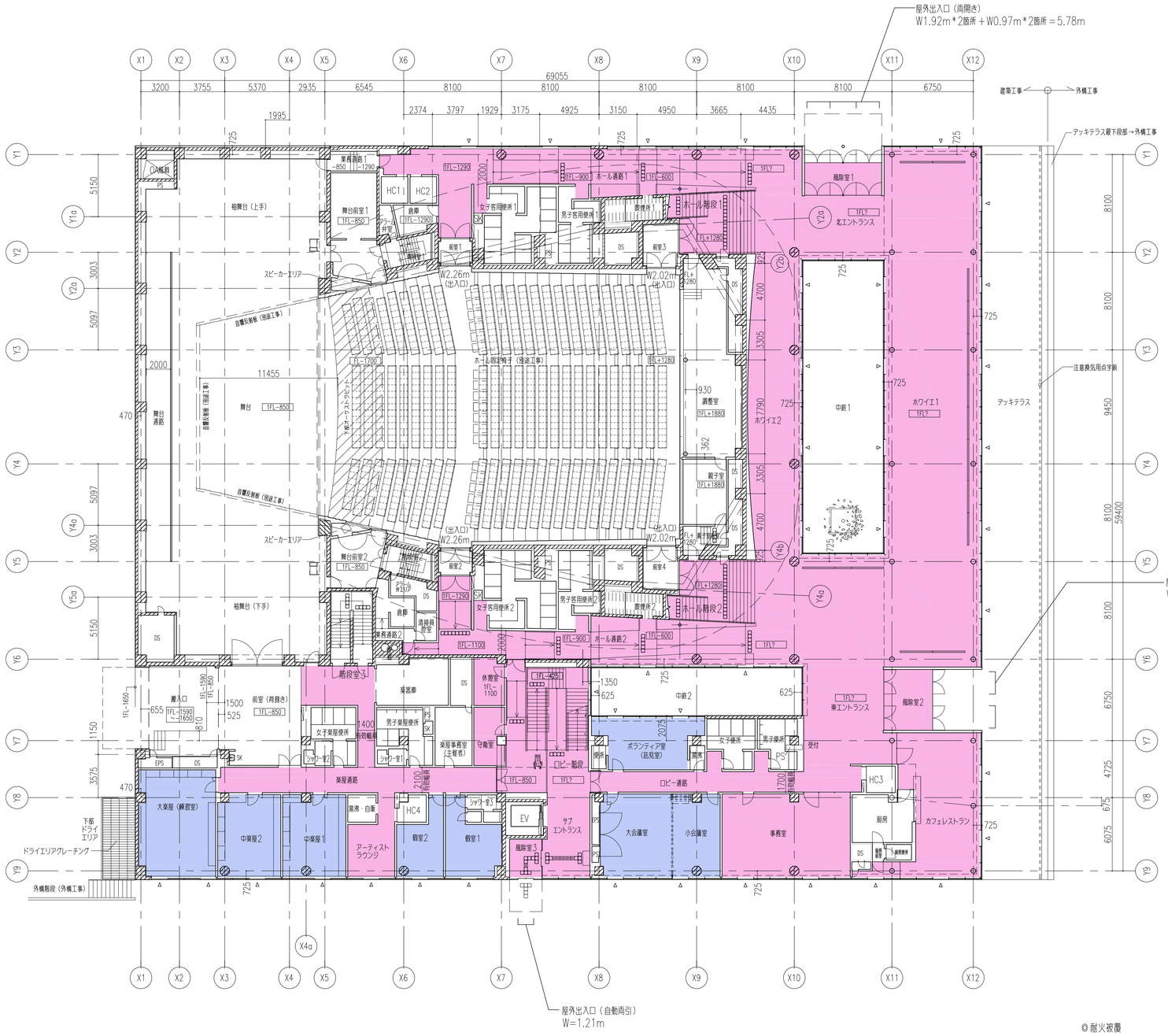
■ 階段全般・庇下・スロープの幅員は詳細図で示すこととする

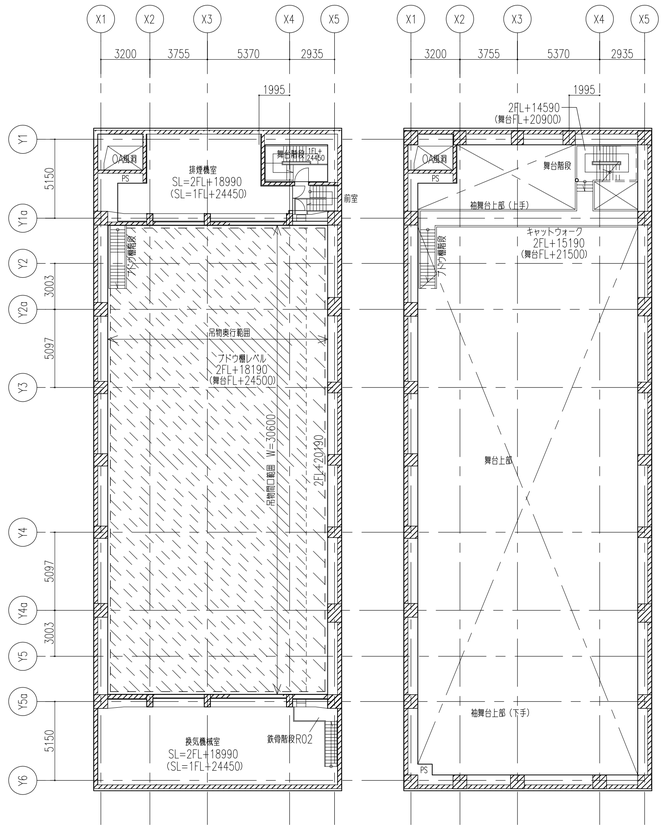
■ 客用階段（直通階段）の必要合計幅員（広島県建築基準法施工条例による）
・ホールゾーン
ホール2階客席＝297.62㎡により
297.62㎡／10㎡*15cm*0.5＝2.23m
ホール階段1：W＝1.95m
ホール階段2：W＝1.95m
計3.90m＞2.23m：ok
※ ホール階段3,4は2階客席上部から2階FLに達するための階段である。
ホール階段3：W＝1.56m
ホール階段4：W＝1.56m
計3.12m
2階客席上部に2階客席と同面積のフロアがあると想定した場合の数値＝2.23より大のためok

・リハーサル室ゾーン
2階のリハーサル室（平土間客席）＝139.6㎡により
139.6㎡／10㎡*15cm*0.5＝1.04m
ロビー階段：W＝1.70m
階段室3：W＝1.43m
計3.13m＞1.04m：ok

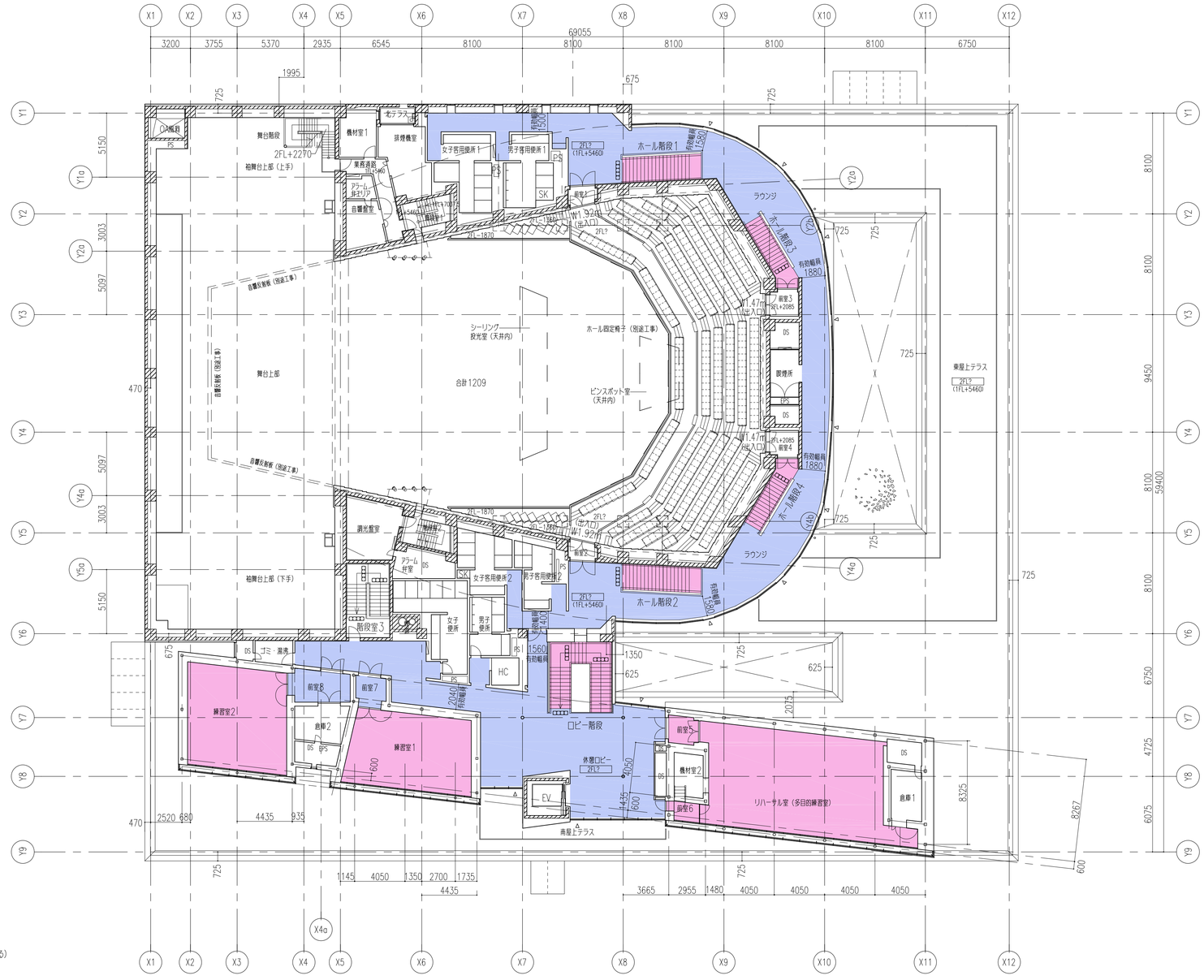
■ ホール客席出入口の必要合計幅員（広島県建築基準法施工条例による）
ホール1階客席624.14㎡、2階客席：297.62㎡により
（624.14㎡+297.62㎡）／10㎡*15cm＝13.8m
1階客席：W2.26m*2箇所+W2.02m*2箇所＝計8.56m
2階客席：W1.92m*2箇所+W1.47m*2箇所＝計6.78m
計15.34m＞13.8m：ok

■ リハーサル室出入口の必要合計幅員（広島県建築基準法施工条例による）
139.6㎡／10㎡*15cm＝2.09m
W1.58m*1箇所+W0.81m*1箇所＝計2.39m＞2.09m：ok





フトウ棚レベル平面図　　キャットウォークレベル平面図



■ 階段全般・廻下・スロープの幅員は詳細図で示すこととする

■ 客用階段（直通階段）の必要合計幅員（広島県建築基準法施工条例による）

・ホールゾーン

ホール2階客席＝297.62㎡により

297.62㎡／10㎡*15cm*0.5＝2.23m

ホール階段1：W=1.95m
ホール階段2：W=1.95m
］計3.90m > 2.23m : ok

※ ホール階段3,4は2階客席上部から2階FLに達するための階段である。
ホール階段3：W=1.56m
ホール階段4：W=1.56m
］計3.12m
2階客席上部に2階客席と同音構のフロアがあると想定した場合の数値＝2.23より大のためok

・リハーサル室ゾーン

2階のリハーサル室（平土間客席）＝139.6㎡により

139.6㎡／10㎡*15cm*0.5＝1.04m

ロビー階段：　W=1.70m
階段室3：　W=1.43m
］計3.13m > 1.04m : ok

■ ホール客席出入口の必要合計幅員（広島県建築基準法施工条例による）

ホール1階客席624.14㎡、2階客席：297.62㎡により

(624.14㎡+297.62㎡)／10㎡*15cm＝13.8m

1階客席：W2.26m*2箇所＋W2.02m*2箇所＝計8.56m
2階客席：W1.92m*2箇所＋W1.47m*2箇所＝計6.78m
］計15.34m > 13.8m : ok

■ リハーサル室出入口の必要合計幅員（広島県建築基準法施工条例による）

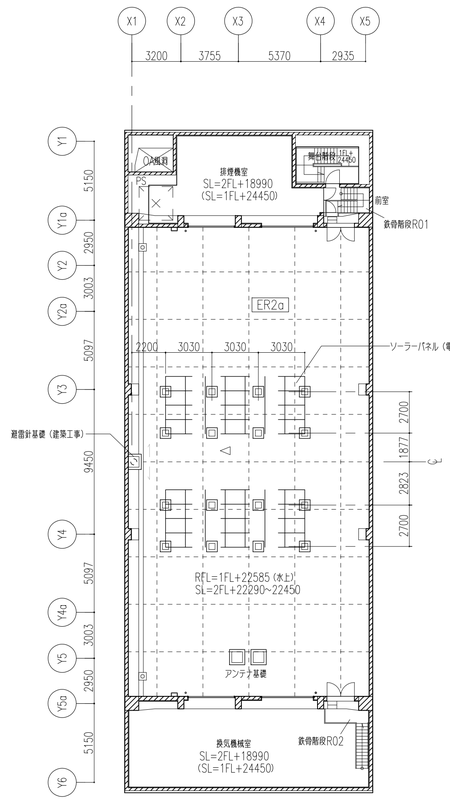
139.6㎡／10㎡*15cm＝2.09m

W1.58m*1箇所＋W0.81m*1箇所＝計2.39m > 2.09m : ok

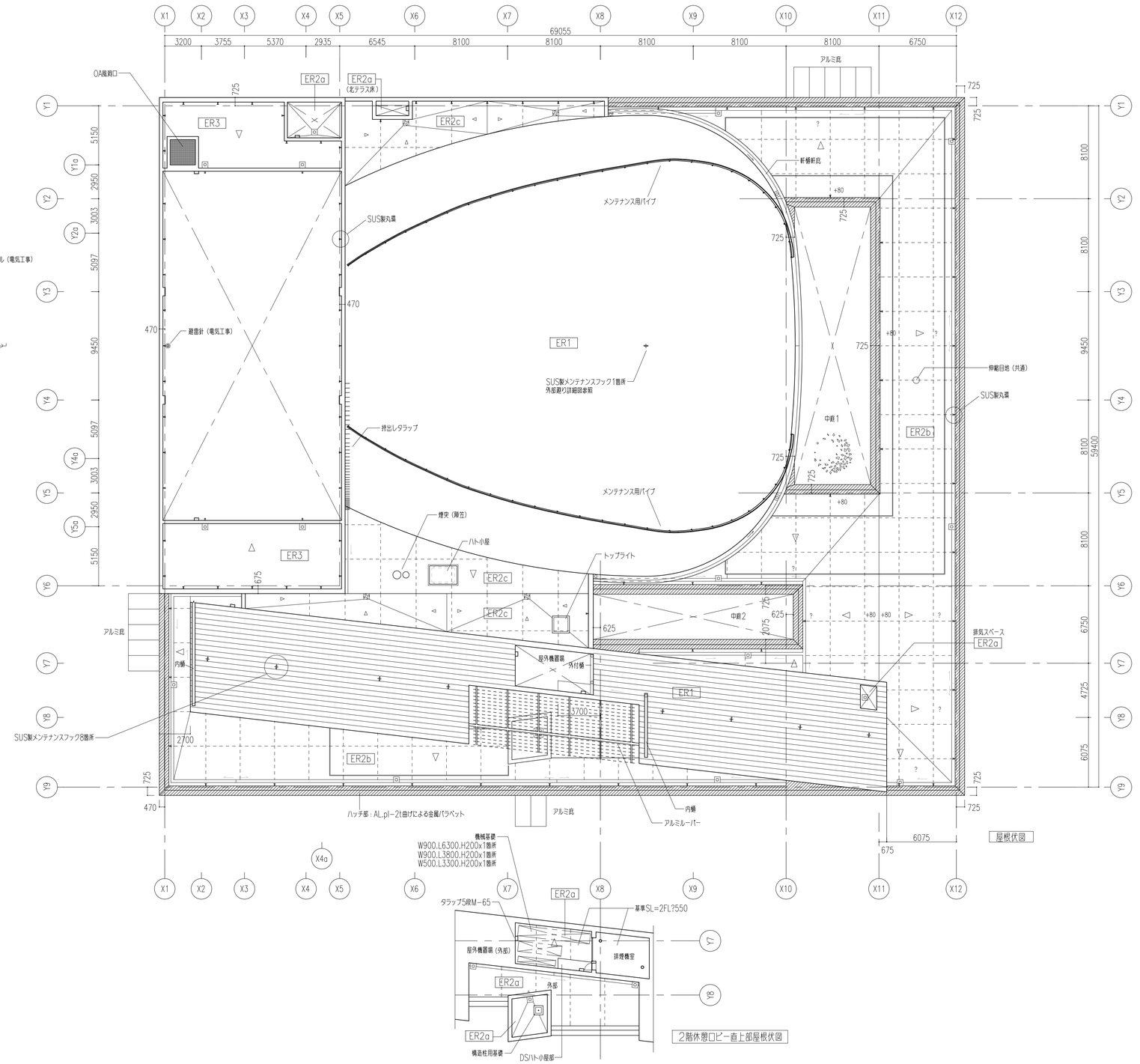
◎耐火被覆
- ◎仕　様：ロックウール＋セメント、湿式吹き付け工法
- ◎施工箇所：原則として耐火被覆が必要な隠蔽部の鉄骨
- ◎耐火性能：1時間耐火

◎耐火塗料
- ◎仕　様：発泡性耐火被覆
  大臣番号：柱：国住指第930号FP060CN-9472
  梁：国住指第931号FP060BM-9419
- ◎施工箇所：鉄骨丸柱
- ◎耐火性能：1時間耐火

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所　一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号　一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦		2005年 5月	2階／舞台上部平面図	1:200	A15Gp-2PHF_070912	A-15



塔屋階平面図



屋根伏図

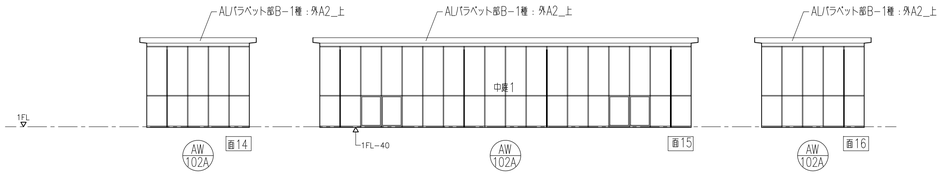
ER1	ステンレス屋根（竪ハゼ巾接工法）
ER2a	陸屋根（アスファルト防水） 押えコン仕上げ
ER2b	陸屋根（アスファルト防水） 磁器質タイル仕上げ
ER2c	陸屋根（アスファルト防水） 硬化砕石仕上げ
ER3	改質アスファルト露出防水

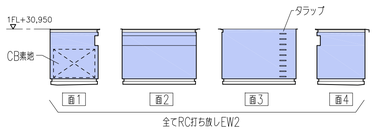
2階休憩口ピー直上部屋根伏図

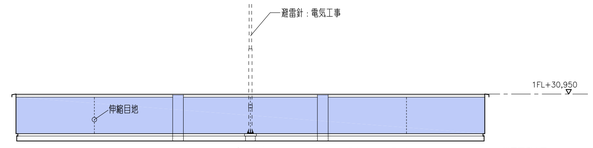
工事名称	三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）		株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 櫻 文彦		年月日	2005年 5月	図面名称	屋根伏図	縮尺	1:200	ファイル名称	A16Gp−RF	図面番号	A−16

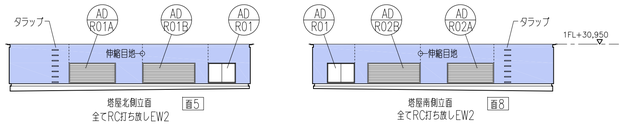
注：●外A**、外B**、外C**の記号は「外部廻り詳細図」内の記号を示す
●上記以外の記号は「仕上仕様図1,2」内の記号を示す

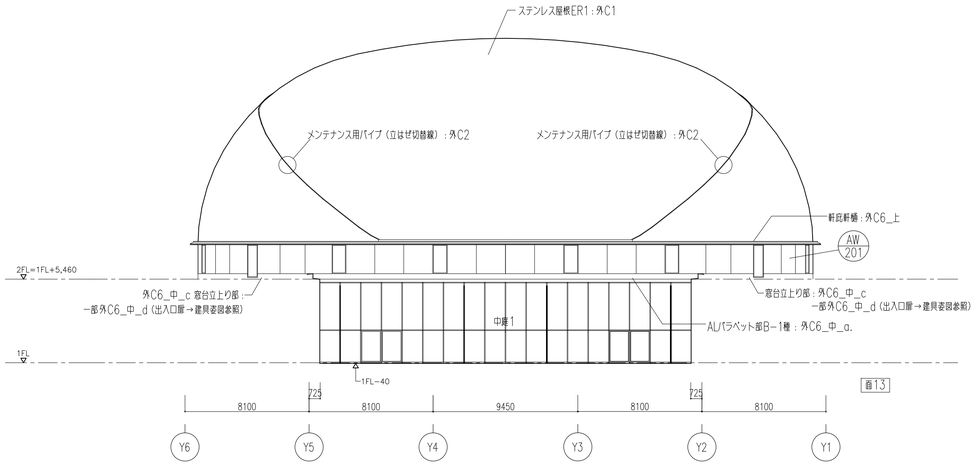
EW1	コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリア
EW2	コンクリート打放し（A種）フッ素クリア
EW3a	アルミ複合板t=4 FP焼付（セメント板下地）
EW3b	アルミ複合板t=4 FP焼付（RC下地）
EW3c	アルミ複合板t=4 FP焼付（ST下地）
EW4a	アルミスパンドレル（セメント板下地）
EW4b	アルミスパンドレル（RC下地）
EW5	大型セラミックタイル
EW6	押出成型セメント板
EW7	花こう岩
	※記号は「外部仕上仕様図」に準ずる
	※建具記号においては「建具姿図」参照

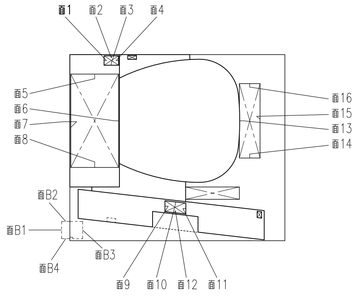


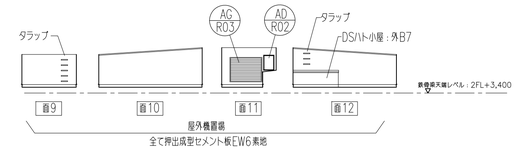


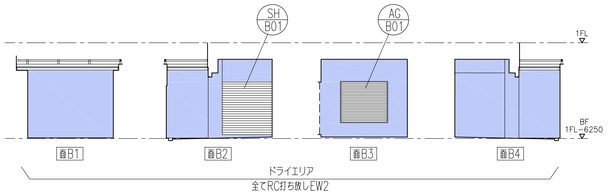


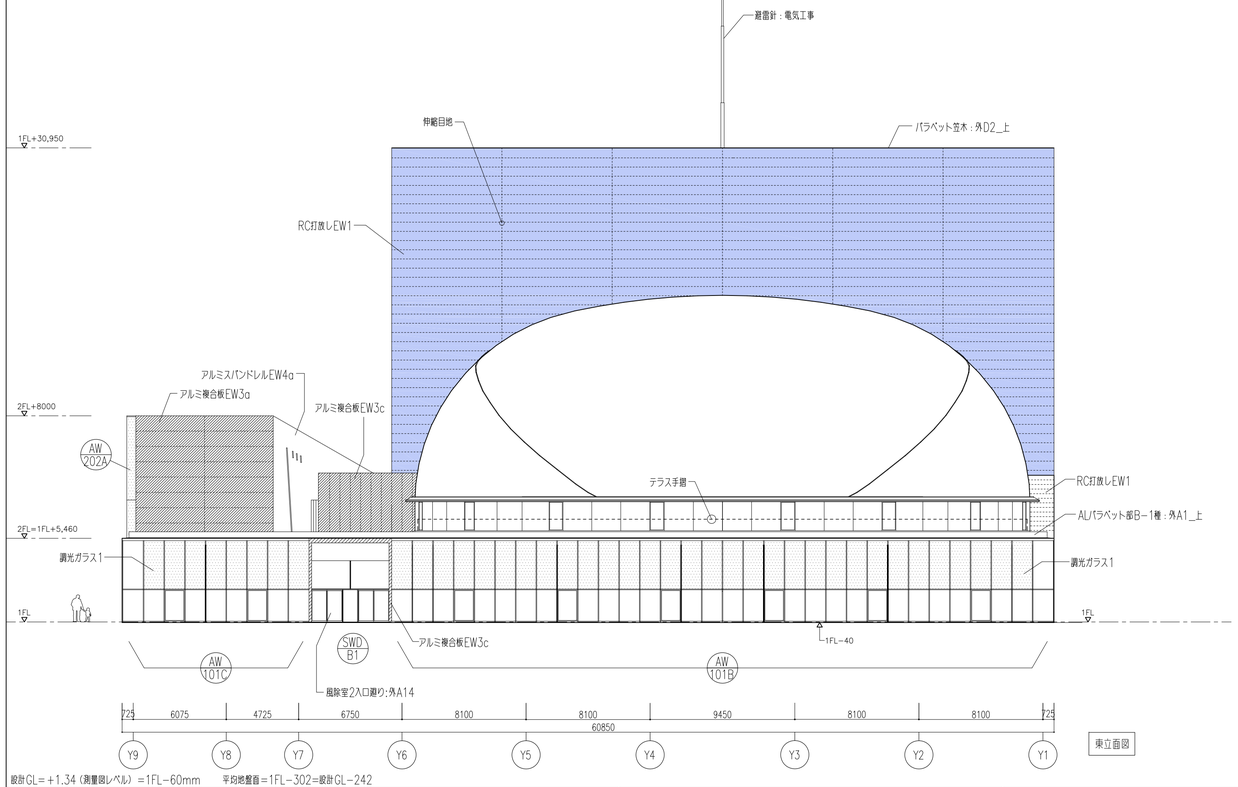


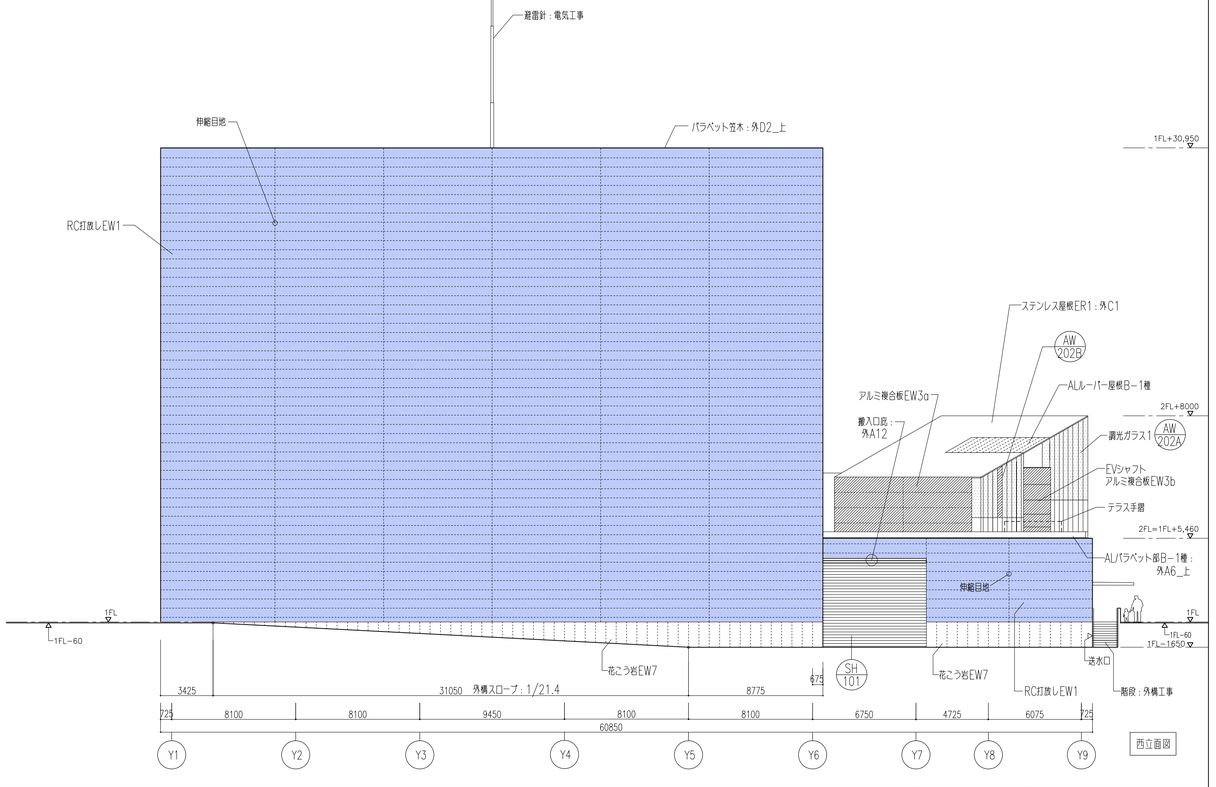










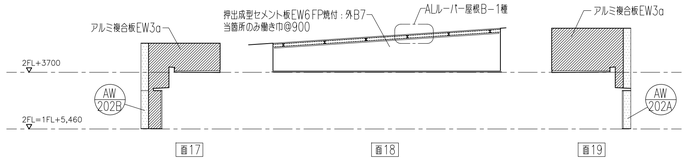


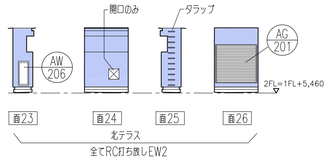
設計GL＝＋1.34（測量図レベル）＝1FL−60mm　平均地盤面＝1FL−302＝設計GL−242

工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	年月日 2005年 5月	図面名称 立面図1　東西面	縮尺 1/200	ファイル名称 A17−18Ge−E−org	図面番号 A−17

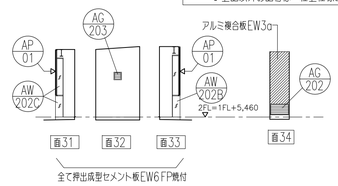
注：●外A**、外B**、外C**の記号は「外部廻り詳細図」内の記号を示す
●上記以外の記号は「仕上仕様図1,2」内の記号を示す

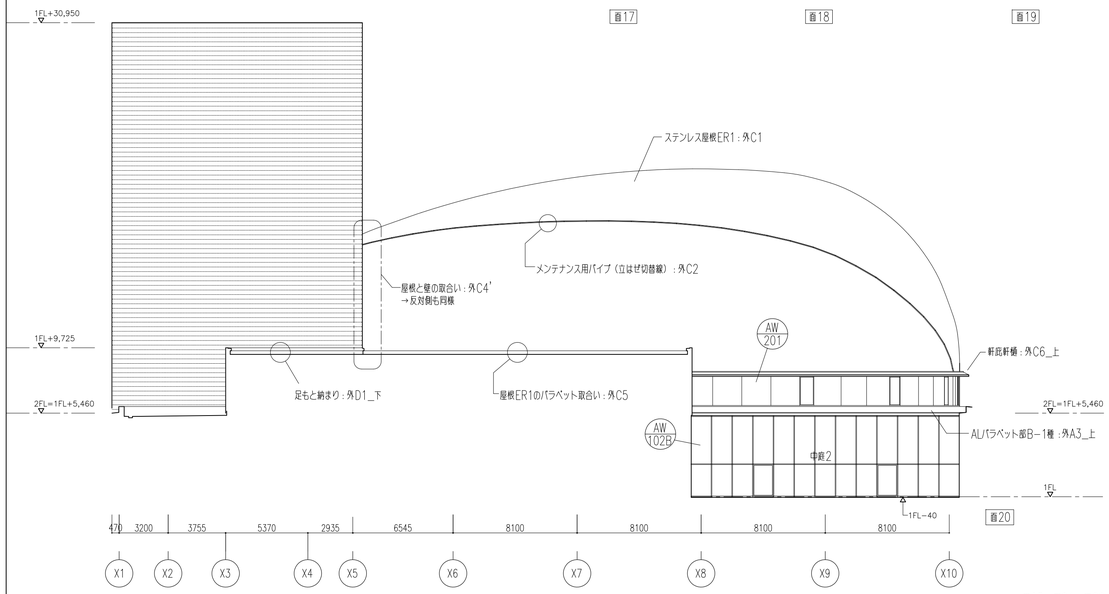
EW1	コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリア
EW2	コンクリート打放し（A種）フッ素クリア
EW3a	アルミ複合板t=4FP焼付（セメント板下地）
EW3b	アルミ複合板t=4FP焼付（RC下地）
EW3c	アルミ複合板t=4FP焼付（S下地）
EW4a	アルミスパンドレルFP焼付（セメント板下地）
EW4b	アルミスパンドレルFP焼付（RC下地）
EW5	大型セラミックタイル
EW6	押出成型セメント板
EW7	花こう岩
	※記号は「外部仕上仕様図」に準ずる
	※建具記号においては「建具姿図」参照



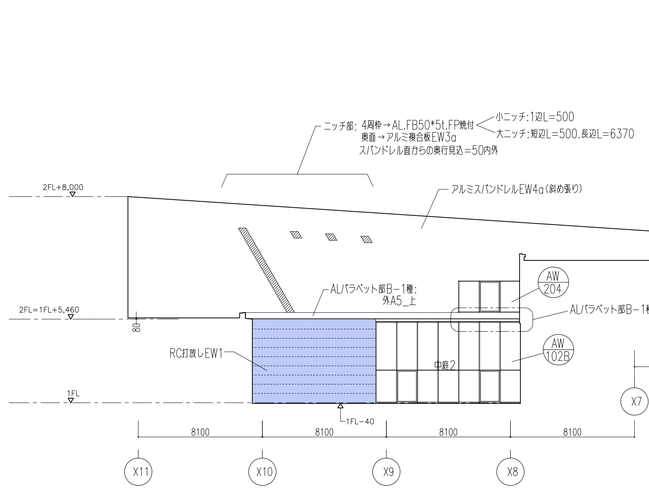


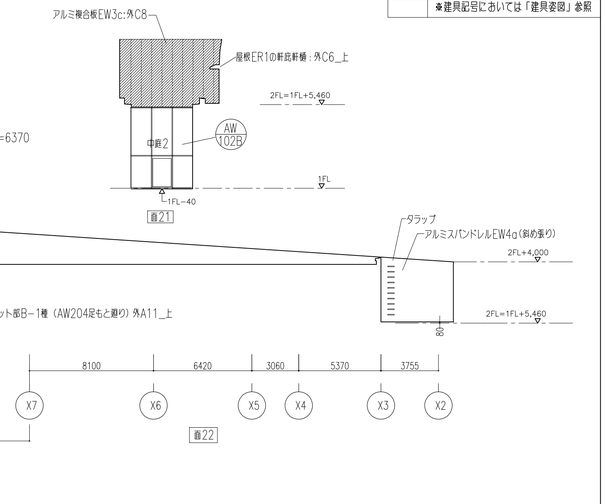


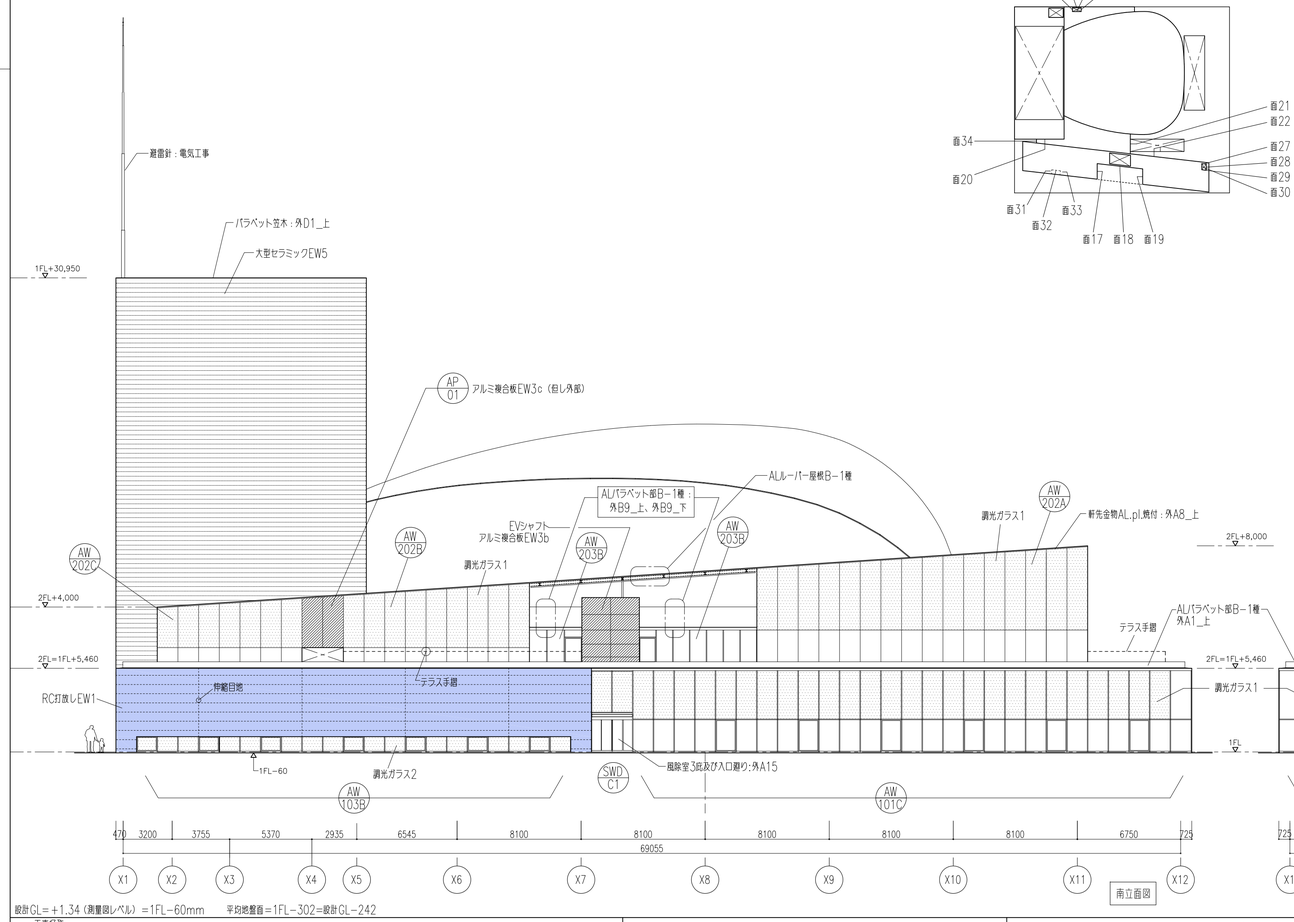


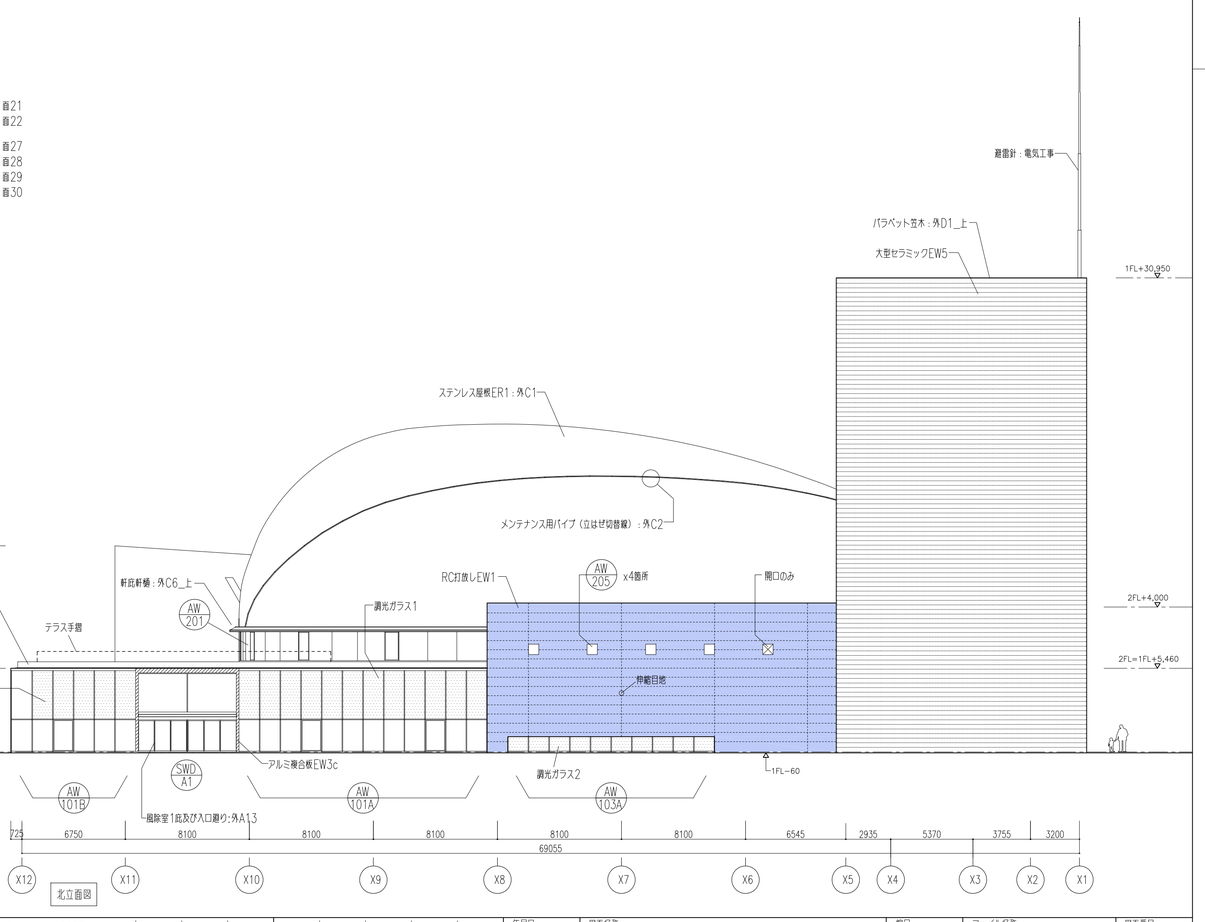












設計GL＝＋1.34（測量図レベル）＝1FL−60mm　　平均地盤面＝1FL−302＝設計GL−242

工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦			年月日 2005年 5月	図面名称 立面図2　南北面

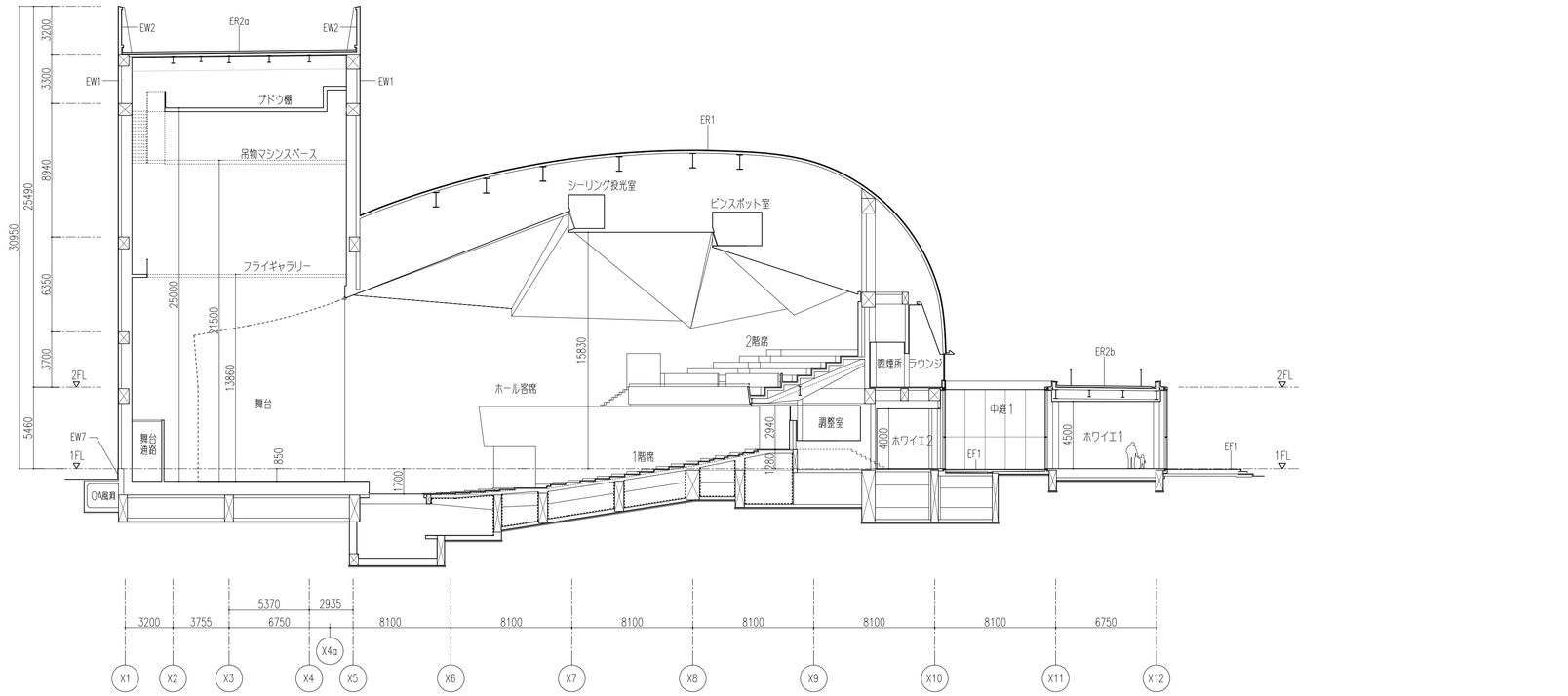
縮尺	ファイル名称	図面番号
1/200	A17−18Ge−E−org	A18

EW1	コンクリート打放し（杉板型枠）フッ素クリア
EW2	コンクリート打放し（A種）フッ素クリア
EW3a	アルミ複合板t＝4 FP焼付（セメント板下地）
EW3b	アルミ複合板t＝4 FP焼付（RC下地）
EW3c	アルミ複合板t＝4 FP焼付（S下地）
EW4a	アルミスパンドレル（セメント板下地）
EW4b	アルミスパンドレル（RC下地）
EW5	大型セラミックタイル
EW6	押出成型セメント板
EW7	花こう岩

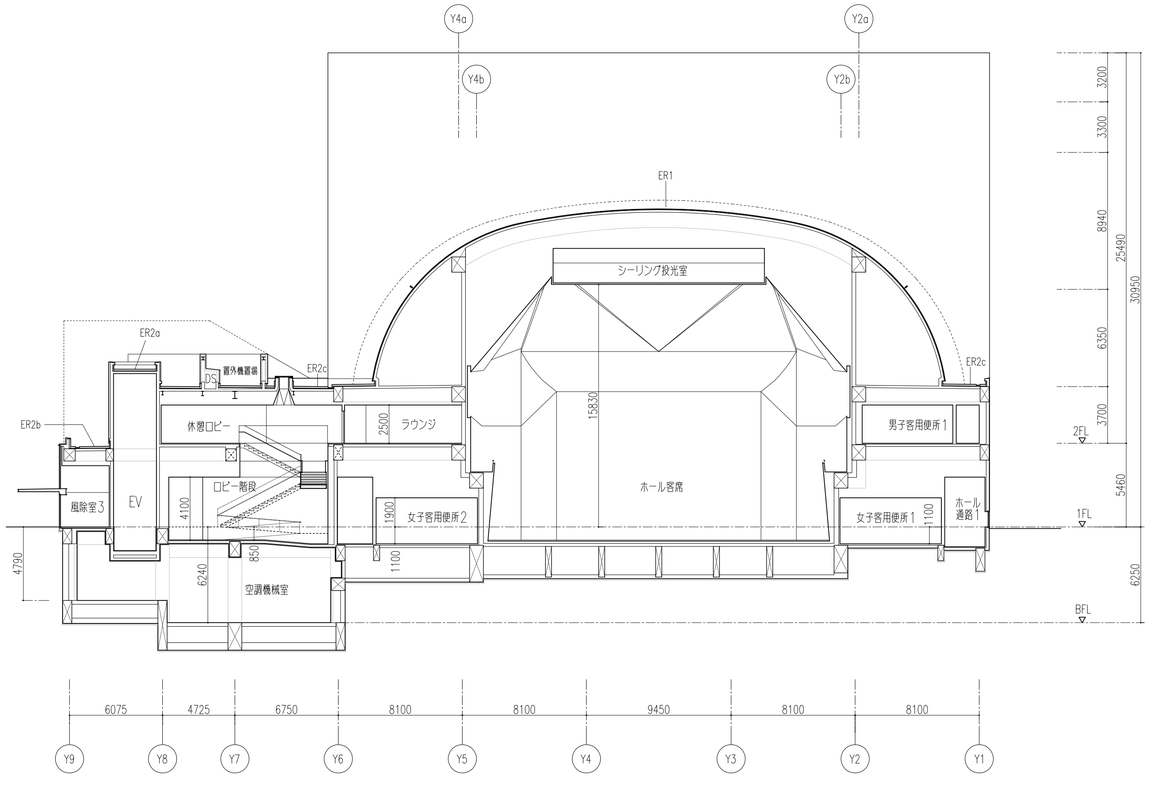
ER1	ステンレス屋根（竪ハゼ溶接工法）
ER2a	陸屋根（アスファルト防水）押えコン仕上げ
ER2b	陸屋根（アスファルト防水）磁器質タイル仕上げ
ER2c	陸屋根（アスファルト防水）硬化砕石仕上げ
ER3	改質アスファルト露出防水

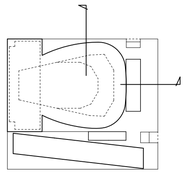
EF1	ボードデッキ

長手（西－東）断面図



短手（南－北）断面図





工事名称		株式会社	年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		槇総合計画事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	断面図	1:200	A19Gs-01	A－19

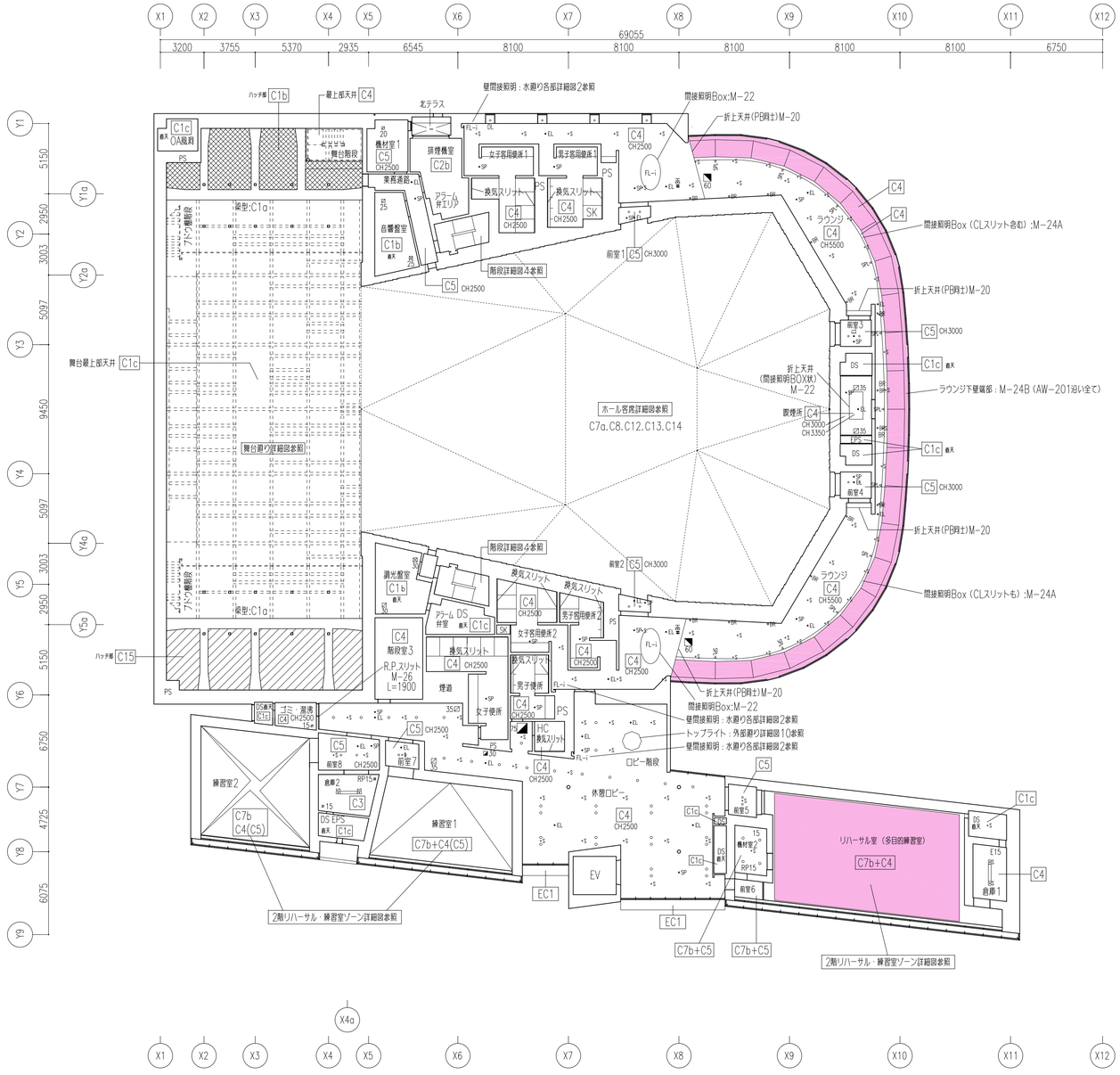


建築工事	
記号	仕上げ
EC1	アルミ複合板t4 FP焼付
C1a	RC打放し補修 EP
C1b	GW32kgt50GC
C1c	RC打放しC種
C3	PB12.5 EP
C4	PB12.5+9.5 EP（全面寒冷紗においては仕上げ表参照）
C5	岩綿吸音板　素地またはEP
C7a	PB15+15寒EP
C7b	FPB15+15背面にGW32ｋｇ（防振ハンガー）
C8	FPB21+PB12.5+9.5寒EP
C9a	SCB t6 VE
C9b	SCB−P t6 VE背面にGW32kgt50
C11	St.ワイヤメッシュ　75x75x5ø,SOP GW32kgt50GC
C12	FPB15+15+FRG10寒EP
C13	PB15+FRG10木練付
C14	PB12.5+GWボード25GC+SCB−P6木練付
C15	FPB21+PB12.5+9.5GWGC（防振ハンガー）

その他
RT−**：防煙垂壁　　建具表・建具位置図参照
点検口：M−14　サイズ450x450、1,2階合わせて計60箇所
便所内換気スリット：水廻り詳細図参照

設備器具（すべて別途工事）			
記号	器具名称	開口補強	開口サイズ
▨	吸込口	○	図面による(例：25は250x250mm)
▩	吹出口	○	図面による(例：25は250x250mm)
◪	排煙口	○	図面による(例：25は250x250mm)
▢	カセット型空調	○	特記なき限り950x950mm
═	BL	○	2000Lx100D
○	ダウンライト	—	アジャスタブルDLは要開口補強
○PDL	ペンダントライト	—	
▭	蛍光灯（埋め込み）	○	200x1250mm
FL	蛍光灯	—	
-i	間接照明	○	
LD	ライティングダクト	○	
SPL◁	スポットライト	—	
⊖BR	ブラケット照明	—	
○EL	非常用照明	—	
⋈BH	避難口誘導灯	—	
⊗CP	通路誘導灯	—	
○SP	スピーカー	—	
○S	スプリンクラー	—	

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	1階天井伏図	1:200	A20Cp−1F_070703	A−20


X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12
3200 3755 5370 2935 6545 8100 8100 8100 8100 8100 6750
69055
Y1 Y1a Y2 Y2a Y3 Y4 Y4a Y5 Y5a Y6 Y7 Y8 Y9
5150 2950 3003 5097 9450 5097 3003 2950 5150 6750 4725 6075
X4a
C1c OA風呂
C1b
C4
C5 CH2500
C5 CH3000
C4 CH2500
C4 CH5500
C4 CH3000
C4 CH3350
C4 CH2500
C4 CH2500
C4 CH2500

axis.Y8~Y7 SEC.

X1 X2 X3 X4 X4a X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12

リハーサル・練習室、休憩ロビーゾーン屋根の鉄骨小屋組（構造梁）は、梁下端＞2FL＋4000の部位において耐火被覆なし

屋外機トップ：h2200

床：コンクリートER2a
SL水下レベル：2FL+3,600
（SL水上レベル：2FL+3,640）
※水勾配→SL天端フカシによる
→SL天端のフカシ厚＝t50~t90

屋根：ステンレス屋根ER1

外B5_上　外B4_上　外B2_上　外B1_上　外B1_下　外B5_下

外壁：セメント板EW6
外付梁
外壁：EW6
必要有効高さ
排煙機室直上の構造梁
耐火被覆あり
（RW吹付）
排煙機室
屋外機置場

屋根：ステンレス屋根ER1
675
Level Point
屋外笠
側面にAG-R04
→別途詳細図参照
外壁：アルミ複合板 EW3a

鉄骨梁天端レベル：2FL+3,400
鉄骨天端2FL-225
屋上テラス床：タイルER2b
外A1_上
外A1_下

内樋　970
外壁：アルミ複合板EW3a
屋外テラス床：タイルER2b
SL=2FL-270（水下）
※水勾配→SL天端フカシによる
外B2_下_a
2520
4000
← 1/100

練習室2
別途詳細図参照
床：タイルカーペットF5a
倉庫3
床：ビニル床シート F7-V
練習室1
別途詳細図参照
床：フローリングF5a
床：タイルカーペットF3b
休憩ロビー
天井：C4
DS
機材室2
床F7
リハーサル室（多目的練習室）
別途詳細図参照
床：フローリングF5a
倉庫1
床：ビニル床シート F5c

2FL
1FL
外A6_上
外壁：RC打放しEW1
外壁：花崗岩EW7
5460
1450
150
8050

天井：C5
天井：C4
大楽屋（練習室）
楽屋通路
SW-106
4100
3700
天井：C1b
※梁型はGWなし→C1c
独立柱・柱型・梁型：全てW1c
空調機械室
床：タイルカーペットF3b
床：フローリングF4
床：RC直均しF1a
OA間仕切
防振ゴムt25*2
W2a
4290
側溝
消火水槽
活水槽
水抜き塩ビパイプ40ø

ロビー階段
階段詳細図参照
ロビー通路
回転式防煙垂壁
RT-103
天井：C4
3750
床：フローリングF4
天井：C4高
4000
乗エントランス
675（サッシヅラ）
カフェレストラン
4500
725（サッシヅラ）
675（サッシ筋）
グレーチング床 M-61
340
1450
725 OA
450
1750
5390
6240
8000
5460
B1FL
SL=楽天=1FL-5400
B1FL
SL=楽天=1FL-6250

axis.Y8~Y7 SEC.

ALルーバー部
→別途詳細図参照

屋根：コンクリートER2a
SL水下レベル：2FL+3,550
（SL水上レベル：2FL+3,595）
※水勾配→SL天端フカシによる
屋根：ステンレス屋根ER1
外壁：アルミ複合板 EW3a
外B10_上
外B10_中
外B10_上
2700
屋根：コンクリートER2a
外壁：セメント板EW6
→当該箇所においては撤去中900
鉄骨梁天端レベル：2FL+3,400
外壁：アルミ複合板 EW3a
内樋
外B2_上
2FL+4845
（パラペット天端）
外B2_下_b
オーバーヘッド
675
Level Point
外壁：アルミ複合板 EW3a
屋上テラス床：タイルER2b
鉄骨天端2FL-225
外A1_上
外A1_下

axis.Y8~Y7SEC.
axis.Y9~Y8SEC.

内樋　970
外壁：アルミ複合板EW3a
屋外テラス床：タイルER2b
SL=2FL-270（水下）
※水勾配→SL天端フカシによる
2520
4000
← 1/100

練習室2
別途詳細図参照
床：フローリングF5a
DS・EPS
床：直均し F1a
練習室1
別途詳細図参照
床：フローリングF5a
休憩ロビー
天井：C4
4080
物室6
2500
リハーサル室（多目的練習室）
別途詳細図参照
床：フローリングF5a

2FL
1FL
外壁：RC打放しEW1
外壁：花崗岩EW7
グレーチング M-62
パリカー M-62
5460
1400
1100
地下700相当

天井：C5
天井：C4
大楽屋（練習室）
中楽屋2
中楽屋1
個室2
個室1
アーティスト ラウンジ
床：織じゅうたんF9
床：タイルカーペットF3b
床：F3b
3700
4000
EV昇降路
昇降路内：W1c
防水材入りモルタル
EVピット
1250
250
270
150
SL=1FL-1280
SL=1FL-1800
空調機械室（給水ポンプ置場）
天井：C1b
天井：C2b
独立柱・柱型・梁型：全てW1c
床：RC直均しF1a
床：RC直均しF1c
空調機械室（受水槽置場）
発電機械室
熱源機械室
天井：C4
天井：C5
サブエントランス
床：フローリング F4
大会議室 小会議室
事務室
床：タイルカーペット（OA）F3a
厨房
床：大判タイルF14
カフェレストラン
床：フローリングF4
725（サッシヅラ）
675（サッシ筋）
外A1_下
1FL
防振ゴムt25*2
「矩勝/断面詳細図3」参照
4790
6240
5460
B1FL
SL=楽天=1FL-4800
B1FL
SL=楽天=1FL-6250

楽天
1FL-1800
3175
SH-BOX
SH-B01
AG-B01
W2a
EW2
外壁：RC打放し EW2
ドライエリア（外部）
sh入口立上り高さ
255
← 1/50
8050
防振ゴムt25*2

天井：C1b
独立柱・柱型・梁型：全てW1c
床：RC直均しF1a
W2a
W3
4090
空調機械室（受水槽置場）
電気室
3690
4290
空調機械室（屋外給水エリア）
水抜き塩ビパイプ40ø
側溝
雨水槽
冷却水
湯水槽
雑排水槽

※ピット内は全てRC打放し（C種）→共通

3200　3755　6750　5370　2935　8100　8100　8100　8100　8100　8100　6750

X1 X2 X3 X4 X4a X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12

axis.Y9~Y8 SEC.

注：● 外A**、外B**、外C**の記号は「外部避り詳細図」内の記号を示す
● 上記以外の記号は「仕上仕様図1,2」内の記号を示す

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	短計・断面詳細図1（リハーサル・楽屋）	1:100	A22-26Ds-Sec-org	A-22

X1 X2 X3 X4 X4a X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12

axis.Y6~Y5 SEC.

梁天端 / RC直均し / 800 / 梁天 1FL−8560 / 外壁：RC打放しEW1 / 2FL / 梁天 2FL−100 / 3700 / 5460 / 8660 / DS / GW32k, t=50ガラスクロス押え 下張：CB / 不燃木毛セメント板 / 袖舞台（下手） / 外壁：花崗岩EW7 / 仕上げにおいては「外構図参照」 / 1FL / 梁天 1FL+1680 / 4050 / 舞台床：フローリングF6 / 3960 / 3760 / OA縦置 / 1760 / 850 / 910 / 3360 / 3560 / 4400 / 7650

外壁：RC打放しEW1 / 外C4(右用) / 階段室3 / 階段詳細図参照 / 倉庫 / 南側便所ハト小屋 M−64 / 屋根：硬化砂石ER2c（構造がRC梁のエリア） / SL水下レベル：2FL+3,700 / （SL水上レベル：2FL+3,790） / 外C8と同じパラペット形状 / 625 / 565 / SL水下レベル：2FL+3,700 / （SL水上レベル：2FL+3,780） / 梁レベル2FL+3700

天井：C4 / 女子便所 / 床：F12+T2 / 天井：C4 / 男子便所 / 床：F12+T2 / 天井：C4 / ラウンジ / 床：タイルカーペットF3b / 2500 / 外壁：アルミ複合板EW3b / 外B10_中(右用) / 1/100→ / ←1/100 / 水下/SL=梁天端=2FL−100 / 屋外テラス床：タイルER2b / 鉄骨天端2FL−145 / 鉄骨天端2FL−225 / 外A1_上 / 2FL / 3700

煙道 / 階段詳細図参照 / 降下式防煙垂壁 RT−104B / 梁天 2FL−390 / 天井：C4寝 / 675 / 3250 / 2700 / 清掃員控室 / ホール通路2 / 床：フローリングF4 / 1100 / 900 / 600 / 梁天 1FL−1400 / 梁天 1FL−1200 / 梁天 1FL−1200 / 梁天 1FL−685 / 1400 / 梁天 1FL−500 / 梁天 1FL−500 / ホール階段2 / 階段詳細図参照 / 降下式防煙垂壁 RT−101 / 天井：C4寝 / ホワイエ2 / 725 / 4080 / 排煙スリットM−40 / 回転式防煙垂壁 RT−102B / ホワイエ1 / 4500 / 床：フローリングF4 / 床：フローリングF6 / 梁天 1FL−600 / 2500 / 3600 / 800 / 725(サッシツラ) / 675(サッシ芯) / 外A1_下 / 1FL / 5460 / 「矩計／断音詳細図3」参照 / 防振ゴムt25*2 / 防振ゴムt25*2

axis.Y7~Y6 SEC.

屋根：硬化砂石ER2c（構造がS梁のエリア） / SL水下レベル：2FL+3,550 / （SL水上レベル：2FL+3,595） / ※水勾配→SL天端フカシによる / 外C9 / トップライト ATP−R01 / 625 / 外C8 / 565 / SL、RC梁天端水下レベル：2FL+3,700 / （SL水上レベル：2FL+3,780） / 段差部分見掛り / 外C8と同じパラペット形状 / 外壁：アルミ複合板EW3a / 250 / 565 / 梁天端

天井：C4 / ゴミ：湿赤 / 床：ビニル床シートF2 / 天井：C4 / 休憩ロビー（通路部） / 床：タイルカーペットF3b / 天井：C4 / 女子便所 / 床：F12+T2 / 天井：C4 / 男子便所 / 床：F12+T2 / 天井：C4 / HC / 床：F12+T2 / 天井：C4 / 休憩ロビー / ロビー階段 / 階段詳細図参照 / 2500 / 外壁：アルミ複合板EW3c / 下地は「外壁：部分詳細図」参照 / 鉄骨梁天端レベル：2FL+3,400 / 3400 / 外A12 / 屋外テラス床：タイルER2b / SL=2FL−270（水下） / 外壁：RC打放しEW1 / AG−202 / 外B10_中(右用) / ←1/100 / DS / C1c / 梁天 2FL−300 / 梁天 2FL−300 / 梁天 2FL−300 / 梁天 2FL−300 / 梁天 2FL−300 / 梁天 2FL−300 / 梁天 2FL−300 / 梁天 2FL−300 / 天井：C4と同材が上部SL下端まで / 天井：C4と同材が上部SL下端まで / 天井：C10a / 天井：C9a / 天井：C11 / 天井C4 / M−20 / M−20 / 天井：C4 / 天井：C4 / 天井：C5 / 休憩室 / 床：ビニル床シートF2 / 床：フローリングF4 / 625（サッシツラ） / 675（サッシ芯） / 中廊床：ボードデッキEF1 1FL−40 / 下地：コンクリートER2a / SL=1FL−300（水下） / SL水上天端1FL−260 / ※水勾配→SL天端フカシによる / 中廊2 / 鉄骨天端2FL−211.6 / ←1/100 / 屋外テラス床：ER2b / 鉄骨天端2FL−145 / 1/100→ / 外A1_上 / 外A7_上 / 2FL / 300 / 3700 / 5460 / 天井：C4寝 / 675 / 3375 / 屋外 / 風除室2 / 床：畜拭マットF15 / FL2~−40マア / 外A14 / デッキテラス床：1FL−40 / 1FL / 650 / 470 / 655 / 防塵塗装（立上り、階段部含む） / 軽量コンクリートt=100 / （ワイヤメッシュ150*150*6φ相当） / アスファルト防水 / 水下SL=1FL−1760 / 水上SL=1FL−1700 / RC打放しEW1 / 花崗岩EW7 / 5500 / 1FL 1FL−1650 / 仕上げ→外構工事 / ←1/100 / 搬入口 / 建築工事 / 1500 / 525 / 4700 / 前室（荷捌き） / 4100 / 3000 / 衆容庫 / 天井：C4 / 天井：C4 / 天井：C4寝 / 東エントランス / 外A2_下 / 4000 / 床：フローリングF4 / 床：防塵塗装F1b / 床：フローリングF4 / 床：フローリングF4 / 850 / 850 / 100 / 梁天 1FL−525 / 梁天 1FL−525 / ホール通路2ライン / 梁天 1FL−300 / 2300 / DS / OA / 梁天 1FL−300 / 1750 / 1650 / 325 / 340 / 470 / 1FL−850のレベルは直均し＋防塵塗装 / 段差側面はFL−325まで防水層立上り / 天井：C1b / ※梁型はGW5t→C1c / 梁型：全てW1c / 外部床：ボードデッキEF1 / 防振ゴムt25*2 / 5390 / 6240 / OA風雑SL天端 / 1FL−1650 / 防振ゴムt25*2 / OA風雑 / 梁天 1FL−1800 / 梁天 1FL−1800 / 天井：C1c / 消火ポンプ室 / W1c / W1c / W1c / W1c / W2a / W2a / W2a

axis.Y6~Y5 SEC.（舞台上部換気室断面図）

axis.Y4~Y3 SEC.

axis.Y4 SEC.

axis.Y4~Y3SEC.

axis.Y6~Y5SEC.

八角柱（RC柱）部位のサッシ際詳細
（他部位全て共通） 1:50

八角柱平面

範囲

（または角柱~角柱間）

鉄骨小屋組（構造梁）は、梁下端＞2FL+4000の部位
において屋火被覆なし →舞台上部屋根含む

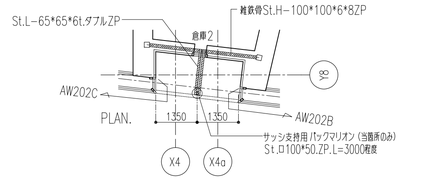
ホール客席廻りにおいては
ホール客席詳細図参照

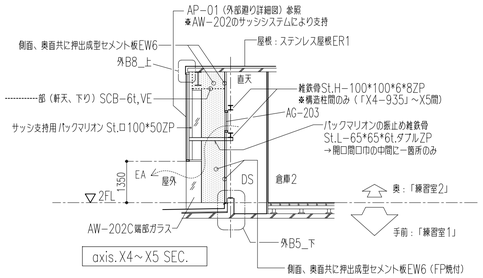
客席天井内全般においては
ホール客席詳細図参照
（シーリング投光室・ピンスポット室共）

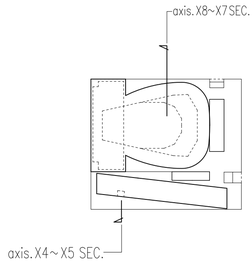
舞台廻りにおいては
舞台廻り詳細図参照

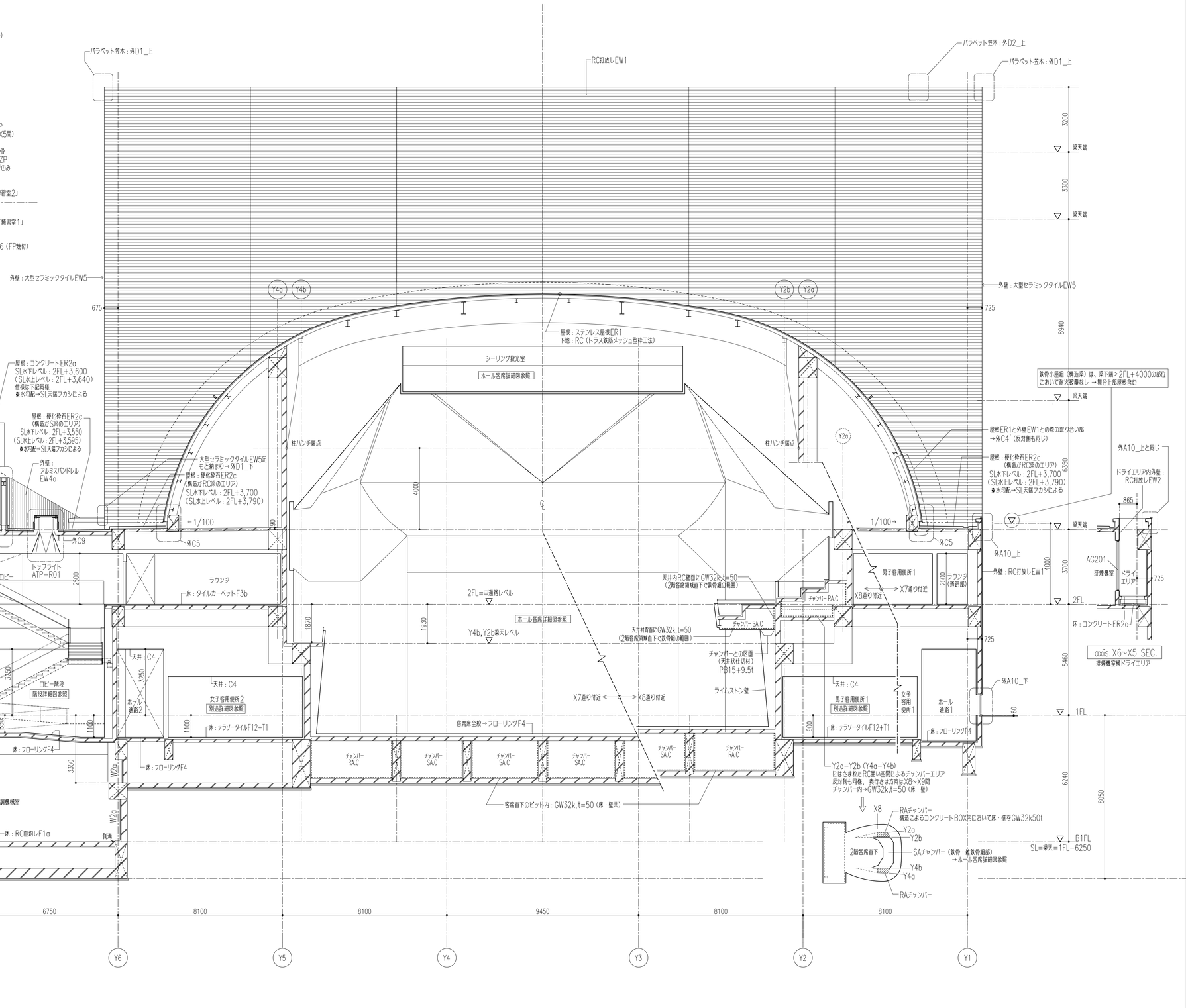
注：● 外A**、外B**、外C**の記号は「外部廻り詳細図」内の記号を示す
● 上記以外の記号は「仕上仕様図 1.2」内の記号を示す

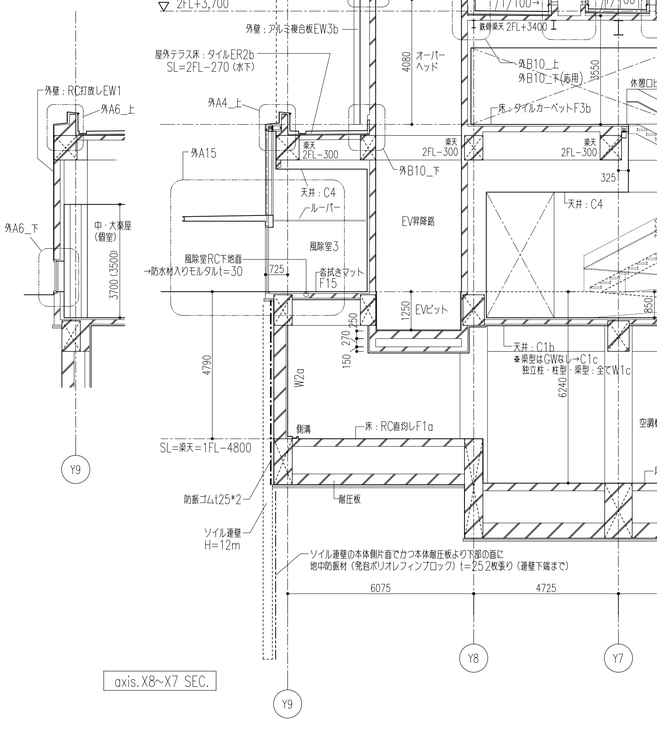
| | | |





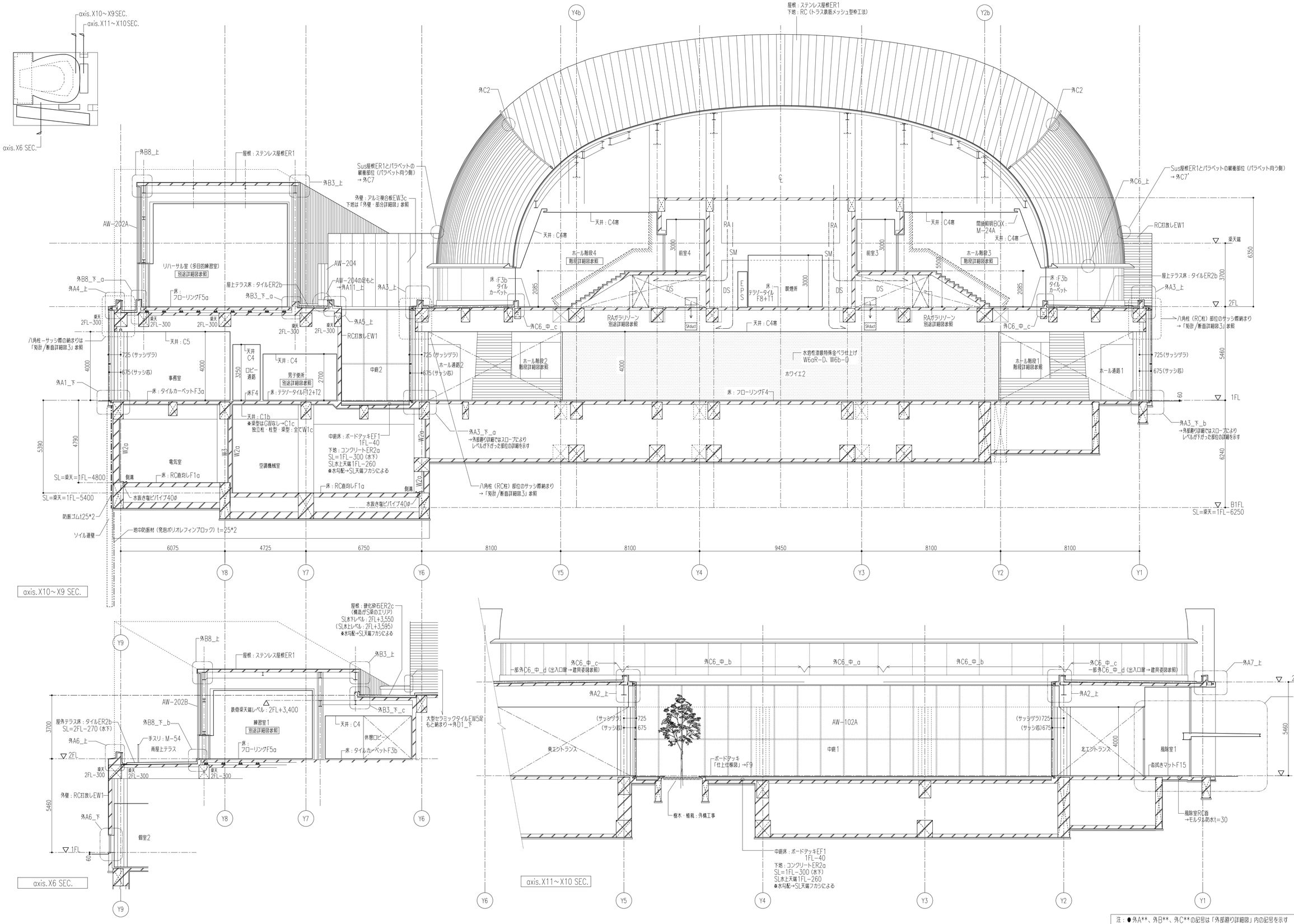






注：● 外A**、外B**、外C**の記号は「外部廻り詳細図」内の記号を示す
● 上記以外の記号は「仕上仕様図1,2」内の記号を示す

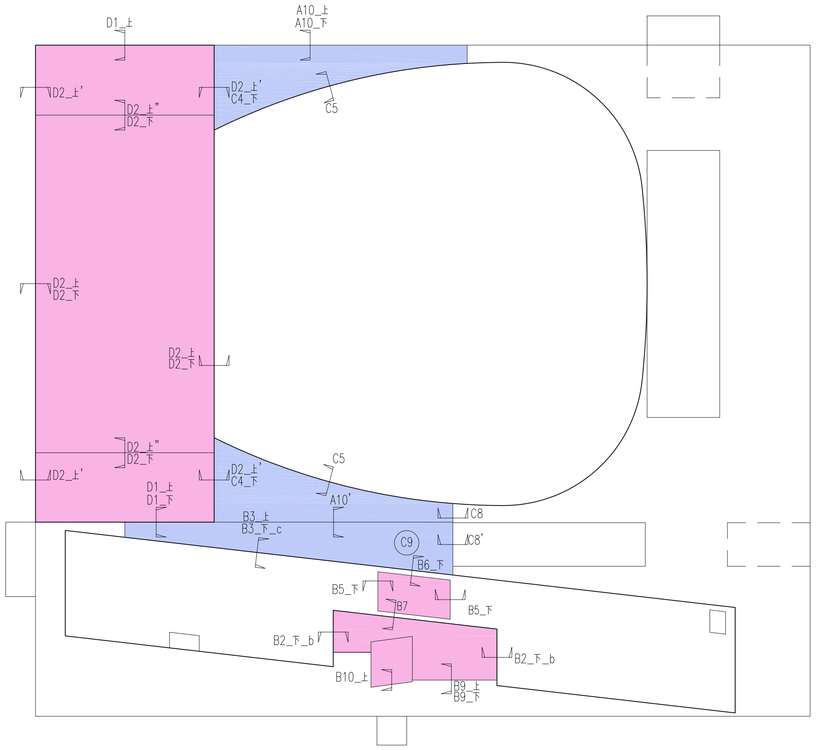
工事名称	株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）			2005年 5月	短計・断面詳細図4（ホール・ロビー階段）	1:100	A22-26Ds-Sec-org	A-25



注：● 外A**、外B**、外C**の記号は「外部廻り詳細図」内の記号を示す
● 上記以外の記号は「仕上仕様図1,2」内の記号を示す

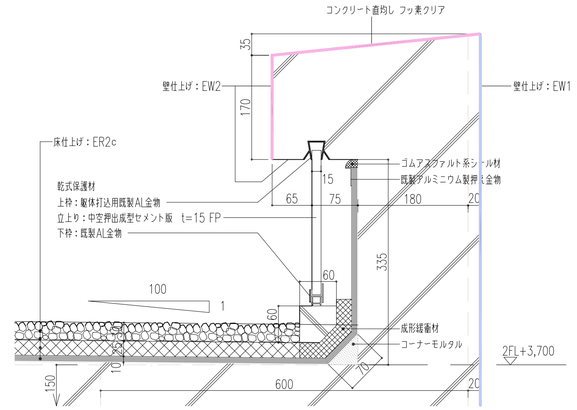
工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	矩計・断面詳細図5（ラウンジ・リハーサル）	1:100	A22-26Ds-Sec-org	A-26

Key Plan

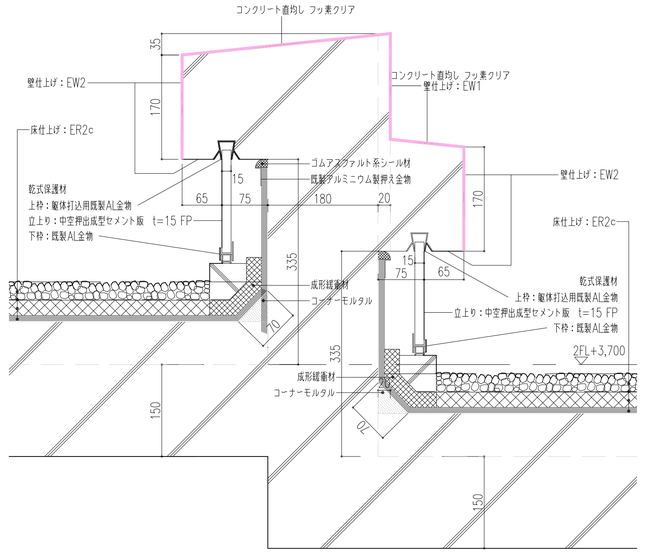


■外装詳細図に於いて、図面縮尺の特記無きものは、全てS1:5

A10_上

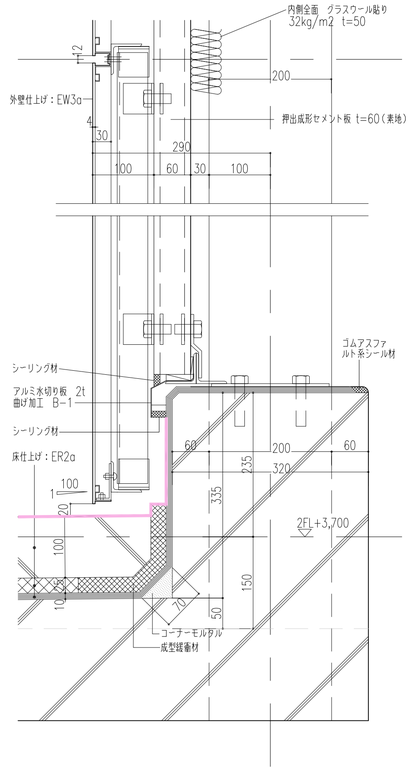


A10'

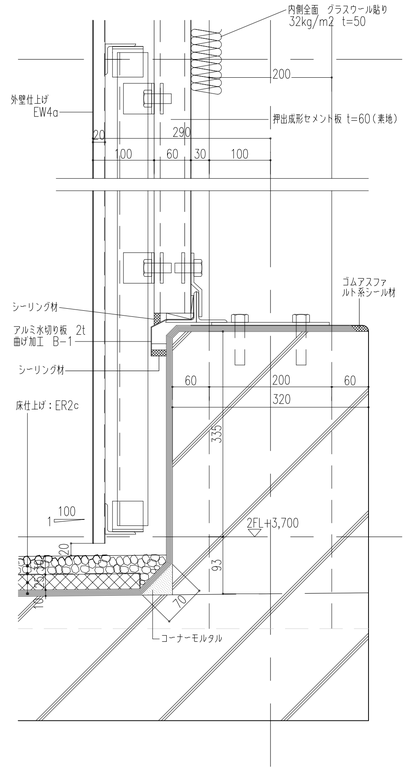


工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所　一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号　一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦		2005年 5月	外部廻り詳細図1n	1:5	A27n-30n Ext	A-27n

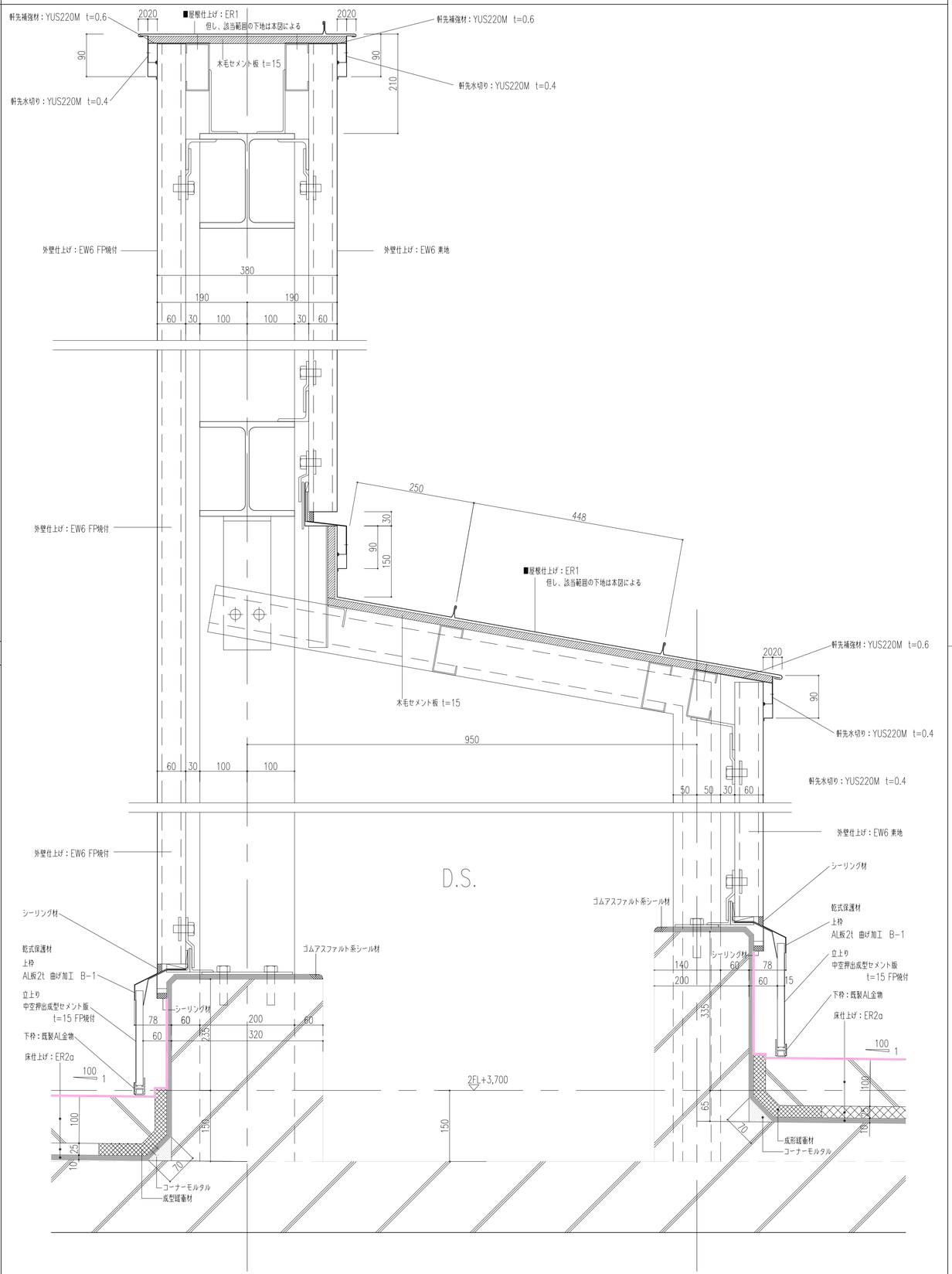
B2_下_b



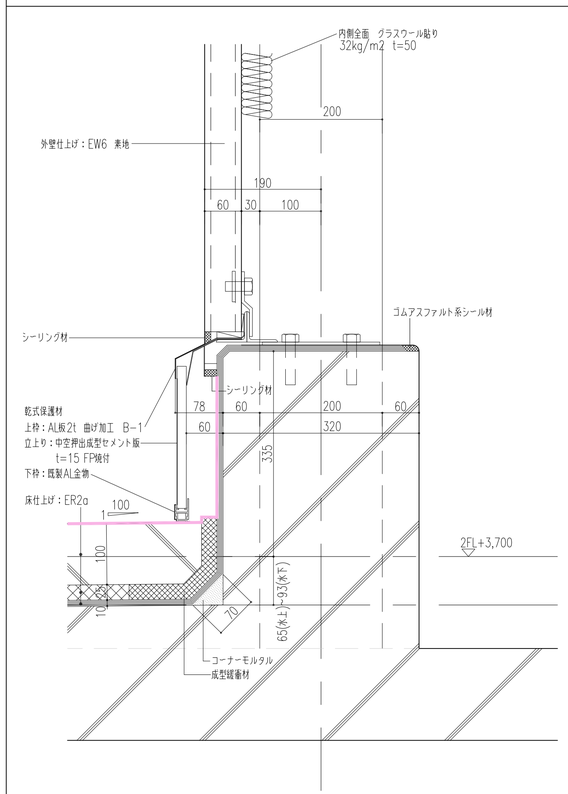
B3_下_c



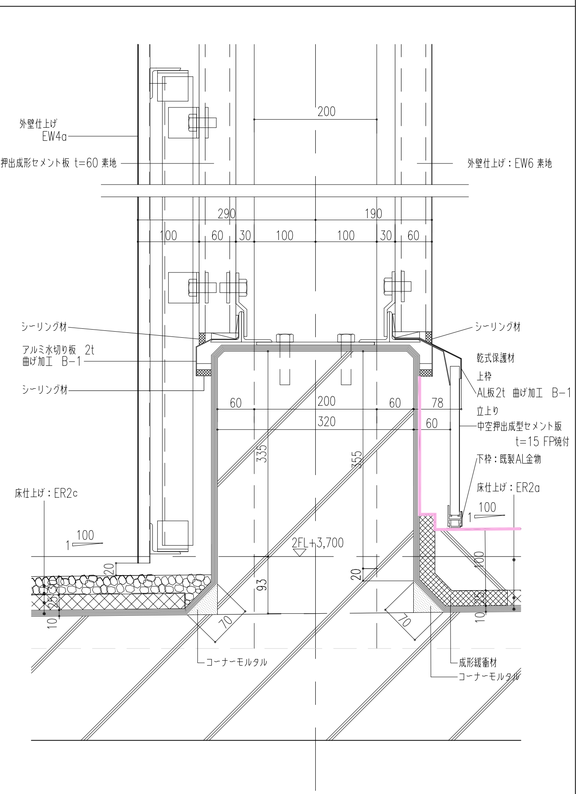
B7



B5_下

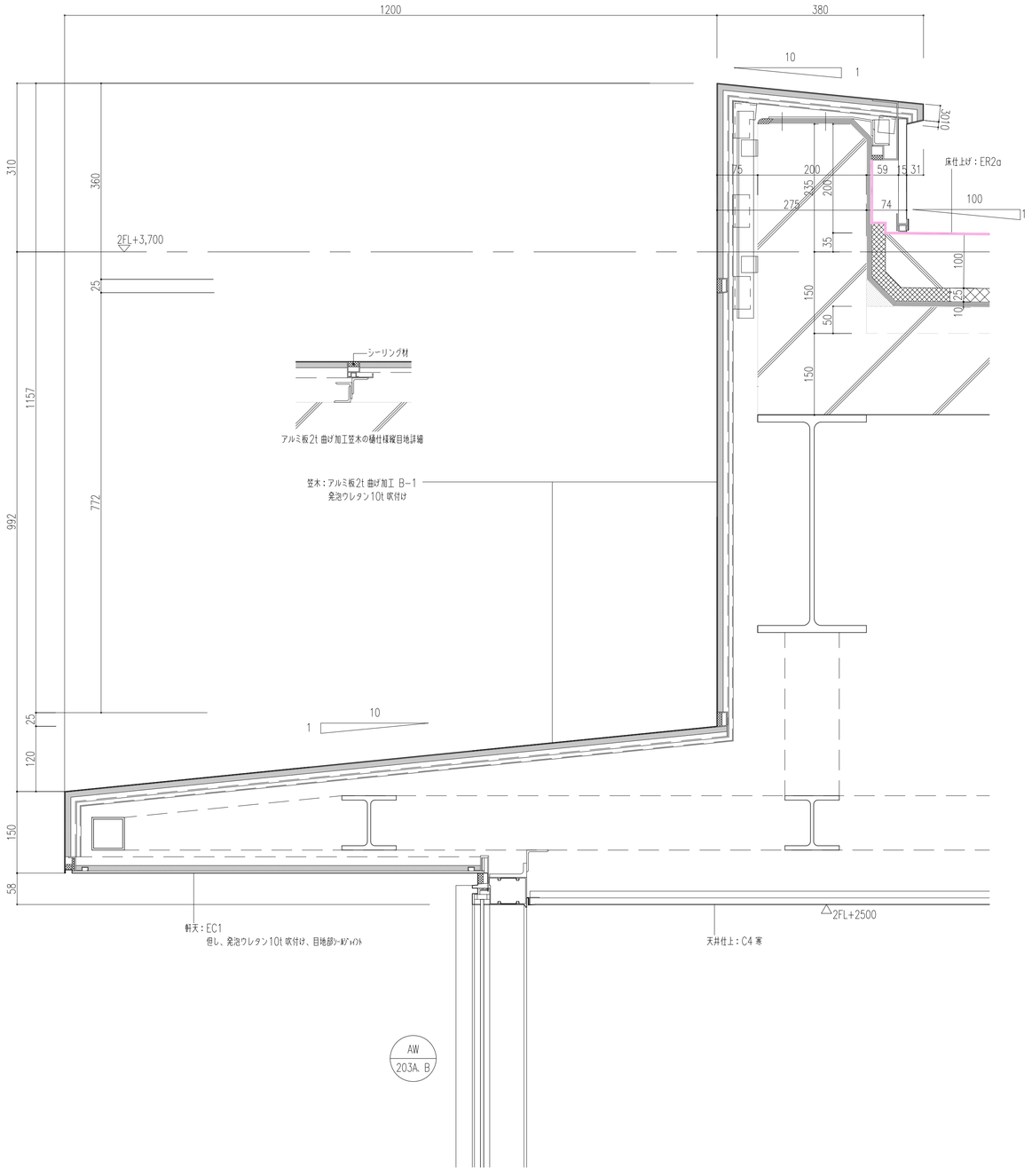


B6_下

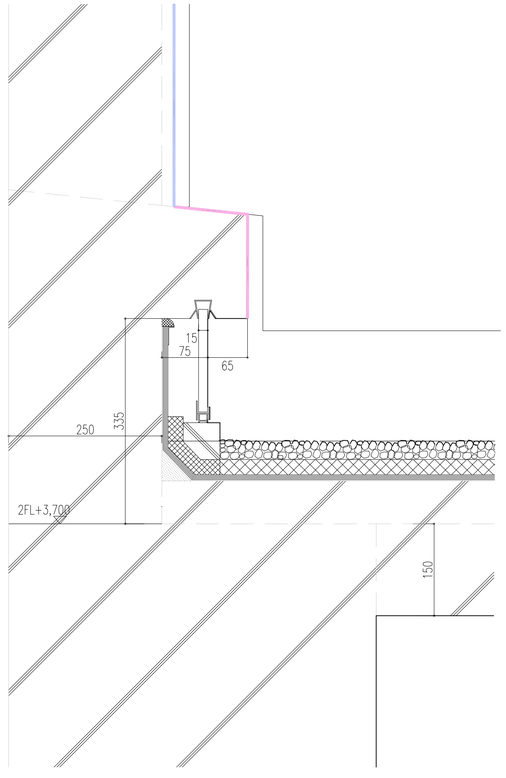


工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号				年月日 2005年 5月	図面名称 外部廻り詳細図2n	縮尺 1:5	ファイル名称 A27n-30n Ext	図面番号 A-28n

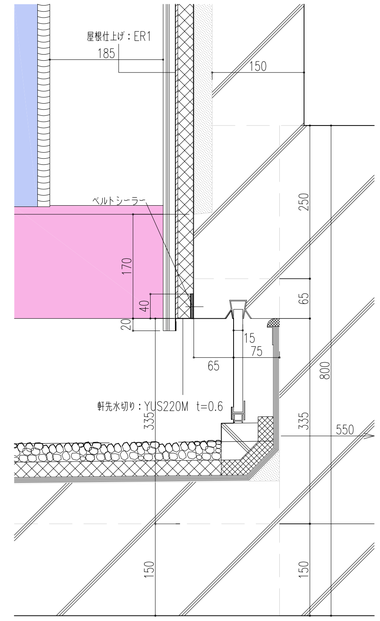
B9_上



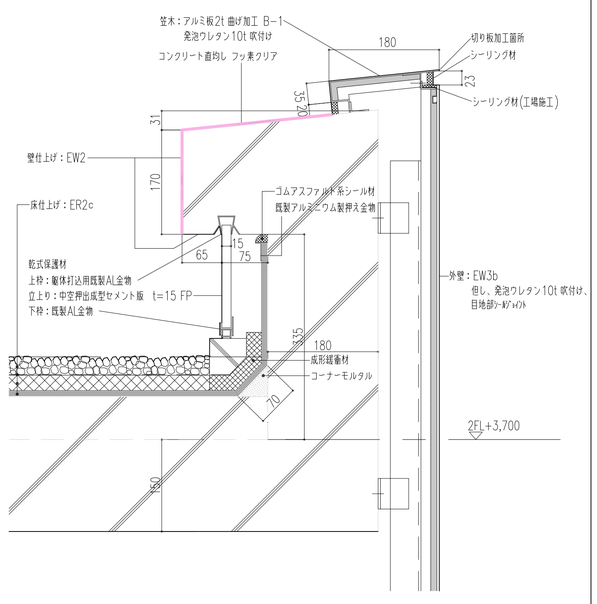
C4



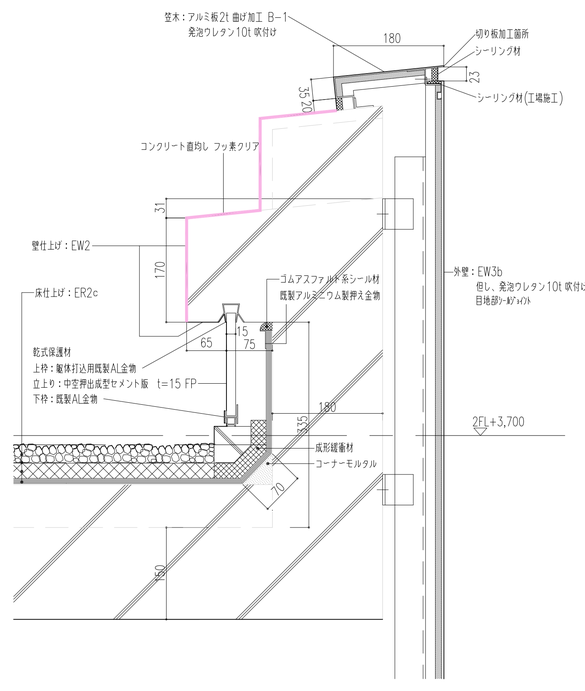
C5



C8

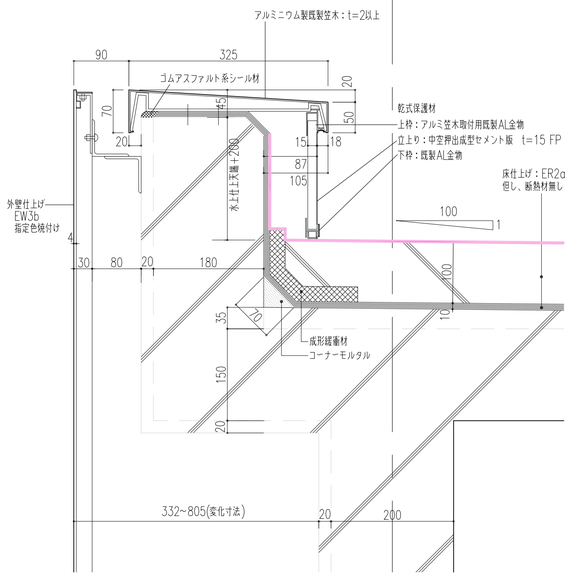


C8'



工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦			年月日 2005年 5月	
図面名称 外部廻り詳細図3n	縮尺 1:5	ファイル名称 A27n−30n Ext	図面番号 A−29n				

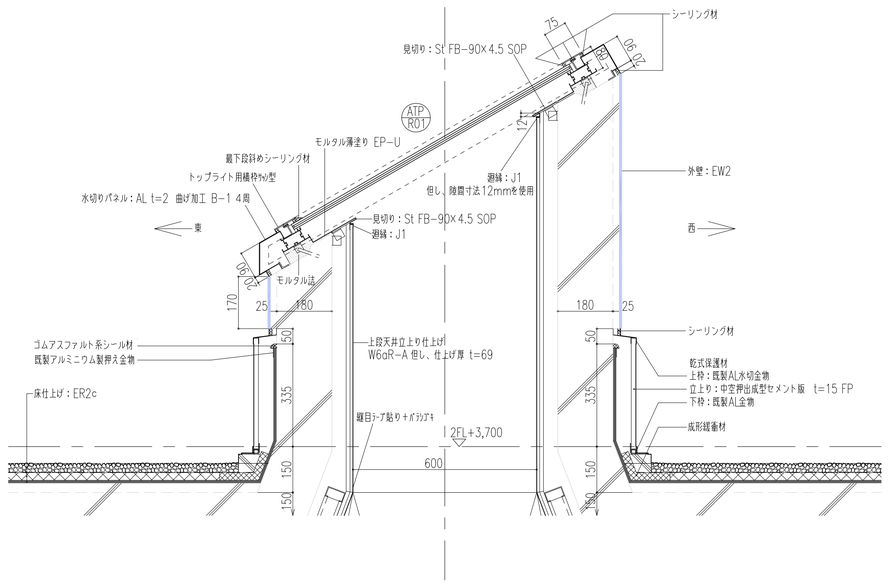
B10_上



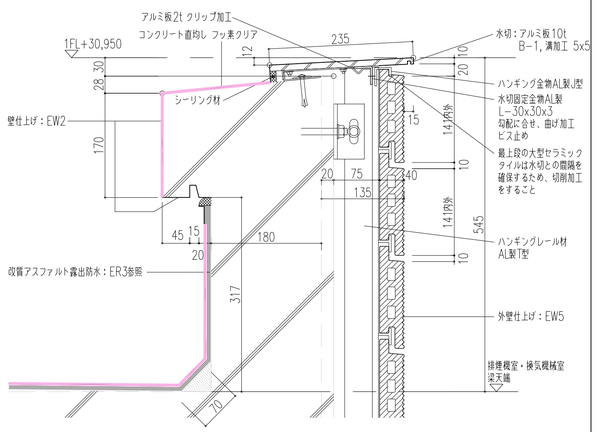
C9　ロビー階段トップライト天井詳細　　S1:10

■ATP R01のサッシ部材について■

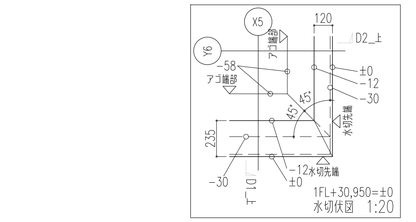
■既存型ｻｯｼ部材を使用する
■ｻｯｼ構成部材は、トップライト縦枠用ｻｯｼ、同横枠用ｻｯｼ、周囲の水切りパネル
■本図を参考とし、同等以上の既存ｻｯｼ部材型を使用する

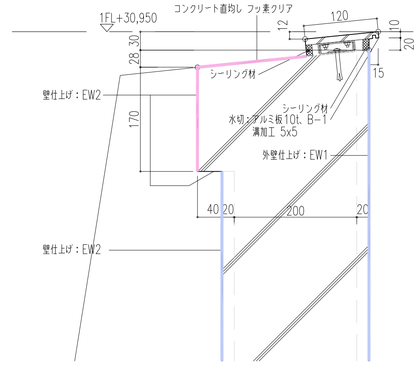


D1_上

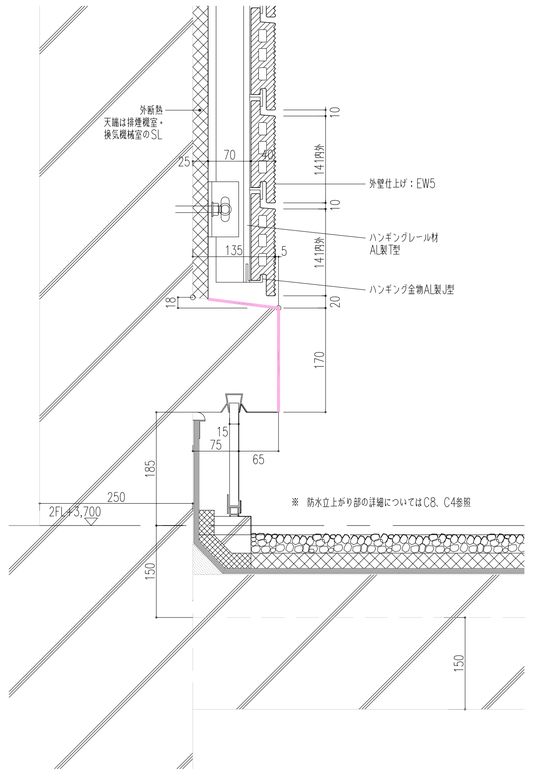


D2_上

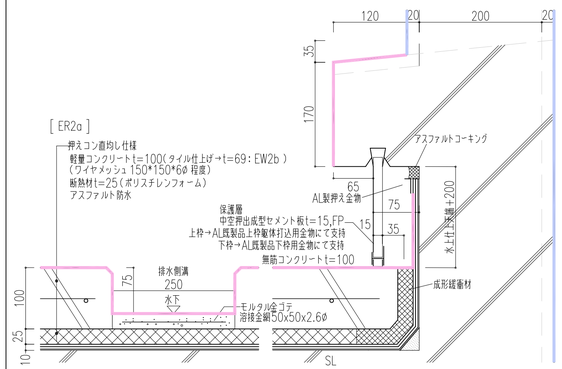




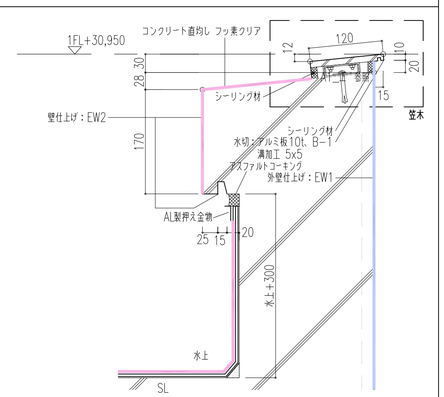
D1_下



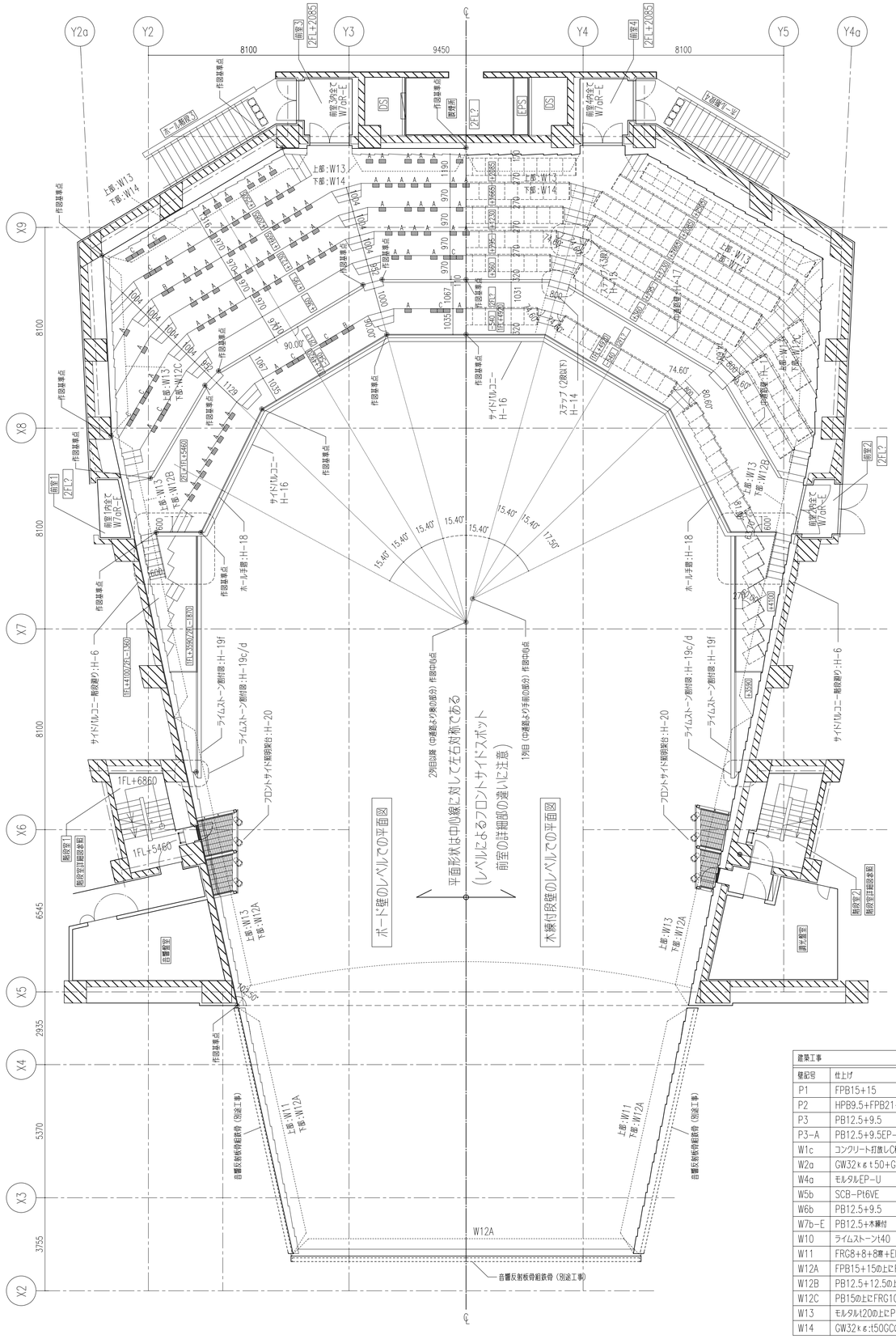
D2_下

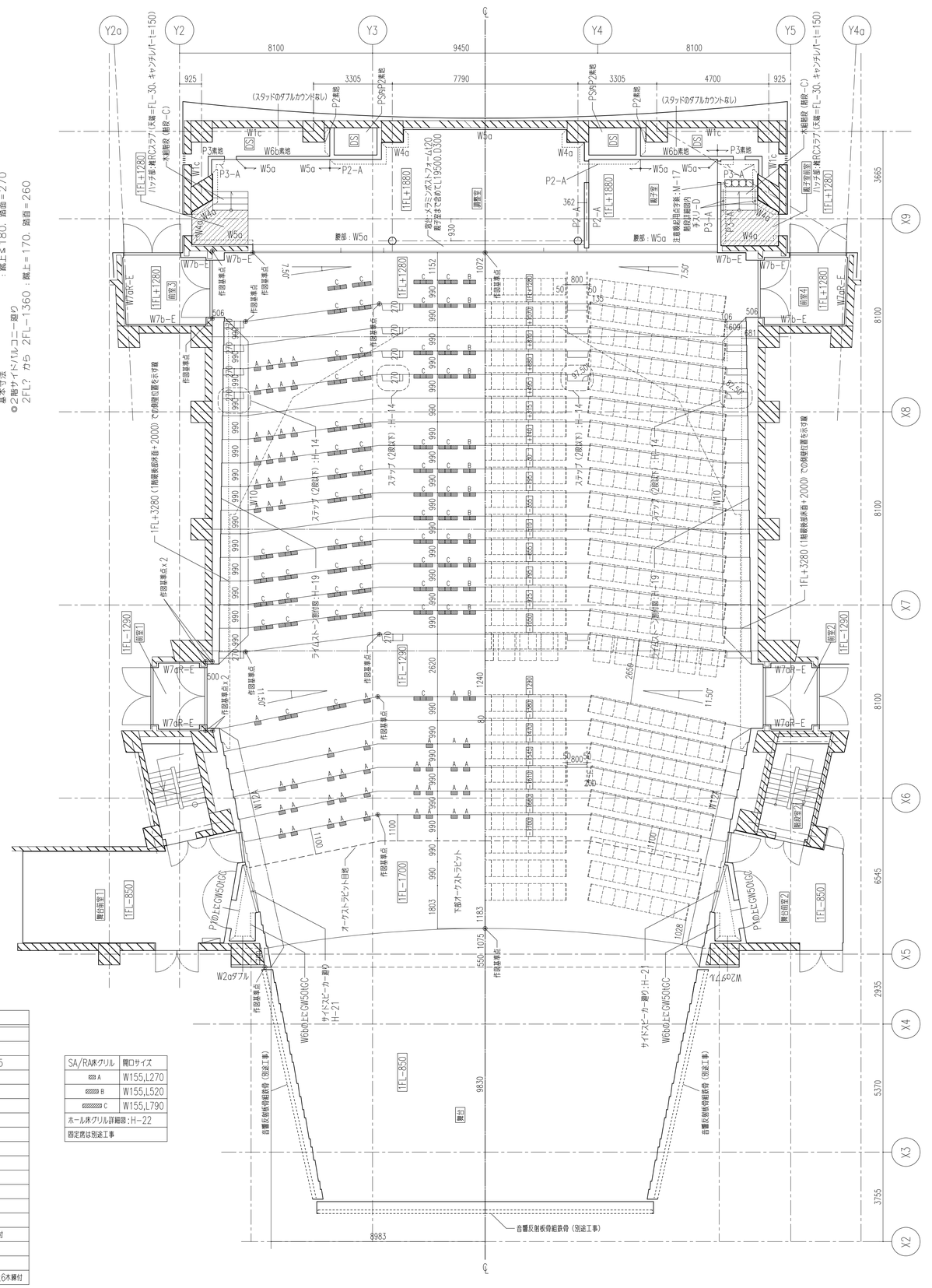


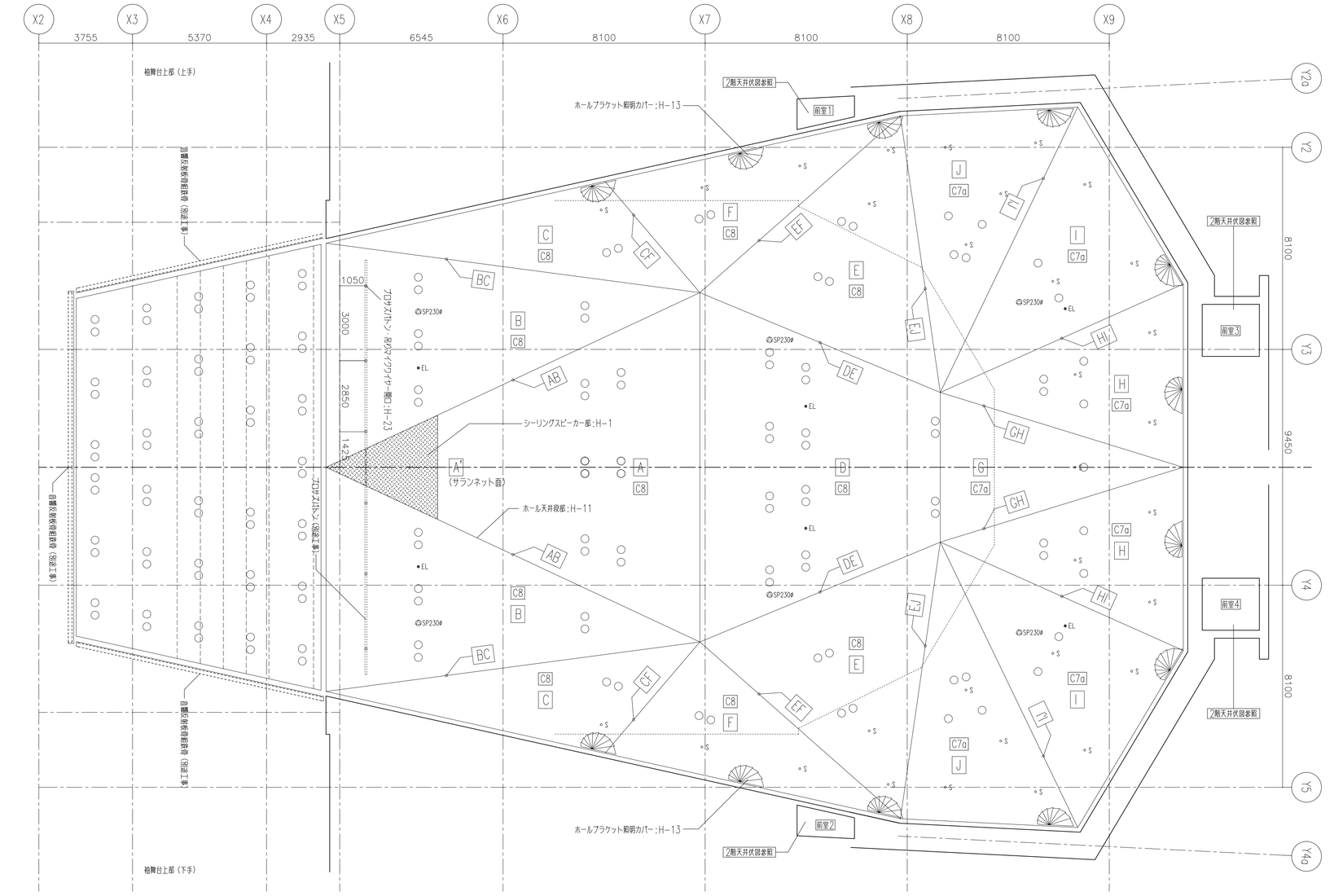
D2_上’（D2_上”：笠木ナシ）※塔屋階排煙機室、換気機械室の直上屋根のみ



工事名称			年月日	図面名称	縮尺 / ファイル名称 / 図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所　一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号　一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	外部廻り詳細図4n	1:5,1:10 / A27n-30n Ext / A-30n




Y2a
Y2
Y3
Y4
Y5
Y4a
8100
9450
8100
X9
X8
X7
X6
X5
X4
X3
X2
8100
8100
6545
2935
5370
3755
1FL+3280（観覧席床面+2000）での段差位置を示す線
1FL+1280
1FL+1290
1FL+1880
1FL+2880
1FL+1700
1FL-850
1FL-1290
ハツリ仕上:有CスラブCスラブ(欠端-FL-30、キャンチレバー(=150)
木転落防止(転落-C)
木転落防止(転落-C)
(スタッドのダブルカウントなし)
P2素地
P3素地
W6b素地
W5a
W4a
W7c
W7b-E
W7aR-E
P2-A
P3-A
W4a
W5a
腰壁:W5a
腰壁
腰壁
W7b-E
W7aR-E
W7b-F
W7aR-F
W7c
W5a
W4a
W6b素地
P3素地
P2素地
(スタッドのダブルカウントなし)
P2素地
PSQR P2素地
PSQR P2素地
P2-A
P3-A
W4a
W5a
W7c
W7b-E
W7aR-E
W7b-F
W7aR-F
W7c
W5a
W4a

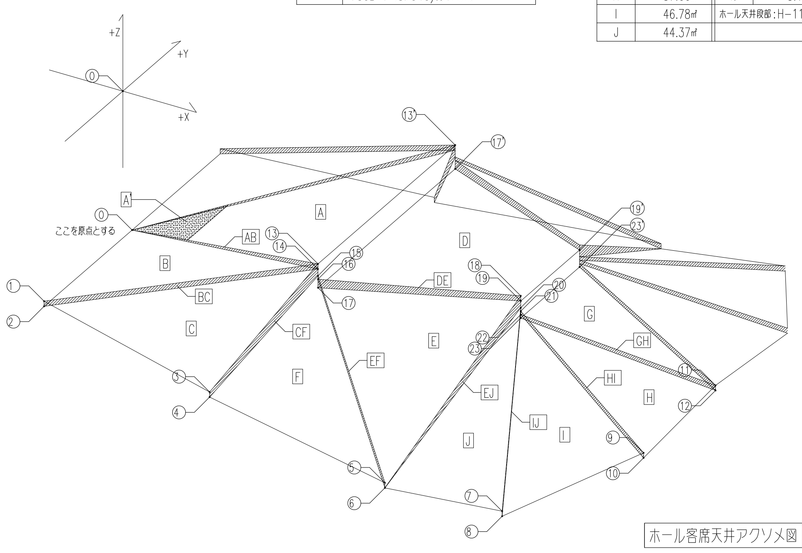


ホール2階天井伏図

天井設備器具（すべて別途工事）		
記号	名称	開口サイズ
○	ダウンライト	
•EL	非常用照明	
◦SP	スピーカー	特記なき限り100φ
◦S	スプリンクラー	
▨	吹出口	350×350mm

建築工事	
記号	仕上げ
C1c	RC打放しC種
C4	PB12.5+9.5 EP
C5	PB9.5張貼り+岩綿吸音版板t12+EP
C7a	PB15+15厚EP
C8	FPB21+PB12.5+9.5厚EP
C12	FRG10+FPB15+15厚EP
C13	PB15+FRG10+木縁付
C14	PB12.5+GWボードt25GC +SCB-P (8φ@15)t6+木縁付

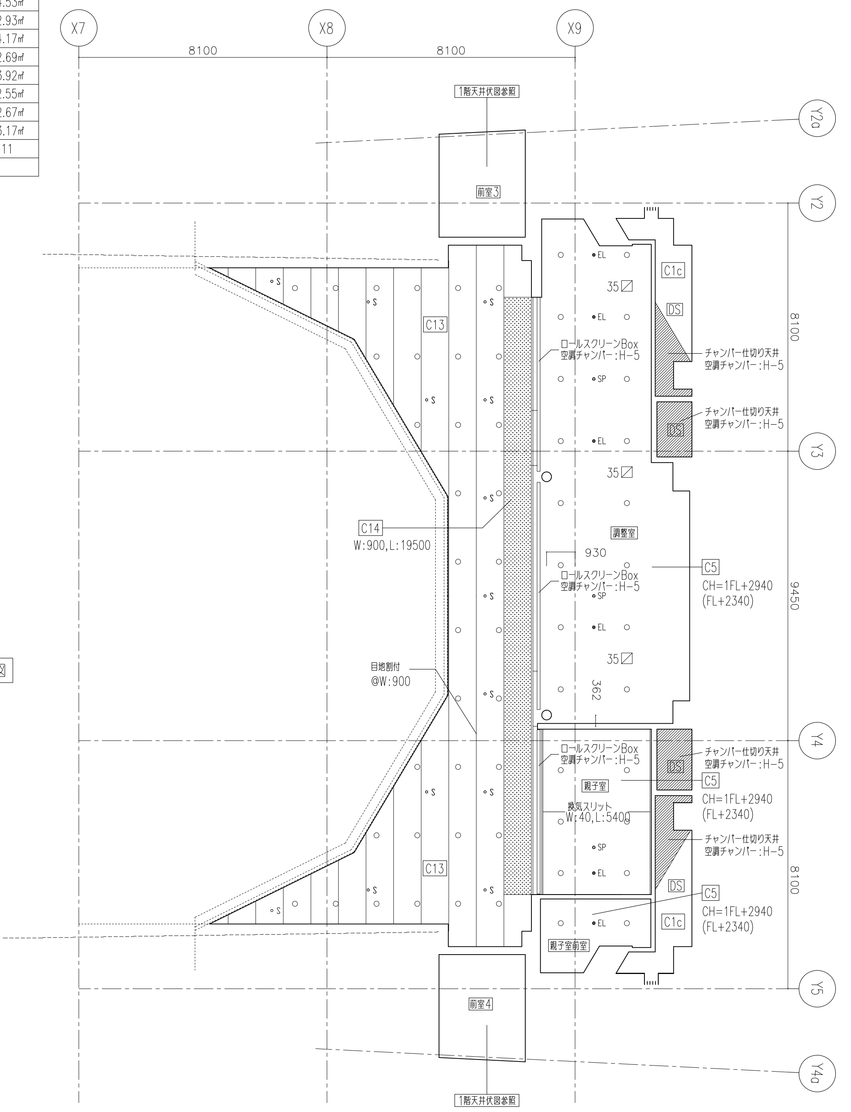
天井音横表			
主天井音	音積	段部各音	音積
A	102.53㎡	AB	2.48㎡
A'	10.03㎡	BC	4.53㎡
B	71.75㎡	CF	2.93㎡
C	48.19㎡	DE	4.17㎡
D	96.35㎡	EF	2.69㎡
E	60.12㎡	EJ	3.92㎡
F	48.44㎡	GH	2.55㎡
G	30.54㎡	HI	2.67㎡
H	37.66㎡	IJ	3.17㎡
I	46.78㎡	ホール天井段部：H-11	
J	44.37㎡		



ホール客席天井アクソメ図

天井音関係の記号		
記号	名称	数量
A	各天井音を表す	11種類18音
AB	段差天井音を表す	9種類18音
①	天井音の各頂点を表す	23点x2
各音には音積を付してある。		

天井音の頂点座標一覧（天井形状は左右対称形）			
天井音	頂点1	頂点2	頂点3
A'+A	0(0,0,11400)	13(14986,−7000,17230)	13'(Y座標の符号ガ+)
B	0(0,0,11400)	2(0,−8983,11400)	14(14986,−7000,16930)
C	1(0,−8983,11700)	3(11182,−11462,10820)	13(14986,−7000,17230)
D	17(14986,−7000,15830)	19(24620,−3000,15830)	17'/19'(Y座標の符号ガ+)
E	6(23020,−14085,9900)	16(14986,−7000,16330)	18(24621,−3000,16130)
F	4(11182,−11462,10520)	5(23020,−14085,10200)	15(14986,−7000,15430)
G	23(24621,−3000,14830)	12(34360,0,11870)	23'(Y座標の符号ガ+)
H	10(34360,−7345,11570)	11(34360,0,12170)	22(24621,−3000,15030)
I	8(30131,−14439,10460)	9(34360,−7345,11870)	21(24621,−3000,15230)
J	6(23020,−14085,9900)	7(30131,−14439,10760)	20(24621,−3000,15430)

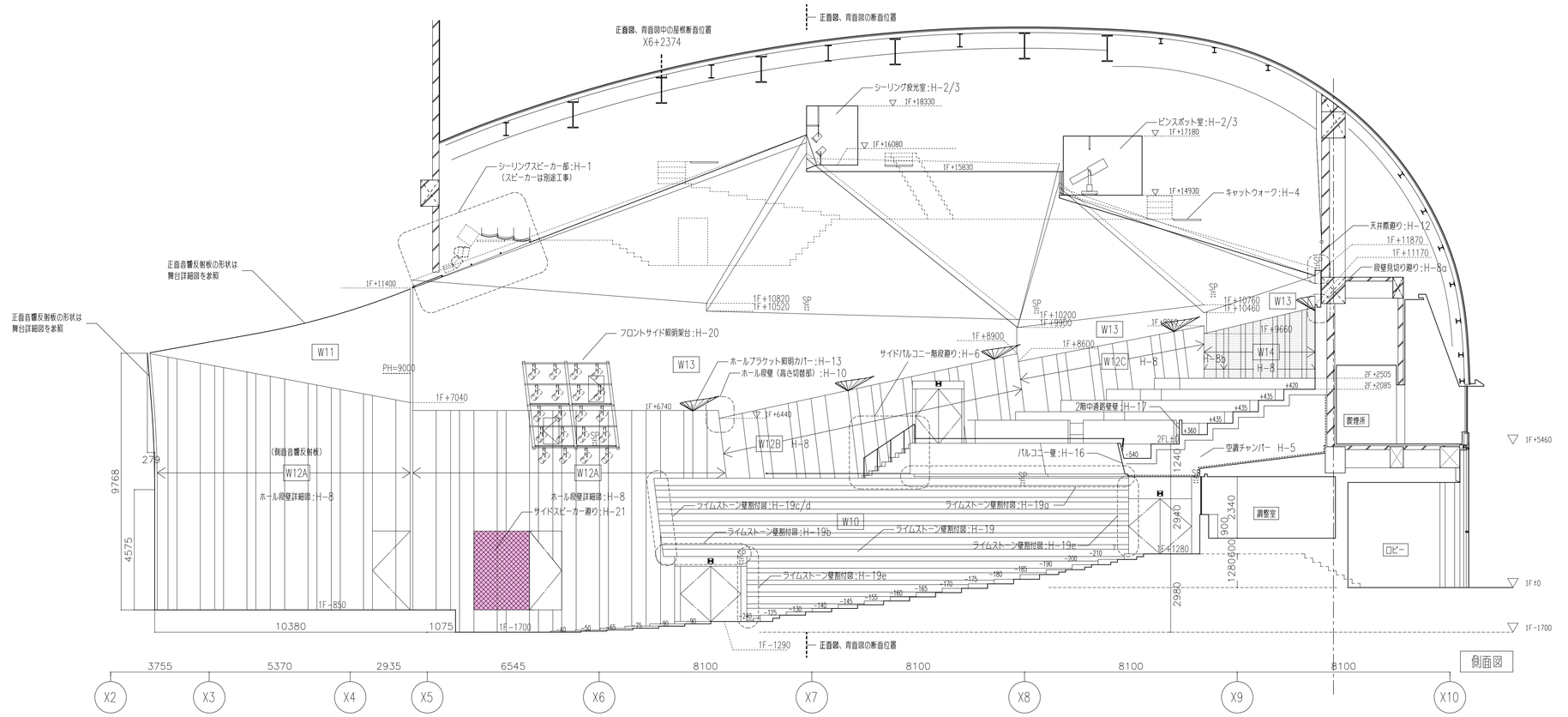


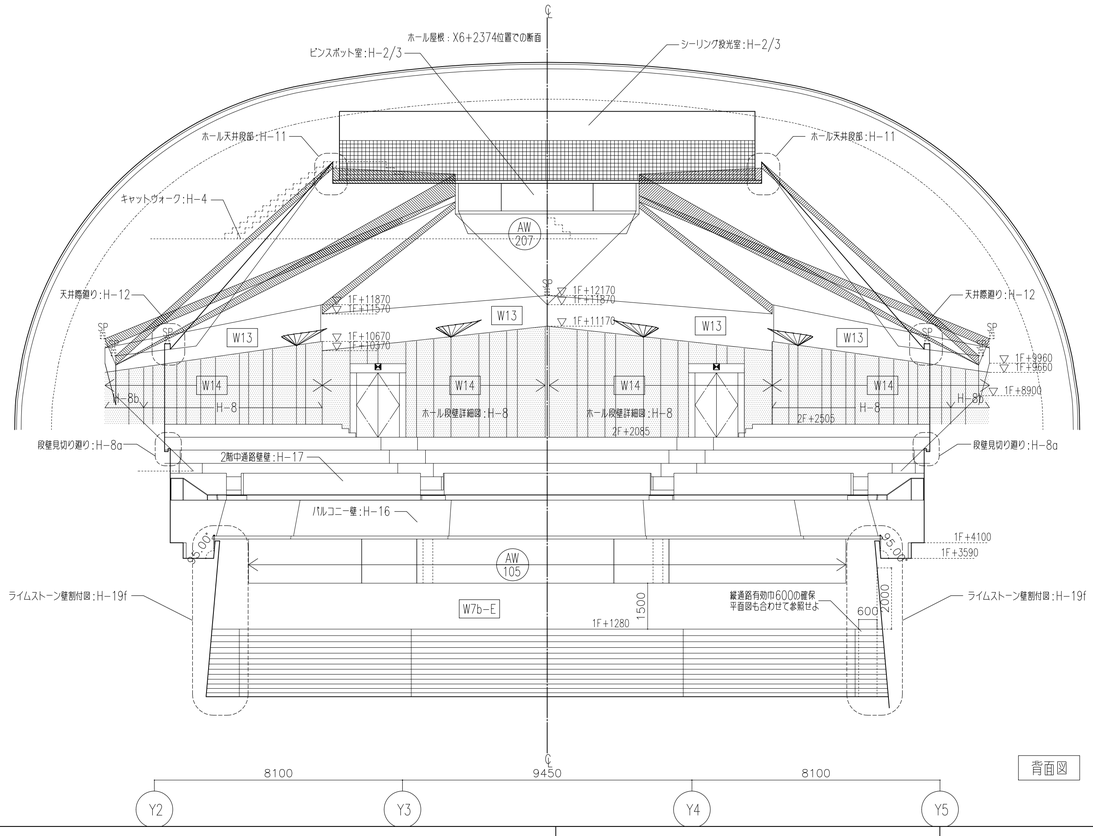
ホール1階天井伏図

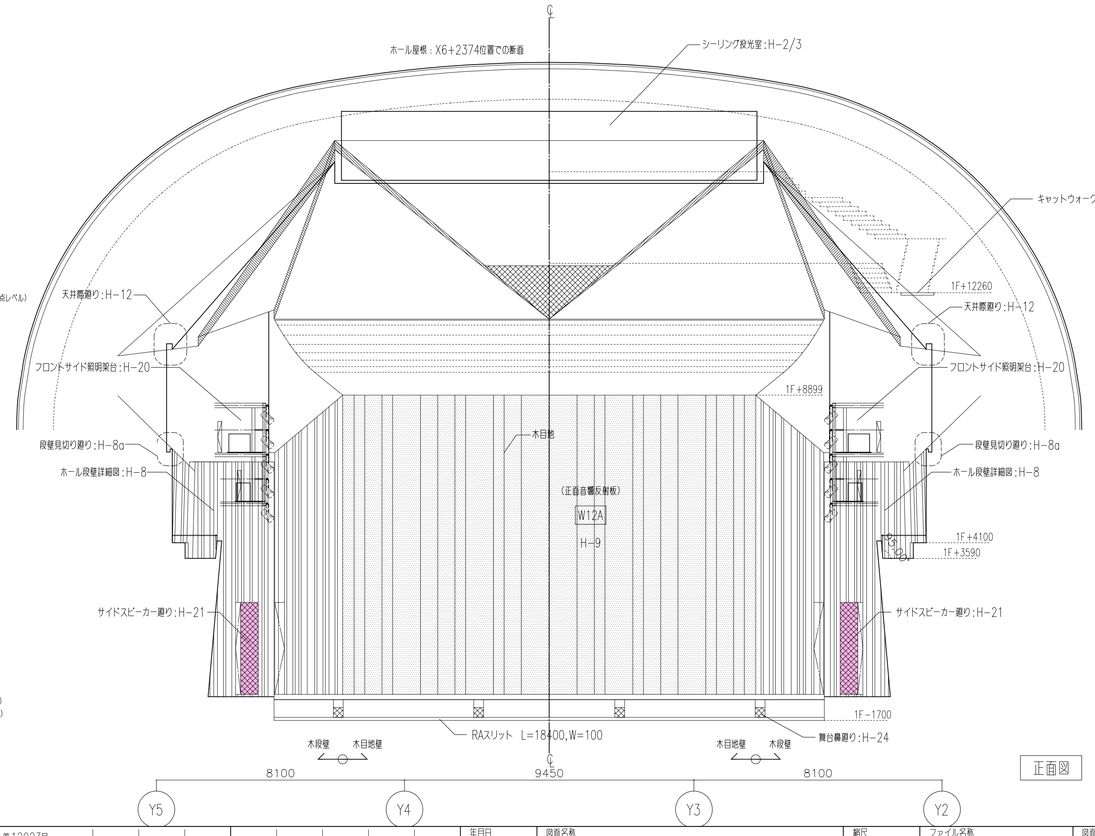
建築工事	
壁記号	仕上げ
P1	FPB15+15
P2	HPB9.5+FPB21+敷目板PB12.5
P3	PB12.5+9.5
P3-A	PB12.5+9.5EP-U
W1c	コンクリート打放し化粧素地
W2α	GW32κ6;t50+GC
W4α	モルタルEP-U
W5b	SCB-Pt6VE
W6b	PB12.5+9.5
W7b-E	PB12.5+木練付
W10	ライムストーン t40
W11	FRG8+8+8磨+EP
W12A	FPB15+15の上にFRG10木練付
W12B	PB12.5+12.5の上にFRG10木練付
W12C	PB15の上にFRG10木練付
W13	モルタルt20の上にPB9.5+EP
W14	GW32κ6;t50GCの上にSCB-P;t6木練付

設備器具（すべて別途工事）	
記号	器具名称
SP	ウォールスピーカー
H	避難誘導灯

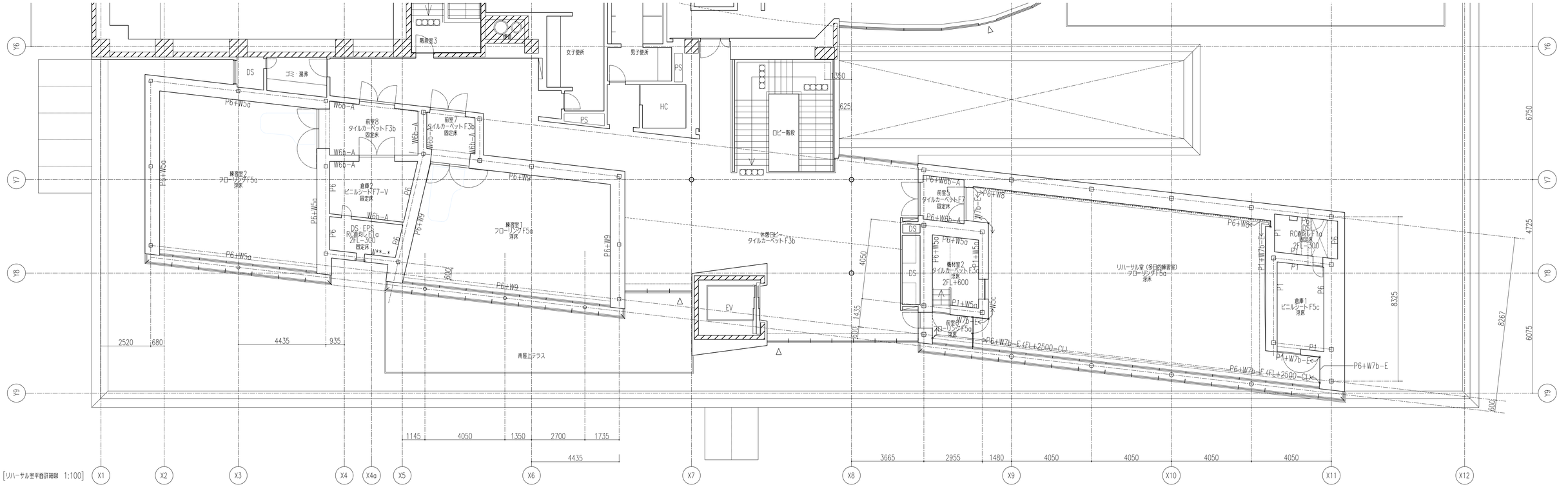
木段壁割付は、木段壁割付図；H-7を参照



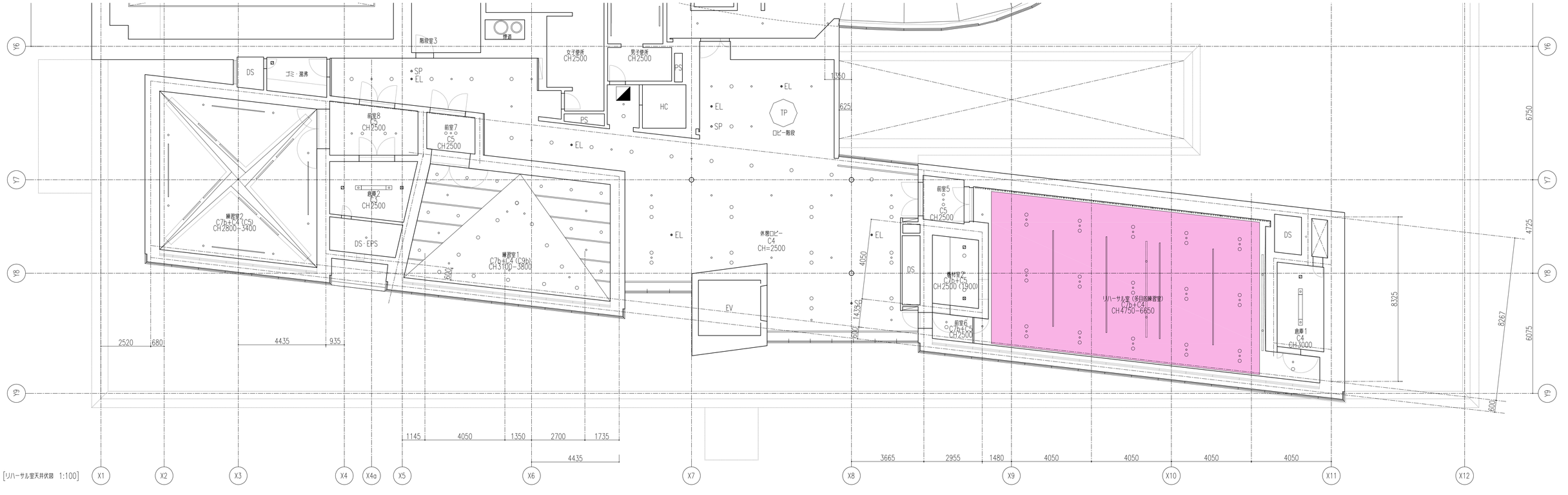




工事名称	三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦		年月日	2005年 5月	図面名称 ホール客席詳細図3　展開図	縮尺 1/100	ファイル名称 A43Det-HL03	図面番号 A-43

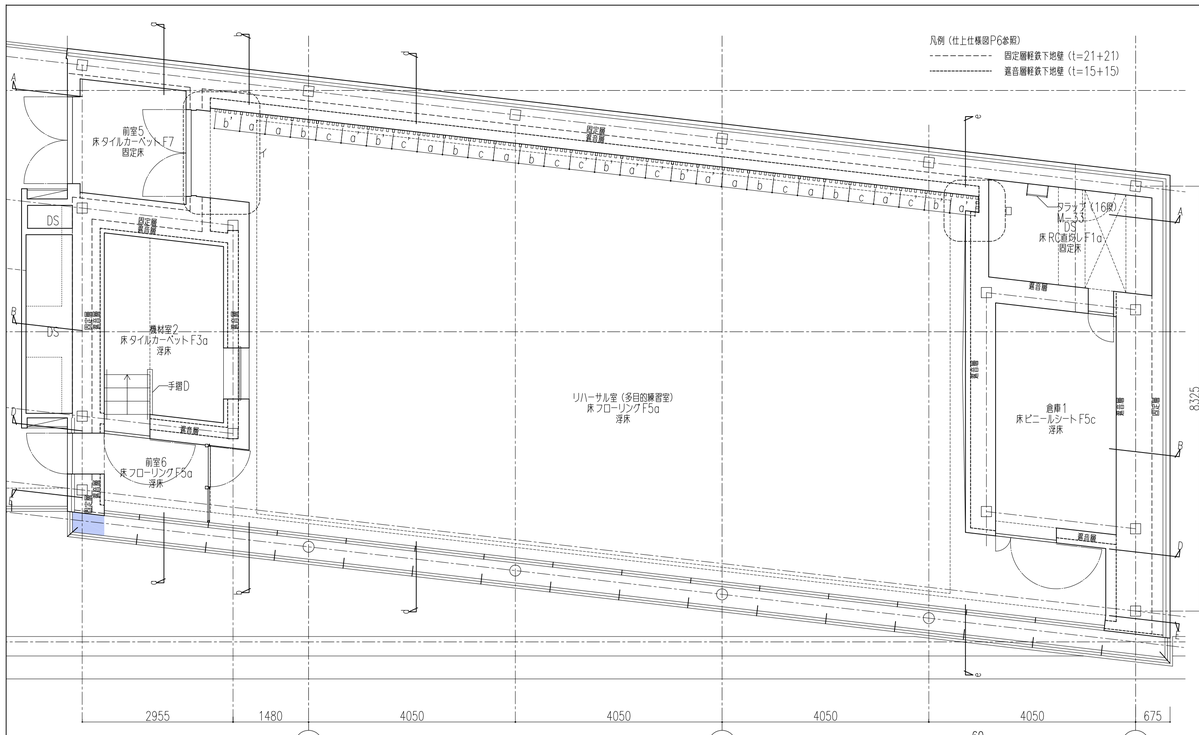


[リハーサル室平面詳細図 1:100]

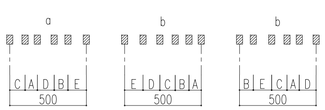


[リハーサル室天井伏図 1:100]

工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦			年月日 2005年 5月	図面名称 2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図1　平面・天井伏図	縮尺 1:100	ファイル名称 A56-58Det-2F00	図面番号 A-56

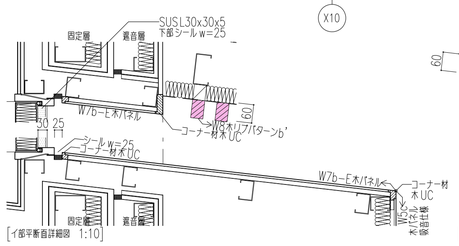


[リハーサル室平面詳細図 1:60]

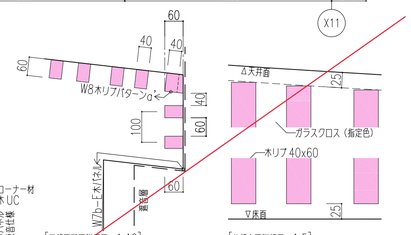


A=80,B=90,C=100,D=110,E=120
「x'」はパターン「x」の左右反転
木リブ外寸＝40x60

[木リブ パターン図 1:20]

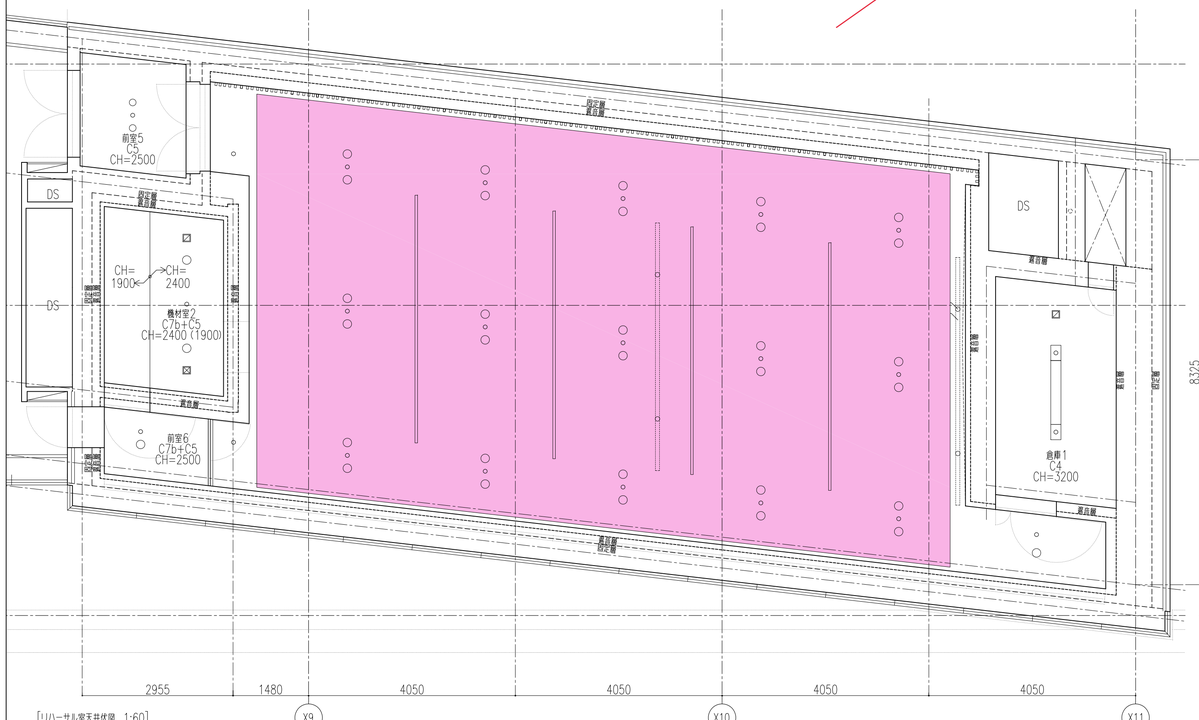


[イ部平断面詳細図 1:10]

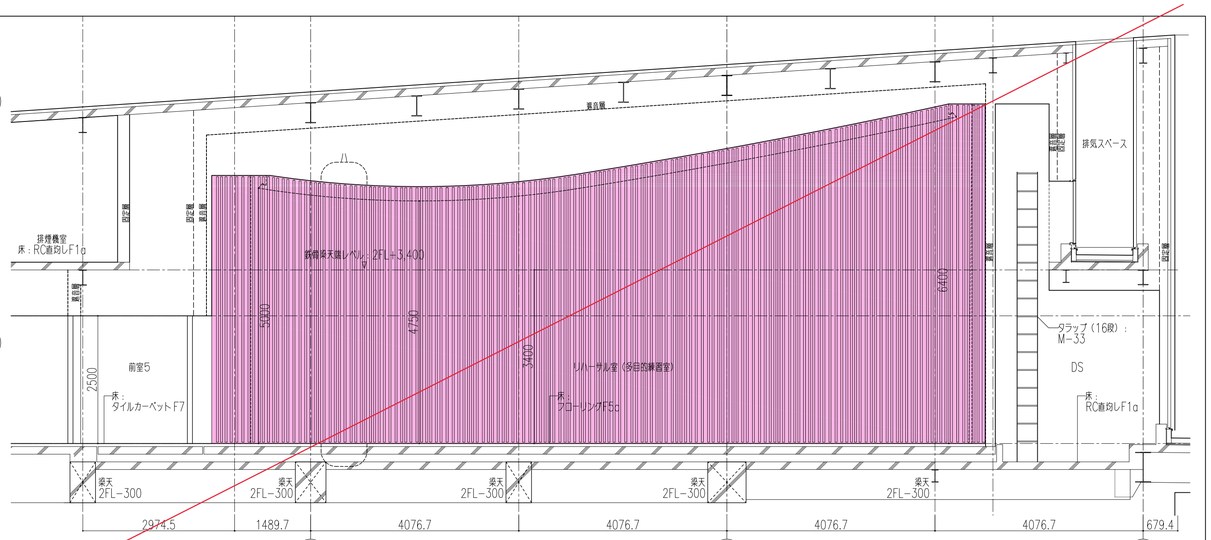


[ロ部平断面詳細図 1:10]

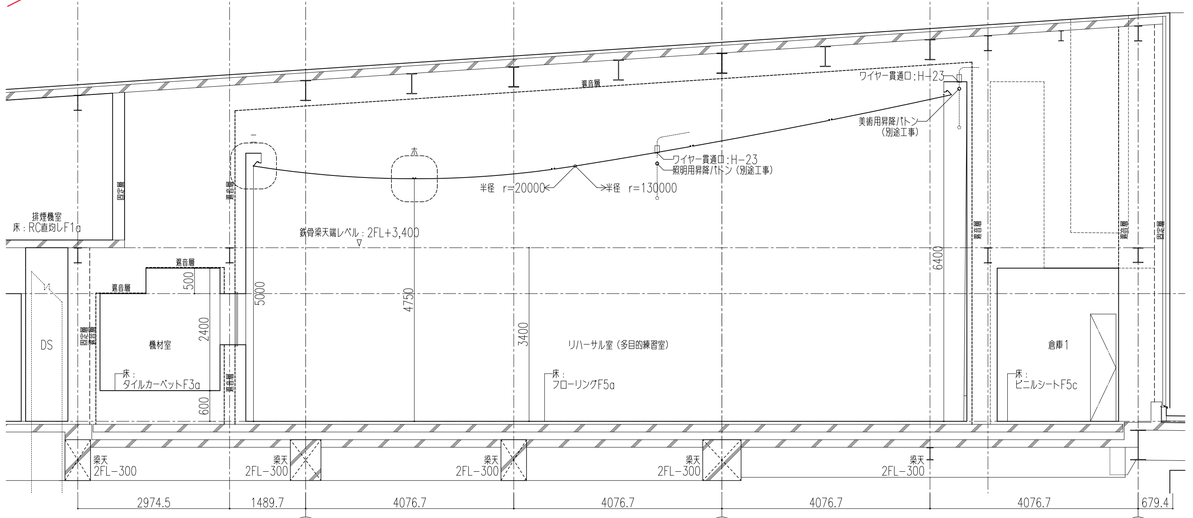
[ハ部立面詳細図 1:5]



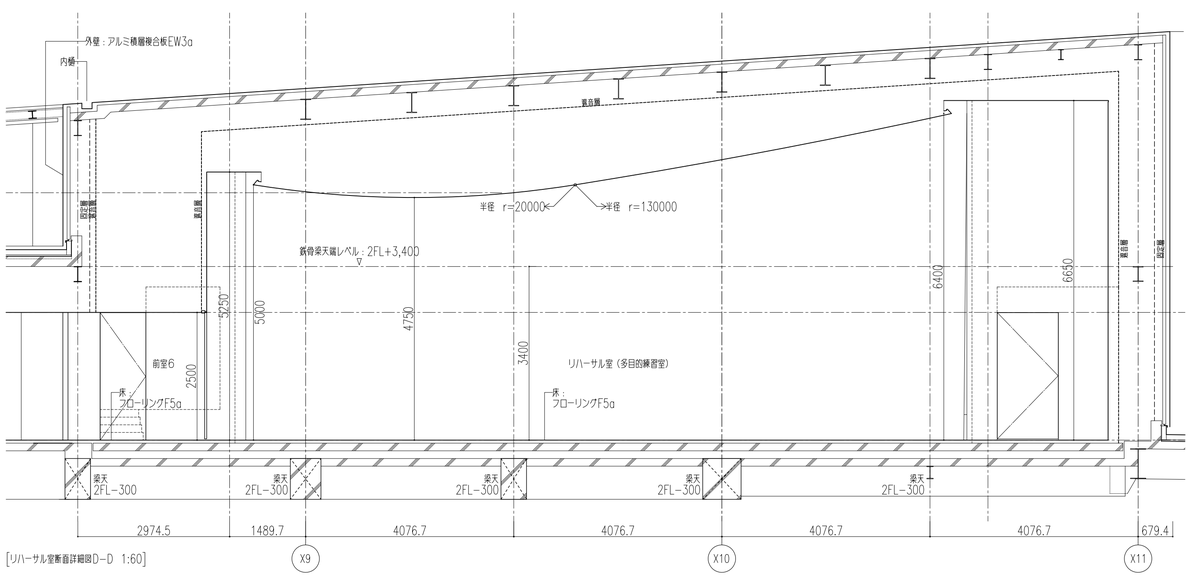
[リハーサル室天井伏図 1:60]



[リハーサル室断面詳細図A-A 1:60]

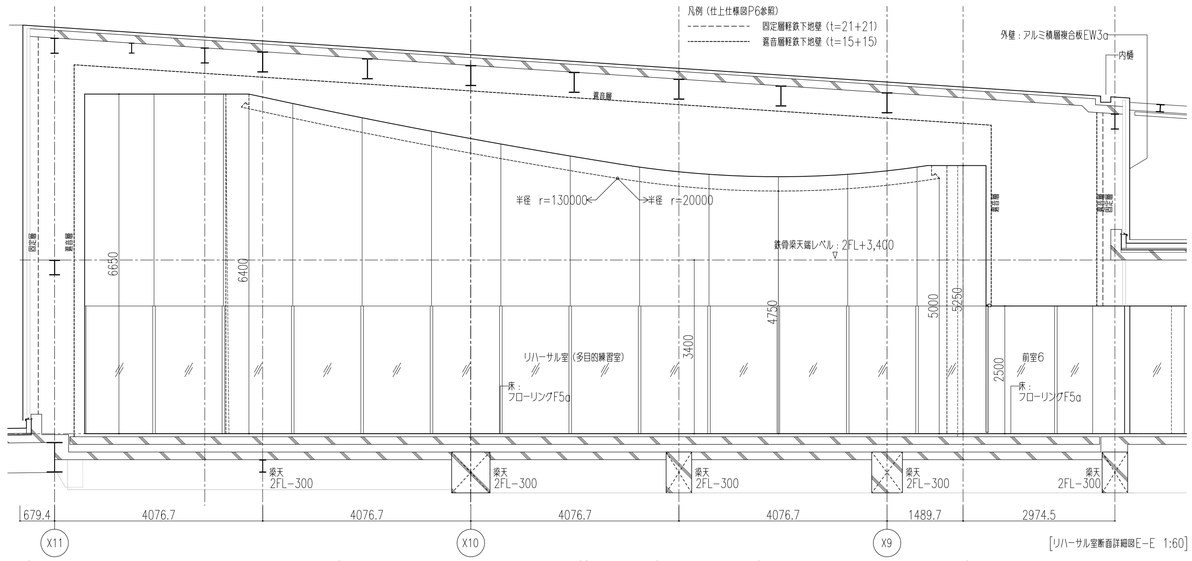


[リハーサル室断面詳細図B-B 1:60]

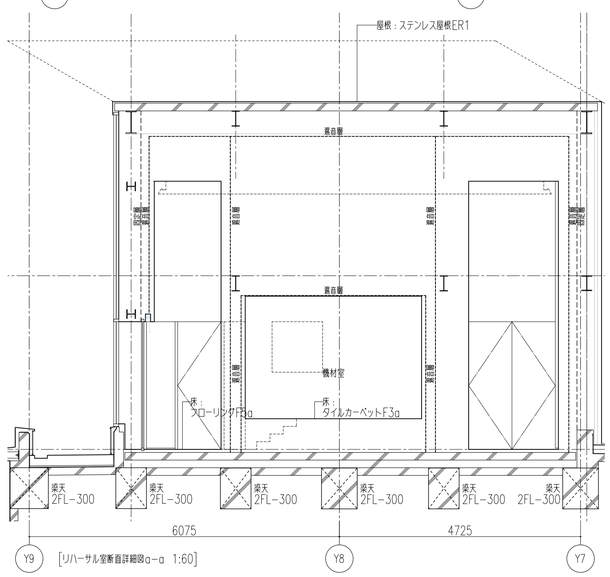


[リハーサル室断面詳細図D-D 1:60]

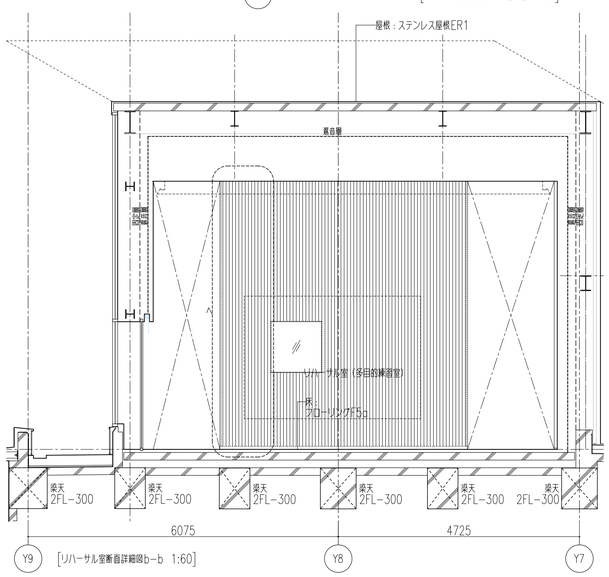
工事名称			年月日	図書名称	縮尺	ファイル名称	図書番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 曽文彦	2005年 5月	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図2　リハーサル室	1:60 1:20 1:10 1:5	A56-58Det-2F00	A-57



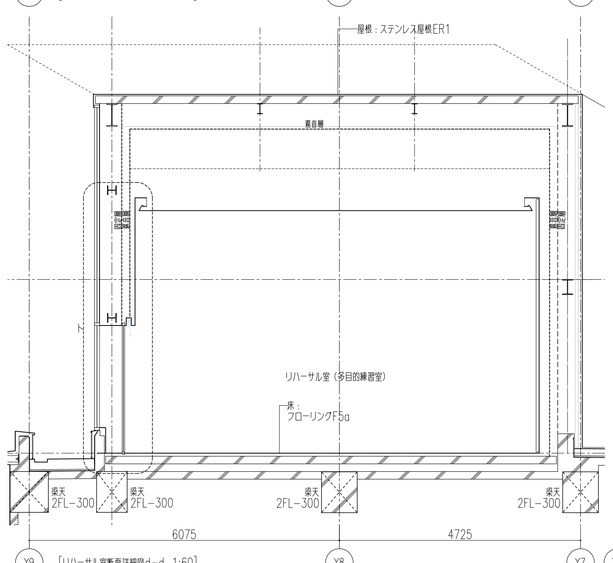
[リハーサル室断面詳細図E−E 1:60]



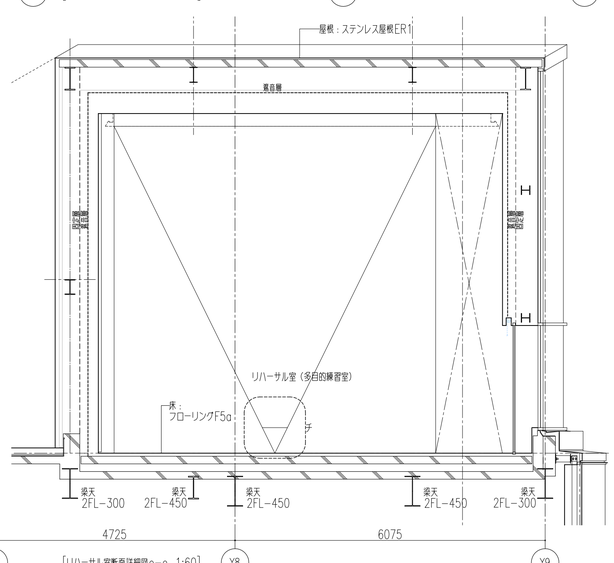
[リハーサル室断面詳細図a−a 1:60]



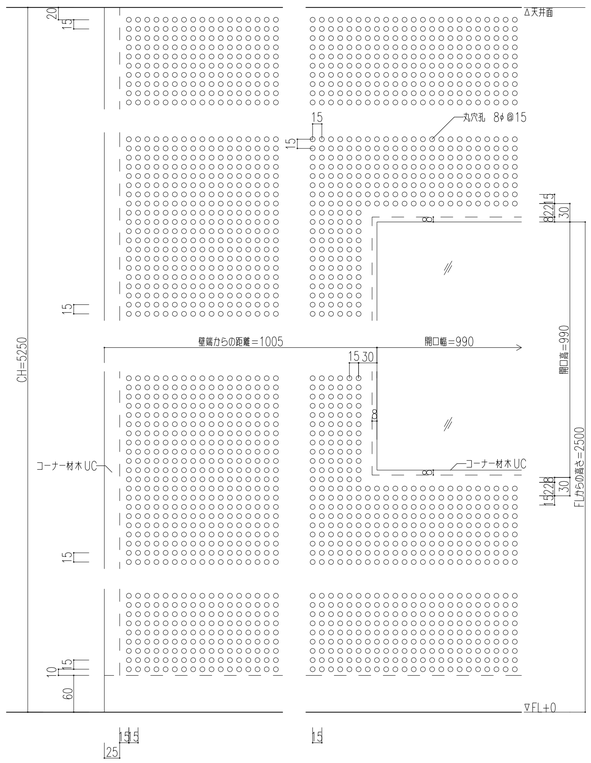
[リハーサル室断面詳細図b−b 1:60]



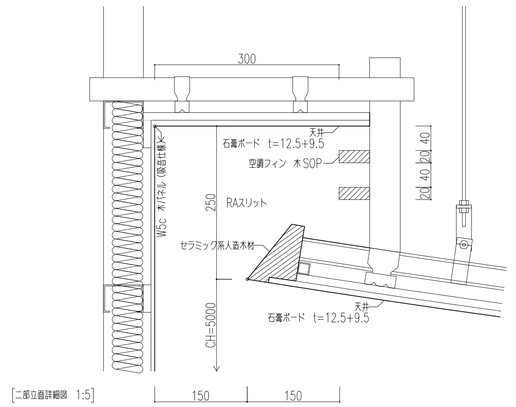
[リハーサル室断面詳細図d−d 1:60]



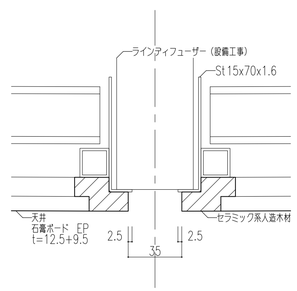
[リハーサル室断面詳細図e−e 1:60]



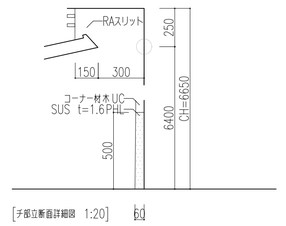
[ヘ部立面詳細図 1:5]



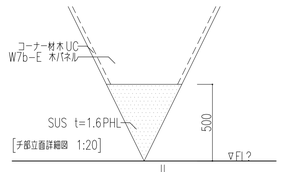
[ニ部立面詳細図 1:5]



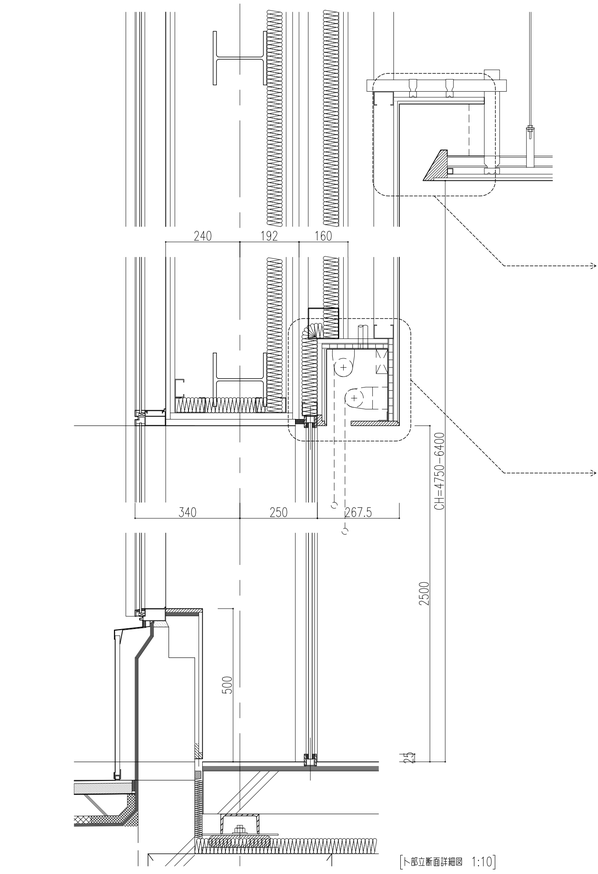
[木部立面詳細図 1:2]



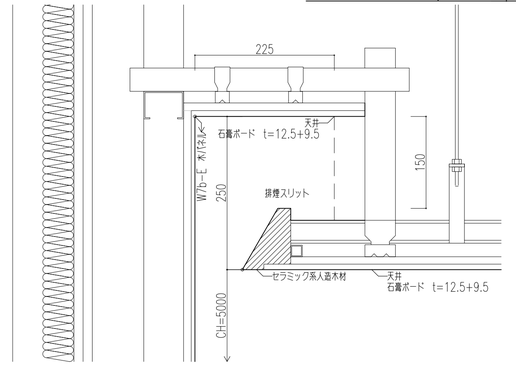
[チ部立面詳細図 1:20]



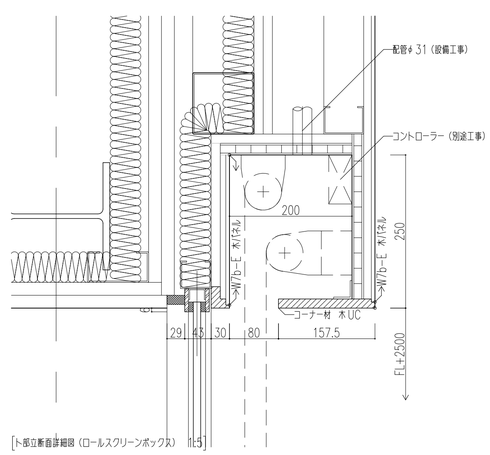
[チ部立面詳細図 1:20]



[ト部立面詳細図 1:10]

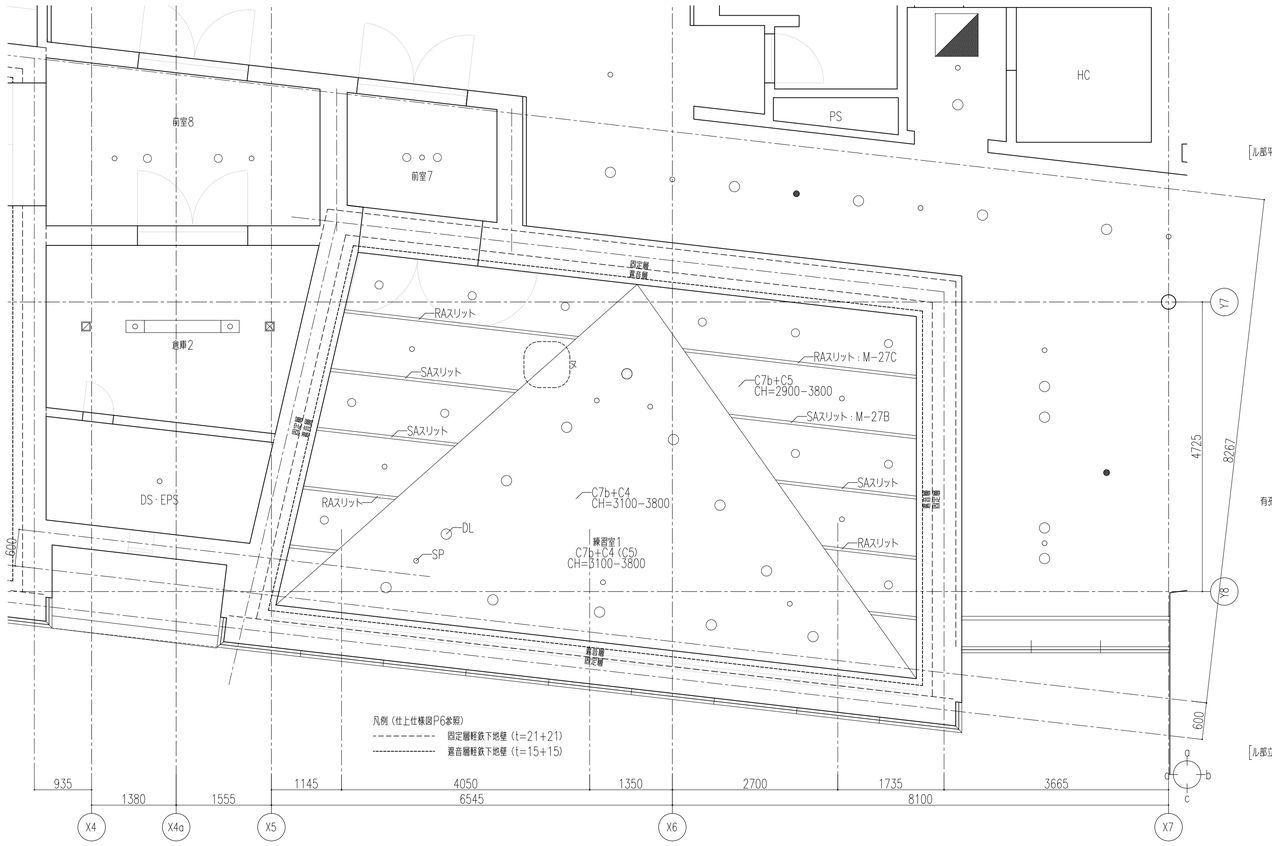


[ト部立面詳細図（排煙スリット） 1:5]

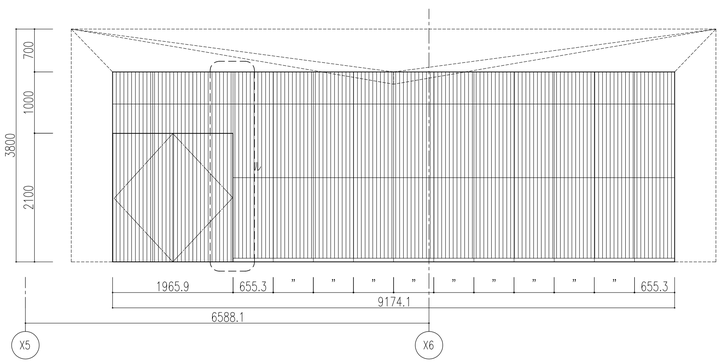


[ト部立面詳細図（ロールスクリーンボックス） 1:5]

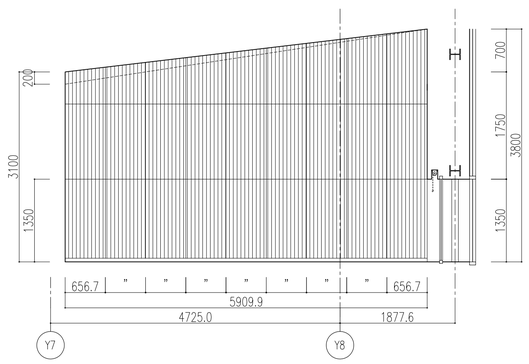
工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）		株式会社 槇総合計画事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦		年月日 2005年 5月	図面名称 2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図3 リハーサル室	縮尺 1:60 1:20 1:10 1:5 / ファイル名称 A56−58Det−2F00 / 図面番号 A−58



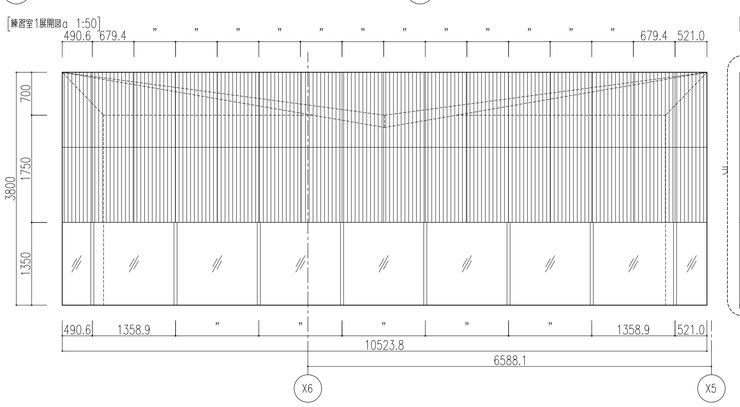
練習室1天井伏図 1:50



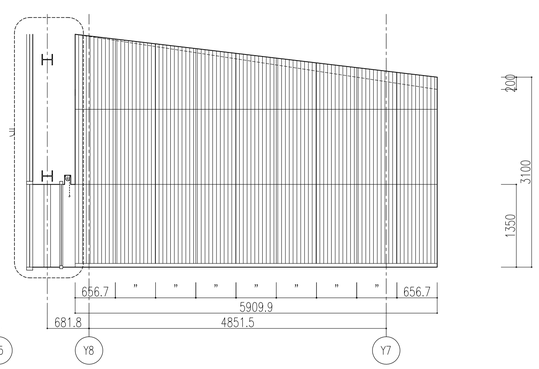
練習室1展開図a 1:50



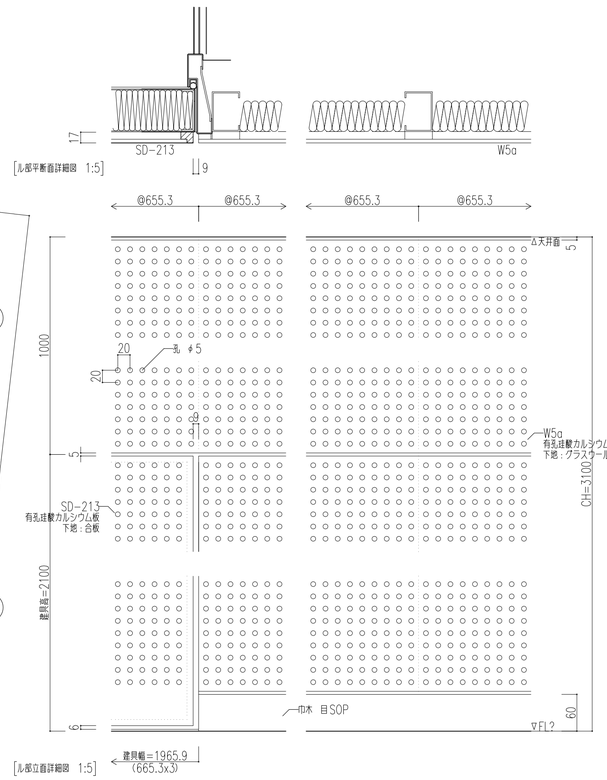
練習室1展開図b 1:50



練習室1展開図c 1:50

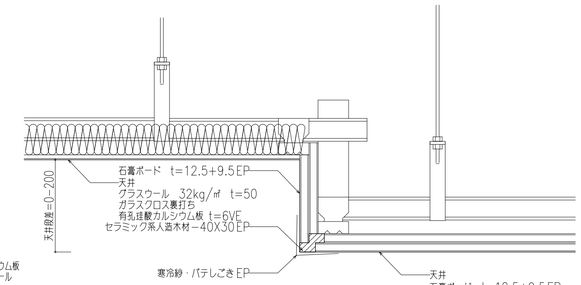


練習室1展開図d 1:50

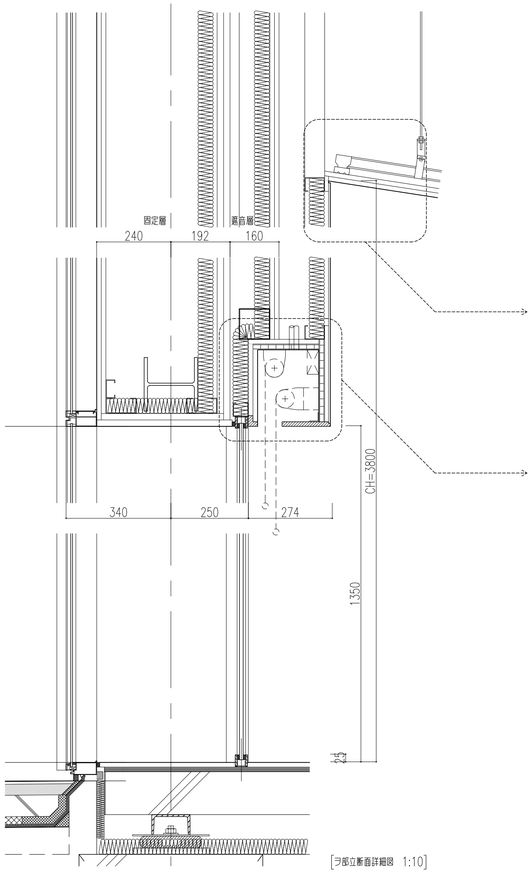


ル部平断面詳細図 1:5

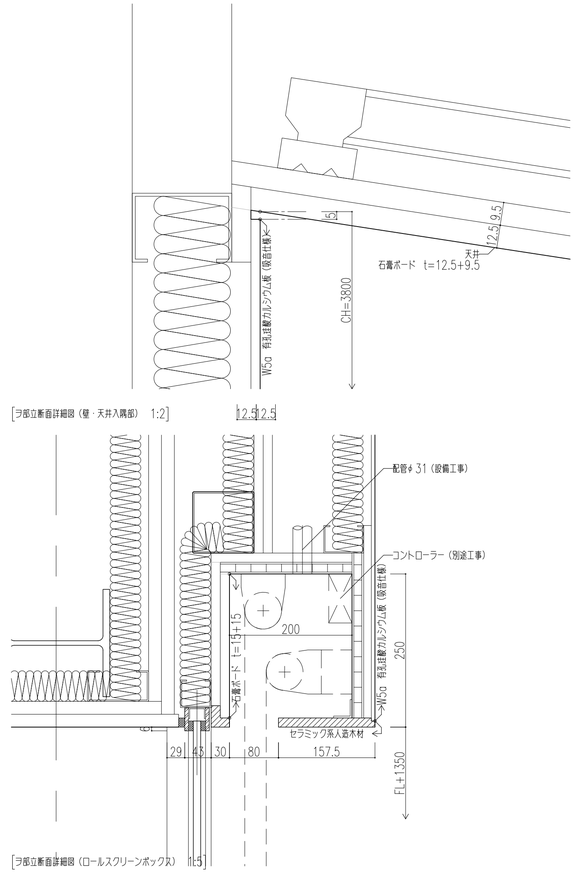
ル部立断面詳細図 1:5



ヌ部立断面詳細図 1:5



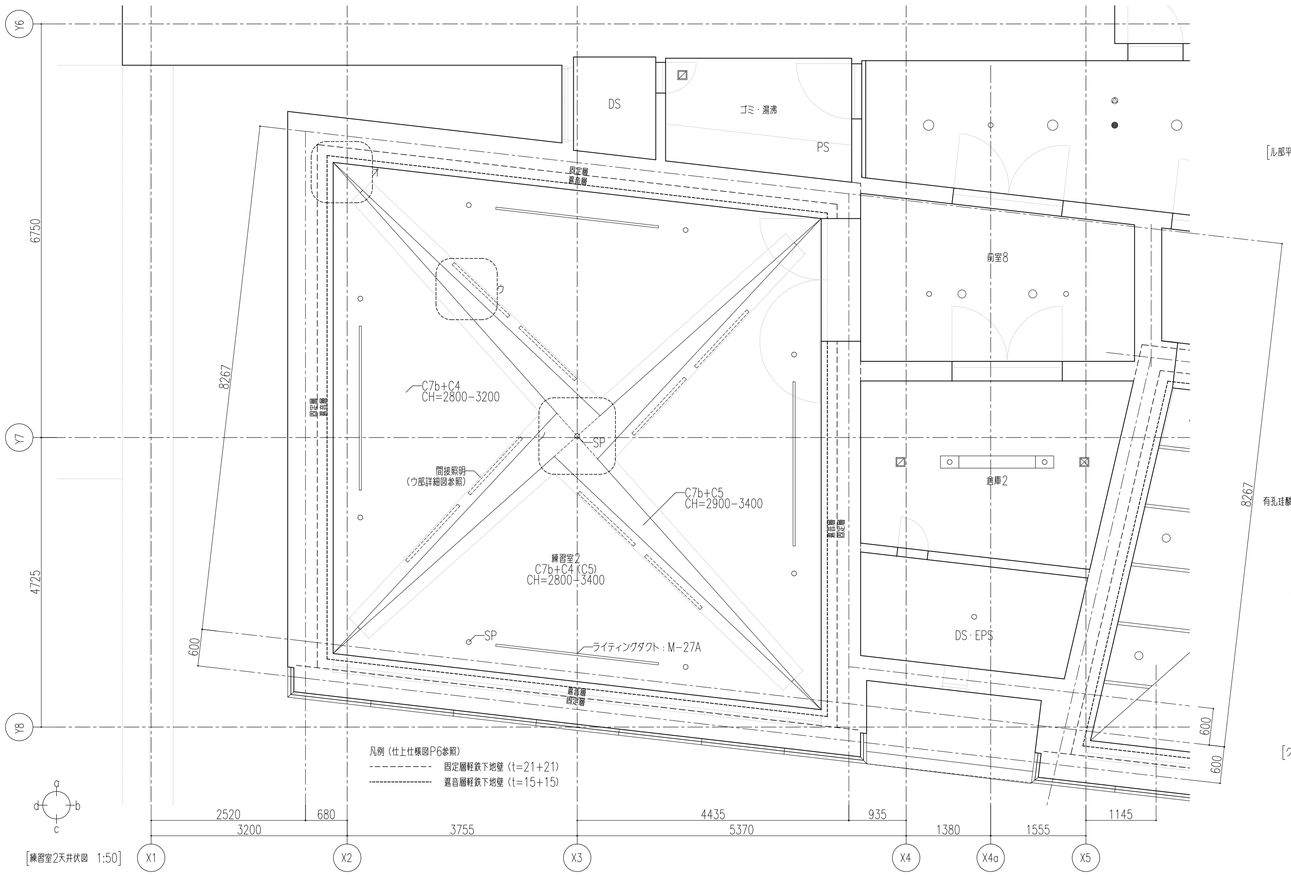
ヲ部立断面詳細図 1:10



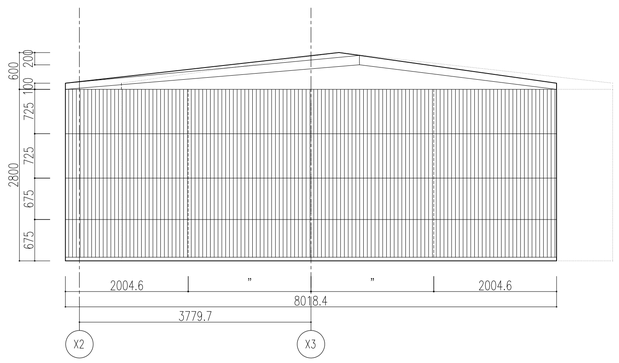
ヲ部立断面詳細図（壁・天井入隅部） 1:2

ヲ部立断面詳細図（ロールスクリーンボックス） 1:5

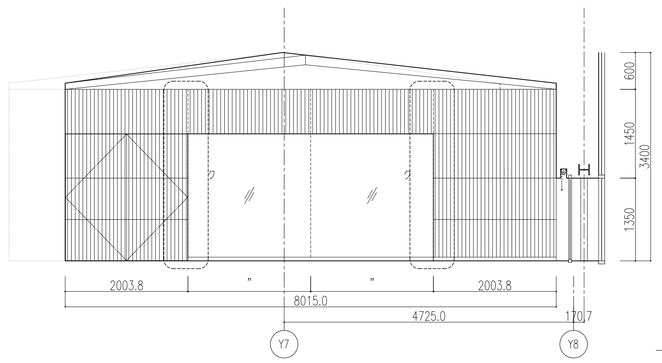
工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）		株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦		年月日 2005年 5月	図面名称 2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図4 練習室1	縮尺 1:50 1:20 1:10 1:5
ファイル名称 A59n-60Det-2F02	図面番号 A-59n						



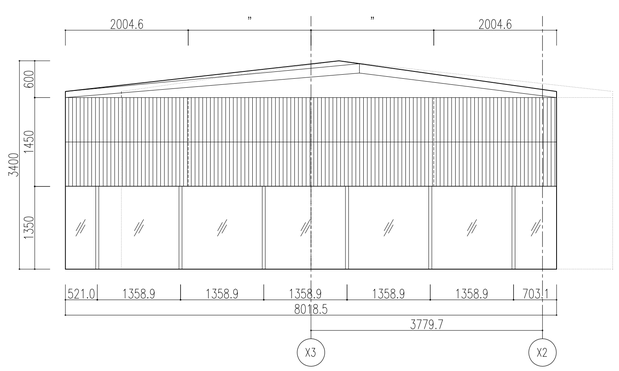
[練習室2天井伏図 1:50]



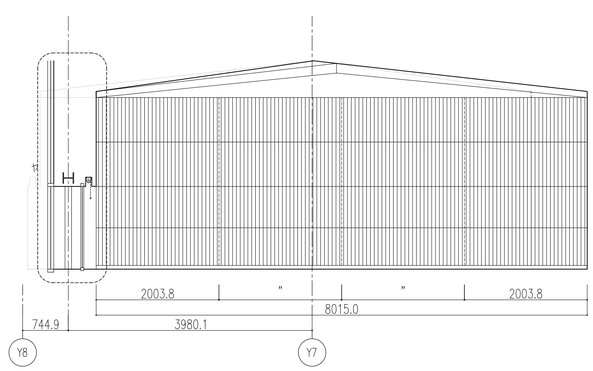
[練習室2展開図a 1:50]



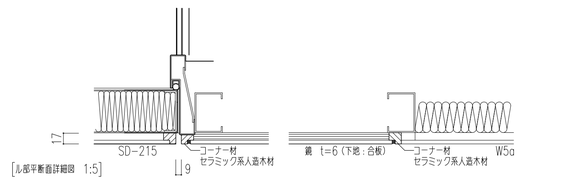
[練習室2展開図b 1:50]



[練習室2展開図c 1:50]

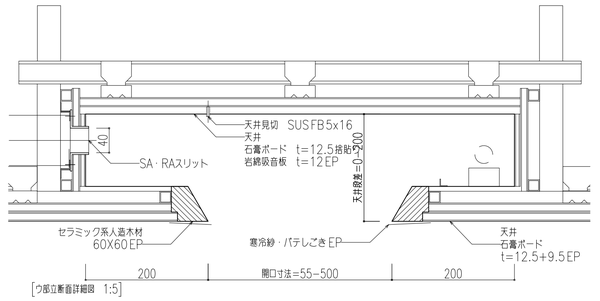


[練習室2展開図d 1:50]

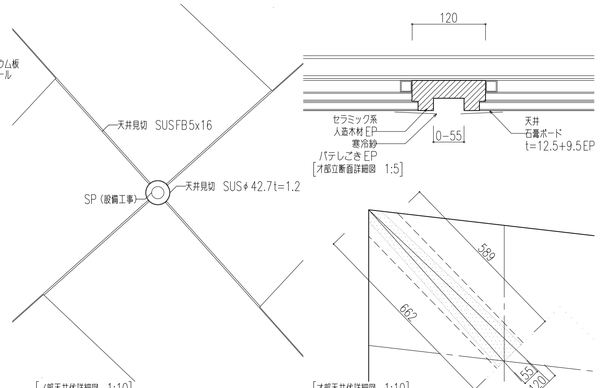


[ル部平断面詳細図 1:5]

[ク部立面詳細図 1:5]



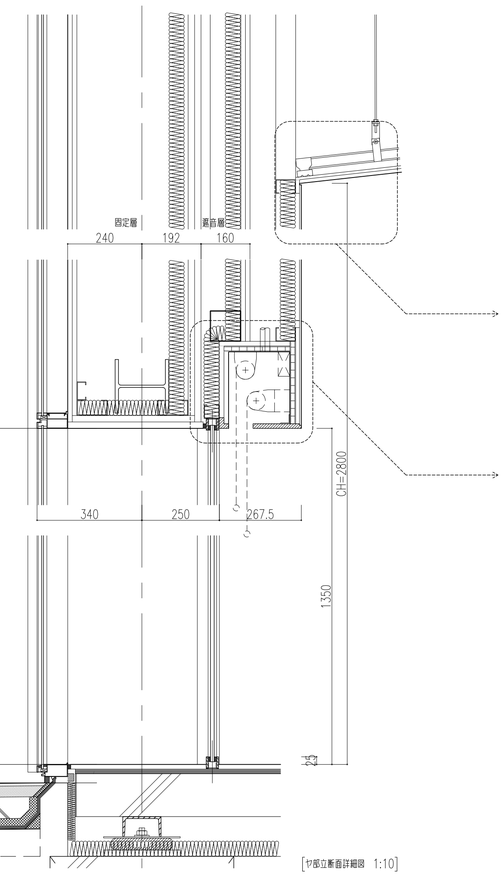
[ウ部立面詳細図 1:5]



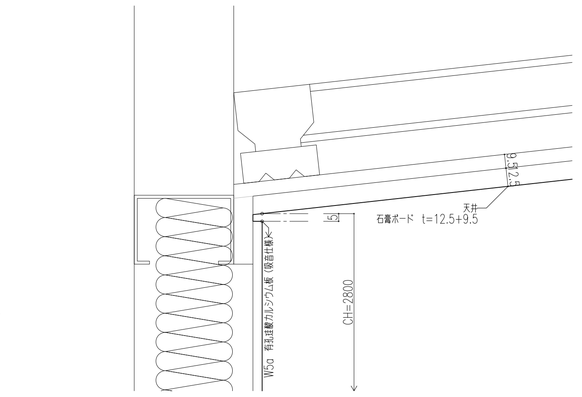
[ノ部天井伏詳細図 1:10]

[オ部立面詳細図 1:5]

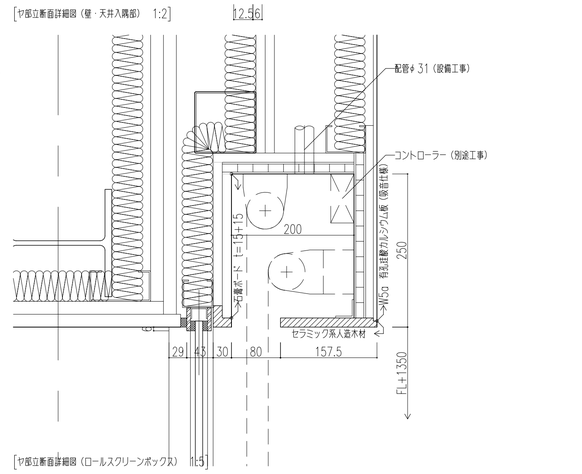
[オ部天井伏詳細図 1:10]



[ヤ部立面詳細図 1:10]

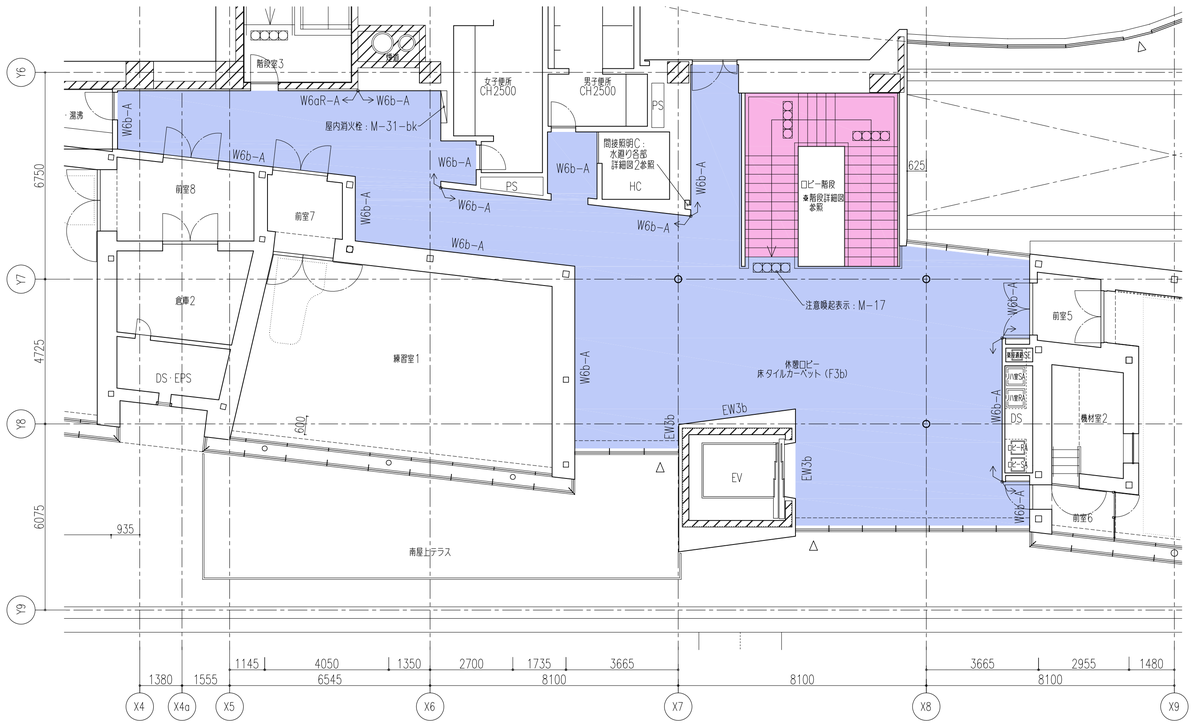


[ヤ部立面詳細図（壁・天井入隅部） 1:2]

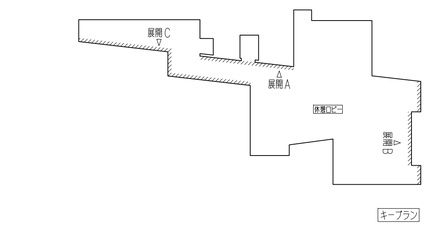


[ヤ部立面詳細図（ロールスクリーンボックス） 1:5]

工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）		株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦			年月日 2005年 5月	図面名称 2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図5 練習室2	縮尺 1:50 1:20 1:10 1:5	ファイル名称 A59n-60Det-2F02	図面番号 A-60

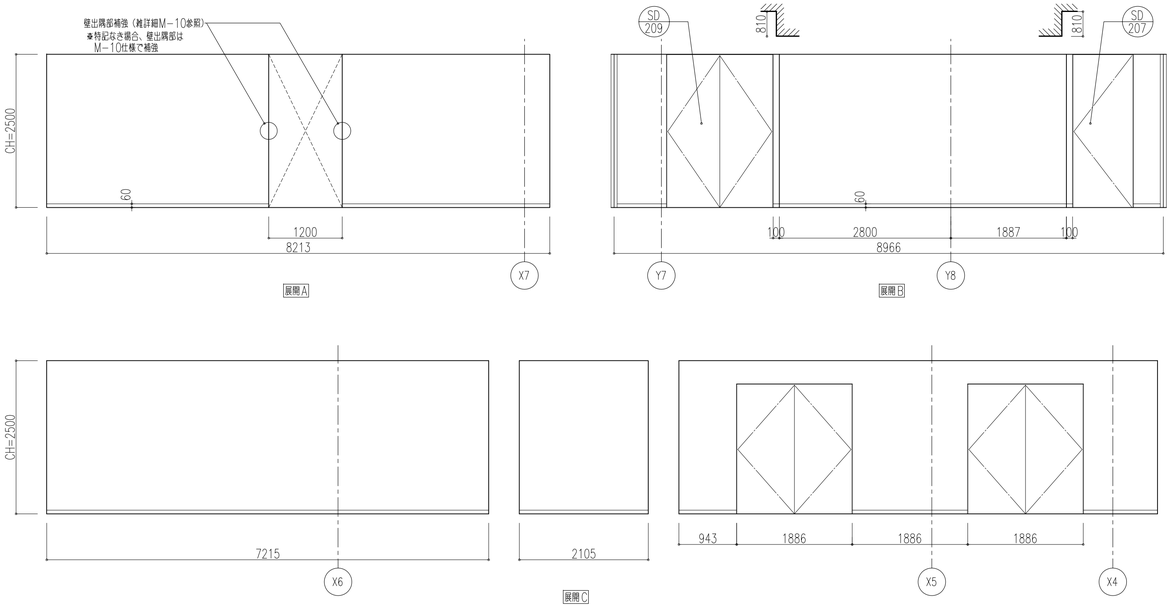


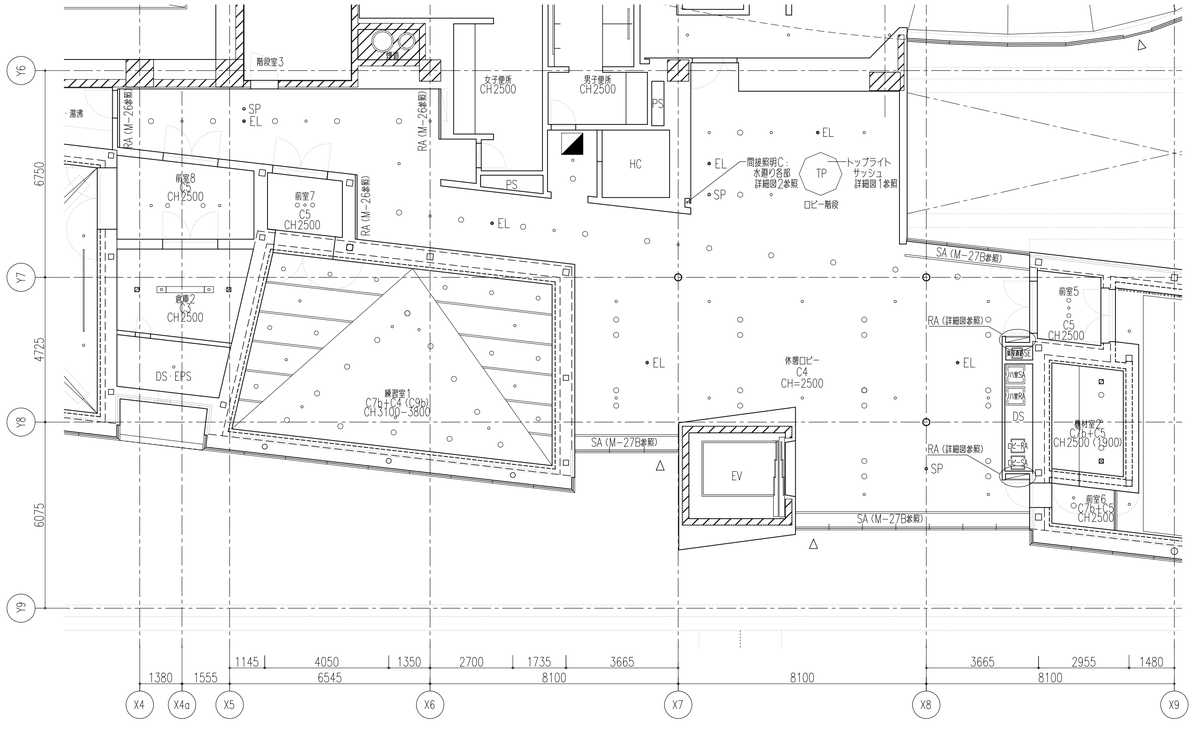
[休憩ロビー廻り平面図 1:100]



キープラン

2F：	休憩ロビー仕上仕様	CH=2500
天井	PB12.5+9.5t の上、EP−U	
壁	PB12.5+9.5t の上、EP−U	
巾木	木SOP,H60	
床	タイルカーペット	
その他		

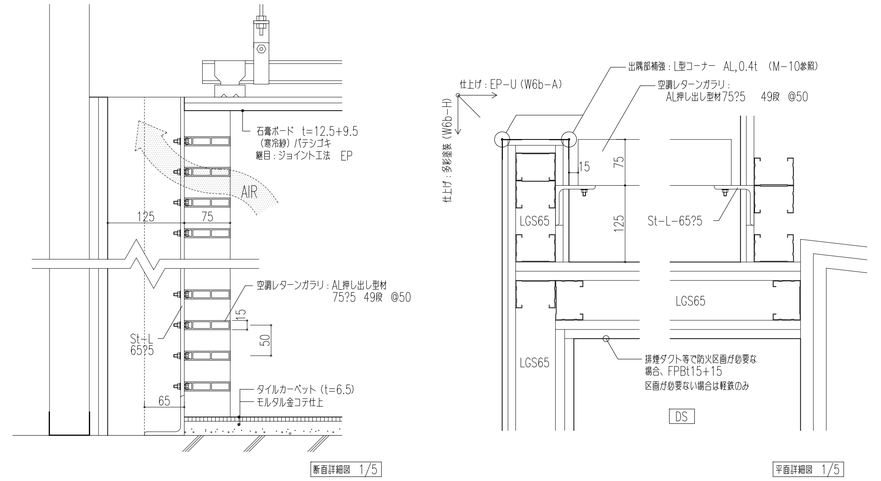




[休憩ロビー廻り天井伏図 1:100]

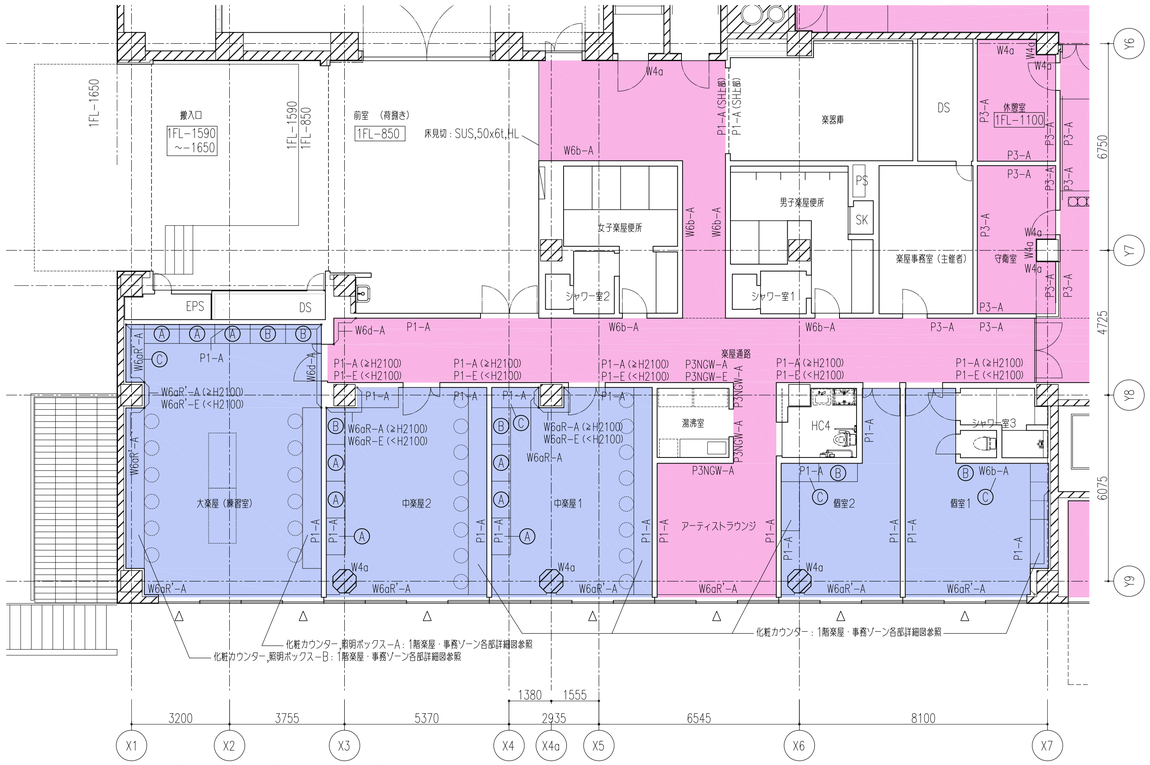
設備器具（すべて別途工事）	
記号	器具名称
◪	排煙口
○	ダウンライト
●EL	非常用照明
●SP	スピーカー
○	スプリンクラー

壁　レターンガラリ詳細図



断面詳細図 1/5　　平面詳細図 1/5

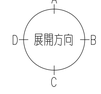
工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図6　ロビー	1:100 1:50	A61Det−2F03_070906	A−61



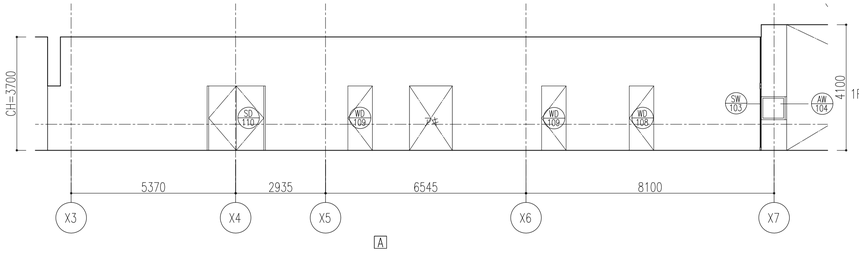
平面詳細図各所FLは特記ない限り1FL−850とする

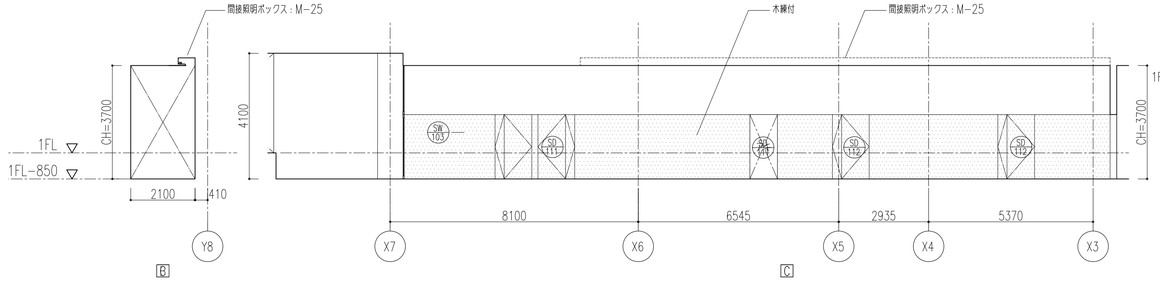
＊DS内部の仕上げは特記ない限りRC打放しC種、若しくはスタッド露わしとする

平面詳細図中 Ⓐ は造作クローゼットA，Ⓑ は造作クローゼットB，Ⓒ は造作クローゼットCとし、
それぞれ1階楽屋・事務ゾーン各部詳細参照のこと

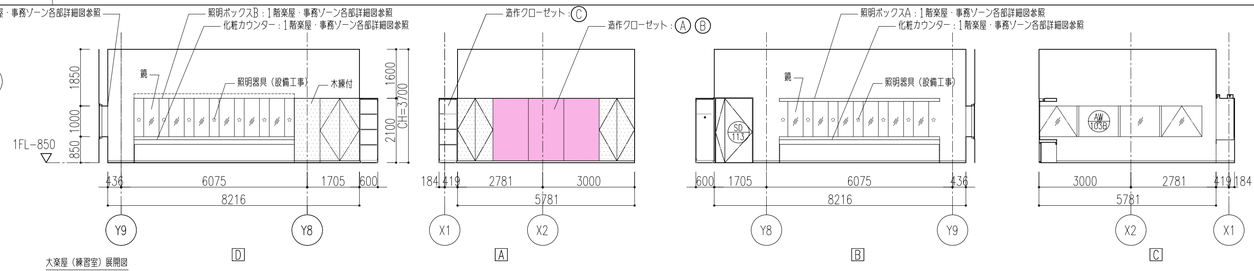


1F： 楽屋通路仕様	CH=3700
天井	PB12.5+9.5tのi-EP−U
壁	FPB15+15tのi-EP−U PB12.5+9.5tのi-EP−U PB12.5+9.5tの上木練付パネル
巾木	木SOP,H60
床	フローリングUC（モルタル仕様）
その他	

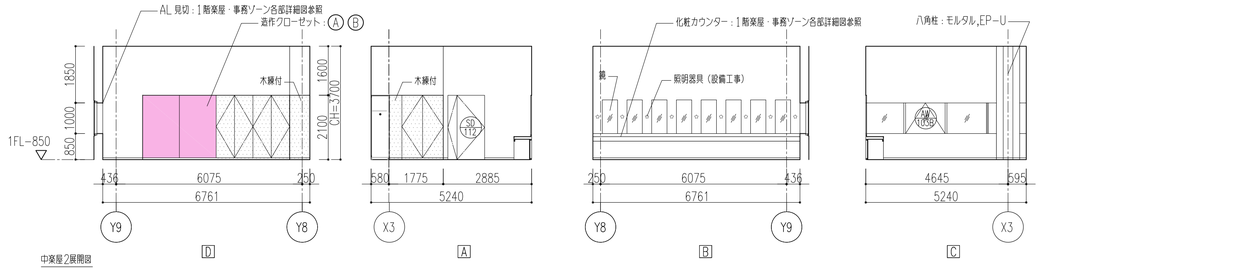




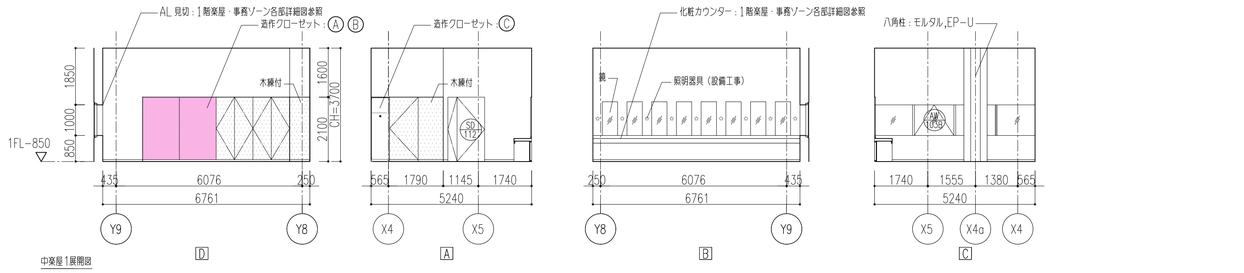
楽屋通路展開図



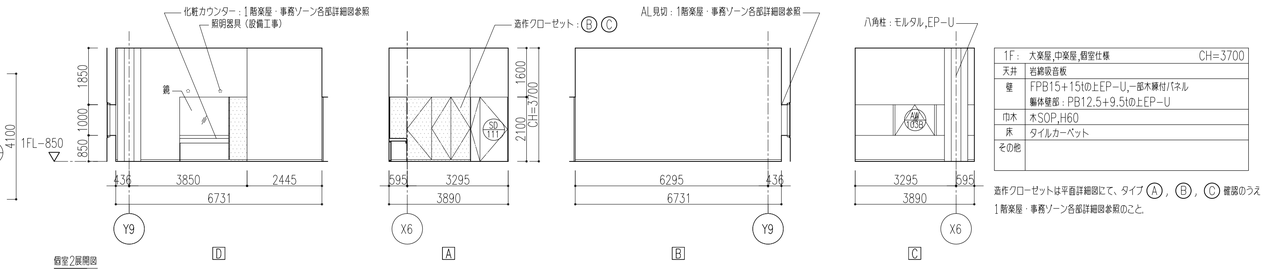
大楽屋（練習室）展開図



中楽屋2展開図



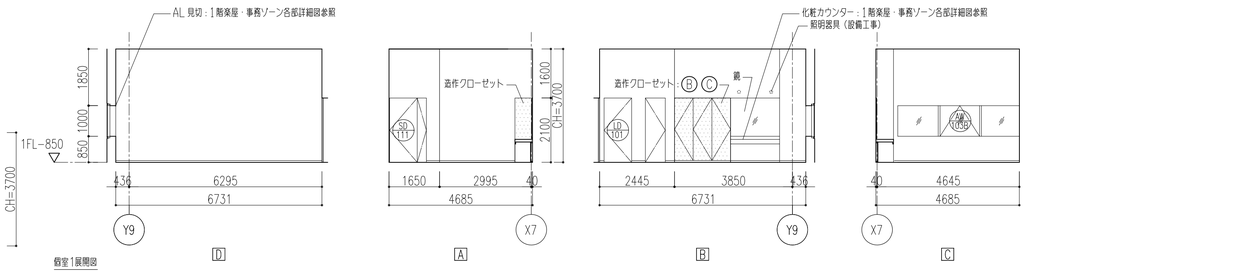
中楽屋1展開図



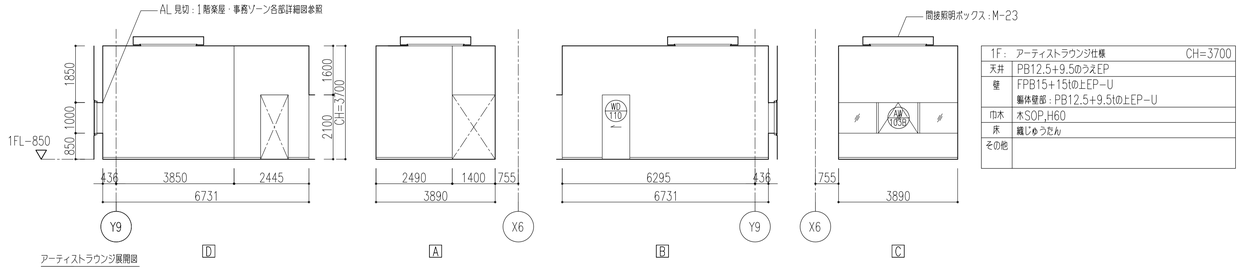
1F： 大楽屋,中楽屋,個室仕様	CH=3700
天井	岩綿吸音板
壁	FPB15+15tのi-EP−U,一部木練付パネル 躯体壁部：PB12.5+9.5tのi-EP−U
巾木	木SOP,H60
床	タイルカーペット
その他	

造作クローゼットは平面詳細図にて、タイプ Ⓐ，Ⓑ，Ⓒ 混在のうえ
1階楽屋・事務ゾーン各部詳細図参照のこと。

個室2展開図



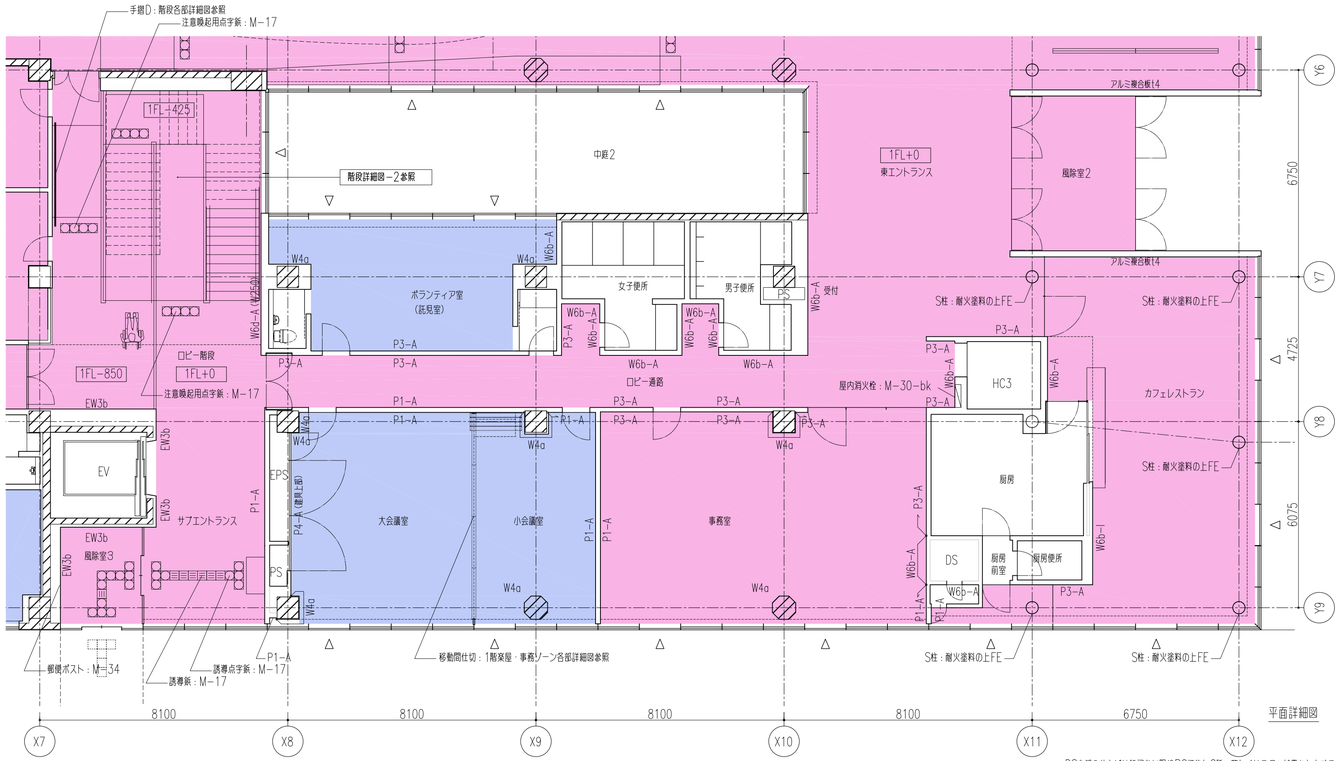
個室1展開図



アーティストラウンジ展開図

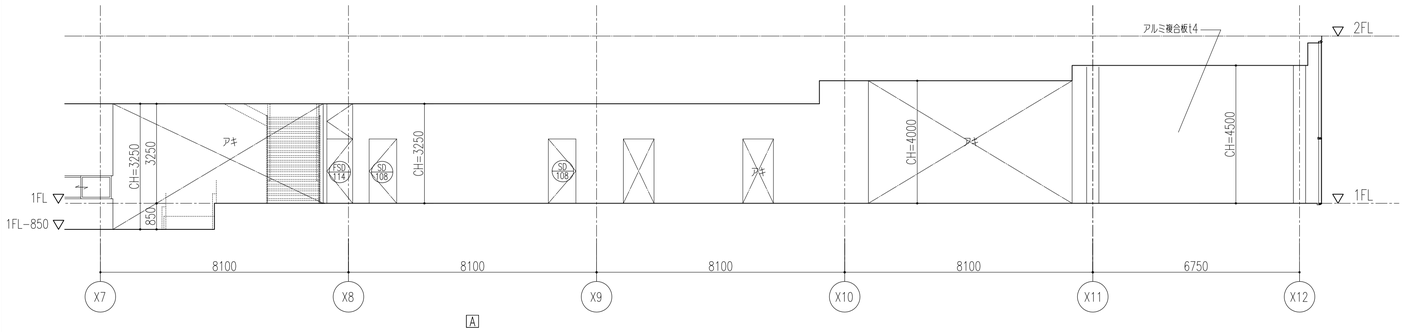
1F： アーティストラウンジ仕様	CH=3700
天井	PB12.5+9.5のうえEP
壁	FPB15+15tのi-EP−U 躯体壁部：PB12.5+9.5tのi-EP−U
巾木	木SOP,H60
床	籠じゅうたん
その他	

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槻総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槻 文彦	2005年 5月	1階楽屋・事務ゾーン詳細図1　楽屋廻り	1:100	A62Det−1F01	A−62

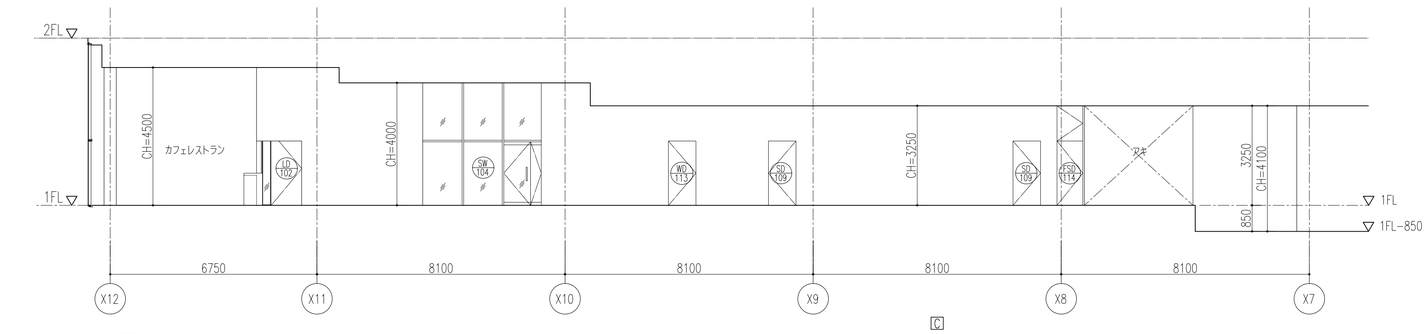


平面詳細図

※DS内部の仕上げは特記ない限りRC打放しC種、若しくはスタッド露わしとする



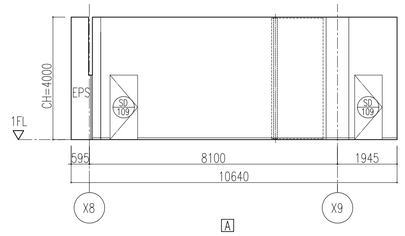
A



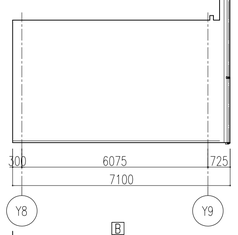
C

ロビー通路展開図

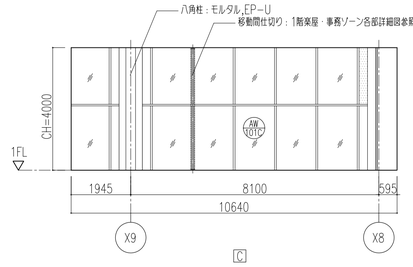
1F： ロビー通路仕様	CH=3250
天井	PB12.5+9.5tのE−P−U
壁	FPB15+15tのE−P−U PB12.5+9.5tのE−P−U
巾木	木SOP,H60
床	フローリングUC（モルタル仕様）
その他	



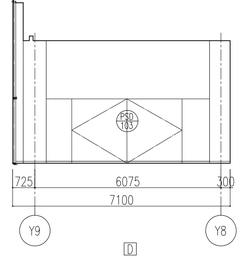
A



B



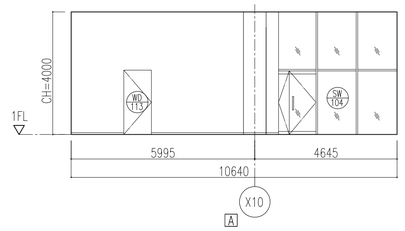
C



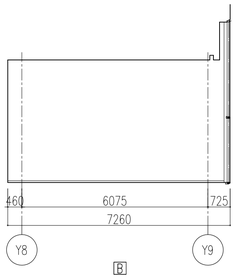
D

1F： 大会議室　小会議室仕様	CH=4000
天井	岩綿吸音板 PB12.5+9.5tのE−P−U
壁	FPB15+15tのE−P−U PB12.5+15tのE−P−U
巾木	木SOP,H60
床	タイルカーペット（OA：H=85）
その他	

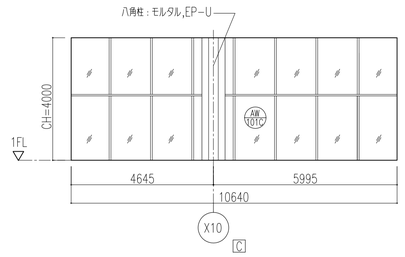
大会議室　小会議室展開図



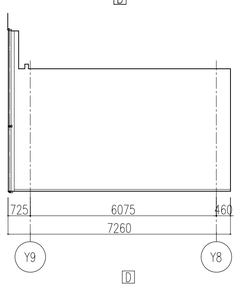
A



B



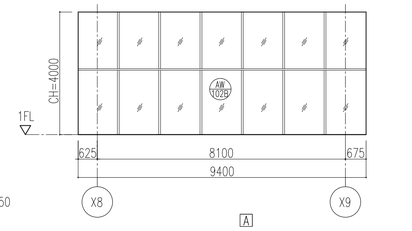
C



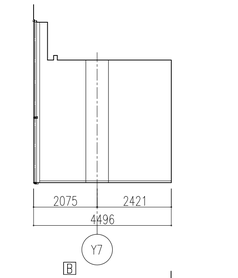
D

1F： 事務室仕様	CH=4000
天井	岩綿吸音板 PB12.5+9.5tのE−P−U
壁	FPB15+15tのE−P−U PB12.5+9.5tのE−P−U
巾木	ビニル巾木,H60
床	タイルカーペット（OA：H=85）
その他	

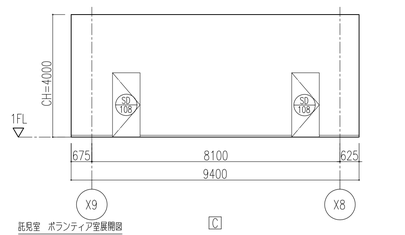
事務室展開図



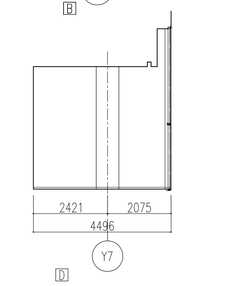
A



B



C



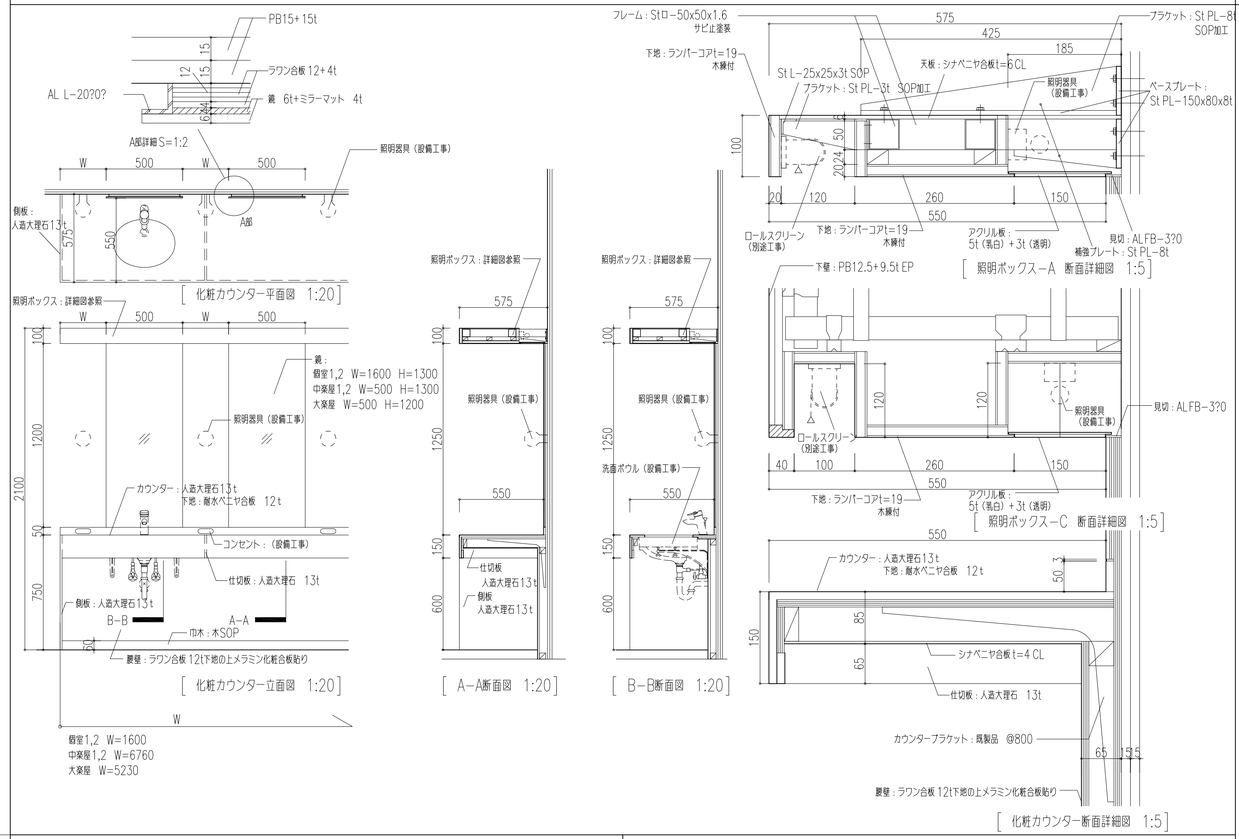
D

1F： 託児室　ボランティア室仕様	CH=4000
天井	岩綿吸音板 PB12.5+9.5tのE−P−U
壁	FPB15+15tのE−P−U PB12.5+9.5tのE−P−U
巾木	木SOP,H60
床	コルクタイル
その他	

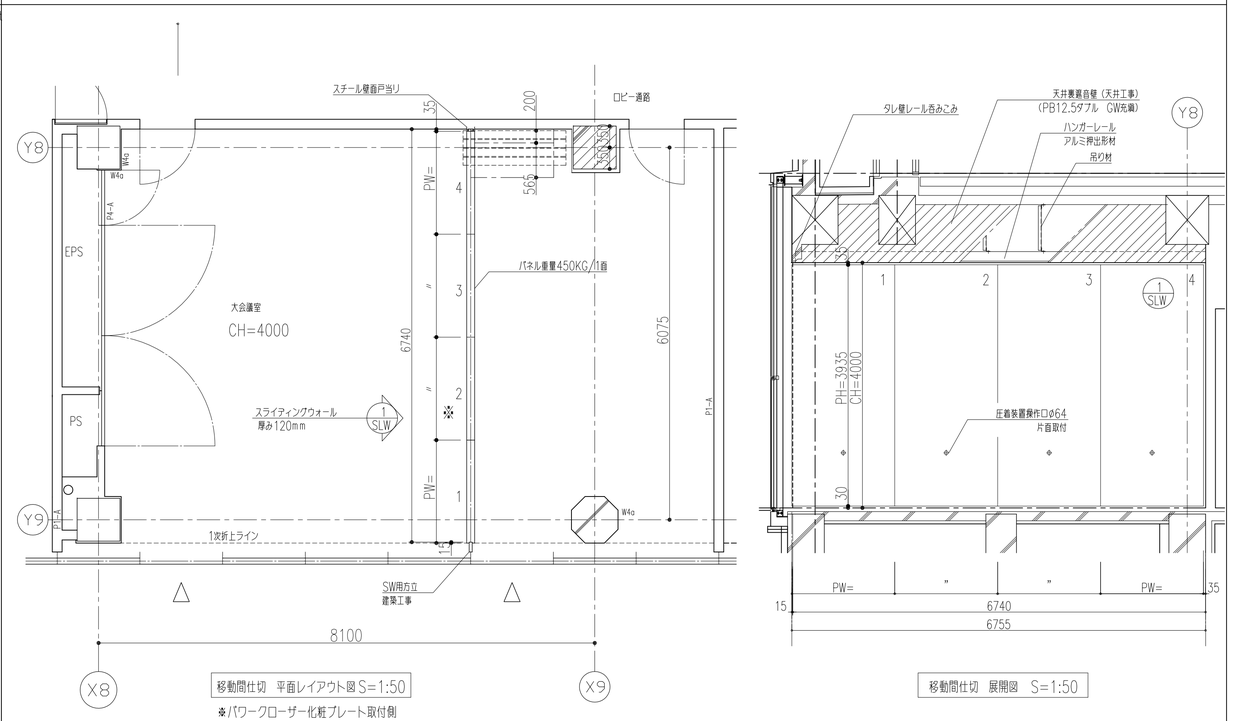
託児室　ボランティア室展開図

工事名称			年月日	図面名称		縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	1階薬屋・事務ゾーン詳細図2　事務室会議室		1:100	A63Det−1F02	A−63

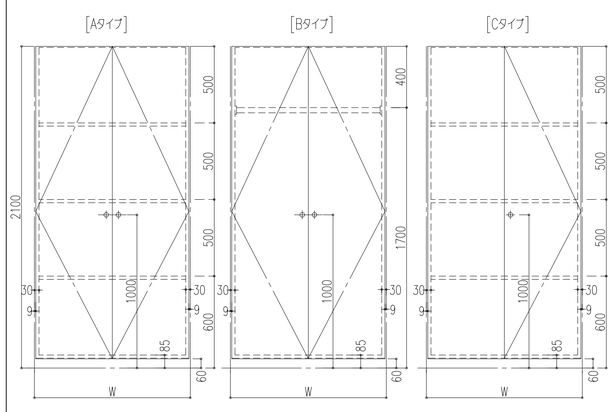
化粧カウンター　1:20 1:5 1:2

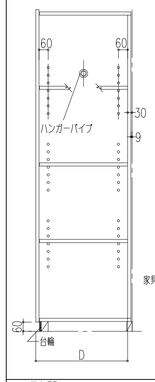


移動間仕切り　1:5 1:50



造作クローゼット　1:20





個室1		
Aタイプ	?	–
Bタイプ	?	W=1245
Cタイプ	?	W=1245

個室2		
Aタイプ	?	–
Bタイプ	?	W=1245
Cタイプ	?	W=1245（個室1の反転タイプ）

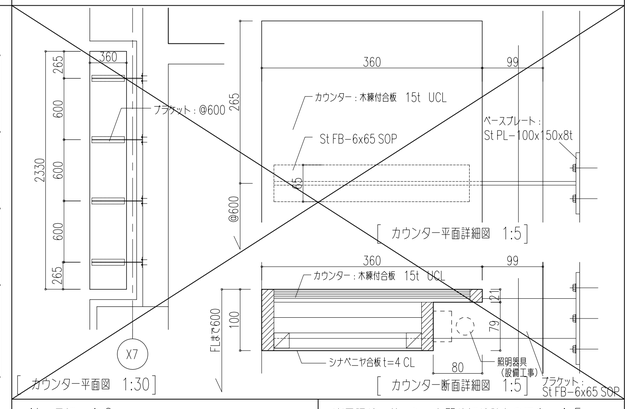
中楽屋1		
Aタイプ	?	W=1200
Bタイプ	?	W=1200
Cタイプ	?	W=1535

中楽屋2		
Aタイプ	?	W=1200
Bタイプ	?	W=1200
Cタイプ	?	–

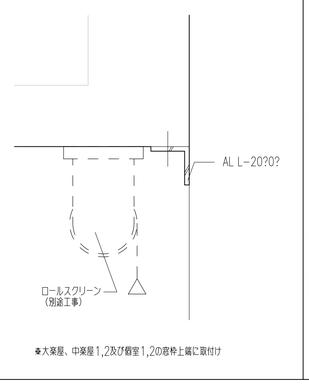
大楽屋（練習室）		
Aタイプ	?	W=1145
Bタイプ	?	W=1145
Cタイプ	?	W=1880　（両扉タイプ）

※扉　木練付　UCL塗装
※クローゼット内部　背板・側板・底板・・棚板すべてシナベニヤ合板CL塗装仕上げとする
※台輪はその居室の巾木と同仕様とする
※ダボ孔：SUS製15φ 棚上下3つずつ@50
※金物：SUS製ダボ10φ
SUS製ハンガーパイプ34φ，HL
スライド丁番キャッチあり、インセット型
SUS製引手25~30φ程度

アーティストラウンジ　カウンター　1:30 1:5《中止》

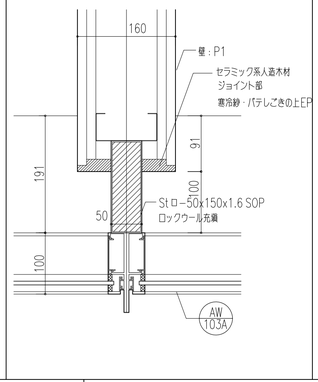


AL 見切　1:2

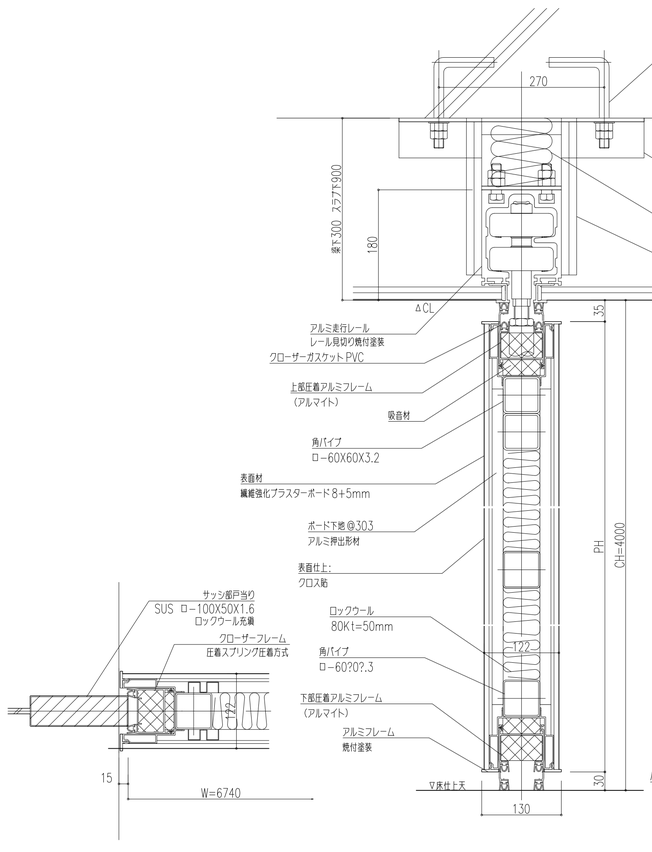


※大楽屋、中楽屋1,2及び個室1,2の窓枠上端に取付け

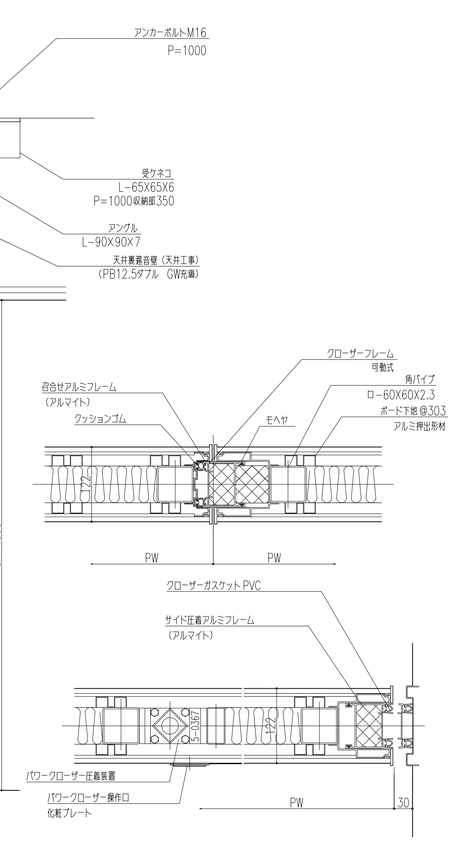
楽屋遣り　サッシュと間仕切り壁との取合　1:5



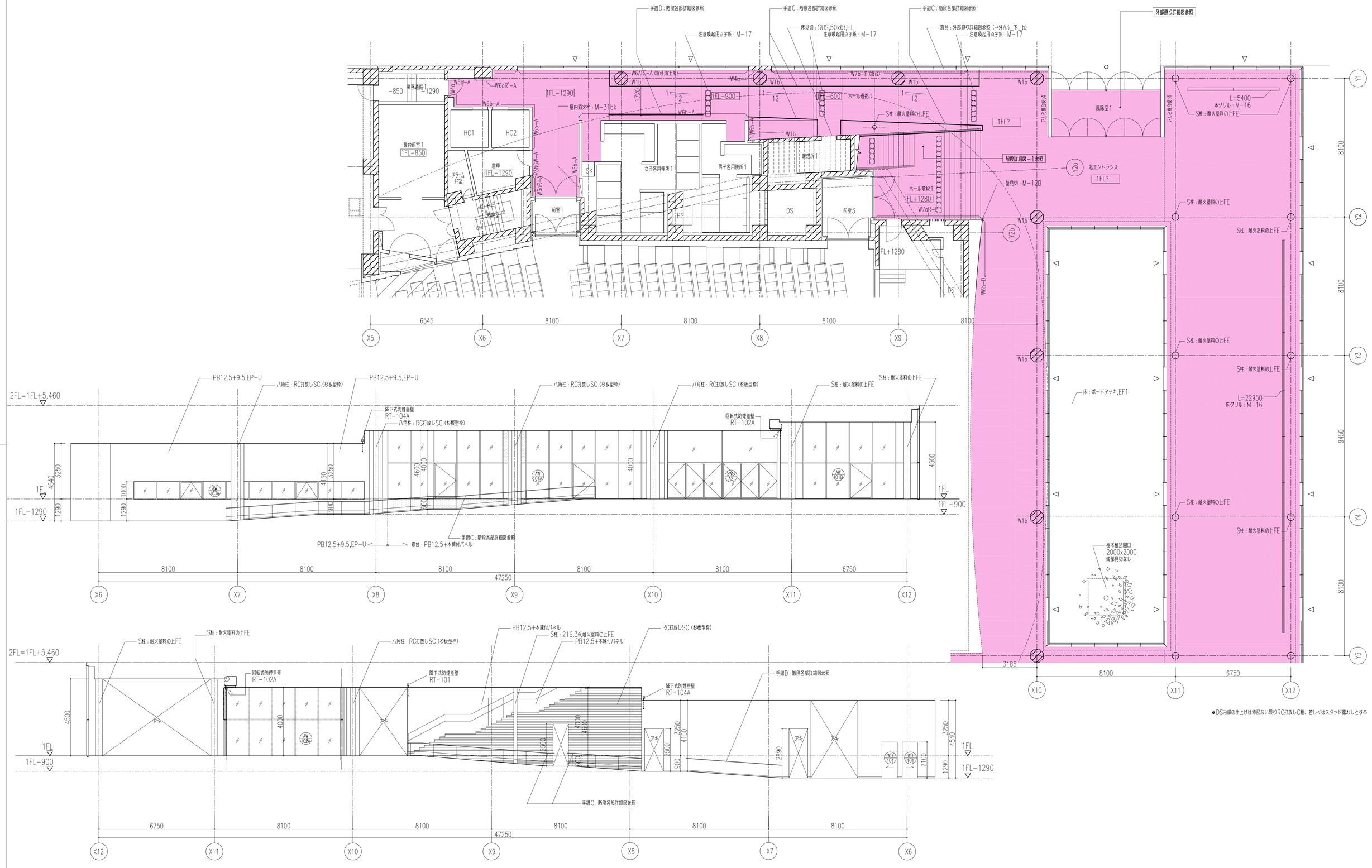
縦断面詳細図 S=1:5



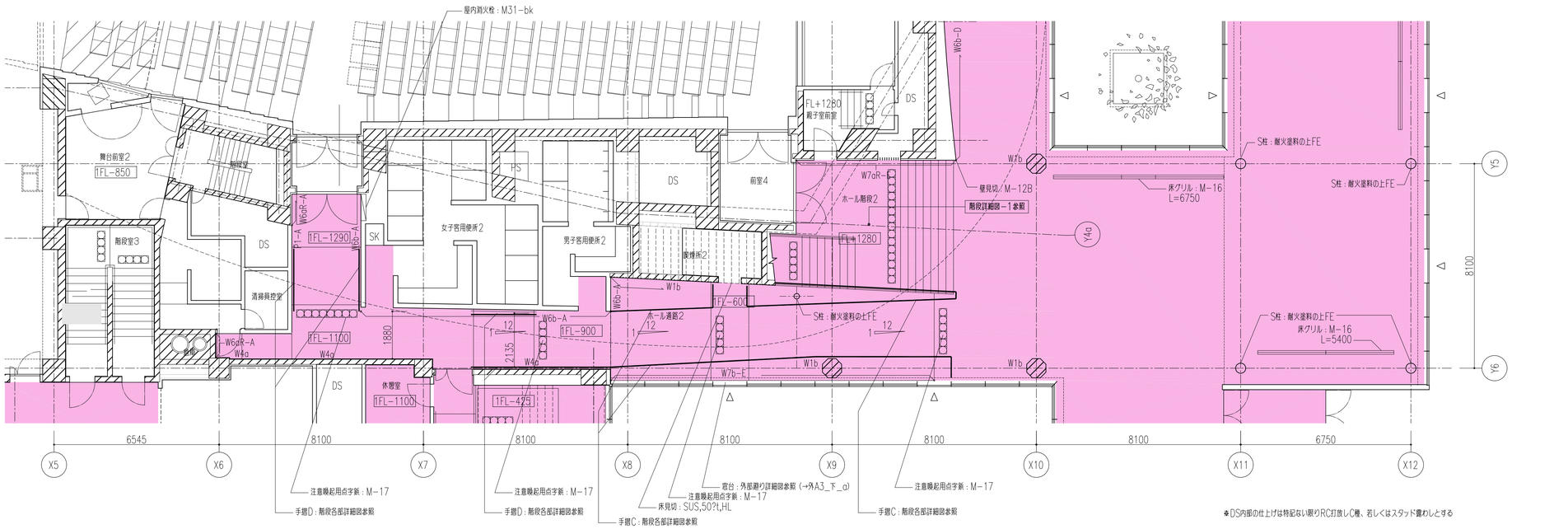
横断面詳細図 S=1:5



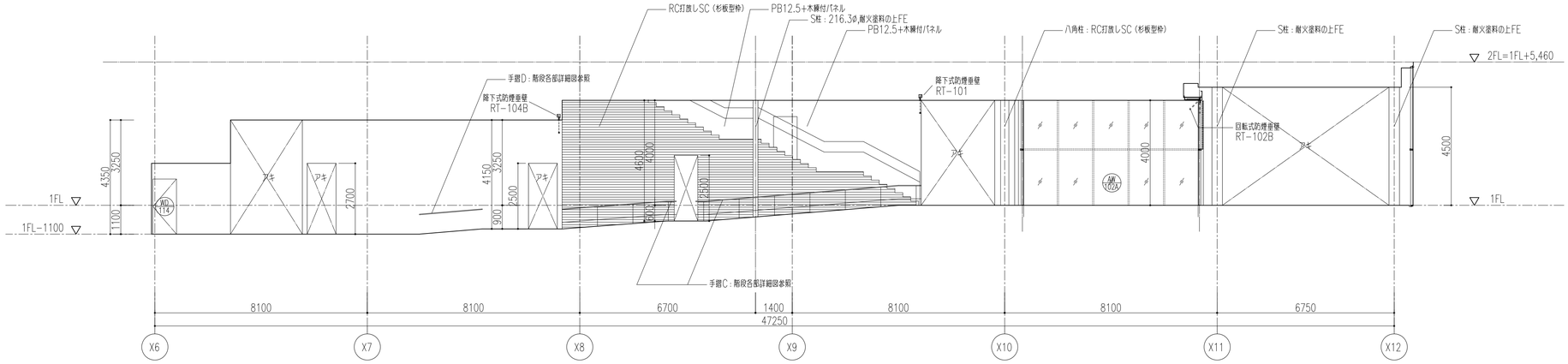
| | | |

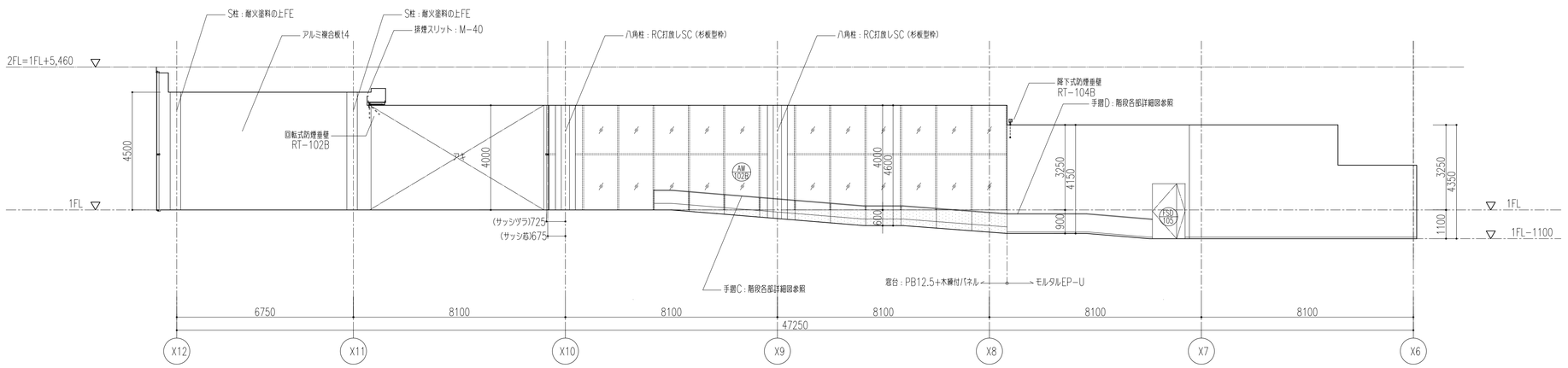


工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦		年月日 2005年 5月	図面名称 ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図1　ホール通路1	縮尺 1:100	ファイル名称 A65Det−PB01	図面番号 A−65

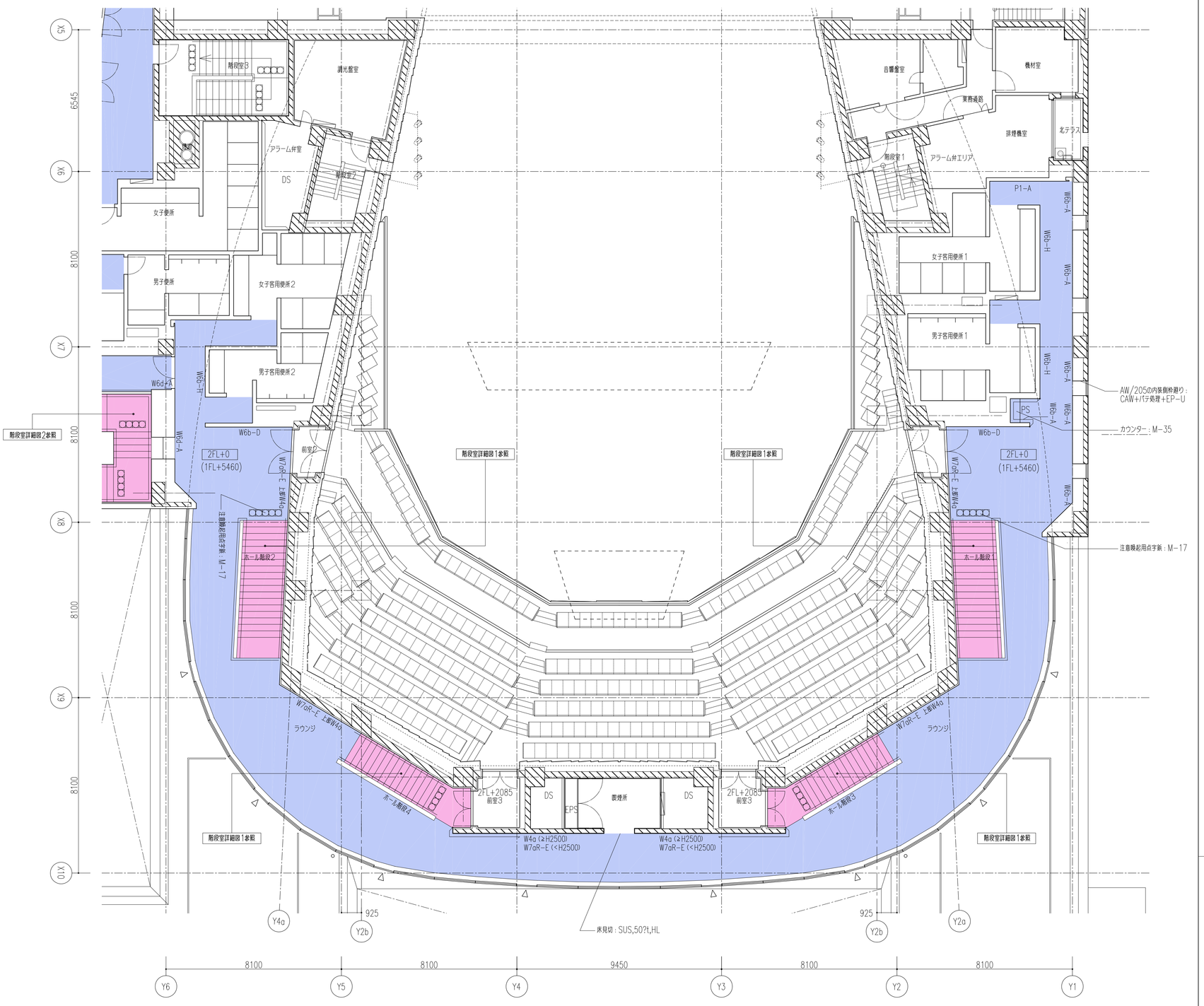


※DS内部の仕上げは特記ない限りRC打放し仕上、若しくはスタッド露わしとする

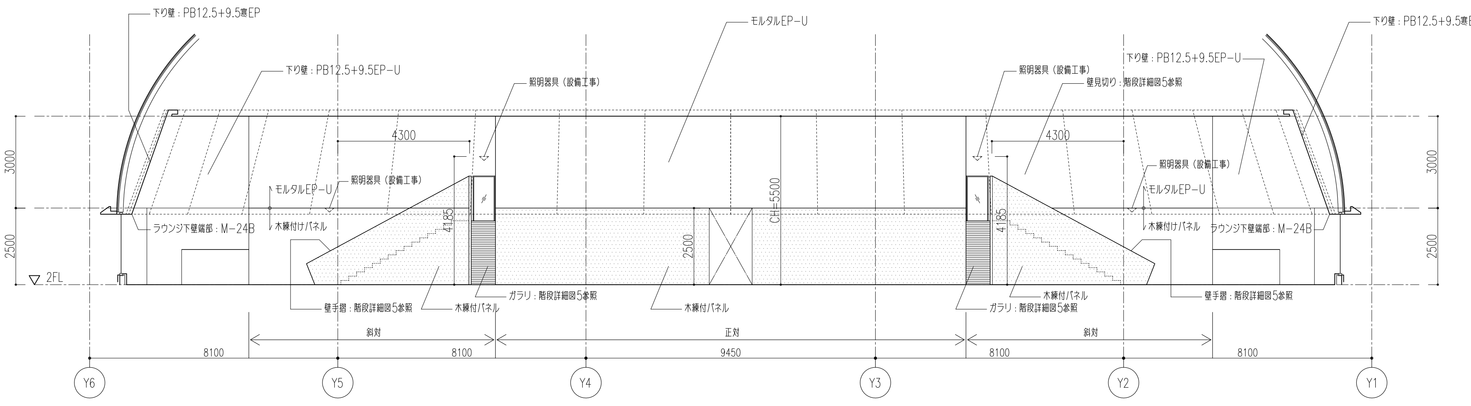




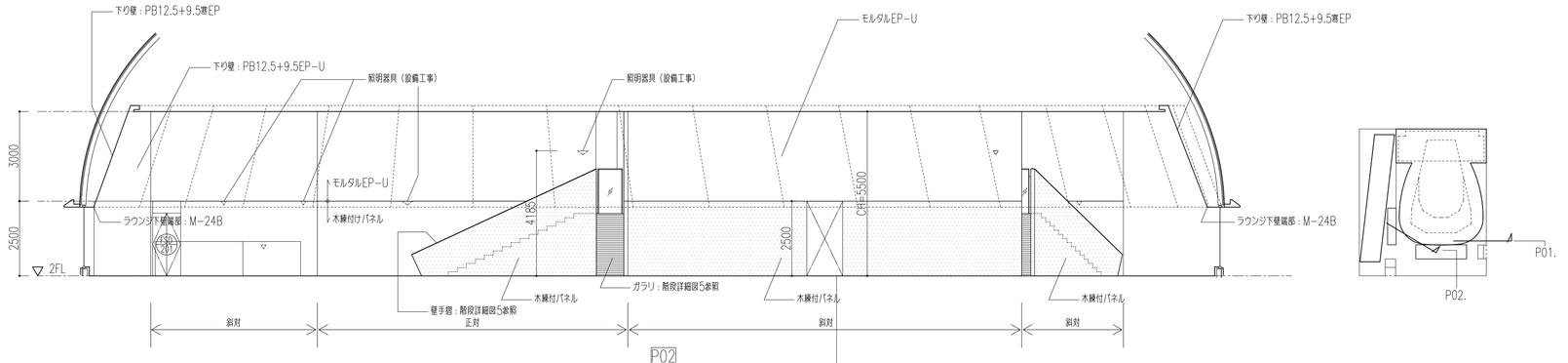
工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	年月日 2005年 5月	図面名称 ホワイエ・ラウンジ廻り詳細図2　ホール通路2	縮尺 1:100	ファイル名称 A66Det−PB02	図面番号 A−66



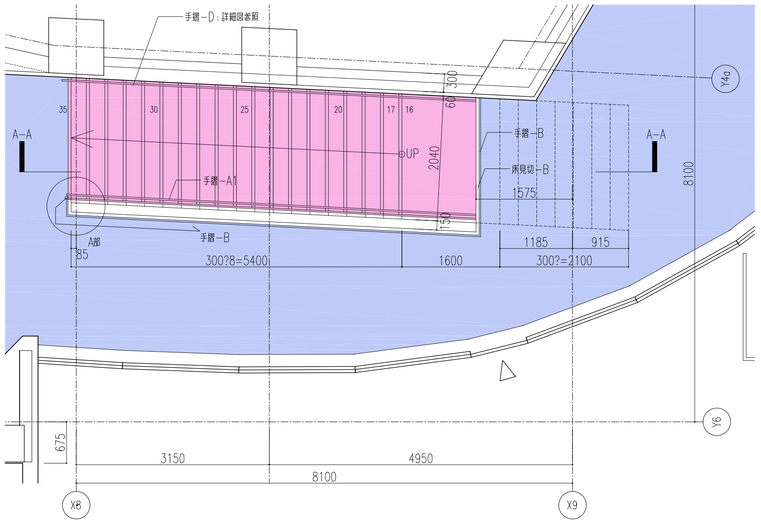
※DS内部の仕上げは特記ない限りRC打放しC種、若しくはスタッド置わしとする
※壁間接照明については水廻り詳細図参照



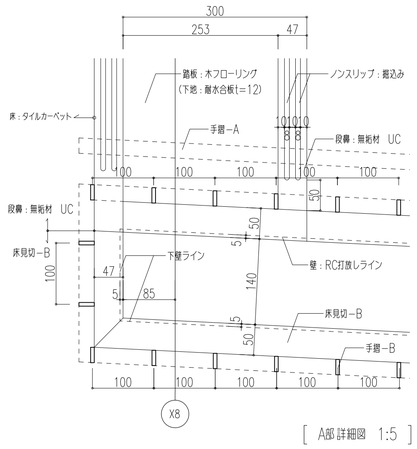
P01



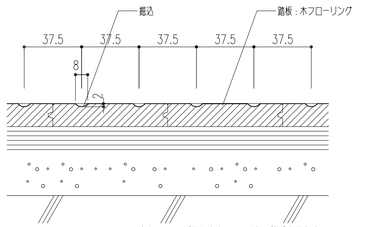
P02



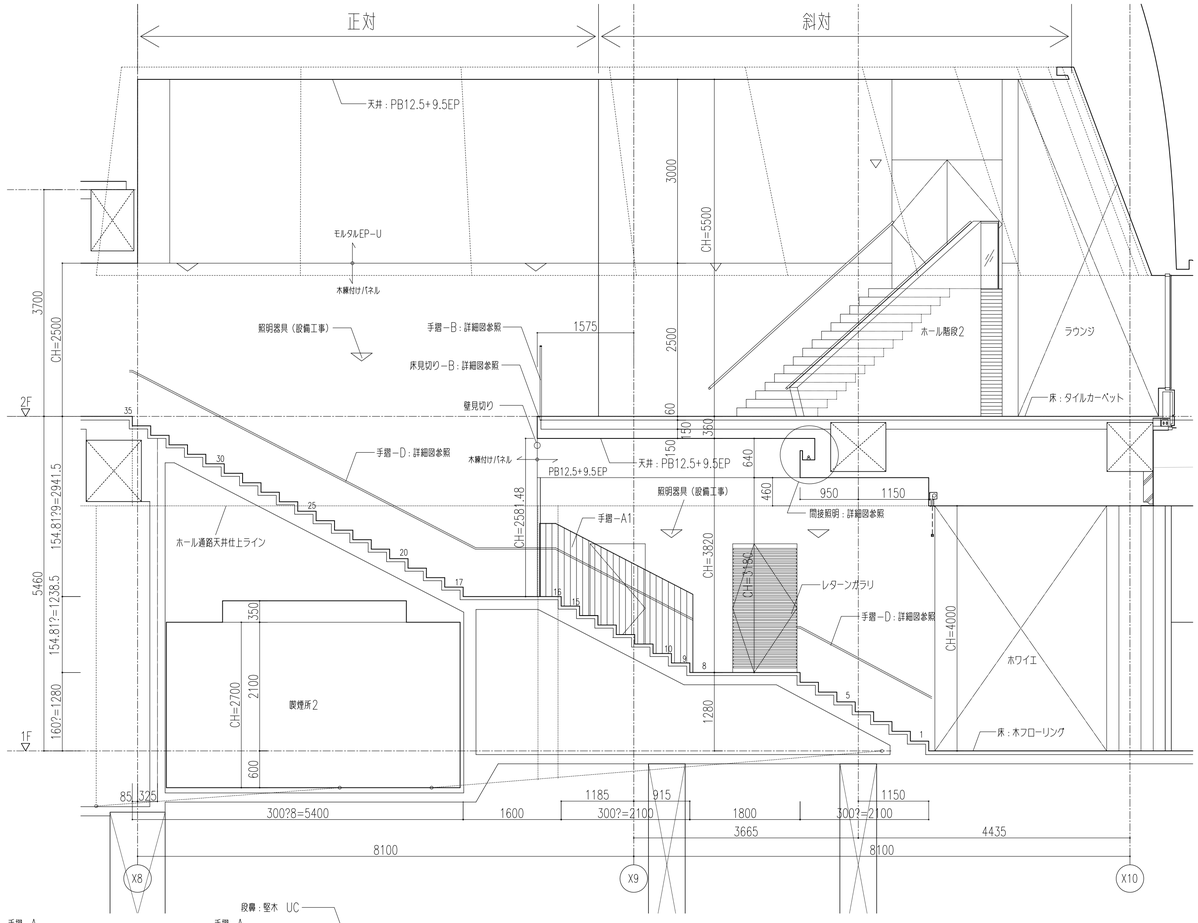
[2F平面図 1:50]



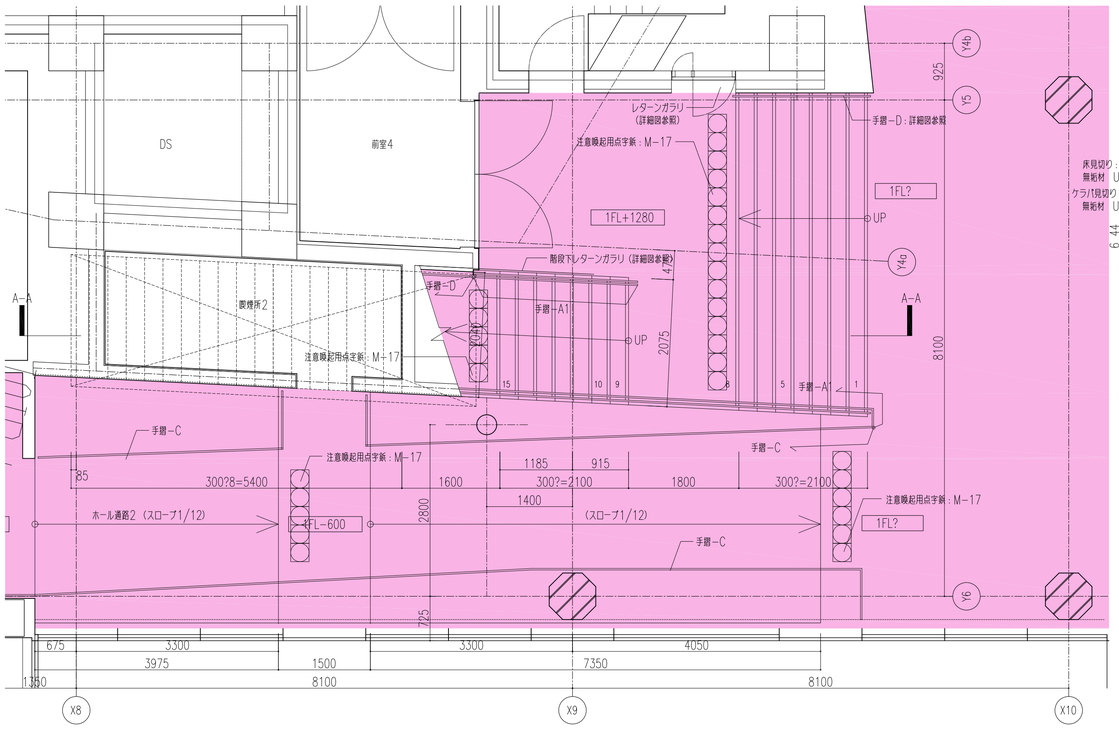
[A部詳細図 1:5]



[スロープ部 ノンスリップ 1:2]

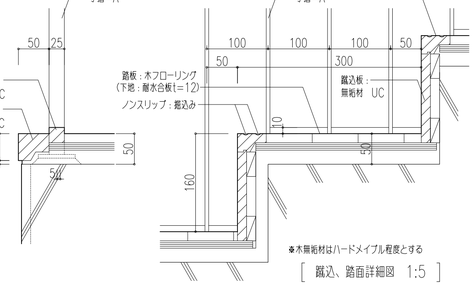


[A−A断面図 1:50]

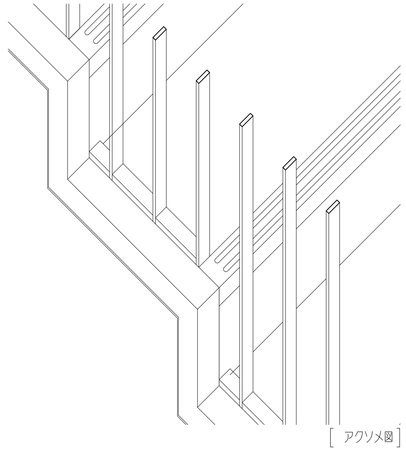


[1F平面図 1:50]

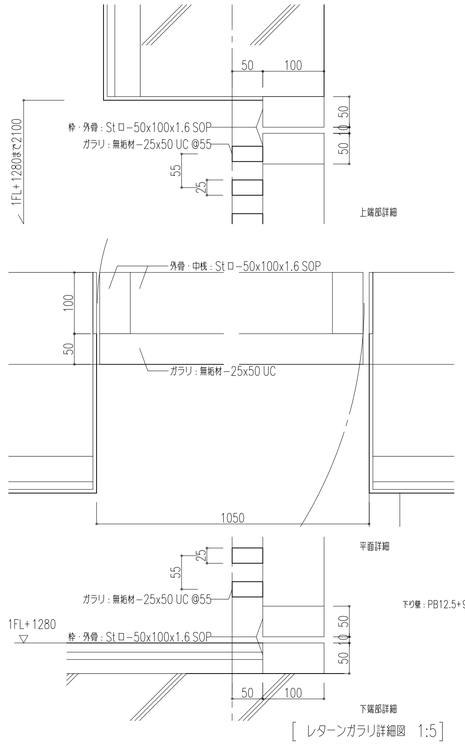
※ホール階段1は対称とする



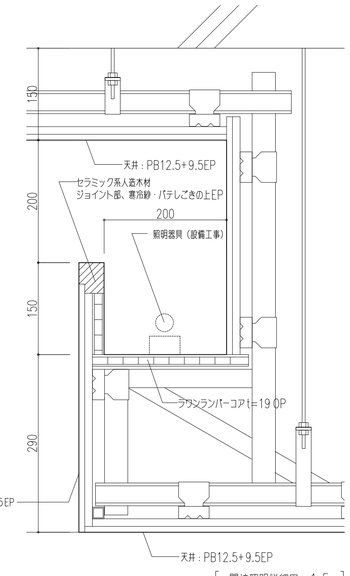
[踏込、踏面詳細図 1:5]



[アクソメ図]

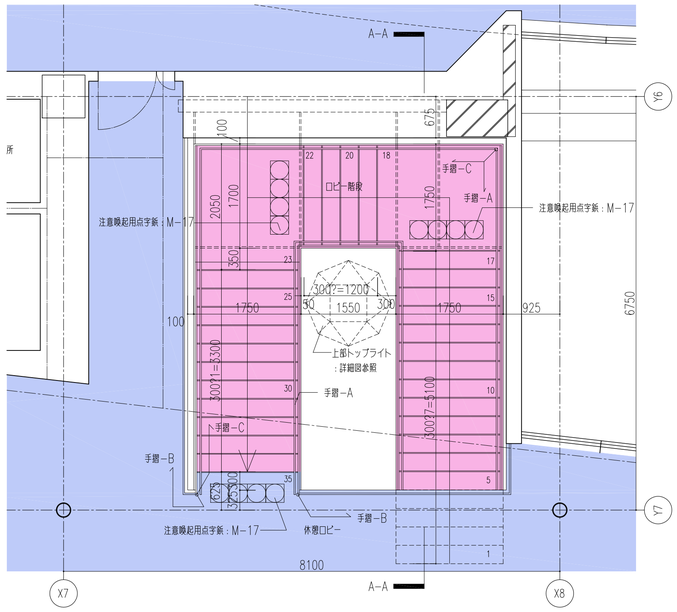


[レターンガラリ詳細図 1:5]

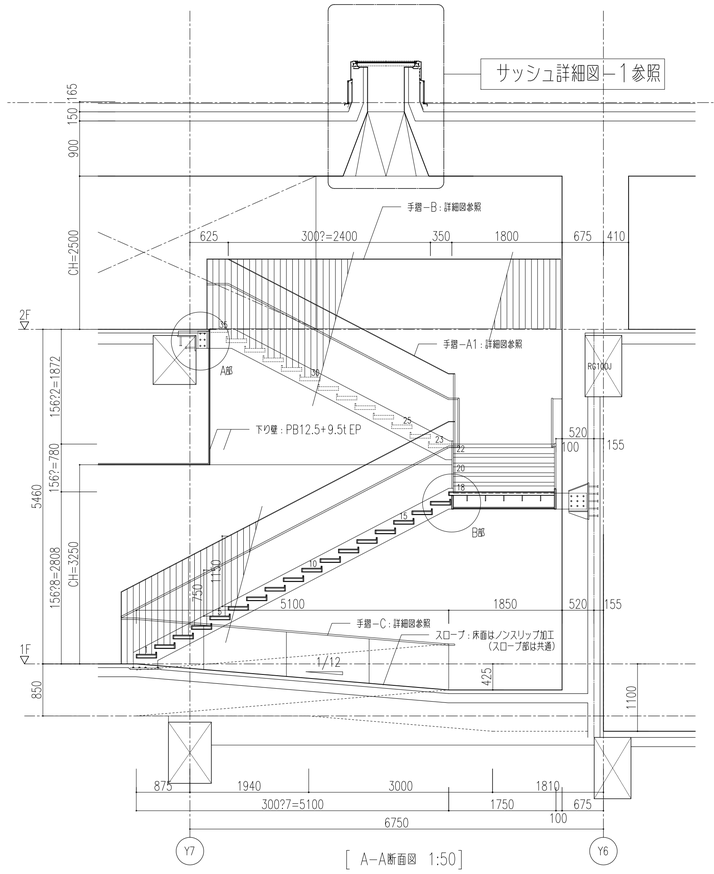


[間接照明詳細図 1:5]

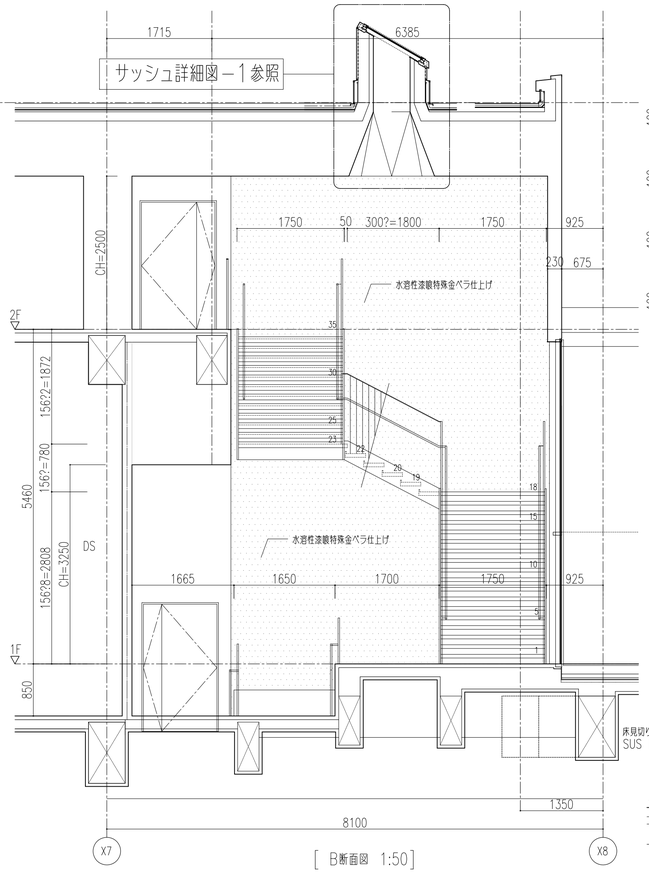
工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦			年月日 2005年 5月	図面名称 階段詳細図1　ホール階段1・2	縮尺 1:50,1:5	ファイル名称 A74nStr−de01	図面番号 A−74



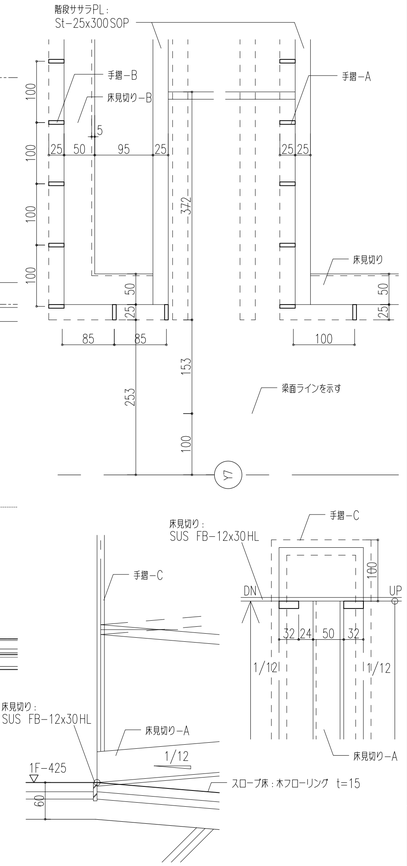
[2F平面図 1:50]

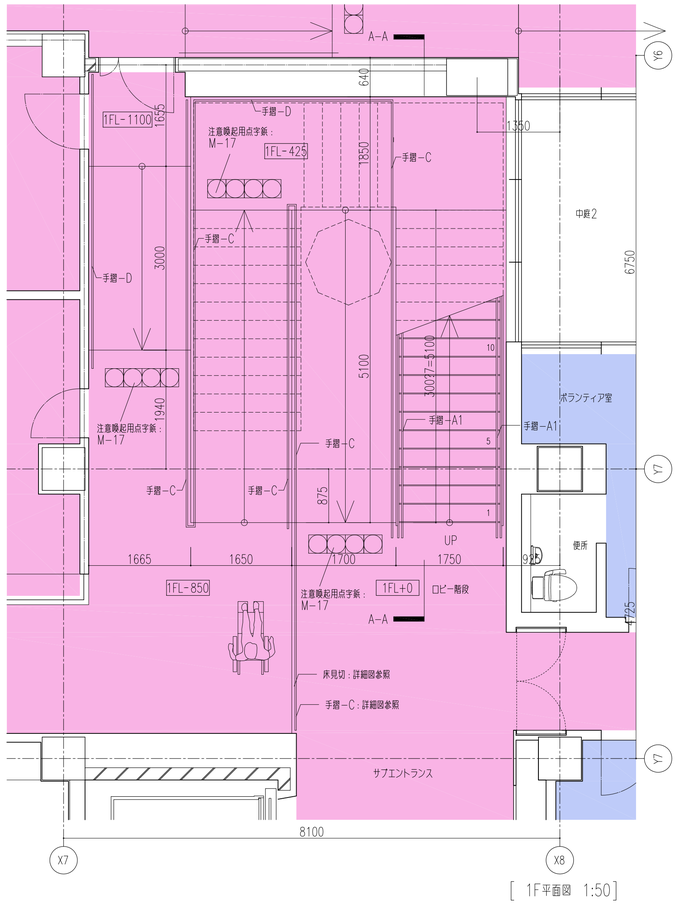


[A-A断面図 1:50]

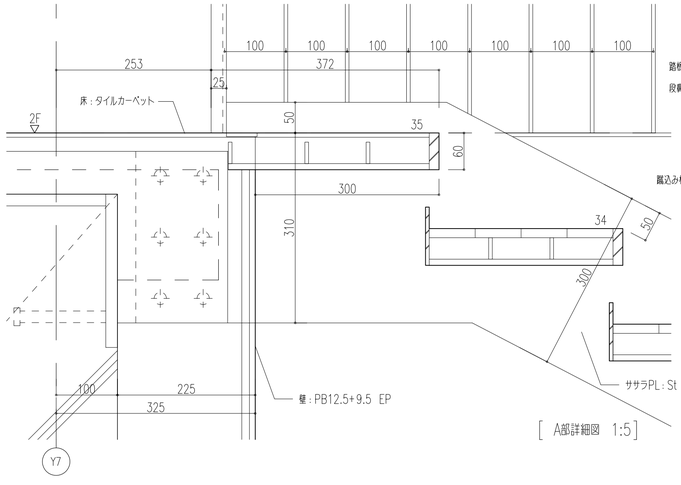


[B断面図 1:50]

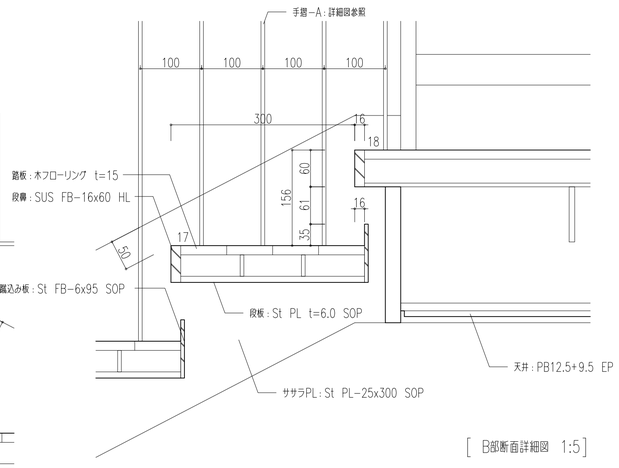




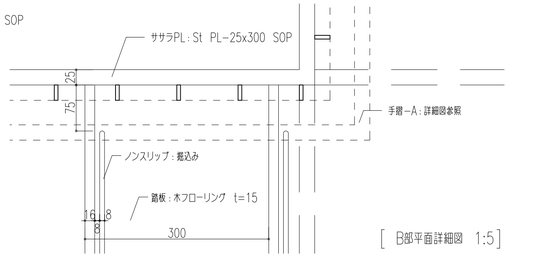
[1F平面図 1:50]



[A部詳細図 1:5]

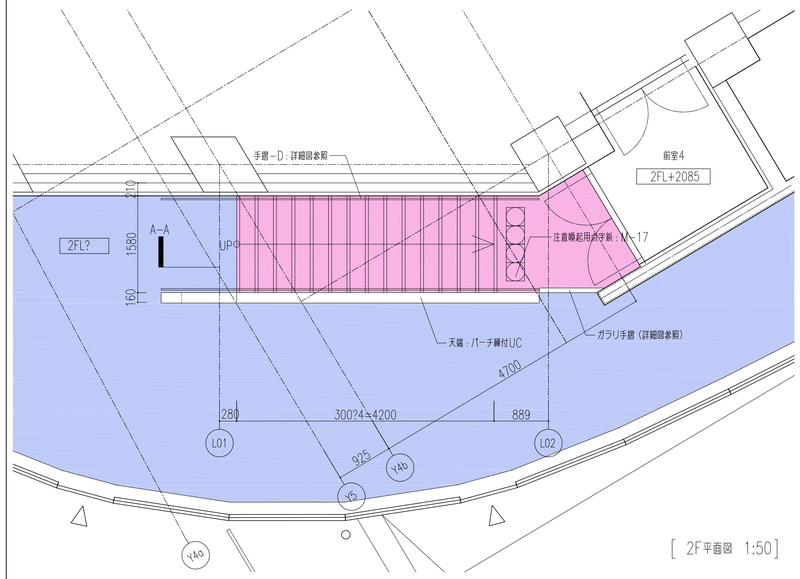


[B部断面詳細図 1:5]

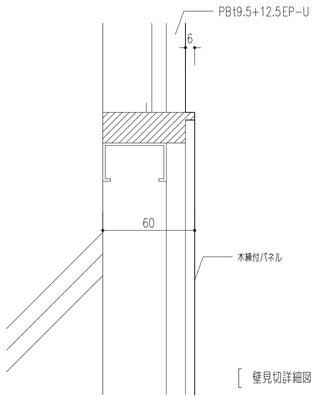


[B部平面詳細図 1:5]

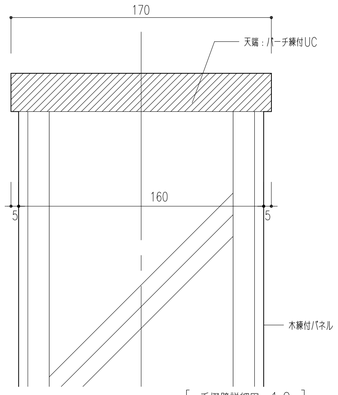
工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）		株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	年月日 2005年 5月	図面名称 階段詳細図2 ロビー階段	縮尺 1:50,1:5	ファイル名称 A75Str-de02	図面番号 A-75



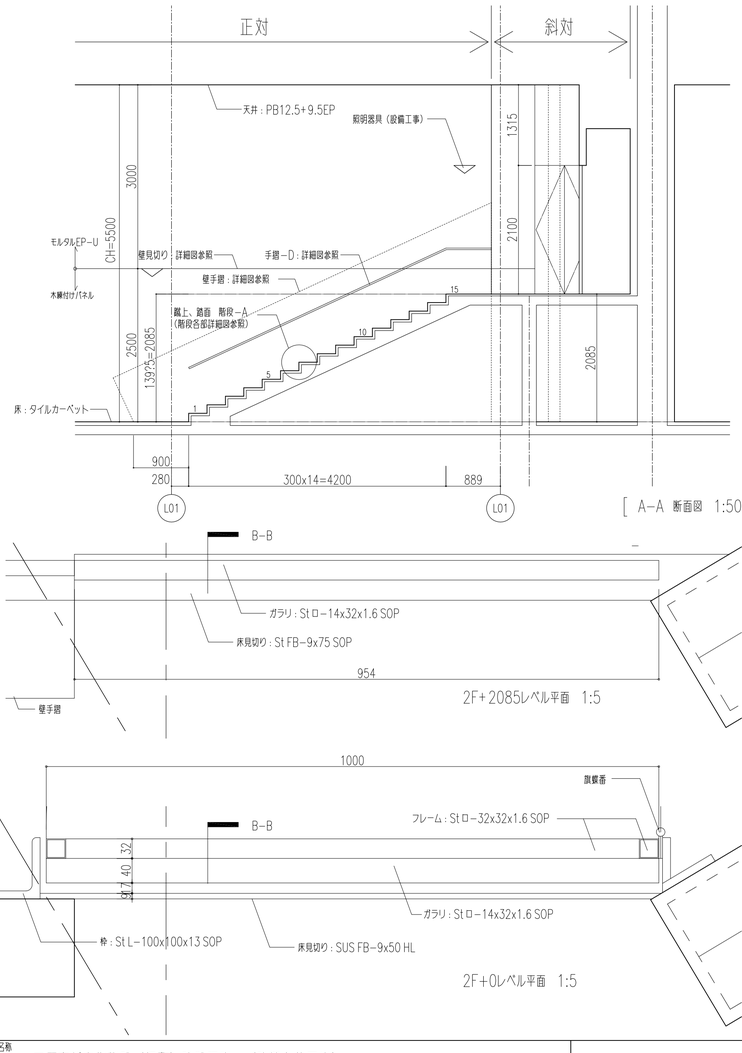
［ 2F平面図　1:50］



［ 壁見切詳細図　1:2 ］



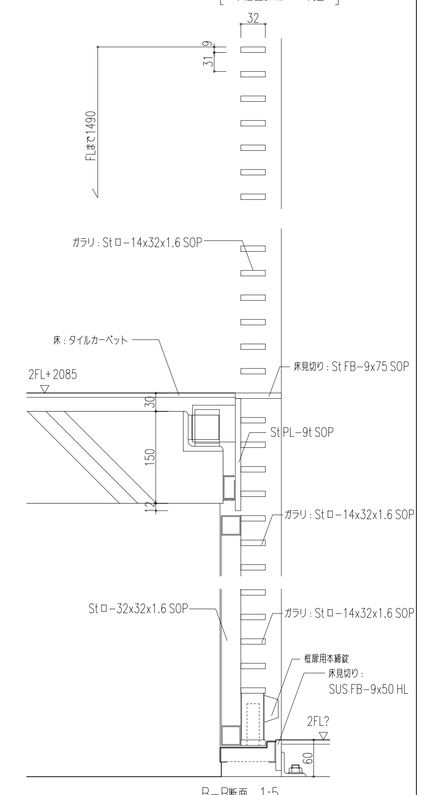
［ 手摺壁詳細図　1:2 ］



［ A−A 断面図　1:50］

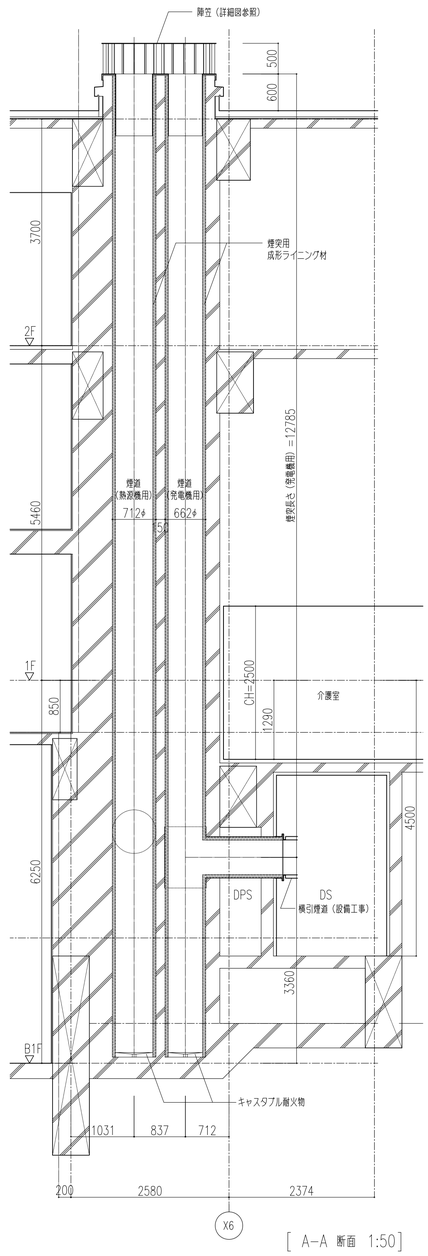
2F+2085レベル平面　1:5

2F+0レベル平面　1:5

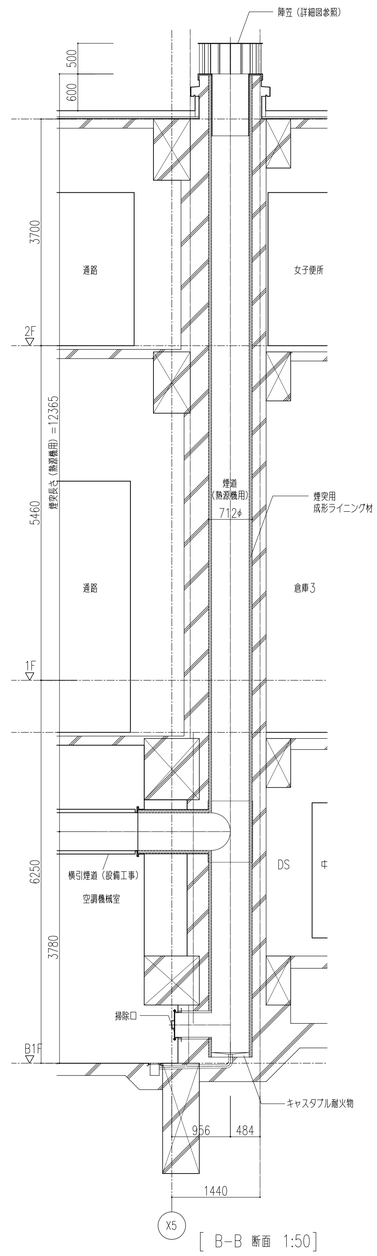


B−B断面　1:5

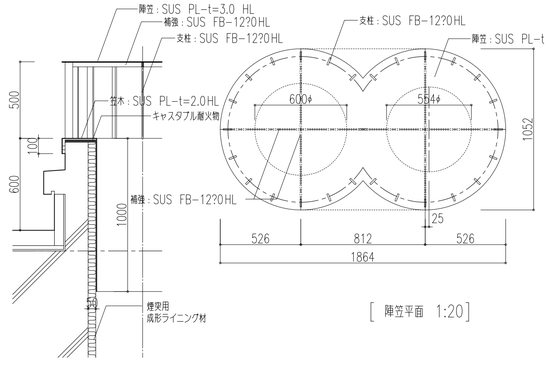
［ レターンガラリ詳細図 ］



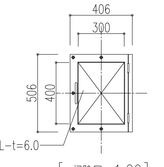
［ A−A 断面　1:50］



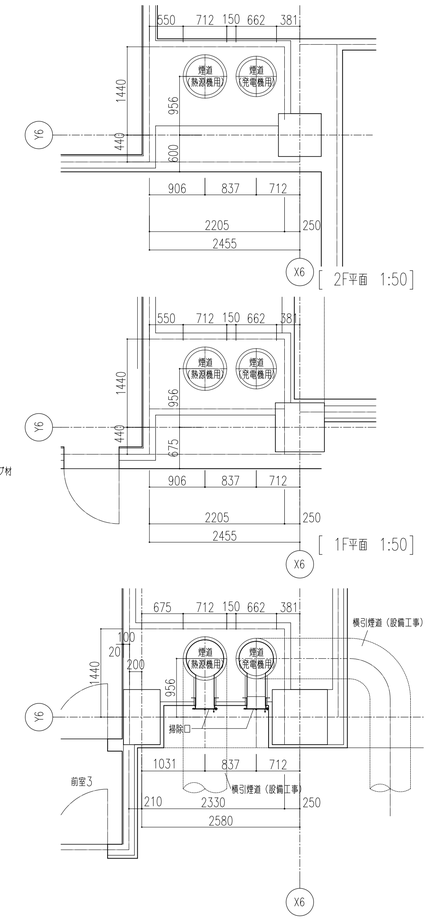
［ B−B 断面　1:50］



［ 障笠平面　1:20］



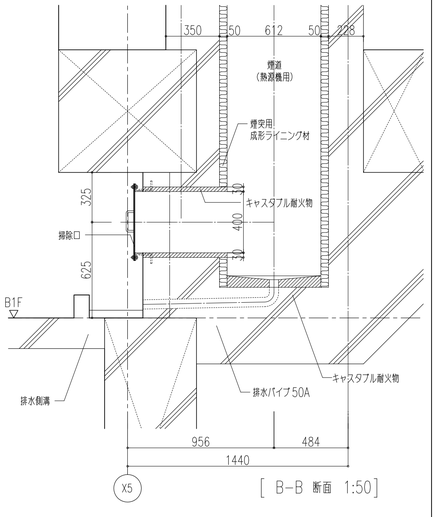
［ 掃除口　1:20］



［ 2F平面　1:50］

［ 1F平面　1:50］

［ B1F平面　1:50］

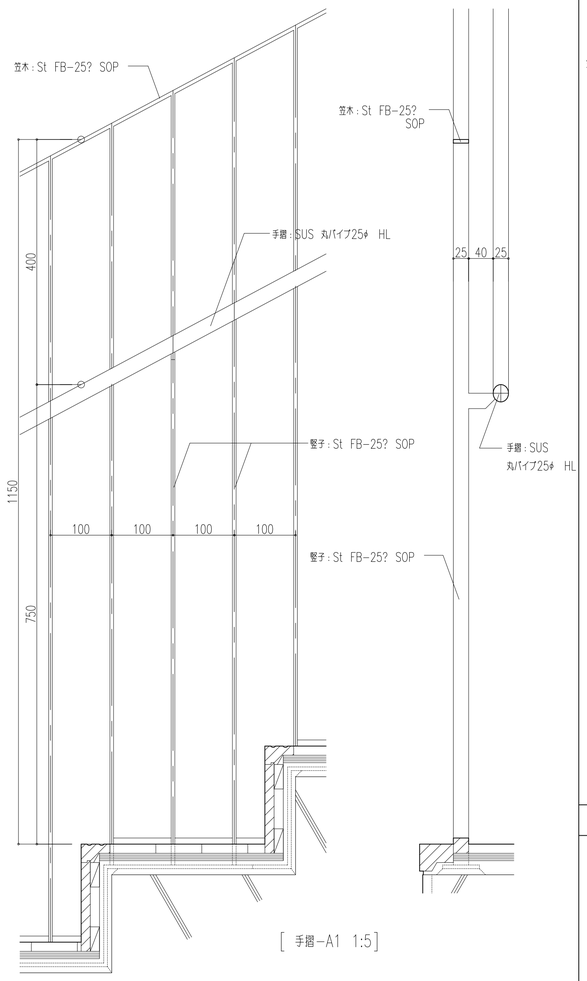


［ B−B 断面　1:50］

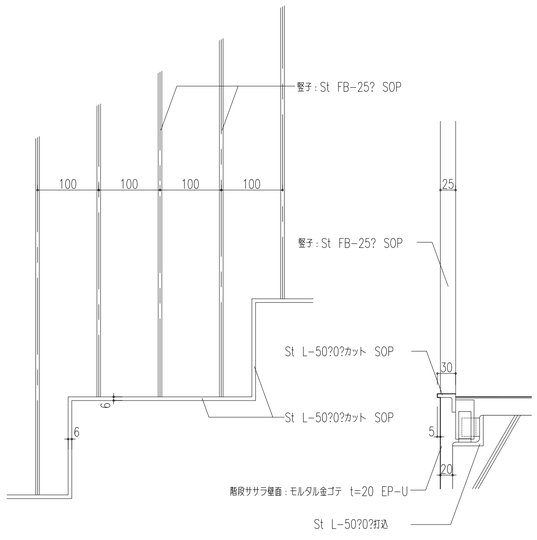
［ レターンガラリ詳細図 ］

工事名称 三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦		年月日 2005年 5月	図面名称 階段詳細図5　ホール階段3,4　煙道	縮尺 1:50,1:20 1:5,1:2	ファイル名称 A78Str−de05_060306	図面番号 A−78

手摺－A1,2詳細図　1:5

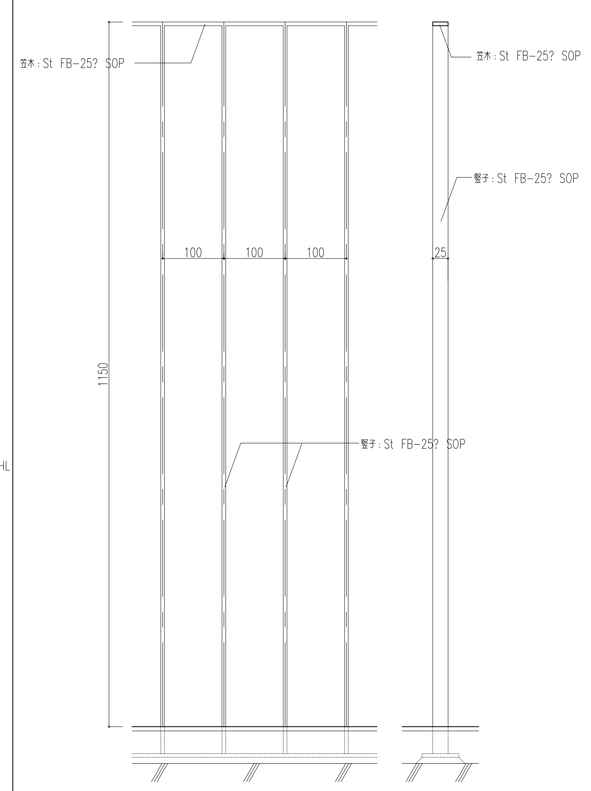


[手摺－A1 1:5]

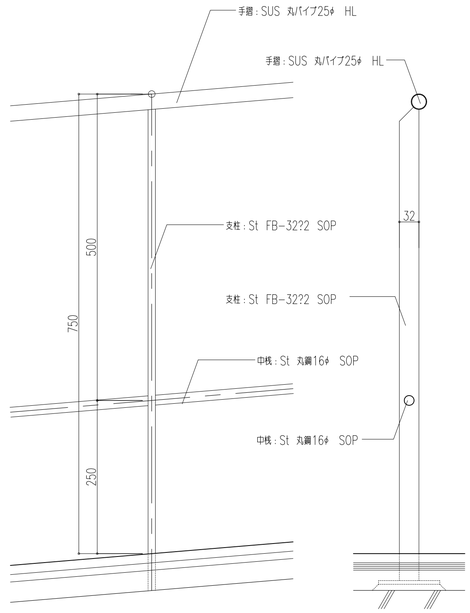


[手摺－A2 1:5]

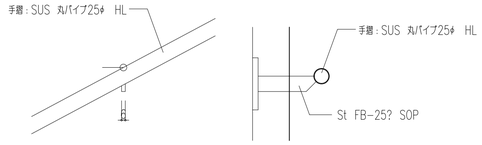
手摺－B詳細図　1:5



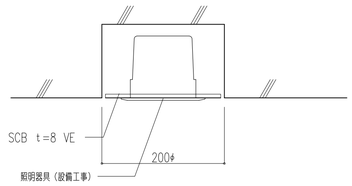
手摺－C詳細図　1:5



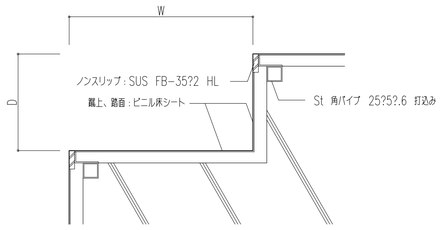
手摺－D詳細図　1:5



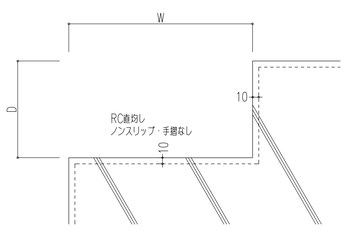
階段室ﾌ天井設備器具取付け部詳細図　1:5



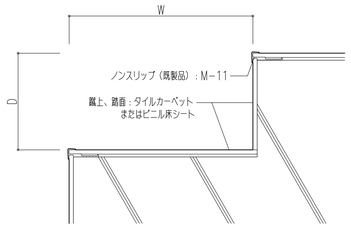
階段－A詳細図　1:5



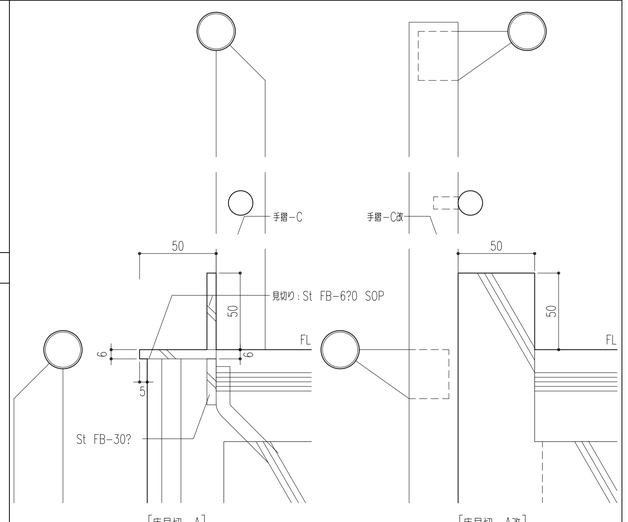
RCステップ　1:5



階段－B詳細図　1:5

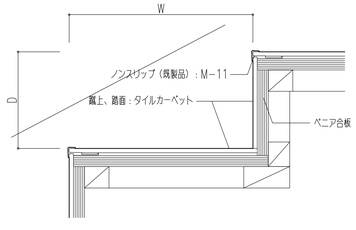


床見切詳細図　1:1



[床見切－A]　[床見切－A改]

階段－C詳細図　1:5

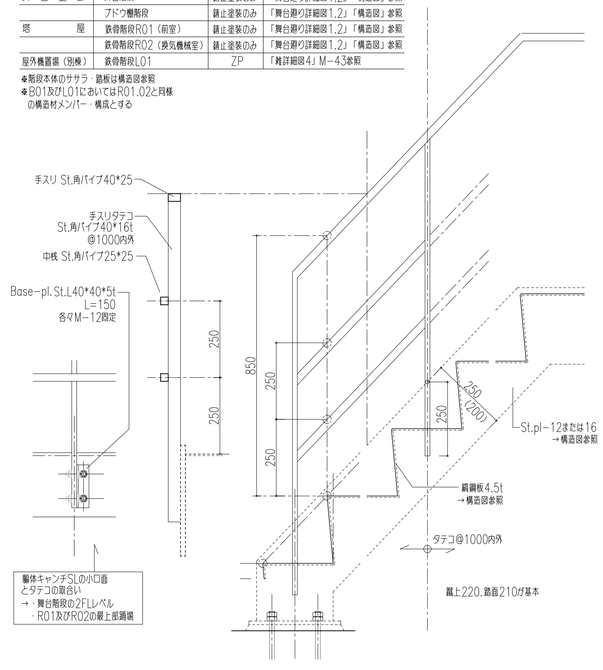


鉄骨階段手摺詳細図　1:10

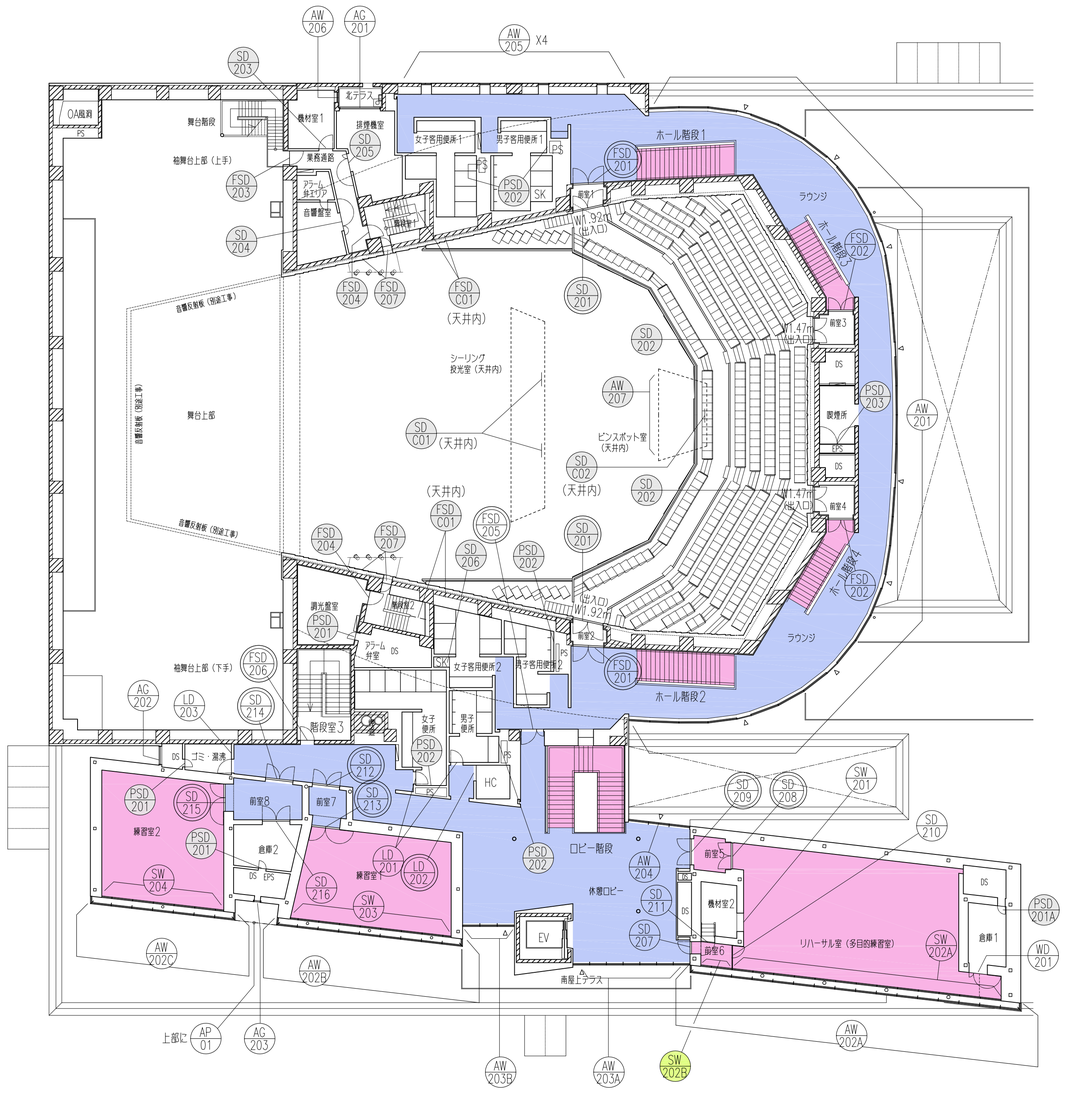
各鉄骨階段仕上げ（手摺共）

地　　階	鉄骨階段B01	錆止塗装のみ	「地階平音図」参照
舞 台 上 部	舞台階段	錆止塗装のみ	「舞台廻り詳細図1.2」「構造図」参照
	フドウ棚階段	錆止塗装のみ	「舞台廻り詳細図1.2」「構造図」参照
塔　　屋	鉄骨階段R01（前室）	錆止塗装のみ	「舞台廻り詳細図1.2」「構造図」参照
	鉄骨階段R02（換気機械室）	錆止塗装のみ	「舞台廻り詳細図1.2」「構造図」参照
屋外機置場（別棟）	鉄骨階段L01	ZP	「雑詳細図4」M－4.3参照

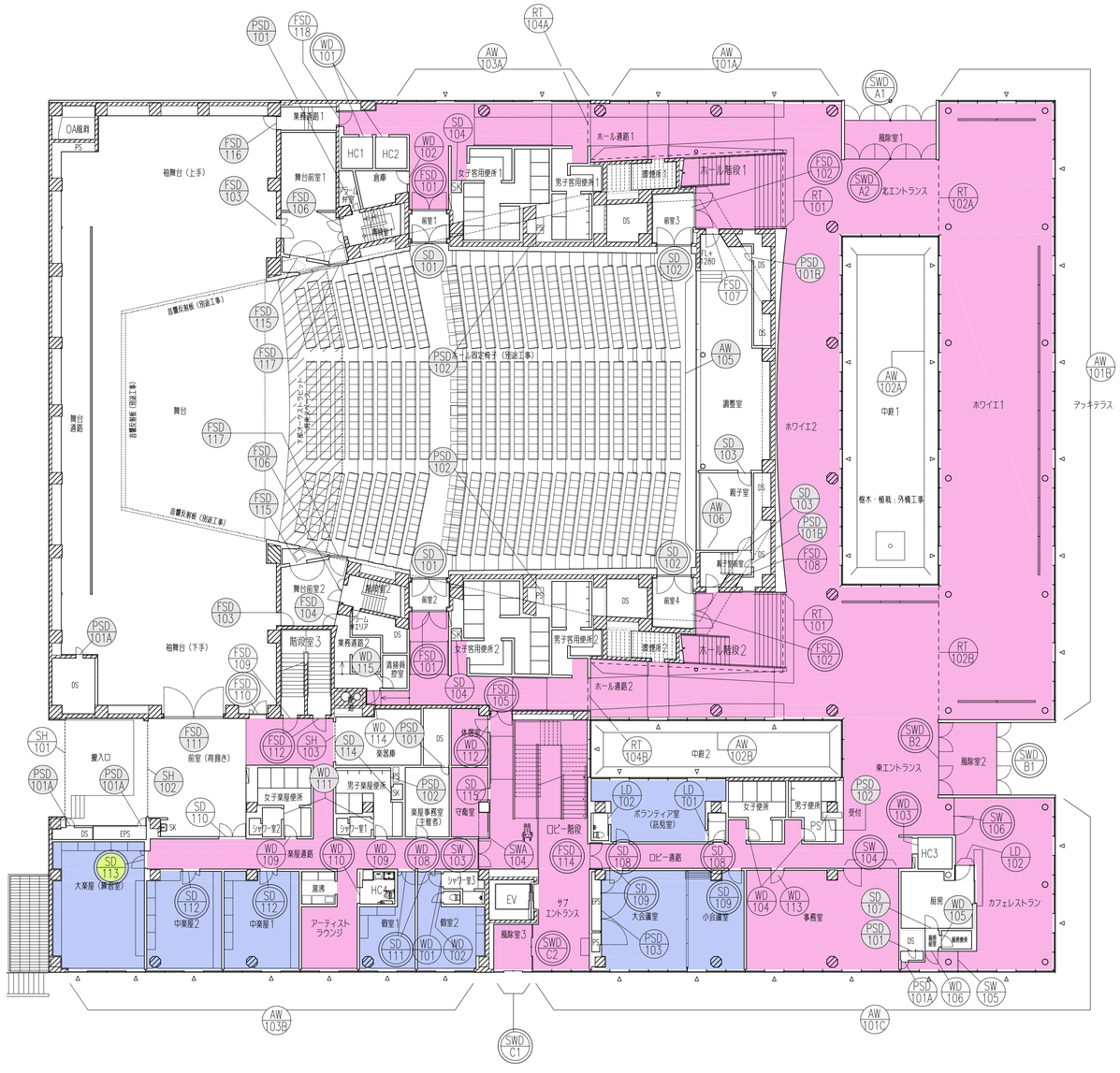
※階段本体のササラ・踏板は構造図参照
※B01及びL01においてはR01.02と同様
の構造材メンバー・構成とする



工事名称	三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦		年月日	2005年 5月
図面名称	階段各部詳細　手摺・段鼻	縮尺	1:10 1:5　1:2	ファイル名称	A79Str-de06	図面番号	A－79



［2階平面図］



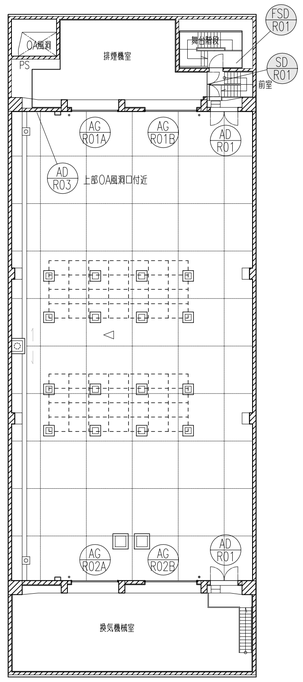
［1階平面図］

※凡例

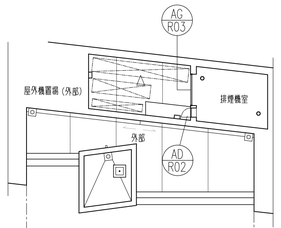
(***) ハートビル法対応出入口を示す。

(***) 修繕工事対象外の建具を示す。

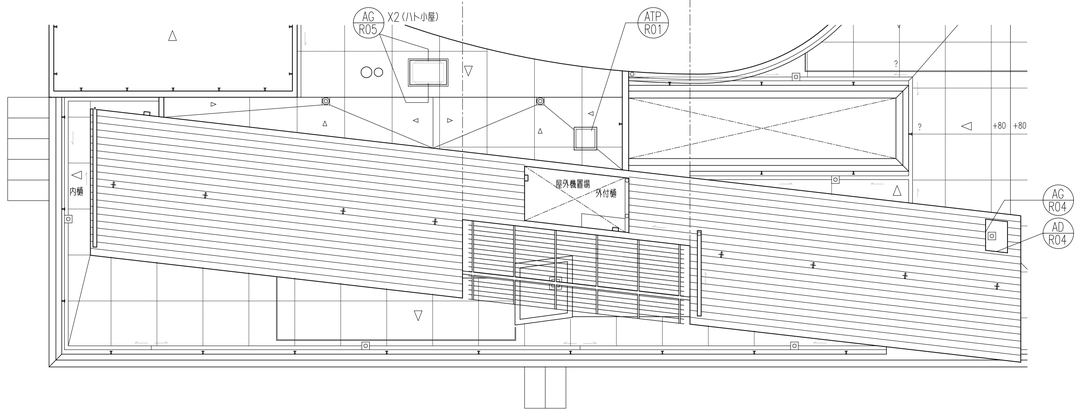
工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	建具位置図1　1階・2階	1:200	A86Kp-12F_申請_改2	A-86



［塔屋階平面図］



［2階休憩ロビー直上部屋根伏図］



［屋根伏図（リハーサル・練習室ゾーン）］



［地階平面図］

※凡例

*** 修繕工事対象外の建具を示す。

工事名称			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所　一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号　一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	建具位置図2　地階・塔屋	1:200	A87Kp-BPHF	A-87

建具姿図	建具符号	姿図符号	法規制	性能記号	開閉方式	取付場所 階	取付場所 室名	数量	建具枠内法寸法 W	建具枠内法寸法 H	建具（スラット） 見込	建具（スラット） 材質 仕上	建具（スラット） 召会せ形状	枠（ガイドレール） 形状	枠（ガイドレール） 見込	枠（ガイドレール） 材質 仕上	くつずり 形状	くつずり 材質 仕上	ガラス 種類 厚さ	ガラリ 形状	ガラリ 開口率（%）	ガラリ 材質 仕上	ガラリ 有効面積（100%時）（m²）	握玉・把手類 握玉	握玉・把手類 SUS芯棒	握玉・把手類 ローラー	握玉・把手類 召吹用ハンドル	握玉・把手類 引手	握玉・把手類 レバーハンドル	握玉・把手類 ケースハンドル	握玉・把手類 クレセント締り(SUS)	握玉・把手類 親父引手	錠の種類 空錠	錠の種類 箱錠	錠の種類 本締錠	錠の種類 電気錠	錠の種類 非常錠	錠の種類 表示錠	錠の種類 カードリーダー	錠の種類 押ボタン式電磁錠	支持金物 T番(ラ番)(召吹し用)	支持金物 オートヒンジ	支持金物 ピボットヒンジ	支持金物 フロアヒンジ	支持金物 オート丁番	支持金物 重量扉用フロアヒンジ	支持金物 点検口用フロアヒンジ	付属金物 折れ戸用ヒンジ	付属金物 ドアクローザ	付属金物 ドアクローザ(パラレルアーム)	付属金物 アームストッパー	付属金物 戸当り	付属金物 フランス落し	付属金物 振止調整器	付属金物 スモークドクローザ	備考
A 片開き	FSD B01	C	甲	B2	親子	BF	階段室1.2	2	400+900	2100	40	S	B'	E	100	S	B3	SUS																																	
							前室1.2					SOP				SOP		HL										○						○																		
	FSD B02	A	甲	–	片開き	BF	階段室3	1	900	2100	40	S		E	100	S	B2	SUS																																	
							中央監視室					SOP				SOP		HL										○						○																		
	FSD B03	A	甲	B1	片開き	BF	階段室3	1	900	2100	40	S		E	100	S	C2	SUS																																	
							前室3					SOP				SOP		HL										○						○																		
	FSD B04	B	甲	B1	両開き	BF	消火ポンプ室	1	1400	1700	40	S	C	E	100	S	C2	SUS																																	
							空調機械室					SOP				SOP		HL										○						○																		
D ランマ付き（片開き）	FSD B05	C	甲	A1	親子	BF	熱源機械室	1	800+1600	2400	60	S	C	E	120	S	C2	SUS																																	
							空調機械室					SOP				SOP		HL										○						○																		
E ランマ付き（両開き） Eα（親子）	FSD B06	C	甲	A1	親子	BF	熱源機械室	1	300+900	2500	50	S	C	E	100	S	C2	SUS																																	
							空調機械室					SOP				SOP		HL										○						○																		
F 片引自動扉 Fα 片引手動扉	FSD B07	A	甲	B1	片開き	BF	発電機室	1	1000	2000	40	S		E	100	S	C2	SUS																																	
							空調機械室					SOP				SOP		HL										○						○																		
	FSD B08	C	甲	B1	親子	BF	電気室	1	1000+1400	2800	60	S	C	E	120	S	C2	SUS																																	
							空調機械室（給水ポンプ置場）					SOP				SOP		HL										○						○																		
G スリット付	FSD B09	A	甲	B1	片開き	BF	電気室	1	900	2100	40	S		E	100	S	C2	SUS																																	
							空調機械室（屋外給水エリア）					SOP				SOP		HL										○						○																		
H 防音シャッター 遮音シャッター	FSD/B10 将来対応	A	甲	B2	片開き	BF	前室1.2	4	(1350)	(2150)																																							
							オーケストラピット／客席収納庫		躯体開口のみ	躯体開口のみ																																							
I 防煙たれ壁（垂直降下式）	FSD B11	C	甲	B2	親子	BF	階段室3	1	300+900	2100	40	S	B'	E	100	S	B3	SUS																																	
							前室2					SOP				SOP		HL										○						○																		
露出可動型ガイドレール仕様 巻取型不燃布製垂壁																																																					
J 連層開き戸（片面フラッシュ） *3：3連 *4：4連 *5：5連																																																					
K 防煙たれ壁（回転降下式）																																																					
防煙たれ壁 （回転降下式） 天井材貼りタイプ																																																				
L 両引自開式扉																																																				
M 折戸 W/2+W/2	FSD 101	B	甲	C	両開き	1F	前室1.2	2	2500	2100	60	S	F	B	120	S	B3	SUS								○																									空圧式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付亜鉛カルシウム板t6 UC貼り→周囲と同じ練付材とする
							ホール通路1.2					SOP				SOP		HL										○						○																		
N 下部FBガラリ付き戸 FB38x6t@20 開口率70%	FSD 102	B	甲	C	両開き	1F	前室3.4	2	2200	2100	60	S	F	B	120	S	B3	SUS								○																									空圧式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付亜鉛カルシウム板t6 UC貼り→周囲と同じ練付材とする
							ホール階段1.2					SOP				SOP		HL										○						○																		
O ガラリ	FSD 103	B	甲	C	両開き	1F	舞台前室1.2	2	1800	2100	60	S	C	E	120	S	B3	SUS																																	
							袖舞台（上手）（下手）					SOP				SOP		HL										○						○																		
	FSD 104	A	甲	C	片開き	1F	舞台前室2	1	800	2100	60	S		E	120	S	B3	SUS																																	
							業務通路2					SOP				SOP		HL										○						○																		
P 連層開き戸 白板仕様 両面フラッシュ下部戸車（キャスター付） 片面フラッシュ	FSD 105	C	甲	B2	親子	1F	ホール通路2	1	450+1000	2100	40	S	B'	E	100	S	B3	SUS																																	
							ロビー階段					SOP				SOP		HL										○						○																		
Q 連層開き戸（片面フラッシュ） W等分割 FIX FIX	FSD 106	C	甲	B2	親子	1F	階段室1.2	2	400+900	2100	40	S	B'	E	100	S	B3	SUS																																	
							舞台前室1.2					SOP				SOP		HL										○						○																		
R	FSD 107	A	甲	B2	片開き	1F	ホール階段1	1	950	2100	40	S		B	100	S	B3	SUS																																	片面に木練付亜鉛カルシウム板t6 UC貼り→周囲と同じ練付材とする
							調整室					SOP				SOP		HL										○						○																		片面に木練付亜鉛カルシウム板t6 UC貼り→周囲と同じ練付材とする
	FSD 108	A	甲	C	片開き	1F	ホール階段2	1	950	2100	60	S		B	120	S	B3	SUS																															
							親子室前室					SOP				SOP		HL										○						○																		
S	FSD 109	A	甲	–	片開き	1F	階段室3	1	900	2100	40	S		E	100	S	B2	SUS																																	
							階段室3（地下への階段）					SOP				SOP		HL										○						○																		
T	FSD 110	C	甲	B2	親子	1F	袖舞台（下手）	1	300+950	2100	40	S	B'	E	100	S	B3	SUS																																	
							前室（荷捌き）					SOP				SOP		HL										○						○																		
U	FSD 111	B	甲	A2	両開き	1F	袖舞台（下手）	1	4150	4000	60	S	B'	E	150	S	B3	SUS																																	
							前室（荷捌き）					SOP				SOP		HL										○						○																		
	FSD 112	A	甲	B2	片開き	1F	楽屋通路	1	950	2100	40	S		E	100	S	B3	SUS																																	
							階段室3					SOP				SOP		HL										○						○																		
V	FSD 113	B	甲	–	両開き	1F	楽屋通路	1	2800	2100	40	S	B	E	100	S	B2	SUS																																	
							楽器庫					SOP				SOP		HL										○						○																		
W	FSD 114	M	甲	–	両開き（簡時閉鎖式）	1F	ロビー通路	1	1700	2100+1150	60	S	B	*	*	S	A1																																	簡時閉鎖式、防火戸金物一式、中心吊り、天井にFBの煙返し
							ロビー階段					SOP				SOP																																	
X	FSD 115	A	甲	B1	片開き	1F	舞台前室1.2	2	900	2100	40	S		E	100	S	B3	SUS																																	片面にGW32k50tガラスクロス押え貼り
							スピーカースペース					SOP				SOP		HL										○						○																		
	FSD 116	A	甲	C	片開き	1F	業務通路1	1	900	2100	60	S		E	120	S	B3	SUS																																	
							袖舞台（上手）					SOP				SOP		HL										○						○																		
Y	FSD 117	A	甲	B2	片開き	1F	舞台前室1.2	2	1200	3000	60	S		B	120	S	B3	SUS																																	舞台前室側→扉一体型彫込み引手 ホール客席側 →木練付亜鉛カルシウム板t6 UC貼り →周囲と同じ練付材とする
							ホール客席					SOP				SOP		HL										○						○																		
※凡例	FSD 118	A	甲	C	片開き	1F	業務通路1	1	900	2100	60	S		E	120	S	B3	SUS																																	
							袖舞台（上手）					SOP				SOP		HL										○						○																		
修繕工事対象外の建具を示す。																																																			

記号表示方法

材質記号

階数表示記号

形状寸法別通し番号

階数表示記号

B:	地階
1:	1階
2:	2階
3:	3階
4:	4階
C:	キャットウォーク
P:	PH階

共通略符号

S	鋼	WD	木製扉	SH	鋼製シャッター	FLG	フロート板ガラス	SOP	合成樹脂調合ペイント
AL	アルミ	SD	鋼製扉	SSH	ステンレス製シャッター	KG	型板ガラス	FP焼付	フッ素樹脂焼付
SUS	ステンレス	LD	鋼製軽量扉	GSH	シートシャッター	TG	強化ガラス	FP	常温乾燥型フッ素樹脂塗装
HL	ヘアライン	AD	アルミ製扉	PSH	パイプシャッター	HSG	倍強度ガラス	AP焼付	アクリル樹脂焼付
AC	アルキャスト	SSD	ステンレス製扉	RT	自閉式防煙たれ壁	FG	複層ガラス		
BR	真鍮	TD	強化ガラス扉	WG	木製ガラリ	PG	合わせガラス	AUE	アクリルウレタン樹脂
EX	スチール エキスパンドメタル EXG-21	SW	鋼製窓	SG	鋼製ガラリ	MG	網入みがき板ガラス	AA	アルマイト・艶消クリアー
		SWe	鋼製窓（EVシャフト）	AG	アルミ製ガラリ	MG-F	網入複層ガラス	ZP	亜鉛メッキ
		AW	アルミ製窓	SSG	ステンレス製ガラリ	BG	すり板ガラス	PC	粉体塗装
		SSW	ステンレス製窓	ATP	アルミ製トップライト	LG	線入みがき板ガラス	HL	ヘアライン仕上
		SGD	鋼製ガラリ戸	CW	カーテンウォール	PG-T	ガラスティシュAの合わせガラス	外SOP	外部用SOP
		STS	鋼製スクリーン	AS	アルミスクリーン	FS	片面フロスト加工ガラス		
				AGD	アルミガラリ戸	HRG	耐熱強化ガラス	UC	アンダーカット
				LV	ルーバー				

法規制

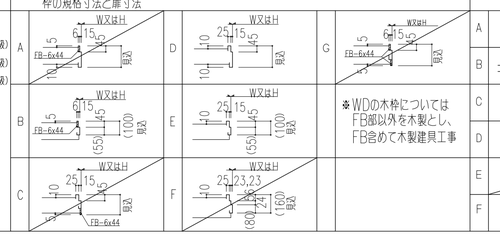
甲	常時閉鎖式特定防火設備
乙	常時閉鎖式防火設備（法第2条9号二のロ）
甲	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備
乙	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防火設備（法第2条9号二のロ）
鋼	防火設備（法第2条9号二のロ）（網入り又は耐熱強化ガラス）
不燃	常時閉鎖式・不燃扉
RT	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防煙たれ壁（不燃・防煙区画）
防	ガラス等の不燃開せ切による防火・防煙区画

性能記号

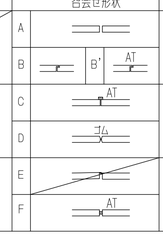
遮音性能（エアタイト）

B1, B2, C	Ts-I（Ts-25等級）
A1, A2	Ts-II（Ts-30等級）
S	Ts-III（Ts-35等級）

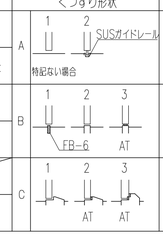
枠の規格寸法と扉寸法



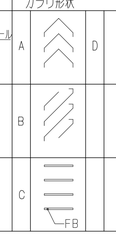
召会せ形状



くつずり形状



ガラリ形状



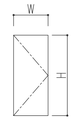
特記事項

1. 建具寸法は特記なき限り、枠内法寸法とする。
2. 扉厚は特記なき限り40mmとする。但し、鋼製軽量扉（LD）の場合は36mmとする
3. シャッターのスラットはフラット（F）型とする。
4. 遮音性能の必要な建具（SD）について、扉はロックウール充填とし、各図は全てモルタル充填とする。
   枠廻りは全てモルタル充填、又は、ロックウール充填とする
   →遮音性能を要しない場合は上記によらない、扉のロックウール充填はなし
5. ※は「建具詳細図」参照とし、#は「建具姿図」参照とする。
6. シャッター、自動扉装置器所での二次側配線、操作押ボタン及び取付は建築工事とする。
7. Ⓢ はストッパー付きを示す。
8. 親子扉のうち、小扉のクローザー機能は「オートピボットヒンジ」とする
9. シャッターの座金はSUS製とする。
10. ガラリ有効面積の横内表記のうち、「天井RA/パス」は建具工事外

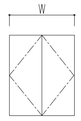
工事名称	三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）		株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第120233号 一級建築士建設大臣登録 第371623号 櫻 文彦	年月日	2005年 5月	図面名称	建具表1 FSD	縮尺	ファイル名称	A88nDlist01	図面番号	A-88

建具姿図

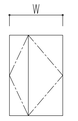
A 片開き



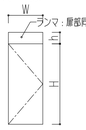
B 両開き



C 親子



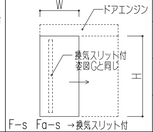
D ランマ付き（片開き）



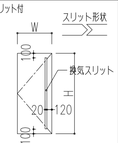
E ランマ付き（両開き） Eα（親子）



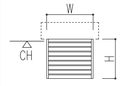
F 片引自動扉 Fα 片引手動扉



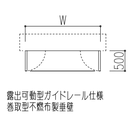
G スリット付



H 防音シャッター
遮音シャッター

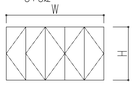


I 防煙たれ壁（垂直降下式）

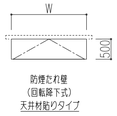


J 連層開き戸（片袖フラッシュ）

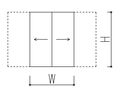
*3：3連
*4：4連
*5：5連



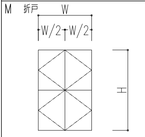
K 防煙たれ壁（回転降下式）



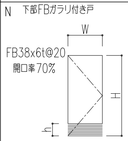
L 両引自閉式扉



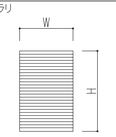
M 折戸



N 下部FBガラリ付き戸



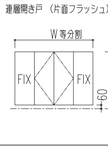
O ガラリ



P 連層開き戸



Q 連層開き戸（片袖フラッシュ）



R

S

T

U

V

W

X

Y

※凡例

修繕工事対象外の建具を示す。

建具符号	姿図符号	法規制	性能記号	開閉方式	取付場所 階	取付場所 室名	数量	建具枠内法寸法 W	建具枠内法寸法 H	建具（スラット） 見込	建具（スラット） 材質仕上	建具（スラット） 召会せ形状	枠（ガイドレール） 形状	枠（ガイドレール） 見込	枠（ガイドレール） 材質仕上	くつずり 形状	くつずり 材質仕上	ガラス 種類厚さ	ガラリ 形状	ガラリ 開口率(%)	ガラリ 材質仕上	ガラリ 有効面積(100%時)(m²)	握玉・把手類 握玉	握玉・把手類 SUS戸先	握玉・把手類 ローラー	握玉・把手類 引手	握玉・把手類 レバーハンドル	握玉・把手類 ケースハンドル	握玉・把手類 クレセント錠(SUS製)	握玉・把手類 親子引手	錠の種類 空錠	錠の種類 箱錠	錠の種類 本締錠	錠の種類 電気錠	錠の種類 非常錠	錠の種類 表示錠	錠の種類 カードリーダー	錠の種類 押ボタン式電磁錠	支持金物 T番(引戸用丁番)	支持金物 オートヒンジ	支持金物 ピボットヒンジ	支持金物 フロアヒンジ	支持金物 オート丁番	支持金物 重量扉用フロアヒンジ	支持金物 走線ガイド付フロアヒンジ	付属金物 折れ戸用ヒンジ	付属金物 ドアクローザ	付属金物 ドアクローザ（ラッチ付）	付属金物 アームストッパー	付属金物 戸当り	付属金物 フランス落し	付属金物 扉位置調整器	スモークグローザ	備考
FSD 201	B	甲	C	両開き	2F	前室1,2 ラウンジ	2	2000 (1800)	2100	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL						○									○									○			○					空圧式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付注駄カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
FSD 202	B	甲	C	両開き	2F	前室3,4 ホール階段3,4（ラウンジ）	2	1600	2100	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL						○									○									○			○					空圧式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付注駄カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
FSD 203	A	甲	B2	片開き	2F	袖舞台（上手） 業務通路	1	900	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B3	SUS HL									○						○								○			○					
FSD 204	A	甲	B2	片開き	2F	階段室1,2 業務通路、調光盤室	3	900	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B3	SUS HL									○						○								○			○					
FSD 205	C	甲	B2	親子	2F	ラウンジ 休憩ロビー	1	450+1000 (1350)	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL									○						○									○		○	○	○				
FSD 206	A	甲	B2	片開き	1F	休憩ロビー（の延長通路） 階段室3	1	950 (900)	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B3	SUS HL																	○									○						
FSD 207	A	甲	B1	片開き	2F	階段室1,2 ホール客席	4	600	1000	40	S SOP		E	100	S SOP	C2	SUS HL									○						○									○			○					階段室側：扉一体型亀甲引手、中心吊り（4箇所共通） ホール客席側2箇所（低）：ホール内装と同じ材料・仕上げパネルを取付け ホール客席側2箇所（高）：SOP仕上げ ↓ ホール客席各部詳細図内「フロントサイド照明架台」詳細図参照
FSD C01	A	甲	B1	片開き	客席 天井内	階段室1,2～ キャットウォーク階段ゾーン キャットウォーク階段ゾーン～ホール客席天井内	2 2	900	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	C2	SUS HL									○						○									○			○					ホール客席詳細図参照
FSD R01	A	甲	A1	片開き	RF	舞台階段 前室	1	900	2100	50	S SOP		E	100	S SOP	C2	SUS HL								○						○									○			○					
SD B01	A	木扉	A1	片開き	BF	前室3 空調機械室	1	900	2100	50	S SOP		E	100	S SOP	C2	SUS HL								○						○									○			○					
SD B02	A	木扉	–	片開き	BF	倉庫 空調機械室	1	900	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B2	SUS HL									○						○									○			○					
SD 101	B	木扉	C	両開き	1F	前室1,2 ホール客席	2	2500 (2300)	2100	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL						○									○									○			○					空圧式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付注駄カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
SD 102	B	木扉	C	両開き	1F	前室3,4 ホール客席	2	2200 (2000)	2100	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL						○									○									○			○					空圧式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付注駄カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする
SD 103	A	木扉	C	片開き	1F	親子室 親子室 親子室前室 調整室	2	950	2100	60	S SOP		E	120	S SOP	B3	SUS HL									○						○									○			○					
SD 104	A	木扉	–	片開き	1F	女子客用便所 1,2 SK	2	800	2100	40	S SOP		B	100	S SOP	B1	SUS HL											○			○									○				○	○			片袖フラッシュ　かつ片袖にテラゾタイル又は大半タイル貼り、中心吊り
SD 105																																														
SD 106																																														
SD 107	A	木扉	–	片開き	1F	厨房 厨房前室	1	900	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B2	SUS HL															○									Ⓢ			○					
SD 108	A	木扉	B2	片開き	1F	託児・ボランティア室 ロビー通路	2	950 (900)	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B3	SUS HL															○												○					
SD 109	A	甲	B2	片開き	1F	大会議室 小会議室 ロビー通路	2	950 (900)	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B3	SUS HL															○												○						天井RA/パス 0.05㎡以上 天井RA/パス 0.05㎡以上 (小会議室側のみ)
SD 110	B	木扉	B2	両開き	1F	前室（荷捌き） 楽屋通路	1	1800	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL															○												○					
SD 111	A	木扉	B2	親子	1F	楽屋通路 個室1,2	2	300+950 (1150)	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL															○												○	○			片袖に木練付注駄カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする	天井RA/パス 0.01㎡以上
SD 112	A	木扉	B2	親子	1F	楽屋通路 中楽屋1,2	2	300+950 (1150)	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL															○												○	○			片袖に木練付注駄カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする	天井RA/パス 0.03㎡以上
SD 113	C	木扉	B2	親子	1F	楽屋通路 大楽屋（練習室）	1	300+950 (1150)	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL															○												○	○			片袖に木練付注駄カルシウム板t6UC貼り→周囲と同じ練付材とする	天井RA/パス 0.03㎡以上
SD 114	A	木扉	–	片開き	1F	男子楽屋便所 SK	1	800	2100	40	S SOP		B	100	S SOP	B1	SUS HL											○			○									○				○	○			片袖フラッシュ　かつ片袖に防音網貼り、中心吊り
SD 115	A	甲	–	片開き	1F	ロビー階段 守衛室	1	850	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B2	SUS HL															○												○					

記号表示方法

材質記号



階数表示記号
形状寸法別通し番号
階数表示記号
B: 地階
1: 1階
2: 2階
3: 3階
4: 4階
C: キャットウォーク
P: PH階

共通略符号

S	鋼	WD	木製扉	SH	鋼製シャッター	FLG	フロート板ガラス	SOP	合成樹脂調合ペイント
AL	アルミ	SD	鋼製扉	SSH	ステンレス製シャッター	KG	型板ガラス	FP焼付	フッ素樹脂焼付
SUS	ステンレス	LD	鋼製軽量扉	GSH	シートシャッター	TG	強化ガラス	FP	常温乾燥型フッ素樹脂塗装
HL	ヘアライン	AD	アルミ製扉	PSH	パイプシャッター	HSG	倍強度ガラス	AP焼付	アクリル樹脂焼付
AC	アルキャスト	SSD	ステンレス製扉	RT	自閉式防煙たれ壁	FG	複層ガラス		
BR	真鍮	TD	強化ガラス扉	WG	木製ガラリ	PG	合わせガラス	AUE	アクリルウレタン樹脂
EX	スチール エキスパンドメタル EXG-21	SW	鋼製窓	SG	鋼製ガラリ	MG	網入みがき板ガラス	AA	アルマイト・艶消クリアー
		SWe	鋼製窓（EVシャフト）	AG	アルミ製ガラリ	MG-F	網入複層ガラス	ZP	亜鉛メッキ
		AW	アルミ製窓	SSG	ステンレス製ガラリ	BG	すり板ガラス	PC	粉体塗装
		SSW	ステンレス製窓	ATP	アルミ製トップライト	LG	線入みがき板ガラス	HL	ヘアライン仕上
		SGD	鋼製ガラリ戸	CW	カーテンウォール	PG-T	ガラスティシュ入り合わせガラス	外SOP	外部用SOP
		STS	鋼製スクリーン	AS	アルミスクリーン	FS	片面フロスト加工ガラス		
				AGD	アルミガラリ戸	HRG	耐熱強化ガラス	UC	アンダーカット
				LV	ルーバー				

法規制

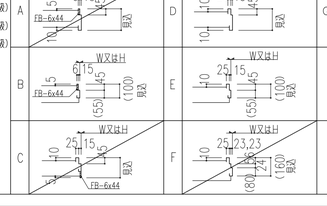
甲	常時閉鎖式特定防火設備
乙	常時閉鎖式防火設備（法第2条9号二のロ）
甲	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備
乙	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防火設備（法第2条9号二のロ）
扉	防火設備（法第2条9号二のロ）（網入りW又は耐熱強化ガラス）
木扉	常時閉鎖式・不燃扉
RT	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防煙たれ壁（不燃・防煙区画）
防	ガラス等の不燃間仕切による防火・防煙区画

性能記号

遮音性能（エアタイト）

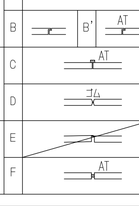
B1, B2, C	Ts-Ⅰ（Ts-25等級）
A1, A2	Ts-Ⅱ（Ts-30等級）
S	Ts-Ⅲ（Ts-35等級）

枠の規格寸法と扉寸法

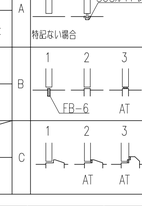


※WDの木枠については FB部以外を木製とし、 FB含めて木製建具工事

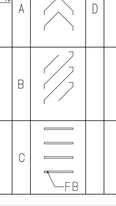
召会せ形状



くつずり形状



ガラリ形状



特記事項

1. 建具寸法は特記なき限り、枠内法寸法とする。
2. 扉厚は特記なき限り40mmとする。但し、鋼製軽量扉（LD）の場合は36mmとする
3. シャッターのスラットはフラット（F）型とする。
4. 遮音性能の必要な建具（SD）について、扉はロックウール充填とし、各図は全てモルタル充填とする。
   枠廻りは全てモルタル充填、又は、ロックウール充填とする
   →遮音性能を要しない場合は上記2にならい、扉のロックウール充填はなし
5. ※は「建具詳細図」参照とし、#は「建具姿図」参照とする。
6. シャッター、自動扉設置箇所での二次側配線、操作押ボタン及び取付は建築工事とする。
7. Ⓢ はストッパー付きを示す。
8. 親子扉のうち、小扉のクローザー機能は「オートピボットヒンジ」とする
9. シャッターの座金はSUS製とする。
10. ガラリ有効面積の欄内表記のうち、「天井RA/パス」は建具工事外

工事名称	三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	年月日	2005年 5月	図面名称	建具表2　FSD　SD
縮尺		ファイル名称	A89nDlist02_申請_改2	図面番号	A-89			

建具姿図	建具符号	姿図符号	法規制	性能記号	開閉方式	取付場所 階	取付場所 室名	数量	建具枠内法寸法 W	建具枠内法寸法 H	建具（スラット） 見込	建具（スラット） 材質 仕上	建具（スラット） 召合せ形状	枠（ガイドレール） 形状	枠（ガイドレール） 見込	枠（ガイドレール） 材質 仕上	くつずり 形状	くつずり 材質 仕上	ガラス 種類 厚さ	ガラリ 形状	ガラリ 開口率（%）	ガラリ 材質 仕上	ガラリ 有効面積（100%時）（㎡）	握玉・把手類 握玉	握玉・把手類 SUS押棒	握玉・把手類 ローラー	握玉・把手類 引手	握玉・把手類 レバーハンドル	握玉・把手類 ケースハンドル	握玉・把手類 クレセント錠（召合せ）	握玉・把手類 親子召合せ引手	錠の種類 空錠	錠の種類 箱錠	錠の種類 本締錠	錠の種類 電気錠	錠の種類 非常錠	錠の種類 表示錠	錠の種類 カードリーダー	押ボタン式電磁錠	支持金物 T番(引き戸用レール)	支持金物 オートヒンジ	支持金物 ピボットヒンジ	支持金物 フロアヒンジ	支持金物 オート丁番	支持金物 重量扉用フロアヒンジ	支持金物 点検口用フロアヒンジ	付属金物 折れ戸用ヒンジ	付属金物 ドアクローザ	付属金物 ドアクローザ（ストップ付）	付属金物 アームストッパー	付属金物 戸当り	付属金物 フランス落し	付属金物 扉位置調整器	スモークドクローザ	備考
A 片開き	SD201	B	不燃	C	両開き	2F	ホール客席 前室1,2	2	2000 (1800)	2100	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL						○								○												○						○			空板式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付注駄カルシウム板t6 UC貼り→周囲と同じ練付材とする
	SD202	B	不燃	C	両開き	2F	ホール客席 前室3,4	2	1600	2100	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL						○								○												○						○			空板式パワーオープンコンシールドクローザー 両面に木練付注駄カルシウム板t6 UC貼り→周囲と同じ練付材とする
	SD203	A	不燃	甲	片開き	2F	機材室1 業務通路	1	900	2100	40	S SOP		E	100	S SOP	B2	SUS HL					○					○				○											○						○			
	SD204	C	不燃	A2	親子	2F	音響整室 業務通路	1	300+900	2100	60	S SOP	C	E	120	S SOP	B3	SUS HL						○							○		○											○			○	○			
D ランマ付き（片開き）	SD205	C	不燃	A1	親子	2F	排煙機室 業務通路	1	300+900	2100	60	S SOP	C	E	120	S SOP	B3	SUS HL						○							○		○											○			○	○			
E ランマ付き（両開き） Eα（親子）	SD206	A	不燃	–	片開き	2F	女子客用便所2 SK	1	800	2100	40	S SOP		B	100	S SOP	B1	SUS HL					○			○																○					○	○			片首フラッシュ　かつ片首に全首鏡貼り、中仮吊り
F 片引自動扉 Fα 片引手動扉	SD207	A	不燃	C	片開き	2F	休憩ロビー 前室6	1	950	2500	60	S SOP		B	120	S SOP	B3	SUS HL						○								○												○			○				
	SD208	B	不燃	C	両開き	2F	リハーサル室 前室5	1	1700 (1500)	2500	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL						○								○												○			○				片首に木練付注駄カルシウム板t6 UC貼り→周囲と同じ練付材とする
G スリット付	SD209	B	不燃	C	両開き	2F	休憩ロビー 前室5	1	1700 (1500)	2500	60	S SOP	F	B	120	S SOP	B3	SUS HL						○								○												○			○				
H 防音シャッター 遮音シャッター	SD210	#	不燃	C	片開き	2F	リハーサル室 前室6	1	#	2500	60	S SOP		B	✱	S SOP	B3	SUS HL						○								○												○			○				片首に木練付注駄カルシウム板t6 UC貼り→周囲と同じ練付材とする
I 防煙たれ壁（垂直降下式）	SD211	A	不燃	–	片開き	2F	機材室2 前室6	1	900	2500	40	S SOP		E	100	S SOP	B2	SUS HL						○								○												○			○				
露出可動型ガイドレール仕様 各取型不燃布製垂壁	SD212	B	不燃	S	両開き	2F	休憩ロビー（の延長通路） 前室7	1	1850 (1650)	2100	68.5	S SOP	B'	E	120	S SOP	B3	SUS HL						○								○												○			○		○		
J 連層開き戸（片首フラッシュ） *3：3連 *4：4連 *5：5連	SD213	B	不燃	S	片開き	2F	練習室1 前室7	1	1850 (1650)	2100	68.5	S SOP	B'	E	120	S SOP	B3	SUS HL						○								○												○			○		○		片首に有乳注駄カルシウム板t6 SOP貼り→周囲と同じ有乳板とする
K 防煙たれ壁（回転降下式）	SD214	B	不燃	S	片開き	2F	休憩ロビー（の延長通路） 前室8	1	1850 (1650)	2100	68.5	S SOP	B'	E	120	S SOP	B3	SUS HL						○								○												○			○		○		
防煙たれ壁 （回転降下式） 天井材貼りタイプ	SD215	B	不燃	S	片開き	2F	練習室2 前室8	1	1850 (1650)	2100	68.5	S SOP	B'	E	120	S SOP	B3	SUS HL						○								○												○			○		○		片首に有乳注駄カルシウム板t6 SOP貼り→周囲と同じ有乳板とする
L 両引自開式扉	SD216	B	不燃	B1	両開き	1F	倉庫2 前室8	1	1800	2100	40	S SOP	B'	E	100	S SOP	B3	SUS HL						○								○												○			○				
M 折戸																																																								
N 下部FBガラリ付き戸 FB38x6t@20 開口率70%	SD C01	A	不燃	–	片開き	客席 天井内	シーリング換気室 ホール客席天井内	2	900	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	C1	SUS HL						○					○				○											○			○				
O ガラリ	SD C02	A	不燃	B1	片開き	客席 天井内	ピンスポット室 ホール客席天井内	1	900	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	C2	SUS HL						○					○				○											○			○				
P 連層開き戸 白板仕様 両首フラッシュ　片首フラッシュ 下部戸車（キャスター付）	SD R01	B	不燃	A1	両開き	RF	排煙機室 前室	1	1600	2100	50	S SOP	C	E	100	S SOP	C2	SUS HL													○		○											○			○	○			
Q 連層開き戸（片首フラッシュ）	PSD B01	A	不燃	A1	片開き	BF	空調機械室・DS ピット	3	600	600	50	S SOP		E	100	S SOP	C2	S SOP													○		○											○							
R	PSD B02	A	不燃	A1	片開き	BF	ピット（チャンバー） ピット	4	600	600	50	S SOP		E	100	S SOP	C2	S SOP													○		○											○							
S	PSD B03	A	–	B1	片開き	BF	空調機械室 DS	1	500	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	C2	S SOP												○		○											○					○		
T	PSD 101	A	–	–	片開き	1F	各諸室 DS・PS・アラーム弁室	6	500	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	B2	S SOP												○		○											○					○	○		片首フラッシュ 階段室1～アラーム弁室の扉一箇所のみ甲→遮音スペックB1仕様
U	PSD 101A	A	–	A1	片開き	BF	DS 袖舞台（下手）	1	900	2100	50	S SOP		E	100	S SOP	C2	SUS HL													○		○											○					○		
V	PSD 101B	A	–	B1	片開き	BF	DS 調整室、親子室	2	500	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	C2	SUS SOP													○		○											○					○		
W	PSD 102	A	–	–	片開き	1F	客用便所 PS	4	400	400	40	S SOP		B	100	S SOP																														○					片首フラッシュ　かつ片首にテラゾタイル又は大判タイル貼り 一般点板口と同類の点板錠　　中仮吊り
X	PSD 103	P	–	–	3連開き	1F	大会議室 EPS	1	1800+1800+900	2100	40	S SOP	A	B	100	S SOP	B2	S SOP																												○					W1800の戸板→通常フラッシュかつ片首に白板（ホーロー鋼板t0.4）接着貼り W900の戸板→片首フラッシュ、塗装仕上げ 扉下部を=FL+60できさえ、扉下部を手掛けとする　中仮吊り
Y	PSD 201	A	–	–	片開き	2F	各諸室 DS・PS・アラーム弁室	3	500	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	B2	S SOP																																片首フラッシュ
※凡例	PSD 201A	A	–	B1	片開き	2F	倉庫1・2 DS	1	500	1800	40	S SOP		E	100	S SOP	C2	S SOP																																
	PSD 202	A	–	–	片開き	2F	客用便所 PS	5	400	400	40	S SOP		B	100	S SOP																														○					片首フラッシュ　かつ片首にテラゾタイル又は大判タイル貼り 一般点板口と同類の点板錠　　中仮吊り
*** 修繕工事対象外の建具を示す。	PSD 203	Q	–	–	両開き＋ 両袖FIX	2F	要煙所 EPS	1	2300	2100	40	S SOP	A	E	100	S SOP																														○					片首フラッシュ 扉下部を=FL+60できさえ、扉下部を手掛けとする　中仮吊り

記号表示方法

材質記号

階数表示記号

形状寸法別通し番号

階数表示記号

B: 地階
1: 1階
2: 2階
3: 3階
4: 4階
C: キャットウォーク
P: PH階

共通略符号

S	鋼	WD	木製扉	SH	鋼製シャッター	FLG	フロート板ガラス	SOP	合成樹脂調合ペイント
AL	アルミ	SD	鋼製扉	SSH	ステンレス製シャッター	KG	型板ガラス	FP焼付	フッ素樹脂焼付
SUS	ステンレス	LD	鋼製軽量扉	GSH	シートシャッター	TG	強化ガラス	FP	常温乾燥型フッ素樹脂塗装
HL	ヘアライン	AD	アルミ製扉	PSH	パイプシャッター	HSG	倍強度ガラス	AP焼付	アクリル樹脂焼付
AC	アルキャスト	SSD	ステンレス製扉	RT	自閉式防煙たれ壁	FG	複層ガラス		
BR	真鍮	TD	強化ガラス扉	WG	木製ガラリ	PG	合わせガラス	AUE	アクリルウレタン樹脂
EX	スチール エキスパンドメタル EXG-21	SW	鋼製窓	SG	鋼製ガラリ	MG	網入みがき板ガラス	AA	アルマイト・艶消クリアー
		SWe	鋼製窓（EVシャフト）	AG	アルミ製ガラリ	MG-F	網入複層ガラス	ZP	亜鉛メッキ
		AW	アルミ製窓	SSG	ステンレス製ガラリ	BG	すり板ガラス	PC	粉体塗装
		SSW	ステンレス製窓	ATP	アルミ製トップライト	LG	線入みがき板ガラス	HL	ヘアライン仕上
		SGD	鋼製ガラリ戸	CW	カーテンウォール	PG-T	ガラスティシュ入り合わせガラス	外SOP	外部用SOP
		STS	鋼製スクリーン	AS	アルミスクリーン	FS	片首フロスト加工ガラス		
				AGD	アルミガラリ戸	HRG	耐熱強化ガラス	UC	アンダーカット
				LV	ルーバー				

法規制

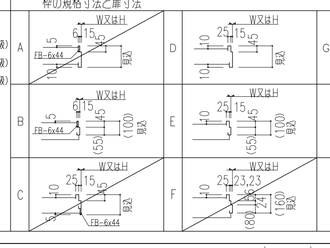
- 甲　常時閉鎖式特定防火設備
- 乙　常時閉鎖式の火設備（法第2条9号二のロ）
- 甲　随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備
- 乙　随時閉鎖式・煙感連動自閉式防火設備（法第2条9号二のロ）
- 遮　防火設備（法第2条9号二のロ）（網入り又は耐熱強化ガラス）
- 不燃　常時閉鎖式・不燃扉
- RT　随時閉鎖式・煙感連動自閉式防煙たれ壁（不燃・防煙区画）
- 防　ガラス等の不燃間仕切による防火・防煙区画

性能記号

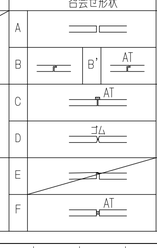
遮音性能（エアタイト）

B1, B2, C	Ts-Ⅰ（Ts-25等級）
A1, A2	Ts-Ⅱ（Ts-30等級）
S	Ts-Ⅲ（Ts-35等級）

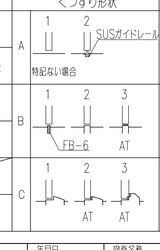
枠の規格寸法と扉寸法



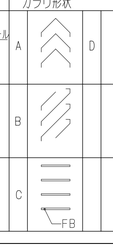
召合せ形状



くつずり形状



ガラリ形状

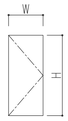
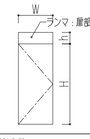
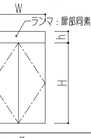
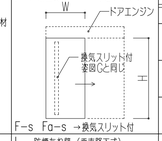
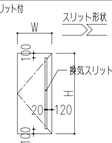
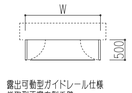
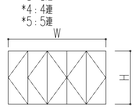
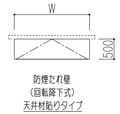
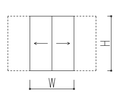
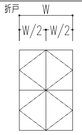
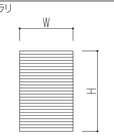
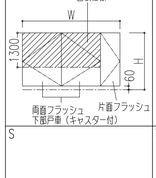
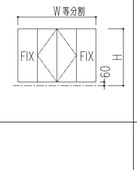


特記事項

1. 建具寸法は特記なき限り、枠内法寸法とする。
2. 扉厚は特記なき限り40mmとする。但し、鋼製軽量扉（LD）の場合は36mmとする
3. シャッターのスラットはプラット（F）型とする。
4. 遮音性能の必要な建具（SD）について、扉はロックウール充填とし、各部は全てモルタル充填とする。
   枠廻りは全てモルタル充填、又は、ロックウール充填とする
   →遮音性能を要しない場合は上記2に従らい、扉のロックウール充填はなし
5. ✱は「建具詳細図」参照とし、#は「建具姿図」参照とする。
6. シャッター、自動扉設置箇所での二次配線、操作押ボタン及び取付は建築工事とする。
7. Ⓢ はストッパー付きを示す。
8. 親子扉のうち、小扉のクローザー機能は「オートピボットヒンジ」とする
9. シャッターの座金はSUS製とする。
10. ガラリ有効面積の欄内表記のうち、「天井RAパス」は建具工事外

工事名称		年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所　一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号　一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	2005年 5月	建具表3　SD　PSD		A90nDlist03_申請_改1	A-90

| 建具姿図 | | | 建具符号 | 姿図符号 | 法規制 | 性能記号 | 開閉方式 | 取付場所 階 | 取付場所 室名 | 数量 | 建具枠内法寸法 W | 建具枠内法寸法 H | 建具（スラット） 見込 | 建具（スラット） 材質仕上 | 建具（スラット） 召会せ形状 | 枠（ガイドレール） 形状 | 枠（ガイドレール） 見込 | 枠（ガイドレール） 材質仕上 | くつずり 形状 | くつずり 材質仕上 | ガラス 種類厚さ | ガラリ 形状 | ガラリ 開口率(%) | ガラリ 材質仕上 | ガラリ 有効面積（100%時）(㎡) | 握玉・把手類 握玉 | 握玉・把手類 SUS押棒 | 握玉・把手類 召会せローラー | 握玉・把手類 召会せ引手 | 握玉・把手類 レバーハンドル | 握玉・把手類 ケースハンドル | 握玉・把手類 クレセント錠(ラッチ付) | 握玉・把手類 親父引手 | 錠の種類 空錠 | 錠の種類 箱錠 | 錠の種類 本締錠 | 錠の種類 電気錠 | 錠の種類 非常錠 | 錠の種類 表示錠 | 錠の種類 カードリーダー | 錠の種類 押ボタン式電磁錠 | 支持金物 T番(◎は鍵しず錠) | 支持金物 オートヒンジ | 支持金物 ピボットヒンジ | 支持金物 フロアヒンジ | 支持金物 オート丁番 | 支持金物 重量扉用フロアヒンジ | 支持金物 走行フロアヒンジ | 付属金物 折れ戸用ヒンジ | 付属金物 ドアクローザ | 付属金物 ドアクローザルード | 付属金物 アームストッパー | 付属金物 戸当り | 付属金物 フランス落し | 付属金物 扉位置整器 | 付属金物 スモークグローザ | 備考 |
|---|---|---

建具姿図	建具符号	姿図符号	法規制	性能記号	開閉方式	取付場所 階	取付場所 室名	数量	建具枠内法寸法 W	建具枠内法寸法 H	建具（スラット） 見込	建具（スラット） 材質 仕上	建具（スラット） 召会せ形状	枠（ガイドレール） 形状	枠（ガイドレール） 見込	枠（ガイドレール） 材質 仕上	くつずり 形状	くつずり 材質 仕上	ガラス 種類 厚さ	ガラリ 形状	ガラリ 開口率（%）	ガラリ 材質 仕上	ガラリ 有効面積（100%時）（㎡）	備考
A 片開き 	SH B01	H	–	–	電動式巻上	BF	ドライエリア 空調機械室	1	3250	3425	1.6	S ZPの上FP		Sus. 曲げ材（一般枠）	75	Sus.pl曲げ HL								電動式巻上シャッター： 電動モーター（400VL） まぐさSus.pl曲げ＋座金Sus.2L–50*50*6t、その他支持金物一式
	SH 101	H	–	防音 Ts–1	電動式巻上	1F	屋外 搬入口	1	6750	5500	1.6	S ZPの上FP		Sus. 曲げ材 合成ゴム	90	Sus.pl曲げ HL								電動式巻上防音シャッター： 電動モーター（400VL） まぐさSus.pl曲げ＋座金Sus.2L–50*50*6t、その他支持金物一式 非常時開放、非常用電源対応とする
	SH 102	H	–	防音 Ts–1	電動式巻上	1F	前室（荷捌き） 搬入口	1	6750	4700	1.6	S ZPの上FP		Sus. 曲げ材 合成ゴム	90	Sus.pl曲げ HL								電動式巻上防音シャッター： 電動モーター（400VL） まぐさSus.pl曲げ＋座金Sus.2L–50*50*6t、その他支持金物一式 非常時開放、非常用電源対応とする
	SH 103	H	甲	防火	電動式巻上	1F	前室（荷捌き） 楽器庫	1	2800	3000	1.6	S ZPの上SOP		Sus. 曲げ材（一般枠）	90	Sus.pl曲げ HL								電動式巻上防火シャッター： 電動モーター（400VL） まぐさSus.pl曲げ＋座金Sus.2L–50*50*6t、その他支持金物一式 管理用のため煙感連動に必要性なし
D ランマ付き（片開き） 	SH 104	H	甲	防火	電動式巻上	1F	ロビー前段 守衛室	1	1950	750	1.6	S ZPの上SOP		Sus. 曲げ材（一般枠）	90	Sus.pl曲げ HL								電動式巻上シャッター： 電動モーター（400VL） まぐさSus.pl曲げ＋座金Sus.2L–50*50*6t、その他支持金物一式
E ランマ付き（両開き） Eα（親子） 	RT 101	I	RT	–	垂直降下式（手動腰壁式）	1F	ホール前段1.2 ホール通路1.2、ホワイエ2	2	5400 + 13600	500	0.25 程度	不燃布 ガラスクロス		露出可動型	95	AL AP焼付								煙感連動開放装置　手動開閉装置、オペレーター、その他支持金物一式
F 片引自動扉 Fα 片引手動扉 	RT 102A	K	RT	–	回転降下式（手動腰壁式）	1F	ホワイエ1 北エントランス	1	4950	500		S SOP												煙感連動開放装置　手動開閉装置、オペレーター、スプリングステー、その他支持金物一式 また、天井材貼りタイプとする
F–s Fα–s →換気スリット付	RT 102B	K	RT	–	回転降下式（手動腰壁式）	1F	ホワイエ1 東エントランス	1	9050	500		S SOP												煙感連動開放装置　手動開閉装置、オペレーター、スプリングステー、その他支持金物一式 また、天井材貼りタイプとする
G スリット付 	RT 103	K	RT	–	回転降下式（手動腰壁式）	1F	ロビー通路 東エントランス	1	1700	500		S SOP												煙感連動開放装置　手動開閉装置、オペレーター、スプリングステー、その他支持金物一式 また、天井材貼りタイプとする
H 防音シャッター 遮音シャッター 	RT 104A	I	RT	–	垂直降下式（手動腰壁式）	1F	ホール通路1 ホール通路1	1	2735	500	0.25 程度	不燃布 ガラスクロス		露出可動型	95	AL AP焼付								煙感連動開放装置　手動開閉装置、オペレーター、その他支持金物一式
I 防煙たれ壁（垂直降下式） 	RT 104B	I	RT	–	垂直降下式（手動腰壁式）	1F	ホール通路2 ホール通路2	1	2285	500	0.25 程度	不燃布 ガラスクロス		露出可動型	95	AL AP焼付								煙感連動開放装置　手動開閉装置、オペレーター、その他支持金物一式
露出可動型ガイドレール仕様 巻取型不燃布製垂壁	RT 105	I	RT	–	垂直降下式（手動腰壁式）	1F	サブエントランス ロビー前段	1	6815	500	0.25 程度	不燃布 ガラスクロス		露出可動型	95	AL AP焼付								煙感連動開放装置　手動開閉装置、オペレーター、その他支持金物一式
J 連層開き戸（片首フラッシュ） *3：3連 *4：4連 *5：5連 	SW 101	#	防	TS–II	FIX 一部片開き	1F	ホール居房 調整室、親子室	1	#	#		S SOP		FB 構成材	68	S SOP	FB 構成材	S SOP	FLG 10					手動開閉框片開き戸、2段落ストッパー、ハンドルその他支持金物一式
K 防煙たれ壁（回転降下式）  防煙たれ壁 （回転降下式） 天井材貼りタイプ	SW 102	#	–	TS–II 以上	FIX	1F	空気層 親子室	1	#	#		S SOP		FB 構成材	46 扉部材のみ	S SOP	FB 構成材	S SOP	FLG 6					SW–101との空気層D=150
L 両引自開式扉 	SW 103	#	不燃	B2	ランマ：FIX 下部：両開き	1F	楽屋通路 サブエントランス	1	# (2000)	#	40	S SOP	F	FB 構成材	83	S SOP	FB 構成材	S、SOP Sus、HL	FLG 8		○	○	○	○	扉部：ガラス框戸（両開き）
	SW 104	#	防	–	袖部／ランマ：FIX 端部：親子	1F	東エントランス 事務室	1	# (1100)	#	40	S SOP		FB 構成材	83	S SOP	FIX–FB 開き–B2	S、Sus、 SOP、HL	# #		○	○	○	○	扉部：輪帯強化ガラス扉（親子）→ヒンジ・本錠錠座はSus.pl台→プロアヒンジ（中心吊タイプ） Sus框：HL仕上げ （姿図参照）
M 折戸 	SW 105	#	防	–	FIX	1F	カフェレストラン 業務用勝手口	1	#	#		S SOP		FB 構成材	※	S SOP	FB 構成材	S SOP	FLG 8					
N 下部FBガラリ付き戸 	SW 106	#	–	–	袖部／ランマ：FIX 端部：親子	1F	カフェレストラン 東エントランス	1	# (1150)	#	※	SUS HL	A	FB 構成材	※	S SOP	FIX–FB 開き–A1	S SOP	# #		○	○	○	○	扉部：輪帯強化ガラス扉（親子）→ヒンジ・本錠錠座はSus.pl台→プロアヒンジ（中心吊タイプ） Sus框：HL仕上げ （姿図参照）
O ガラリ 	SW 201	#	防	TS–II	FIX	2F	機材室2 リハーサル室	1	#	#		S SOP		FB 構成材	46 扉部材のみ	S SOP	FB 構成材	S SOP	FLG 10					
	SW 202A	#	–	TS–II	FIX	2F	外装サッシ リハーサル室	1	#	#		S SOP		FB 構成材	70	S SOP	FB 構成材	S SOP	PG 10 (5+5)					AWとの空気層厚＝□においては「2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図」参照
P 連層開き戸 白板仕様  両首フラッシュ 下部戸車（キャスター付）	SW 202B	#	–	TS–II	FIX	2F	外装サッシ リハーサル室	1	#	#		S SOP		FB 構成材	70	S SOP	FB 構成材	S SOP	PG 10 (5+5)					AWとの空気層厚＝□においては「2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図」参照
Q 連層開き戸（片首フラッシュ）  片首フラッシュ	SW 203	#	–	TS–II	FIX	2F	外装サッシ 練習室1	1	#	#		S SOP		FB 構成材	70	S SOP	FB 構成材	S SOP	PG 10 (5+5)					AWとの空気層厚＝□においては「2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図」参照
R	SW 204	#	–	TS–II	FIX	2F	外装サッシ 練習室2	1	#	#		S SOP		FB 構成材	70	S SOP	FB 構成材	S SOP	PG 10 (5+5)					AWとの空気層厚＝□においては「2階リハーサル・練習室ゾーン詳細図」参照
S	T	U																						
	AD R01	B	–	A1	両開き	RF	前室、換気機械室 屋外	2	1800	1200	50	AL B–1	C	E	100	AL B–1	C2	SUS HL			○	○	㋕	○	○○	
	AD R02	A	–	A1	片開き	RF	排煙機室 屋外機置場	1	600	900	50	AL B–1		B	120	AL B–1	C2	SUS HL			○	○	㋕	○	○	
	AD R03	A	–	A1	片開き	RF	OA給気口 屋外	1	600	600	50	AL B–1		B	120	AL B–1	C2	SUS HL			○	○	㋕	○	○	具体の位置は「舞台避り詳細図2」参照
	AD R04	A	–	A1	片開き	RF	リハーサル室DS リハーサル室DS上部屋外	1	600	1200	50	AL B–1		B	120	AL B–1	C2	SUS HL			○	○	㋕	○	○	
V	W	X																						
	AD L01	A	–	–	片開き	GL	屋外機置場（別棟） 外部（既存屋外トイレ近傍）	1	750	1500	50	AL B–1		E	100	AL B–1	C1	SUS HL			○	○	㋕	○	○○	屋外機置場に設置　　雑詳細図参照（M–43）
Y	※凡例																							
	SWD A1	#	–	–	#（両開き）	1F	風除室1 屋外	1	# (1900?)	#	※	Sus HL+FP	D	※	※	Sus HL+FP	※	SUS HL	#				「外部避り詳細図」参照			フロアヒンジ（持出しタイプ）、Sus製押縁、本錠錠（下部）、戸当り（床埋込み＋回転式）その他支持金物一式
	SWD A2	#	不燃	–	#（両開き）	1F	風除室1 北エントランス	1	# (1900?)	#	※	Sus HL+FP	D	※	※	Sus HL+FP	※	SUS HL	#				「外部避り詳細図」参照			フロアヒンジ（持出しタイプ）、Sus製押縁、本錠錠（下部）、戸当り（床埋込み＋回転式）その他支持金物一式
	SWD B1	#	–	–	#（両開き）	1F	風除室2 屋外	1	# (2000?)	#	※	Sus HL+FP	D	※	※	Sus HL+FP	※	SUS HL	#				「外部避り詳細図」参照			フロアヒンジ（持出しタイプ）、Sus製押縁、本錠錠（下部）、戸当り（床埋込み＋回転式）その他支持金物一式
	SWD B2	#	不燃	–	#（両開き）	1F	風除室2 東エントランス	1	# (2000?)	#	※	Sus HL+FP	D	※	※	Sus HL+FP	※	SUS HL	#				「外部避り詳細図」参照			フロアヒンジ（持出しタイプ）、Sus製押縁、本錠錠（下部）、戸当り（床埋込み＋回転式）その他支持金物一式
	SWD C1	#	–	–	#（自動扉）	1F	風除室3 屋外	1	# (1400)	#	※	Sus HL+FP	D	※	※	Sus HL+FP	※	SUS HL	#				「外部避り詳細図」参照			煙感連動非常開放仕様、復旧スイッチ、センサー、エンジン、安全ビーム等取付金物一式
※※※ 修繕工事対象外の建具を示す。	SWD C2	#	不燃	–	#（自動扉）	1F	風除室3 サブエントランス	1	# (1400)	#	※	Sus HL+FP	D	※	※	Sus HL+FP	※	SUS HL	#				「外部避り詳細図」参照			煙感連動非常開放仕様、復旧スイッチ、センサー、エンジン、安全ビーム等取付金物一式

記号表示方法

材質記号

階数表示記号

形状寸法別通し番号

階数表示記号

B:	地階
1:	1階
2:	2階
3:	3階
4:	4階
C:	キャットウォーク
P:	P1階

共通略符号

S	鋼	WD	木製扉	SH	鋼製シャッター	FLG	フロート板ガラス	SOP	合成樹脂調合ペイント
AL	アルミ	SD	鋼製扉	SSH	ステンレス製シャッター	KG	型板ガラス	FP焼付	フッ素樹脂焼付
SUS	ステンレス	LD	鋼製軽量扉	GSH	シートシャッター	TG	強化ガラス	FP	常温乾燥型フッ素樹脂塗装
HL	ヘアライン	AD	アルミ製扉	PSH	パイプシャッター	HSG	倍強度ガラス	AP焼付	アクリル樹脂焼付
AC	アルキャスト	SSD	ステンレス製扉	RT	自閉式防煙たれ壁	FG	複層ガラス		
BR	真鍮	TD	強化ガラス扉	WG	木製ガラリ	PG	合わせガラス	AUE	アクリルウレタン樹脂
EX	スチール エキスパンドメタル EXG–21	SW	鋼製窓	SG	鋼製ガラリ	MG	網入みがき板ガラス	AA	アルマイト・艶消クリアー
		SWe	鋼製窓（EVシャフト）	AG	アルミ製ガラリ	MG–F	網入複層ガラス	ZP	亜鉛メッキ
		AW	アルミ製窓	SSG	ステンレス製ガラリ	BG	すり板ガラス	PC	粉体塗装
		SSW	ステンレス製窓	ATP	アルミ製トップライト	LG	線入みがき板ガラス	HL	ヘアライン仕上
		SGD	鋼製ガラリ戸	CW	カーテンウォール	PG–T	ガラスティシュAの合わせガラス	外SOP	外部用SOP
		STS	鋼製スクリーン	AS	アルミスクリーン	FS	片首フロスト加工ガラス	UC	アンダーカット
				AGD	アルミガラリ戸	HRG	耐熱強化ガラス		
				LV	ルーバー				

法規制

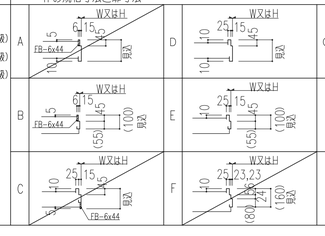
甲	常時閉鎖式特定防火設備
乙	常時閉鎖式防火設備（法第2条9号二のロ）
甲	随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備
乙	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防火設備（法第2条9号二のロ）
網	防火設備（法第2条9号二のロ）（網入り又は耐熱強化ガラス）
不燃	常時閉鎖式・不燃扉
RT	随時閉鎖式・煙感連動自閉式防煙たれ壁（不燃・防煙区画）
防	ガラス等の不燃開仕切による防火・防煙区画

性能記号

遮音性能（エアタイト）

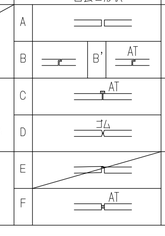
B1, B2, C	Ts–I（Ts–25等級）
A1, A2	Ts–II（Ts–30等級）
S	Ts–III（Ts–35等級）

枠の規格寸法と扉寸法

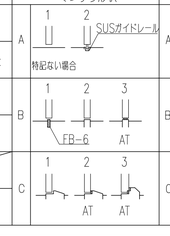


※WDの木枠についてはFB部以外を木製とし、FB含めて木製建具工事

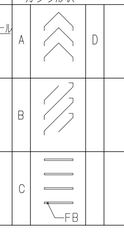
召会せ形状



くつずり形状



ガラリ形状



特記事項

1. 建具寸法は特記なき限り、枠内法寸法とする。
2. 扉厚は特記なき限り40mmとする。但し、鋼製軽量扉（LD）の場合は36mmとする
3. シャッターのスラットはフラット（F）型とする。
4. 遮音性能の必要な建具（SD）について、扉はロックウール充填とし、各錠は全てモルタル充填とする。
   枠廻りは全てモルタル充填、又は、ロックウール充填とする
   →遮音性能を要しない場合は上記どこなり、扉のロックウール充填はなし
5. ※は「建具詳細図」参照とし、#は「建具姿図」参照とする。
6. シャッター、自動扉設置箇所での二次配配線、操作押ボタン及び取付は建築工事とする。
7. Ⓢ はストッパー付きを示す。
8. 親子扉のうち、小扉のクローザー機能は「オートピボットヒンジ」とする
9. シャッターの座金はSUS製とする。
10. ガラリ有効面積の構内表記のうち、「天井RA/パス」は建具工事外

工事名称	三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）		株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第120235号 一級建築士建築久田登録 第371625号　槇 文彦	年月日	2005年 5月	図面名称	建具表5　SH　SW　AD　SWD	縮尺	ファイル名称	A92Dlist05_申請_改2	図面番号	A–92

建具符号	姿図符号	法規制	性能記号	開閉方式	取付場所 階	取付場所 室名	数量	建具枠内法寸法 W	建具枠内法寸法 H	建具（スラット） 見込	建具（スラット） 材質 仕上	建具（スラット） 召合せ形状	枠（ガイドレール） 形状	枠（ガイドレール） 見込	枠（ガイドレール） 材質 仕上	くつずり 形状	くつずり 材質 仕上	ガラス 種類 厚さ	ガラリ 形状	ガラリ 開口率（%）	ガラリ 材質 仕上	ガラリ 有効面積（100%時）（m²）	備考
A 片開き																							
AW 101A	#	–	–	FIX 片開き框戸	1F	ホール通路1 外部	1	#	#	*	AL B-1		AL	*	AL B-1	*	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照
AW 101B	#	–	–	FIX 片開き框戸	1F	ホワイエ1 外部、デッキテラス	1	#	#	*	AL B-1		AL	*	AL B-1	*	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照 新型アルミ型材＋スチールマリオン （4辺支持） 換気用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 その他支持金物一式
AW 101C	#	–	–	FIX 片開き框戸	1F	会議室、事務室、カフェレストラン 外部、デッキテラス	1	#	#	*	AL B-1		AL	*	AL B-1	*	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照
AW 102A	#	–	–	FIX 両開き框戸	1F	ホワイエ1,2、東北エントランス 中庭1	1	#	#	*	AL B-1	D	AL	*	AL B-1	*	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照 新型アルミ型材＋スチールマリオン （4辺支持） 出入口用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 X11通り側でY2～Y5までH＞2100に再生ホルーバー その他支持金物一式
D ランマ付き（片開き）	E ランマ付き（両開き） Eα（親子）	F 片引自動扉 Fα片引手動扉																					
AW 102B	#	–	–	FIX 片開き框戸	1F	ホール通路2、東エントランス、ボランティア室 中庭2	1	#	#	*	AL B-1		AL	*	AL B-1	*	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照 新型アルミ型材＋スチールマリオン （4辺支持） 換気用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 その他支持金物一式
AW 103A	#	–	–	FIX 突出し框戸	1F	ホール通路1 外部	1	#	#	*	AL B-1		AL	*	AL B-1	*	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照 新型アルミ型材サッシ （4辺支持） 換気用手動開閉框突出し窓、カムラッチハンドル、突き出しアーム、 あかりとめ、その他支持金物一式
AW 103B	#	–	–	FIX 突出し框戸	1F	倉庫、中楽屋、大楽屋 外部	1	#	#	*	AL B-1		AL	*	AL B-1	*	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照 新型アルミ型材サッシ （4辺支持） 換気用手動開閉框突出し窓、カムラッチハンドル、突き出しアーム、 あかりとめ、その他支持金物一式
SWA 104	#	–	–	FIX 引き違い框戸	1F	守衛室 ロビー階段	1	#	#	40	AL C-1	既型型材による	AL	75	AL C-1	AL	AL C-1	FLG 5					既型アルミ型材サッシ （4辺支持） 引き違い框戸、クレセントその他支持金物一式
G スリット付	H 防音シャッター 遮音シャッター	I 防煙たれ壁（垂直降下式）																					
AW 105	#	(防)	TS-II	FIX 一部片引き	1F	ホール客席 調整室、親子室	1	#	#		AL AP焼付		AL	100	AL AP焼付	AL	AL AP焼付	FLG 10					手動片引き框戸、クレセント、戸当りその他支持金物一式
AW 106	#	–	TS-II 以上	FIX	1F	空気層 親子室	1	#	#		AL AP焼付		AL	100	AL AP焼付	AL	AL AP焼付	FLG 6					SW-101との空気層D=150
AW 201	#	–	–	FIX 片開き框戸	2F	ラウンジ 屋上テラス	1	#	#	*	AL B-1		AL	*	AL B-1	*	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照 既型アルミ型材サッシ（換気・出入口框戸共に2辺支持）→参考詳細図と同等以上 換気用・出入口用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 その他支持金物一式
J 連層開き戸（片首フラッシュ） *3：3連 *4：4連 *5：5連	K 防煙たれ壁（回転降下式）	L 両引自開式扉																					
AW 202A	#	–	–	FIX	2F	リハーサル室 外部	1	#	#	*	AL B-1		AL	*	AL B-1	*	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照
AW 202B	#	–	–	FIX	2F	練習室1 屋上テラス	1	#	#	*	AL B-1		AL	*	AL B-1	*	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照 新型アルミ型材サッシ （4辺支持） 支持金物一式 *AW内側に空気層をはさんでSWあり（SW202A.B. 203. 204）
AW 202C	#	–	–	FIX	2F	練習室2 外部	1	#	#	*	AL B-1		AL	*	AL B-1	*	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照
AW 203A	#	–	–	FIX 片開き框戸	2F	休憩ロビー 外部	1	#	#	*	AL B-1		AL	*	AL B-1	*	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照 新型アルミ型材サッシ （4辺支持） 換気用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 その他支持金物一式
M 折戸	N 下部FBガラリ付き戸	O ガラリ																					
AW 203B	#	–	–	FIX 片開き框戸	2F	休憩ロビー 屋上テラス	1	#	#	*	AL B-1		AL	*	AL B-1	*	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照 新型アルミ型材サッシ （4辺支持） 出入口用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 その他支持金物一式
AW 204	#	–	–	FIX	2F	休憩ロビー 外部	1	#	#	*	AL B-1		AL	*	AL B-1	*	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照 新型アルミ型材サッシ （4辺支持） 換気用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 その他支持金物一式
AW 205	#	–	–	突出し框戸	2F	ラウンジ（男女客用便所1,2前） 外部	4	675	675	–	AL B-1		AL	100	AL B-1			FLG 5					既型アルミ型材サッシ （4辺支持） 換気用手動開閉框突出し窓、カムラッチハンドル、突き出しアーム、 あかりとめ、その他支持金物一式
AW 206	#	–	–	片開き框戸	2F	機材室1 北テラス	1	#	#	40	AL B-1		AL	100	AL B-1	C1	AL B-1	FLG 6					既型アルミ型材サッシ （4辺支持） 換気用手動開閉框片開き戸、丁番、ハンドル型締り金物、角度調整器 その他支持金物一式
P 連層開き戸 白板仕様	Q 連層開き戸（片首フラッシュ）	R																					
AW 207	#	(防)	TS-II	FIX 内開き框戸	2F	ピンスポット室 ホール客席上部	1	#	#	40	AL C-1	既型型材による	AL	100	AL C-1	C2	AL C-1	HRG 10					既型アルミ型材サッシ （4辺支持） 内開きタイプ ハンドル部その他支持金物一式
AP 01	#	–	–	FIX	2F	DS 外部	1	#	#	*	AL B-1		AL	*	AL B-1	*	AL B-1	# #					「外部廻り詳細図」参照 AW202A.B.Cの型材を加工兼用 但しガラス支持ではなくアルミパネル切板t3→建具姿図参照も合せて参照
AG B01	0	–	–	FIX	BF	ドライエリア 熱源機械室	1	3000	2600		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	2.73	
AG 201	0	–	–	FIX	2F	北テラス 排煙機室	1	2600	2400		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	2.17	
AG 202	0	–	–	FIX	2F	DS 屋外	1	1150	600		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	0.22	
AG 203	0	–	–	FIX	2F	DS 屋外	1	450	450		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	0.07	
AG R01A	0	–	–	FIX	RF	排煙機室 屋外	1	2950	1200		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	total 1.69	
S	T	U																					
AG R01B	0	–	–	FIX	RF	排煙機室 屋外	1	3350	1200		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1		
AG R02A	0	–	–	FIX	RF	換気機械室 屋外	1	2950	1200		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	total 2.64	アルミ既製ガラリ及び枠とし（ガラリは通し）、ガラリ補強方立ては@1000 にて裏側に設置 ガラリ面金に防虫アミ（SUS：黒色塗装）、水切、目板等、 ダクト接続フランジ、その他支持金物一式
AG R02B	0	–	–	FIX	RF	換気機械室 屋外	1	3350	1200		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1		
AG R03	0	–	–	FIX	RF	排煙機室 置外機置場	1	2000	1500		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	1.08	
Y																							
AG R04	0	–	–	FIX	RF	リハーサル室DS上部 屋外	1	900	900		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	35	AL B-1	0.28	
AG R05	0	–	–	FIX	RF	ハト小屋 屋外	2	1700	600		AL B-1		既成型	100	AL B-1				既成型（B）	*	AL B-1	0.35	
ATP R01	*	–	–	FIX	RF	ロビー階段 屋根	1	*	*		AL B-1		*	*	AL B-1			MG-F アF6+A6+6.8					「外部廻り詳細図」参照 既型アルミ型材サッシ （4辺支持） →参考詳細図と同等以上 「アF6」＝乳白アクリル板t=6を示す 水切（AL.pl-2t）その他支持金物一式

握玉・把手類：握玉 / SUS押棒 / 鍵式ワンハンドルローラー / 引手 / レバーハンドル / ケースハンドル / クレセント締り(3ヶ所) / 親父引手

鍵の種類：空錠 / 箱錠 / 本締錠 / 電気錠 / 非常錠 / 表示錠 / カードリーダー / 押ボタン式電磁錠

支持金物：丁番（◎は共通丁番） / SUS押棒 / オートヒンジ / ピボットヒンジ / フロアヒンジ / オート丁番 / 重量扉用フロアヒンジ / 走線フロアヒンジ用フロアヒンジ / 折れ戸用ヒンジ / ドアクローザ / アームストッパー / 戸当り / フランス落し / 額位調整器

付属金物：ドアクローザ

スモークドアクローザ

記号表示方法

材質記号

階数表示記号

形状寸法別通し番号

階数表示記号

B: 地階
1: 1階
2: 2階
3: 3階
4: 4階
C: キャットウォーク
P: P1階

共通略符号

S	鋼	WD	木製扉	SH	鋼製シャッター	FLG	フロート板ガラス	SOP	合成樹脂調合ペイント
AL	アルミ	SD	鋼製扉	SSH	ステンレス製シャッター	KG	型板ガラス	FP焼付	フッ素樹脂焼付
SUS	ステンレス	LD	鋼製軽量扉	GSH	シートシャッター	TG	強化ガラス	FP	常温乾燥型フッ素樹脂塗装
HL	ヘアライン	AD	アルミ製扉	PSH	パイプシャッター	HSG	倍強度ガラス	AP焼付	アクリル樹脂焼付
AC	アルキャスト	SSD	ステンレス製扉	RT	自閉式防煙たれ壁	FG	複層ガラス		
BR	真鍮	TD	強化ガラス扉	WG	木製ガラリ	PG	合わせガラス	AUE	アクリルウレタン樹脂
EX	スチール エキスパンドメタル EXG-21	SW	鋼製窓	SG	鋼製ガラリ	MG	網入みがき板ガラス	AA	アルマイト・艶消クリアー
		SWe	鋼製窓（EVシャフト）	AG	アルミ製ガラリ	MG-F	網入複層ガラス	ZP	亜鉛メッキ
		AW	アルミ製窓	SSG	ステンレス製ガラリ	BG	すり板ガラス	PC	粉体塗装
		SSW	ステンレス製窓	ATP	アルミ製トップライト	LG	線入みがき板ガラス	HL	ヘアライン仕上
		SGD	鋼製ガラリ戸	CW	カーテンウォール	PG-T	ガラスティシュ入り合わせガラス	外SOP	外部用SOP
		STS	鋼製スクリーン	AS	アルミスクリーン	FS	片首フロスト加工ガラス		
				AGD	アルミガラリ戸	HRG	複層強化ガラス	UC	アンダーカット
				LV	ルーバー				

法規制

甲 常時閉鎖式特定防火設備

乙 常時閉鎖式防火設備（法第2条9号二のロ）

甲 随時閉鎖式・煙感連動自閉式特定防火設備

乙 随時閉鎖式・煙感連動自閉式防火設備（法第2条9号二のロ）

網 防火設備（法第2条9号二のロ）（網入り又は線入強化ガラス）

不燃 常時閉鎖式・不燃扉

RT 随時閉鎖式・煙感連動自閉式防煙たれ壁（不燃・防煙区画）

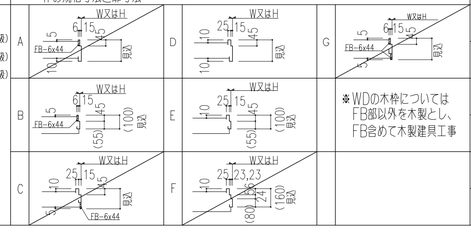
防 ガラス等の不燃開性切による防火・防煙区画

性能記号

遮音性能（エアタイト）

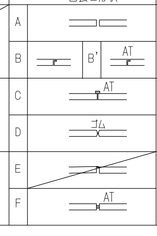
B1, B2, C　Ts-I（Ts-25等級）
A1, A2　Ts-II（Ts-30等級）
S　Ts-III（Ts-35等級）

枠の規格寸法と扉寸法



※WDの木枠については FB部以外を木製とし、 FB含めて木製建具工事

召合せ形状



くつずり形状



ガラリ形状

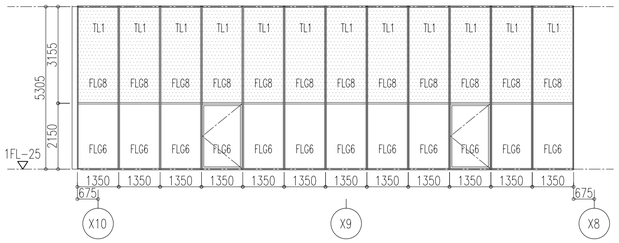


特記事項

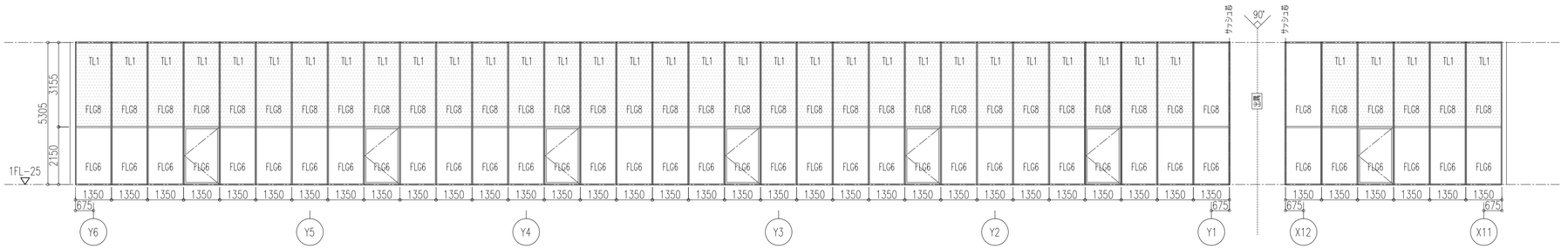
1. 建具寸法は特記なき限り、枠内法寸法とする。
2. 扉厚は特記なき限り40mmとする。但し、鋼製軽量扉（LD）の場合は36mmとする
3. シャッターのスラットはフラット（F）型とする。
4. 遮音性能の必要な建具（SD）について、扉はロックウール充填とし、各廻りは全てモルタル充填とする。
   枠廻りは全てモルタル充填、又は、ロックウール充填とする
   →遮音性能を要しない場合は上記どこならい、扉のロックウール充填はなし
5. ※は「建具詳細図」参照とし、#は「建具姿図」参照とする。
6. シャッター、自動扉設置箇所での二次配線、操作押ボタン及び取付は建築工事とする。
7. Ⓢ はストッパー付きを示す。
8. 親子扉のうち、小扉のクローザー機能は「オートピボットヒンジ」とする
9. シャッターの座金はSUS製とする。
10. ガラリ有効面積の欄内表記のうち、「天井RA/パス」は建具工事外

工事名称				年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事 （建築主体工事）		株式会社 槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第120239号 一級建築士建設大臣登録 第371629号 櫛 文彦	2005年 5月	建具表6 AW AG		A93Dlist06	A-93

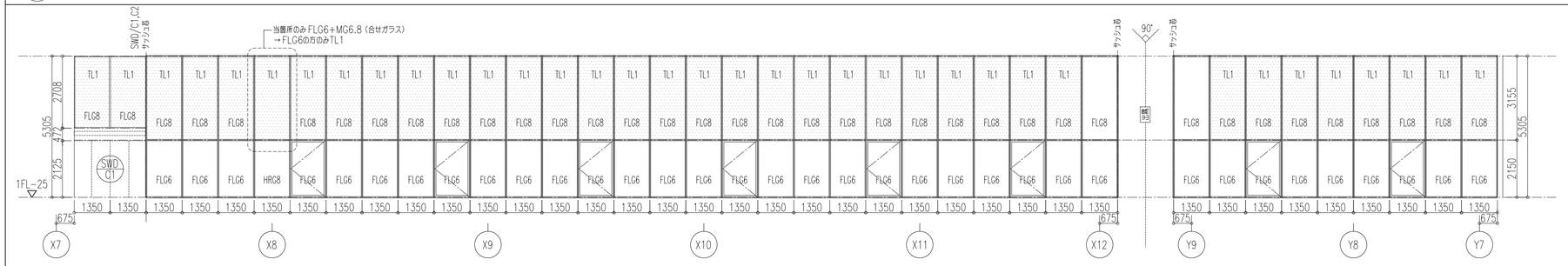
AW 101A



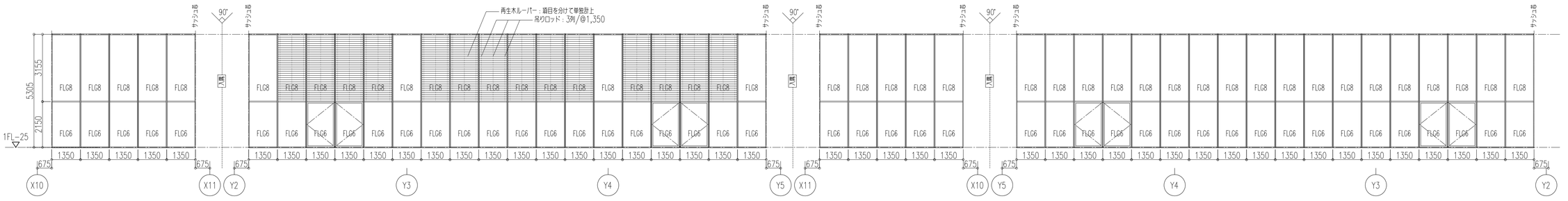
AW 101B



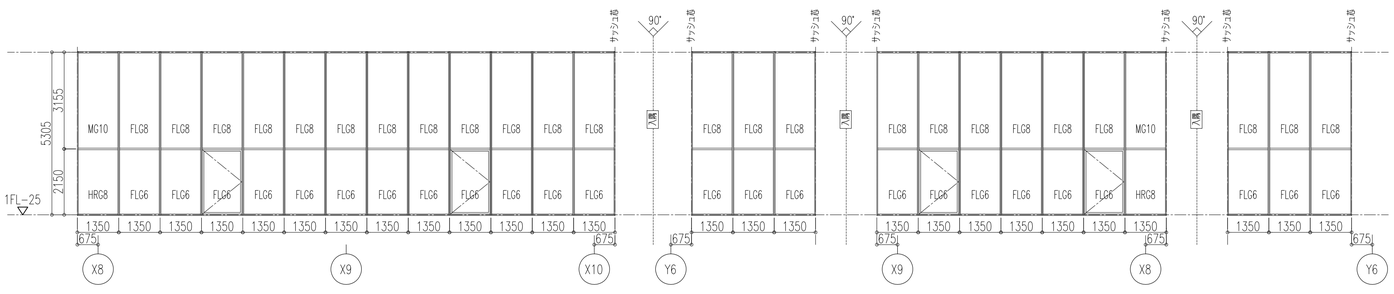
AW 101C



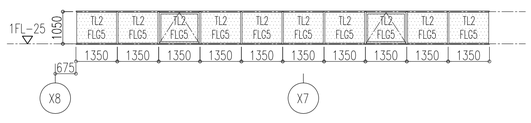
AW 102A



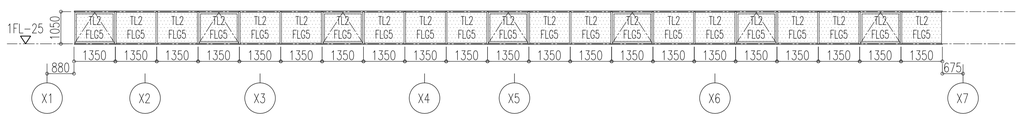
AW 102B



AW 103A



AW 103B



AW 104



※見付25、見込100の木額縁があるものとする（木工事）

AW 105



※見付25、見込100の木額縁があるものとする（木工事）

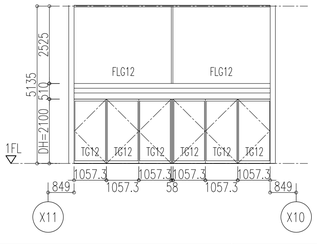
AW 106



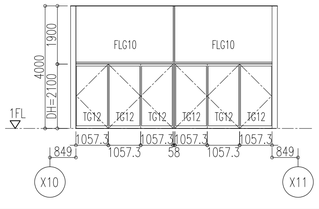
SW/101との空気層D=150

※見付25、見込100の木額縁があるものとする（木工事）

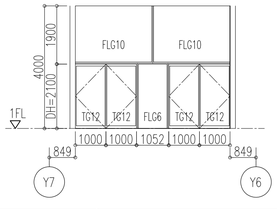
SWD A1



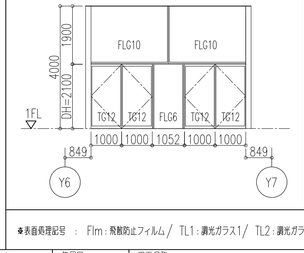
SWD A2



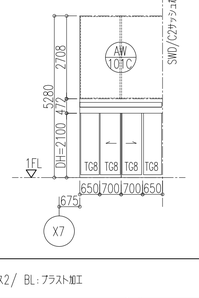
SWD B1



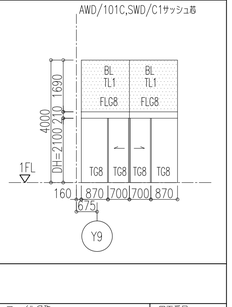
SWD B2



SWD C1



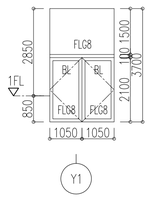
SWD C2



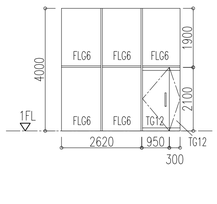
※表面処理記号 ： Flm：飛散防止フィルム/ TL1：調光ガラス1/ TL2：調光ガラス2/ BL：ブラスト加工

工事名称			年月日	図面名称		縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所　一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦		2005年 5月	建具姿図1		1:100	A94Delev01	A−94

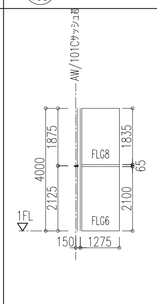
SW 103



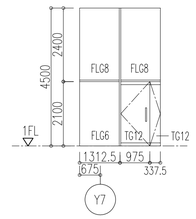
SW 104



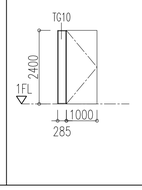
SW 105



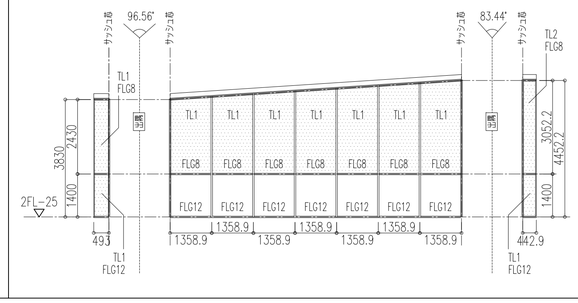
SW 106



LD 102



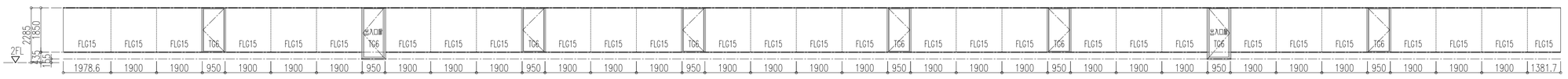
AW 202C



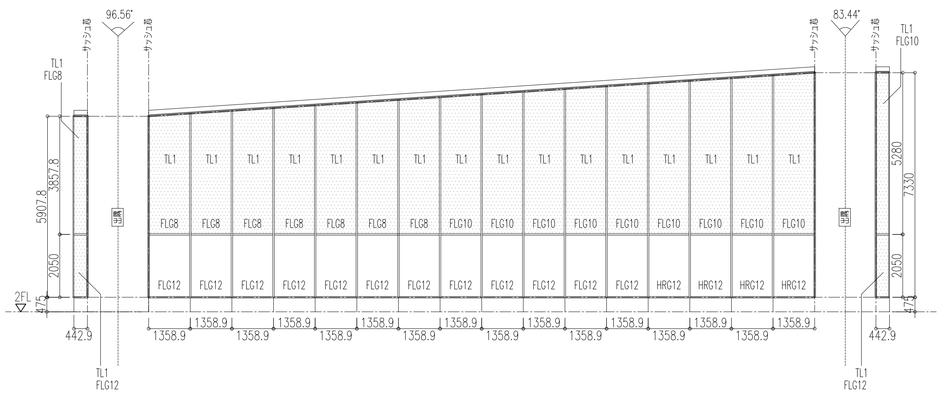
AP 01

AW 202B

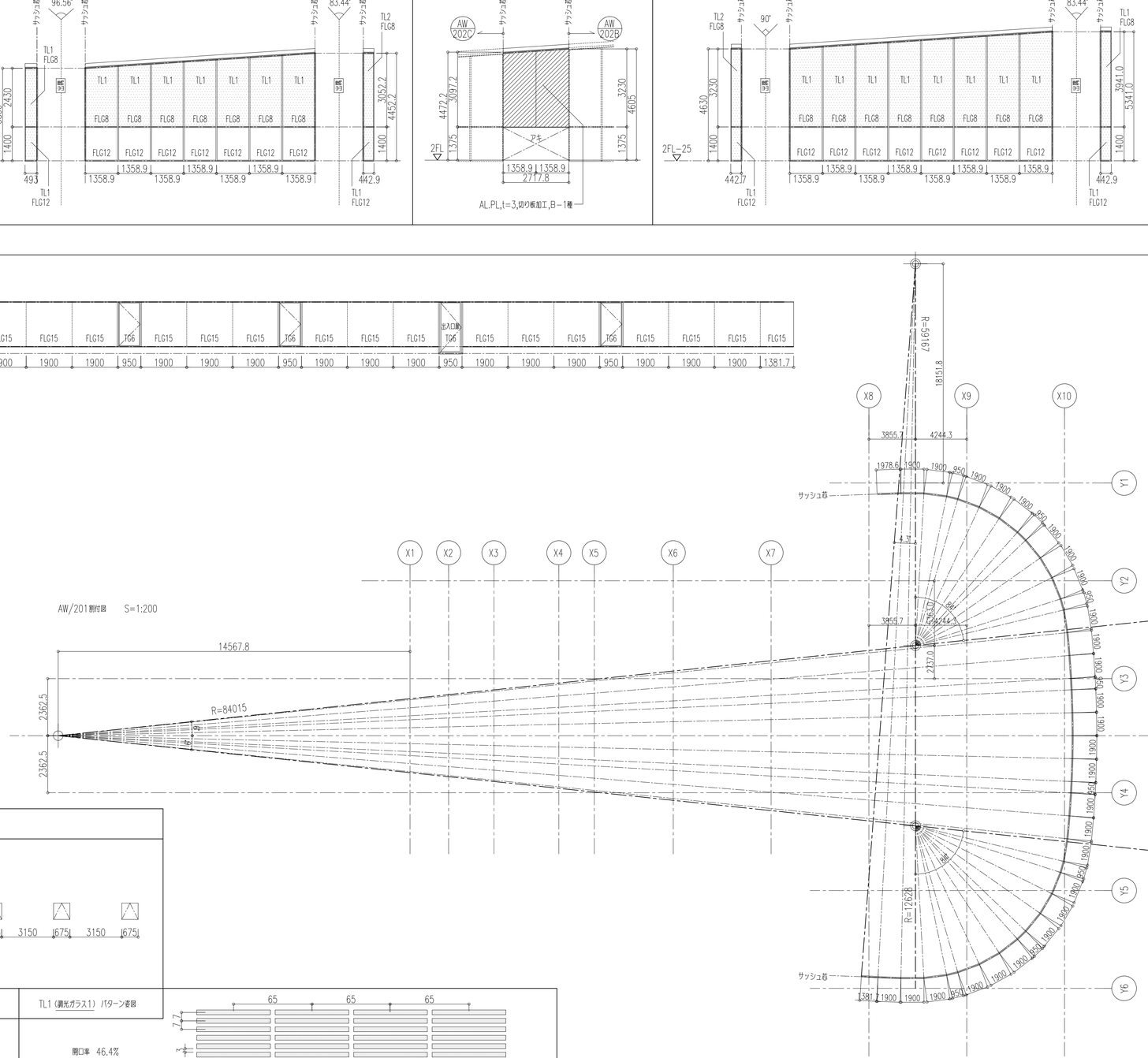
AW 201



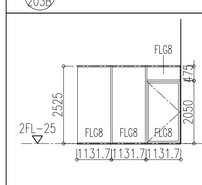
AW 202A



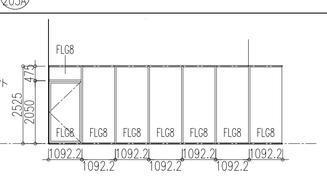
AW/201 割付図　S=1:200



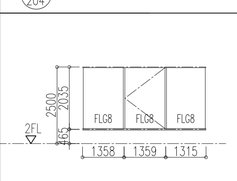
AW 203B



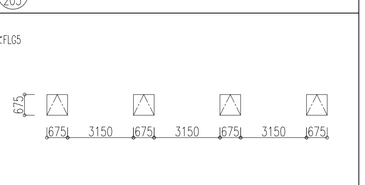
AW 203A



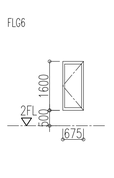
AW 204



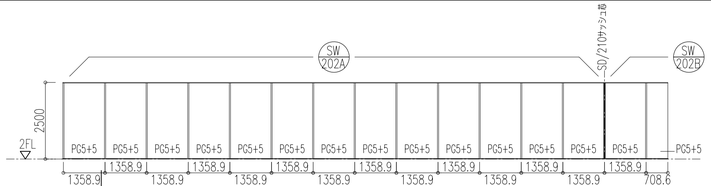
AW 205



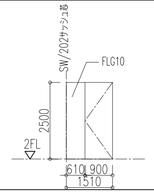
AW 206



SW 202A　SW 202B



SD 210



TL1（調光ガラス1）パターン姿図

開口率　46.4%
4mm×61mm
@7　@65

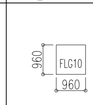


AW 207

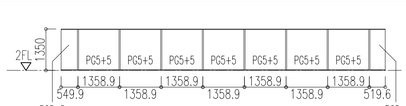


※見付25、見込100の木額縁があるものとする（木工事）

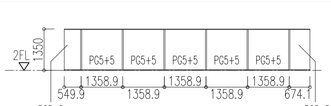
SW 201



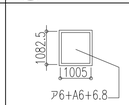
SW 203



SW 204

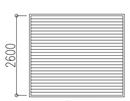


ATP R01

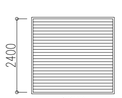


「ア6」＝乳白アクリル板t＝6を示す

AG B01



AG 201



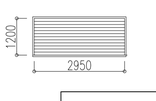
AG 202



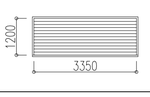
AG 203



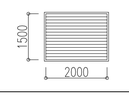
AG R01A　AG R02A



AG R01B　AG R02B



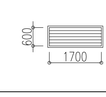
AG R03



AG R04

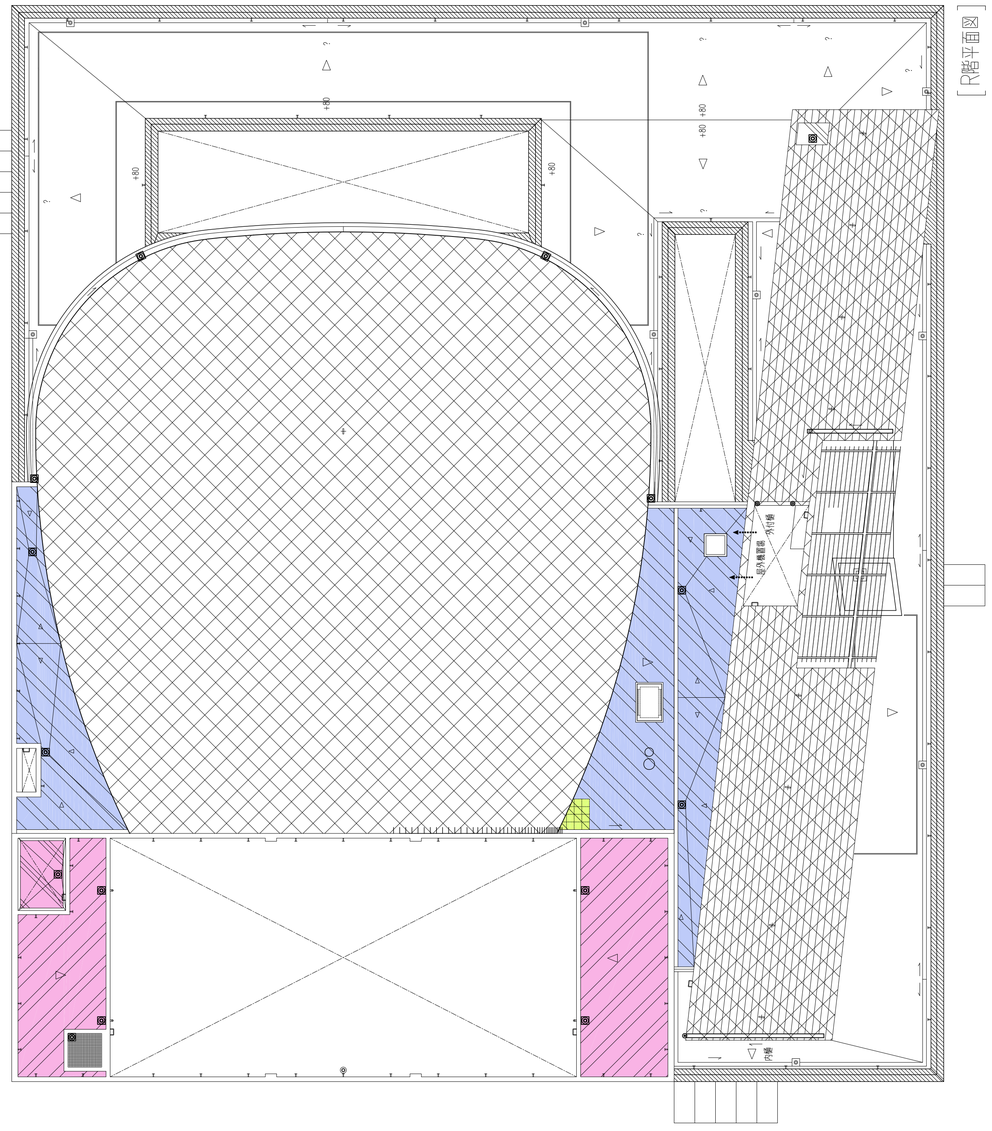


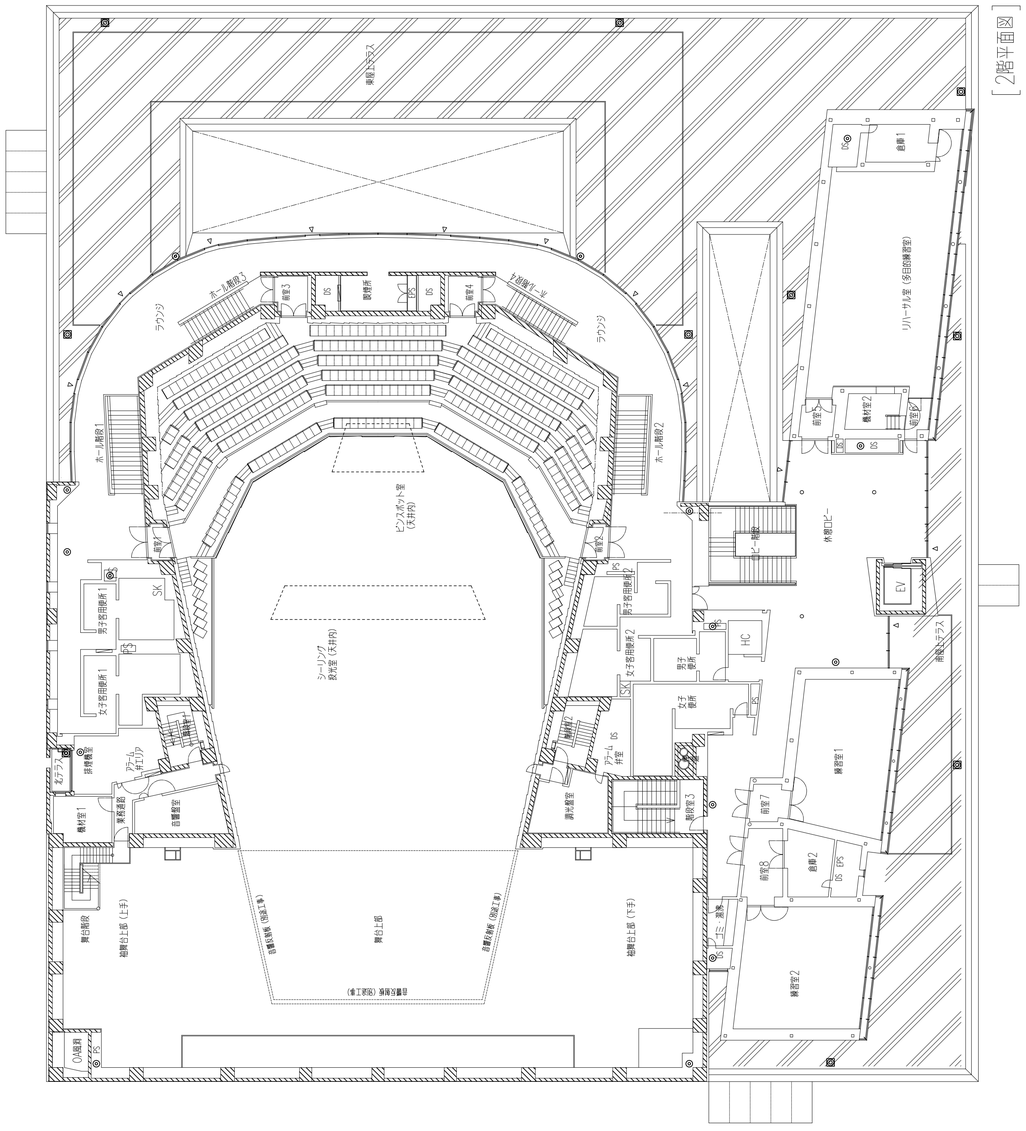
AG R05



※表面処理記号　：　Flm：飛散防止フィルム／ TL1：調光ガラス1／ TL2：調光ガラス2／ BL：ブラスト加工

工事名称	三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録　第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦	年月日	2005年 5月	図面名称	建具姿図2	縮尺	1:100	ファイル名称	A95Delev02	図面番号	A−95




東側テラス
ホール前室2
ホール前室1
ラウンジ
ラウンジ
楽屋3
楽屋4
調整席
DS
上部演出スペース
ピンスポット室
(天井内)
ホール前室2
楽屋2
楽屋1
リハーサル室 (多目的練習室)
倉庫1
倉庫2
機材室2
管理室2
EV
外部DE~
ホール前室1
SK
男子舞台用便所1
女子舞台用便所1
PS
ステージ
ピアノ庫
女子舞台用便所2
男子舞台用便所2
HC
男子便所
女子便所
アトリエ
練習室
練習室7
練習室8
練習室3
練習室1
練習室2
南東テラス
ホール
ロビー
ホワイエ
ロビー
ホワイエ
ロビー
ホワイエ

外構

図面番号	図面名称	縮尺
L-00	中表紙【外構】	-
L-10	舗装計画平面図	1/300
L-25	駐車場平面詳細図	1/100
L-32	舗装詳細図 2	1/10,1/5

凡例

記号	名称	形状、仕様など	数量
	擬石ブロック舗装−1	600×600×60　のみ切りPC平板　研磨仕上げ　特注色−1　SUSドット	244.1(m2)
	擬石ブロック舗装−2	300×300×80　のみ切りPC平板　研磨仕上げ　特注色−1	31.7(m2)
	擬石ブロック舗装−3	300×300×80　のみ切りPC平板　研磨仕上げ　特注色−2	262.5(m2)
	インターロッキング舗装−1	100×100×60　インターロッキング　特注色	770.35(m2)
	インターロッキング舗装−2	100×100×60　インターロッキング　指定色	−
	小舗石舗装−1	90×90×90　中国産花崗岩グレー　バーナー仕上げ	47.0(m2)
	小舗石舗装−2	90×90×90　中国産花崗岩グレー　バーナー仕上げ	69.6(m2)
	アスファルト舗装−1	開粒度アスファルト　自家用車程度対応	1895.9(m2)
	アスファルト舗装−2	開粒度アスファルト　大型車対応	1883.0(m2)
	飛び石舗装	コンクリート平板　600×300×60	−
図示	コンクリート洗出し舗装	コンクリート　天然石砕石洗い出し	−
	コンクリートブロック舗装	コンクリートブロック100×100×600	−
図示	ベンチ足下舗装	コンクリート　天然石砕石洗い出し	−
図示	砕石犬走り	花崗岩砕石　φ100〜150	156.5(m)

インターロッキング舗装−1
擬石ブロック舗装−3
インターロッキング舗装−1
アスファルト舗装−2
インターロッキング舗装−1
アスファルト舗装−2
アスファルト舗装−1
砕石犬走り(74.5m)
砕石犬走り(74.5m)
砕石犬走り(7.5m)
アスファルト舗装−1
小舗石舗装−1
擬石ブロック舗装−1
擬石ブロック舗装−3
擬石ブロック舗装−2
アスファルト舗装−2
インターロッキング舗装−1
小舗石舗装−2
アスファルト舗装−1
アスファルト舗装−2
擬石ブロック舗装−1

LX7 LX6 LX5 LX4 LX3 LX2 LX1 LX0
LY0 LY1 LY2 LY3 LY4 LY5 LY6 LY7 LY8 LY9 LY10
20000

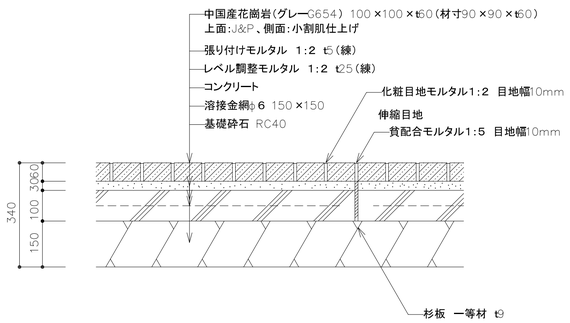
| | | |

4500
26400(駐車場−2)
2000
26400(駐車場−1)
3500
2400
900
4700
2440
11000
2480
5000
6000
15700
1%
2%
0.9%
高木−2/ケヤキ
散水栓(給排水衛生設備工事)
ボール灯−1
屋外コンセント付
(電気設備工事)
ボール灯−1
(電気設備工事)
TC+1.170
BC+1.070
(TC+1.100)
(BC+1.100)
TC+1.123
BC+1.023
TC+1.161
BC+1.061
小舗石舗装−2
アスファルト舗装−1
TC+1.063
BC+0.963
(TC+1.150)
(BC+1.150)
駐車場割付基準線(PX軸)
駐車場割付基準線(PY軸)
+0.920
+0.905
TC+1.013
BC+0.913
ツリーサークル−2
TC+1.017
BC+0.917
TC+0.963
BC+0.863
TC+0.903
BC+0.803
TC+0.932
BC+0.832
TC+0.856
BC+0.756
(TC+1.200)
(BC+1.200)
(TC+1.000)
(BC+1.000)
側溝−B
歩車境界縁石−1
1.04
1.25
1.15
1.02
B51−9 0.97
H=0.835

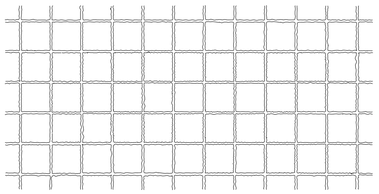
工事名称				年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（建築主体工事）	株式会社　槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦		2005年 5月	駐車場平面詳細図	1:100	L25parkingshousai	L−25

1 小舗石舗装−1　S=1:10

断面図



平面図

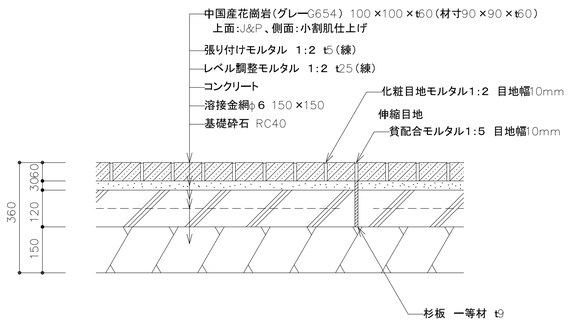


目地はイモ目地とする。

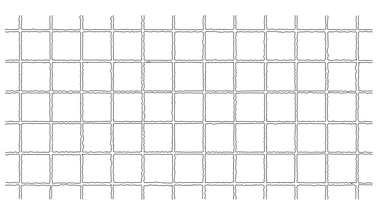
1)石種、表面仕上げ等についてサンプルを提出のうえ現場監督員の承認を得ること
※2)コンクリート路盤と表層の伸縮目地位置を一致させること
※3) 目地はイモ目地とする。

2 小舗石舗装−2　S=1:10

断面図



平面図

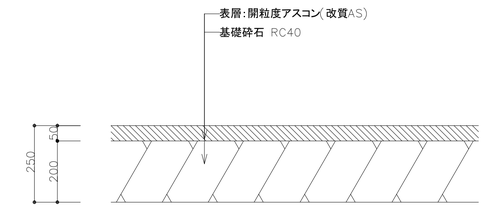


目地はイモ目地とする。

1)石種、表面仕上げ等についてサンプルを提出のうえ現場監督員の承認を得ること
※2)コンクリート路盤と表層の伸縮目地位置を一致させること
※3)目地はイモ目地とする

3 アスファルト舗装−1(駐車場対応)　S=1:10

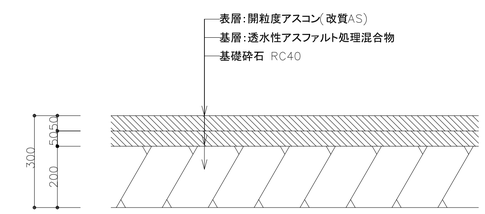
断面図



2×2m程度の試験施工を行い現場監督員の承認を得ること

4 アスファルト舗装−2(大型車対応)　S=1:10

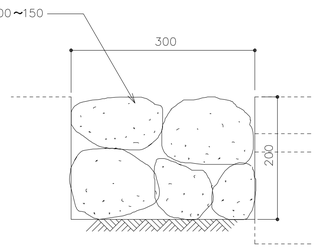
断面図



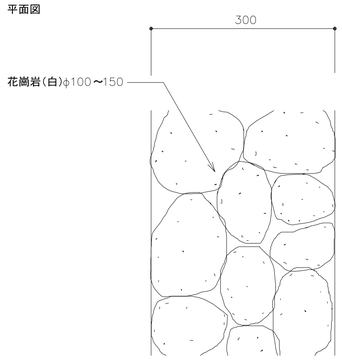
2×2m程度の試験施工を行い現場監督員の承認を得ること

4 砕石犬走り　S=1:5

断面図



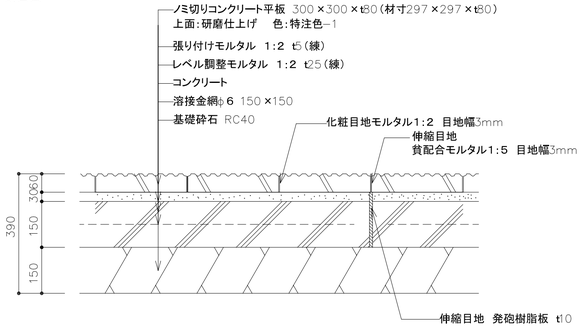
平面図



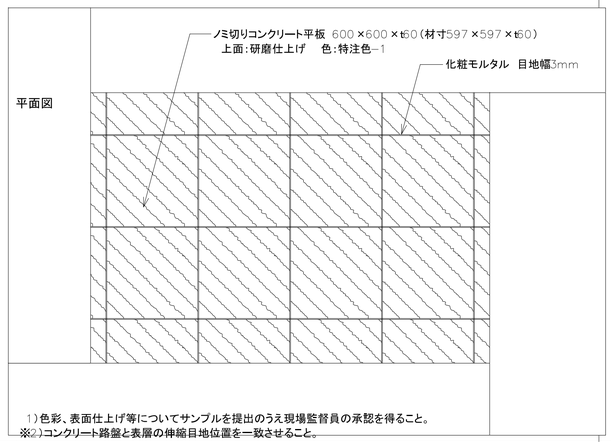
サンプルを提出のうえ現場監督員の承認を得ること。

5 擬石ブロック舗装−2　S=1:10

断面図



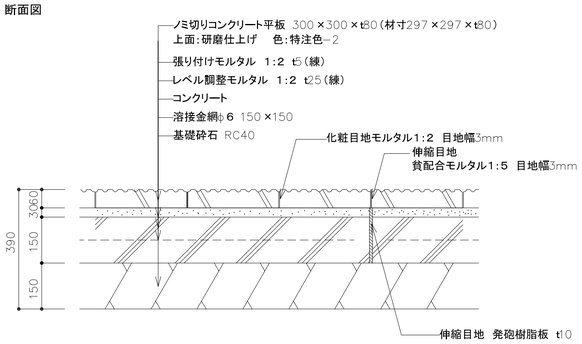
平面図



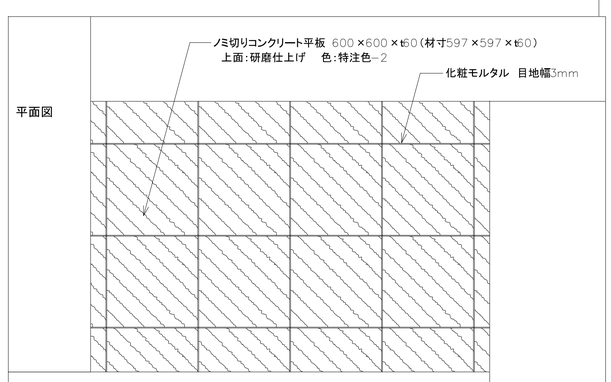
1)色彩、表面仕上げ等についてサンプルを提出のうえ現場監督員の承認を得ること。
※2)コンクリート路盤と表層の伸縮目地位置を一致させること。

6 擬石ブロック舗装−3　S=1:10

断面図



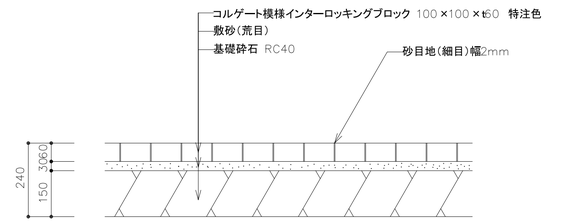
平面図



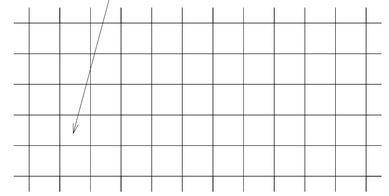
1)色彩、表面仕上げ等についてサンプルを提出のうえ現場監督員の承認を得ること。
※2)コンクリート路盤と表層の伸縮目地位置を一致させること。

7 インターロッキング舗装−1　S=1:10

断面図



平面図

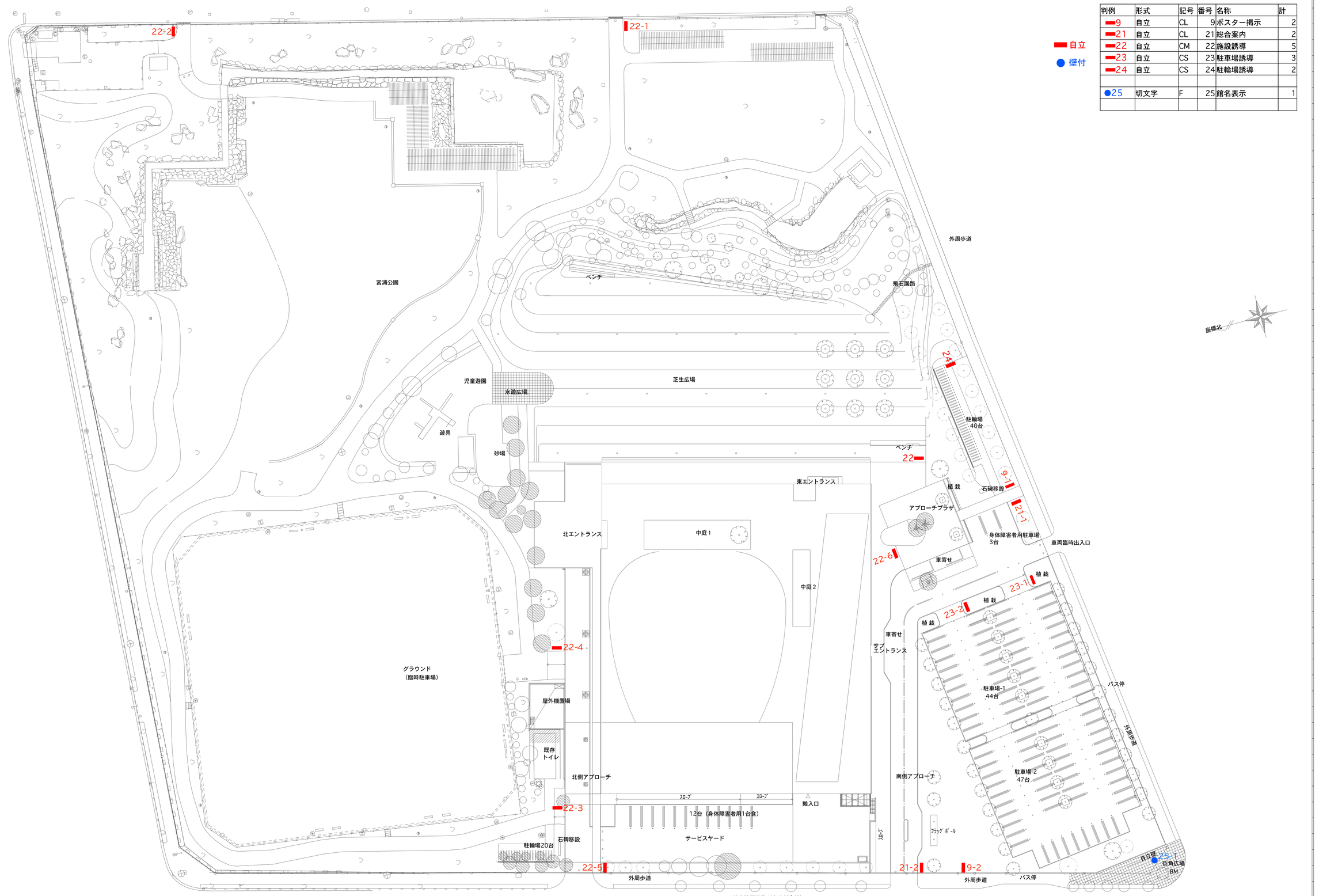


1)色彩、表面仕上げ等についてサンプルを提出のうえ現場監督員の承認を得ること
※2)目地はイモ目地とする

工事名称	株式会社	年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設(仮称)建設工事 (建築主体工事)	槇総合計画事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号 槇 文彦	2005年 5月	舗装詳細図2	1:10 1:5	L32hosou_detail02	L−32

サイン

図面番号	図面名称	縮尺
SN-00	中表紙【サイン】	-
SN-12	P-L1 サインプロット図	1/800
SN-13	CL-9_1 南駐輪場西出入口（東側）	1/10
SN-14	CL-9_2 公園南西出入口	1/10
SN-15	CL-21_1 西駐輪場西出入口（西側）	1/10
SN-16	CL-21_2 公園南西出入口（北側）	1/10
SN-17	CM-22_1（南側）,22_2（北側）公園東出入口	1/10
SN-18	CM-22_3 北駐輪場出入口	1/10
SN-19	CM-22_4 グラウンド出入口	1/10
SN-20	CM-22_5 公園北西出入口	1/10
SN-21	CM-22_6 アプローチプラザ（北側）	1/10
SN-22	CM-22_7 アプローチプラザ（東側）	1/10
SN-23	CS-23_1(南側),23__2（北側）駐車場出入口	1/10
SN-24	CS-24_1 南駐輪場東出入口	1/10
SN-30	F-25_1 街角広場	1/10
SN-41	外構平面図グラフィック	-



■ 自立
● 壁付

判例	形式	記号	番号	名称	計
■9	自立	CL	9	ポスター掲示	2
■21	自立	CL	21	総合案内	2
■22	自立	CM	22	施設誘導	5
■23	自立	CS	23	駐車場誘導	3
■24	自立	CS	24	駐輪場誘導	2
●25	切文字	F	25	館名表示	1

※グラフィックのレイアウト、色は別添グラフィック施工図による
※各種略号は次に示す
PVDF:フッ素樹脂焼付塗装　PHL:パーマネントヘアライン仕上　CS:カッティングシート
A-BE:アクリル樹脂焼付塗装　BB:ビーズブラスト仕上　GWS:特殊透過濃灰色シート

受領	受領
設計監理 株式会社 横総合計画事務所 殿	施工監理 熊谷組・セイム・山陽建設共同企業体 殿
日付	日付

Notes　20060831 竣工図訂正

Introductory notes

The description in this parenthesis ( ) shows a size or standard of the object and in this parenthesis [ ] shows the kind of paint or surface finish.

ST	=Steel SS400-JIS, STK400-JIS	TG	=Tempered clear glass	H	=Wide flange shapes	FRE	=Fluoropolymer baking finished	SPP	=Silk screen processed printing
AL	=Aluminum A6N01S-T5 -JIS	FG	=Float clear glass	L	=Angle shapes	PVDF	=Polyvinylidene fluoride painting	CS	=Cutting sheet putting up
SUS	=Stainless steel SUS304	PG	=Profilit glass channel shaped	C	=Channel shapes	G Z	=Galvanizing		
H.T.B	=High tensile strength bolt F-10T-JIS			FB	=Flat bar	SBF	=Sand blasting finish	FL	=Fluorescent lamp
A.B	=Anchor bolt connection			PL	=plate	HL	=Hairlined finish	LED	=Light emitting diode
D.N	=Using double nuts connection	C.R	=Chloroprene rubber	DB	=Deformed bar SD295A-JIS	AAP	=Anodized aluminum processing	NB	=Neon bulb lightning

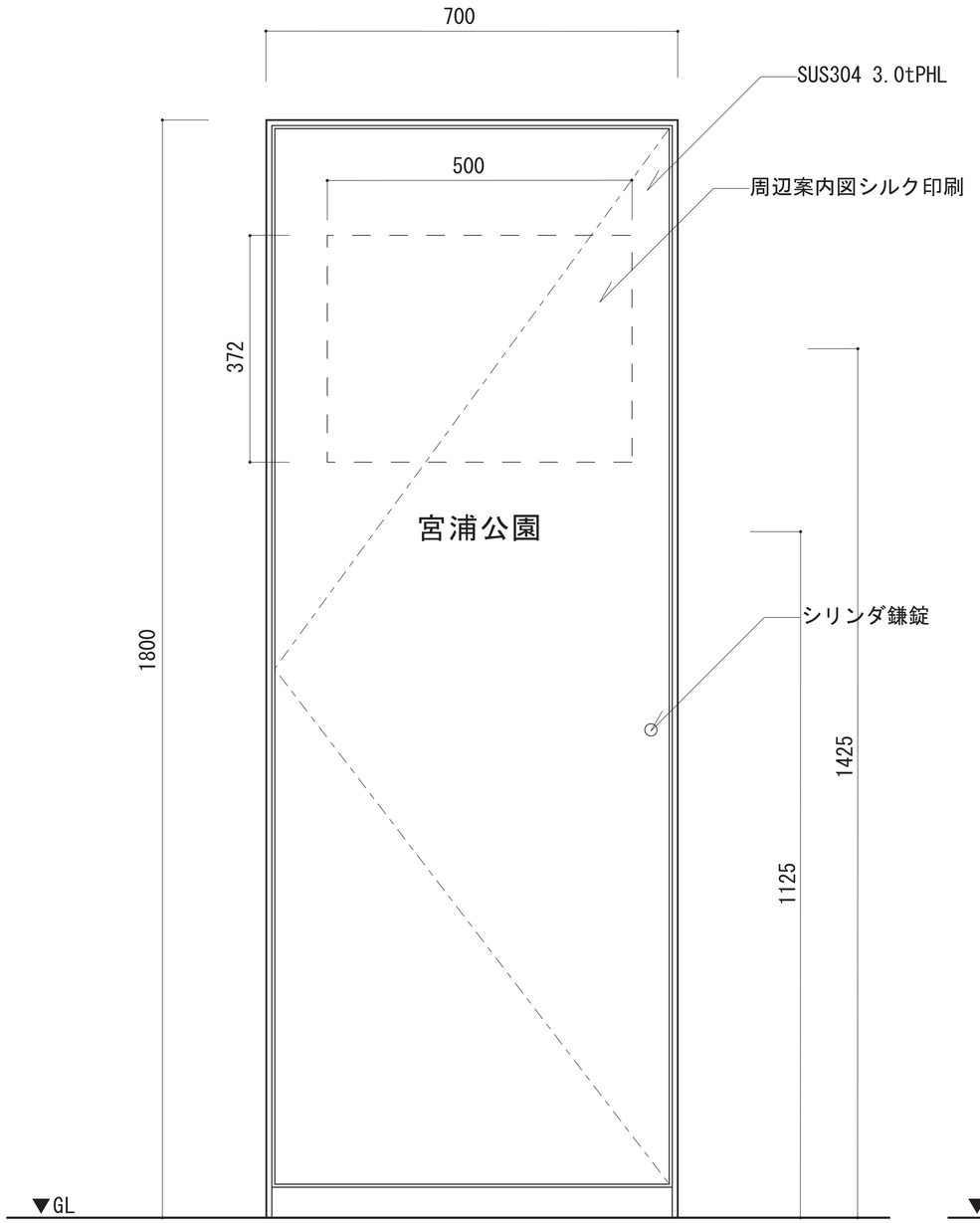
SORITSU

株式会社ソーリツ
東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス5F
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

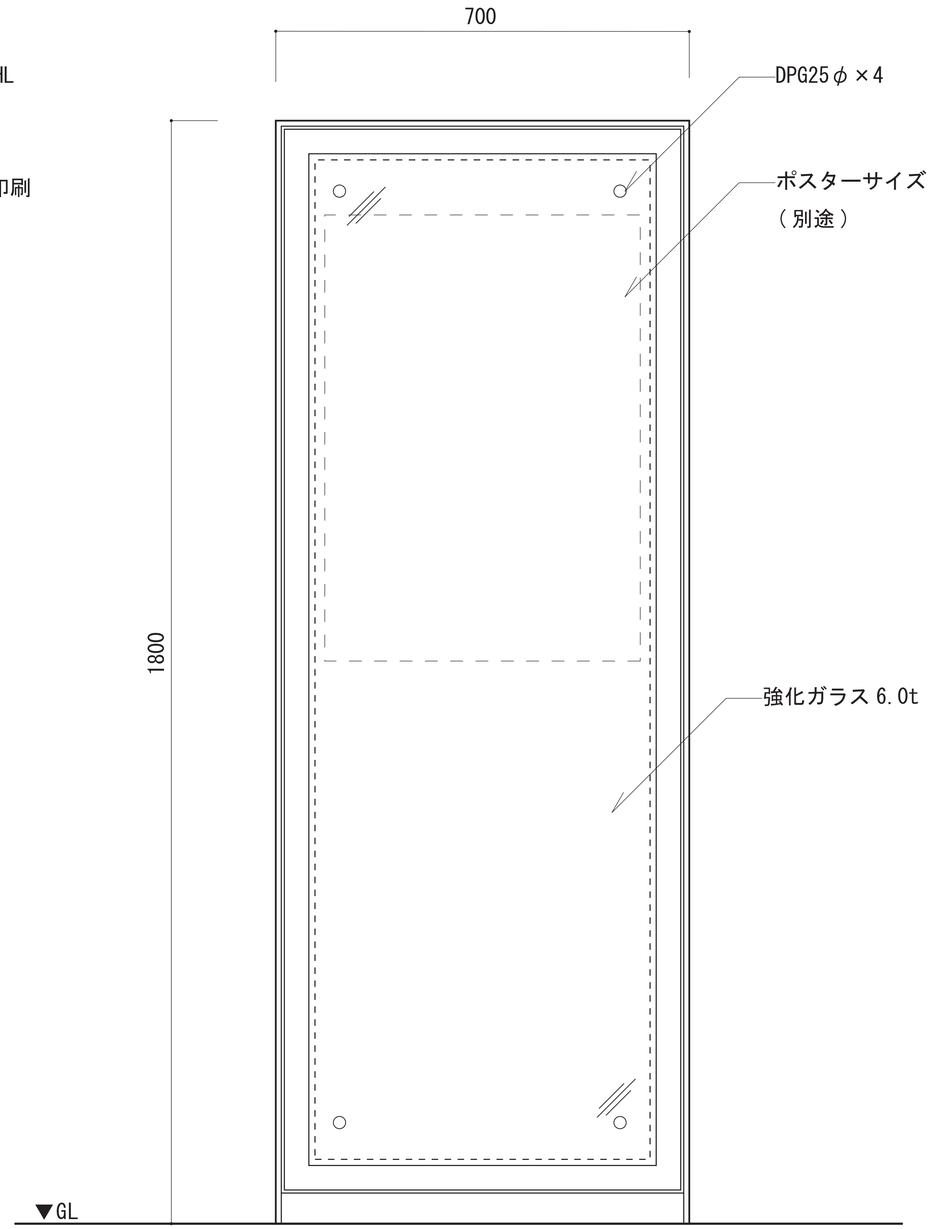
Title
三原市新文化施設（仮称）建設工事

Subjects
P-L1サインプロット図

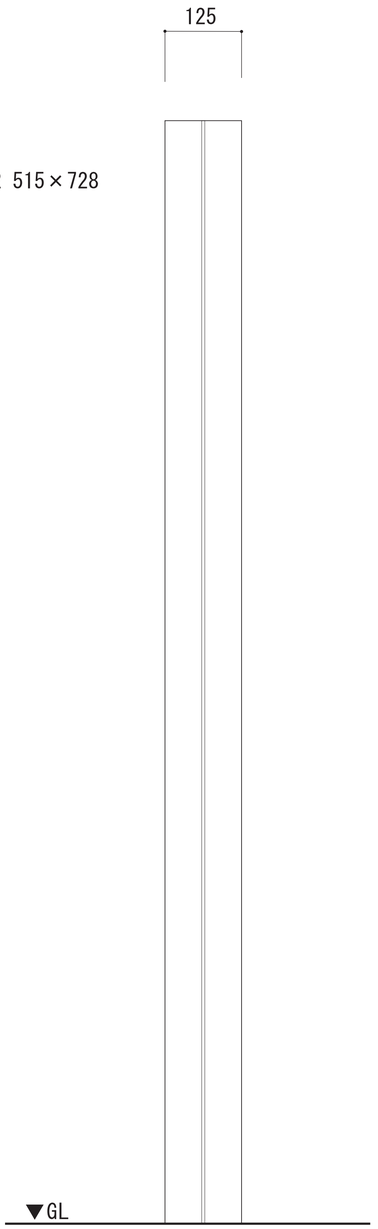
Scale	Project
1:800	MNC 001
Date	No.
20070713	SN-12
Drawn	Checked
YOS	YOS



西面



東面



Scale1/10

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

Notes

株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title: 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体

Subjects: CL-9_1南駐輪場西出入口（東側）

Scale:

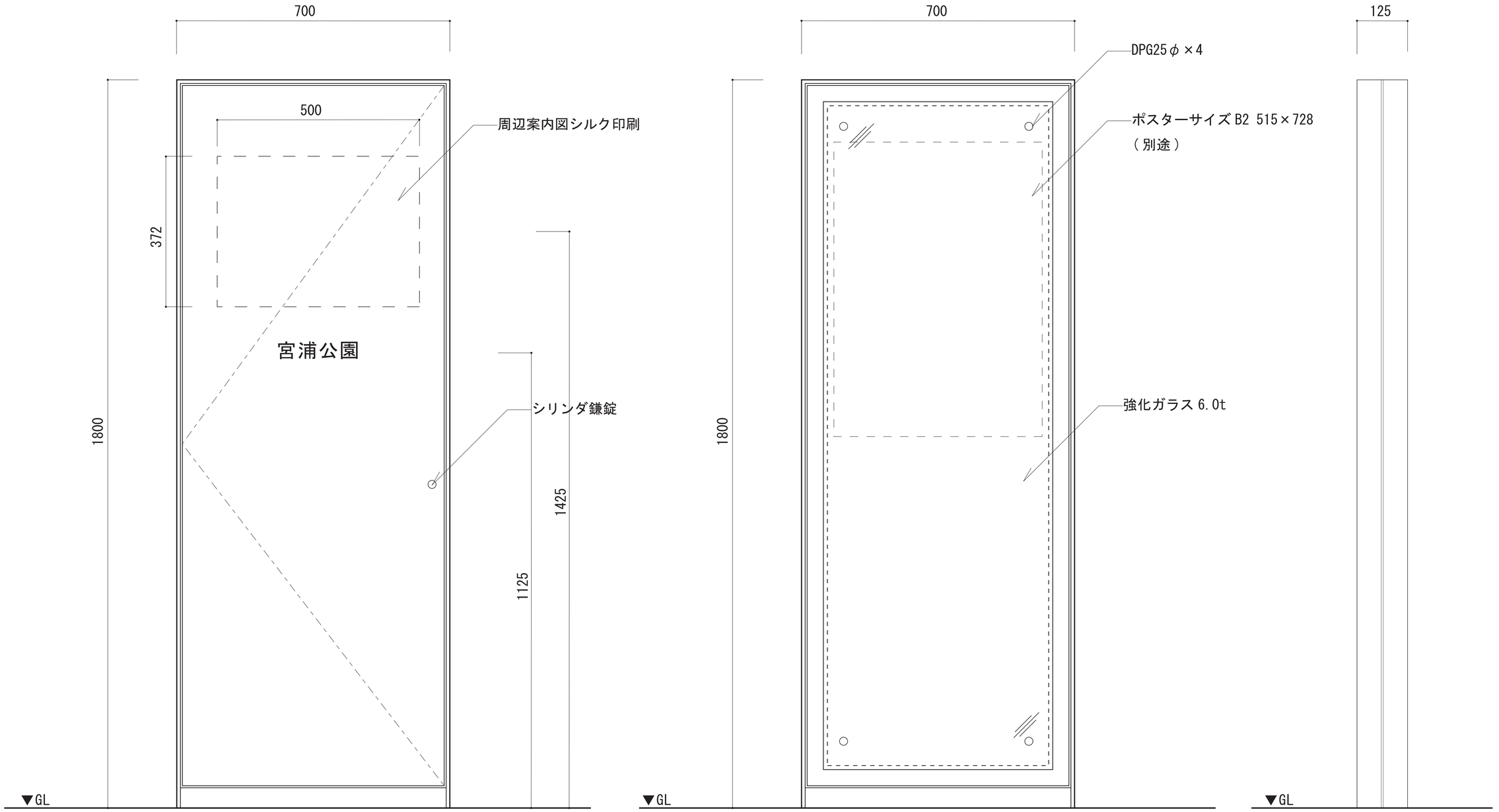
Project:

Date: 20070831

No.: SN-13

Drawn: shimo

Checked: shimo



Scale1/10

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

Notes

株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title: 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体

Subjects: CL-9_2公園南西出入口

Scale:

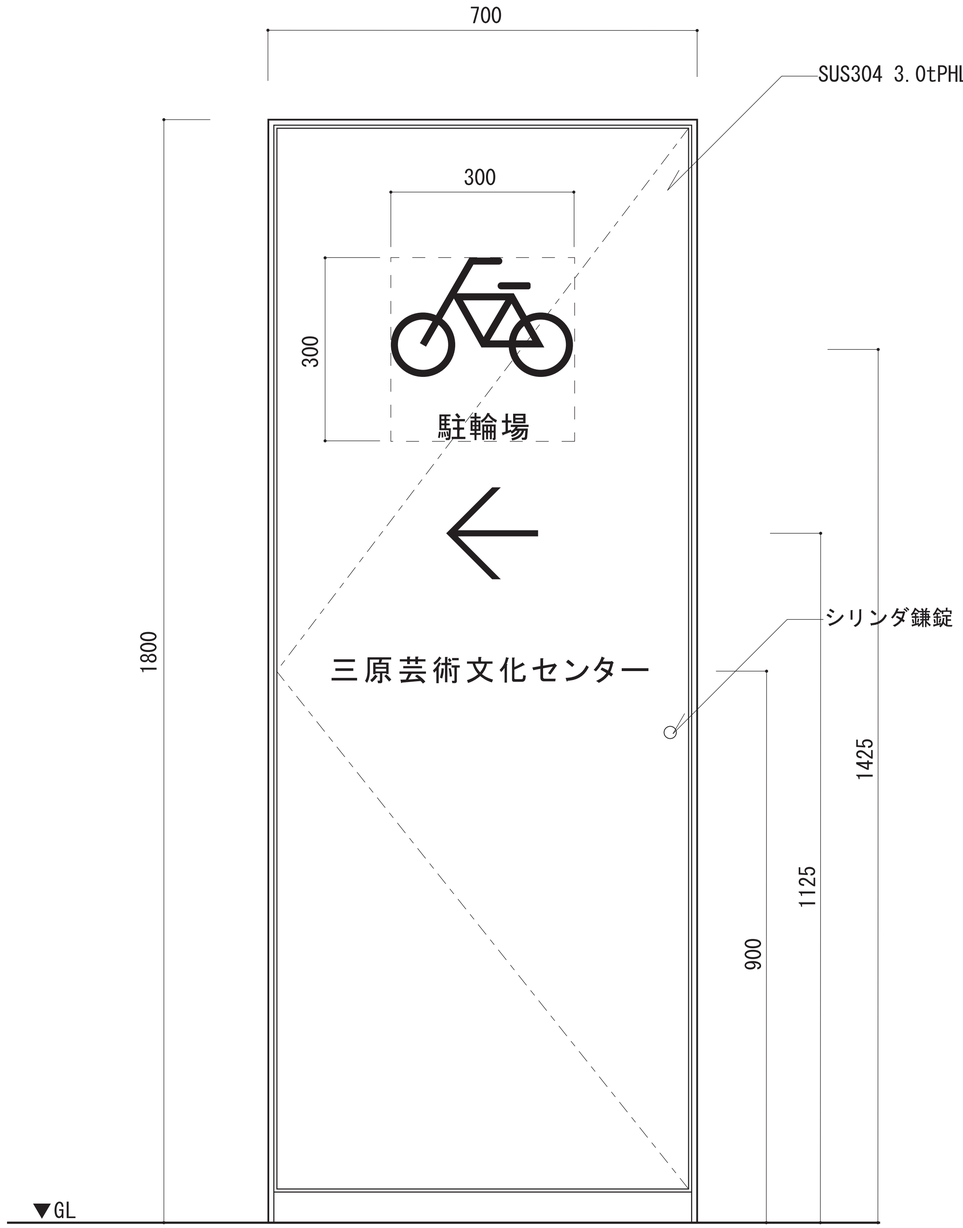
Project:

Date: 20070831

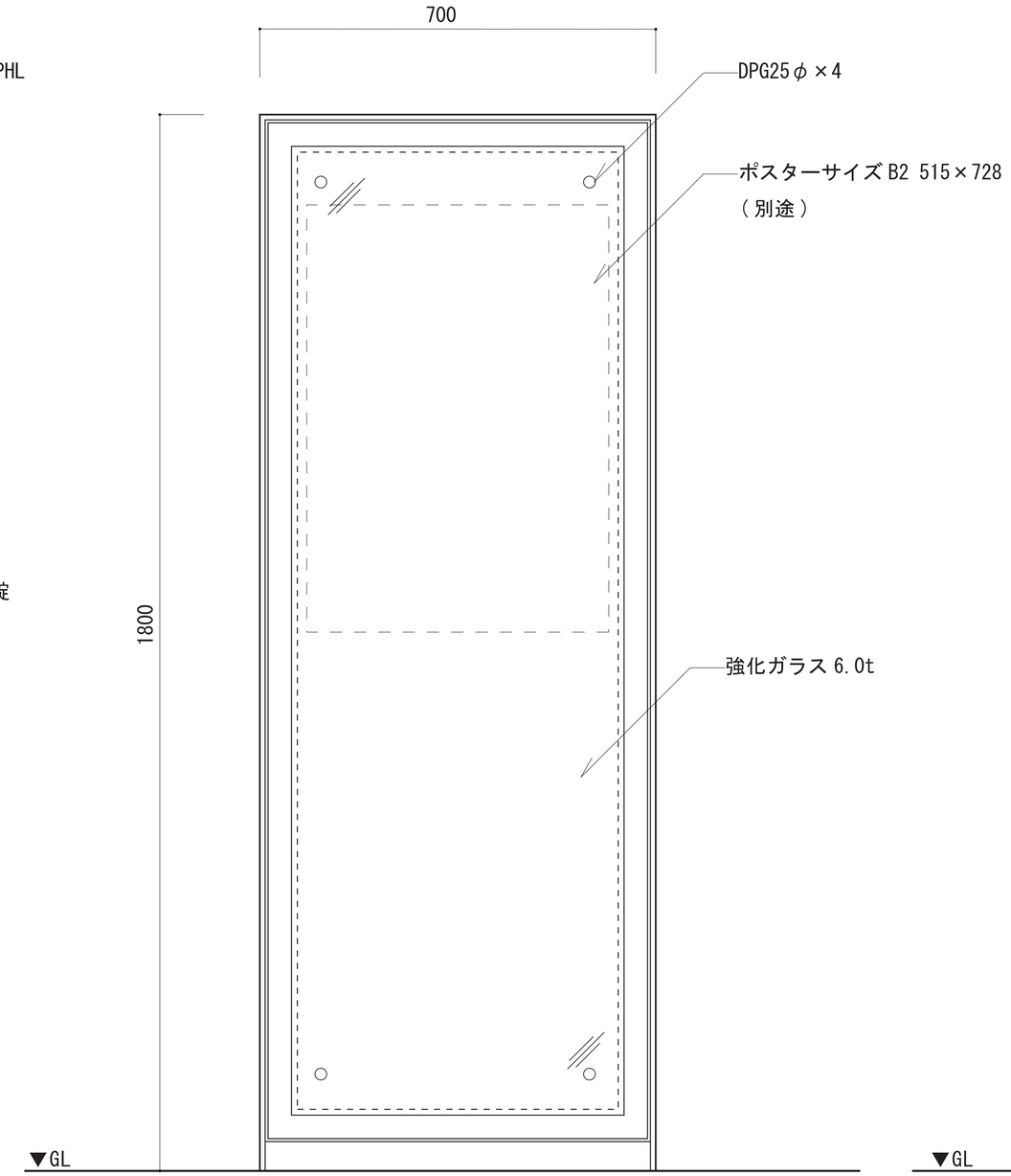
No.: SN-14

Drawn: shimo

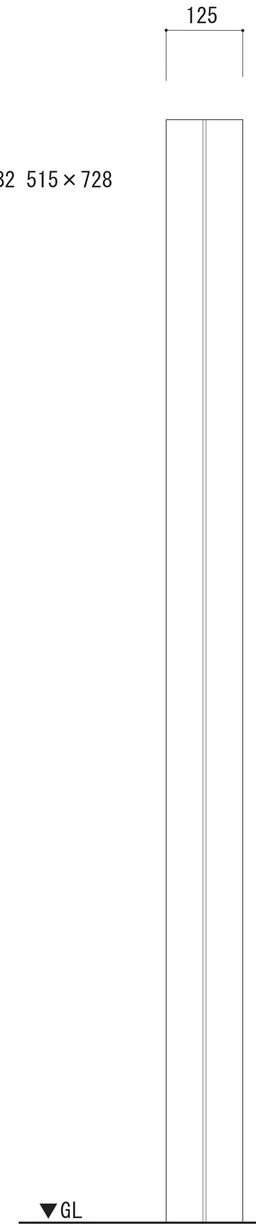
Checked: shimo



西面



東面



Scale1/10

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

Notes

株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title: 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体

Subjects: CL-21_1西駐輪場西出入口（西側）

Scale

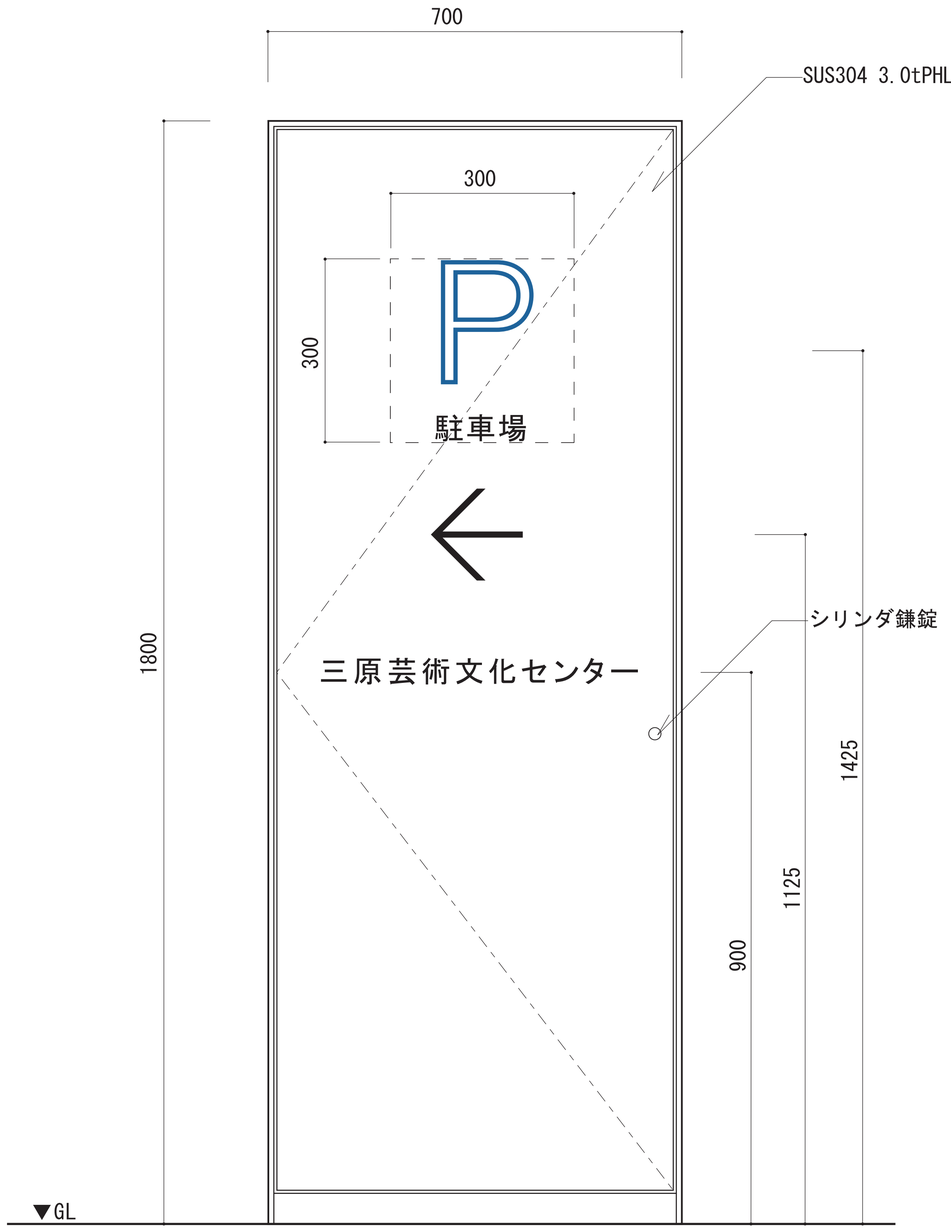
Date: 20070831

Drawn: shimo

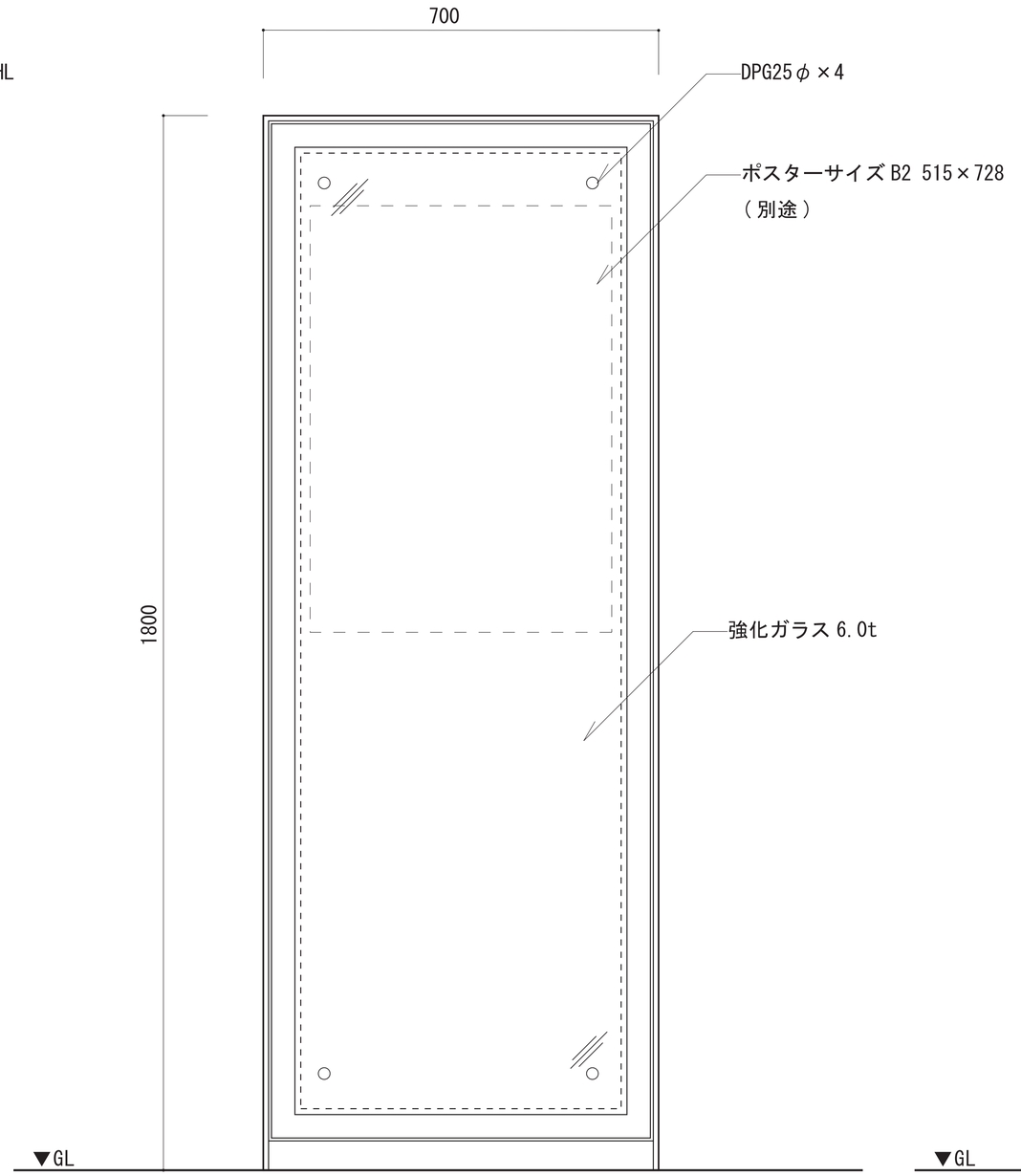
Project

No.: SN-15

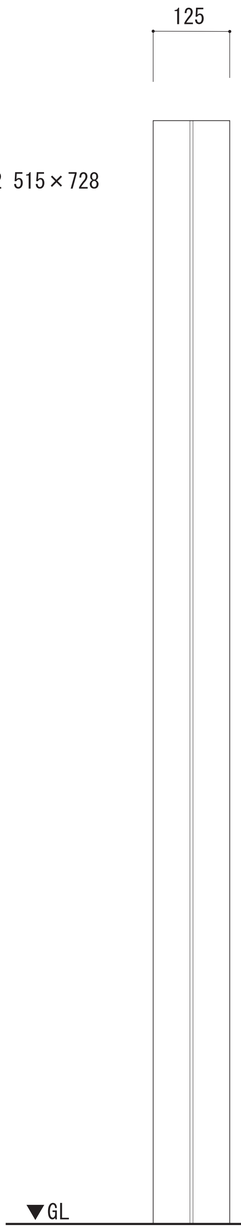
Checked: shimo



北側



南面



Scale1/10

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

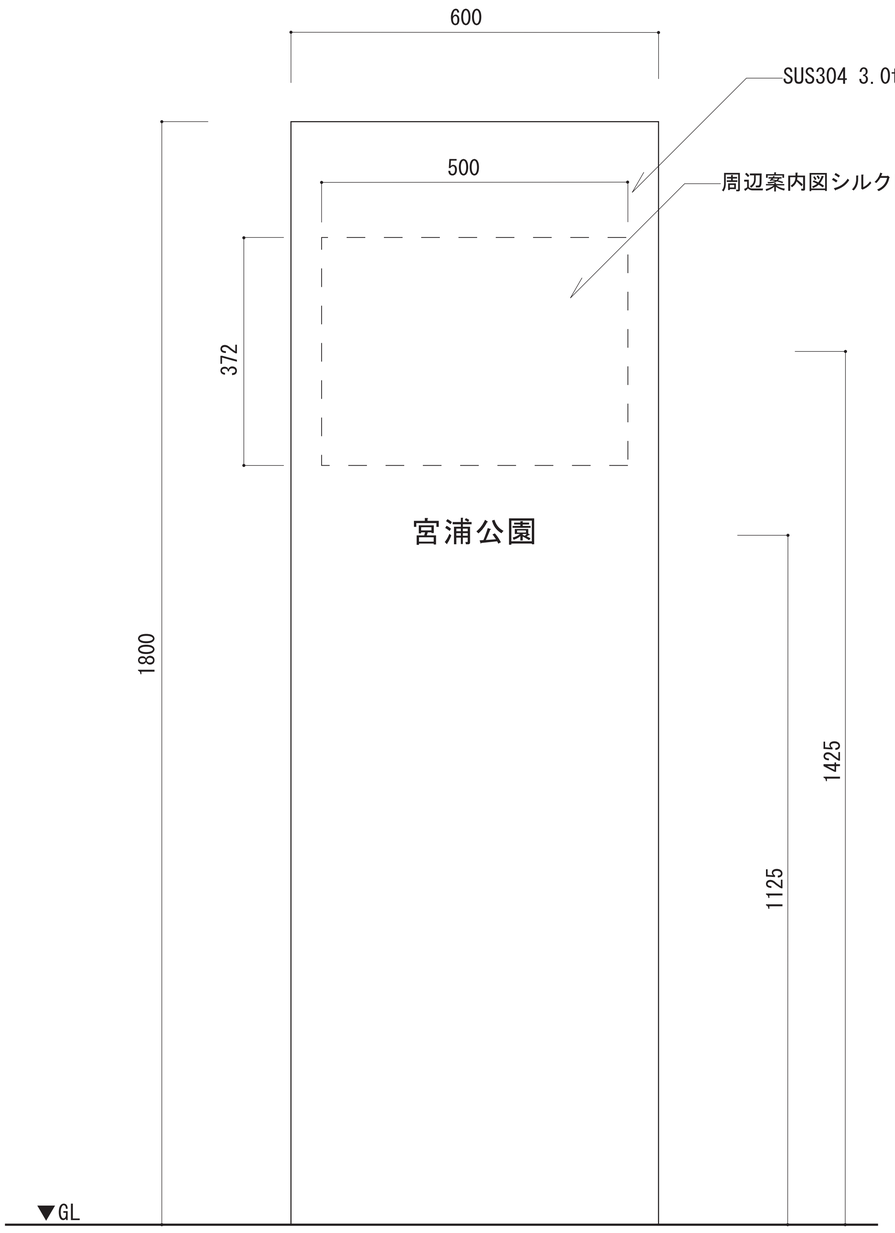
Notes

株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

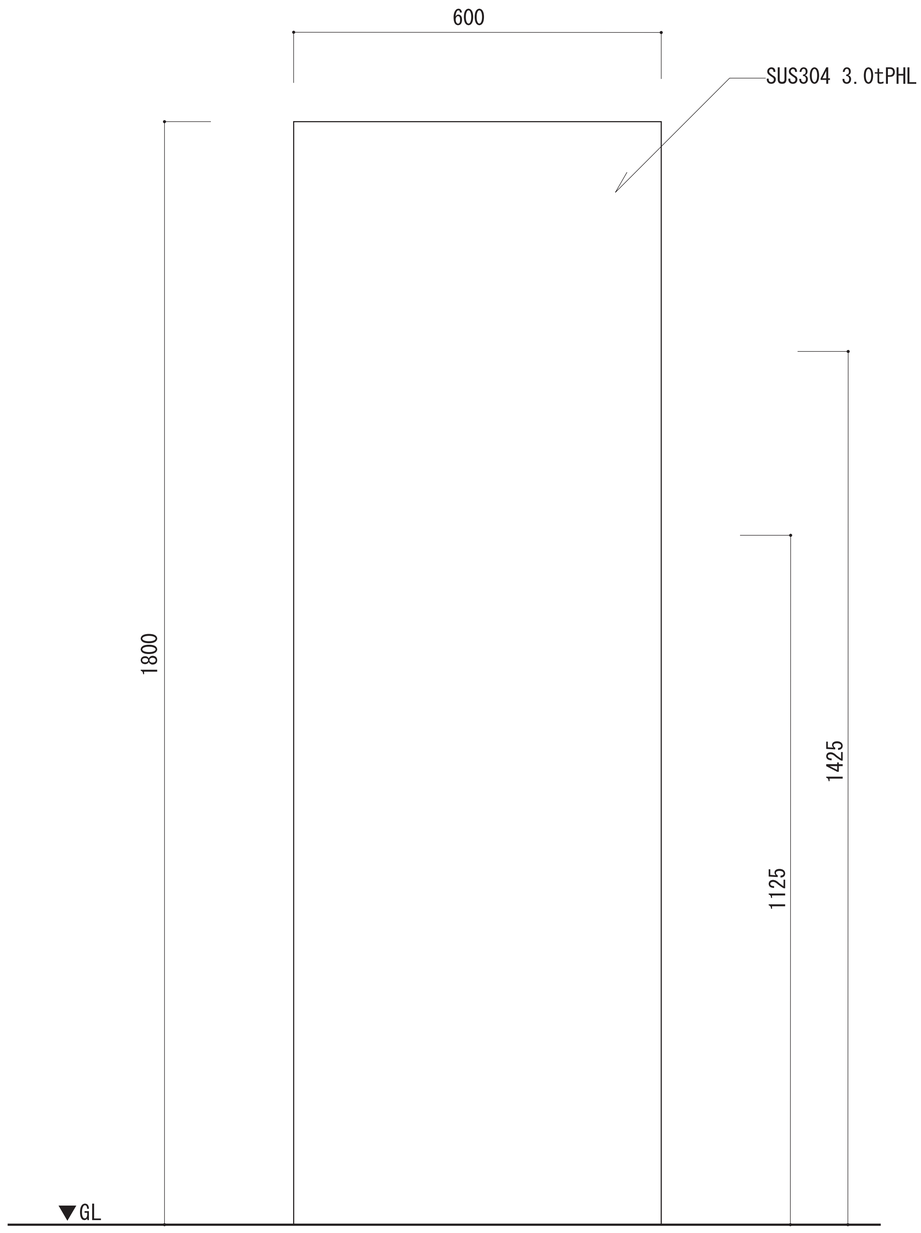
Title: 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体

Subjects: CL-21__2公園南西出入口（北側）

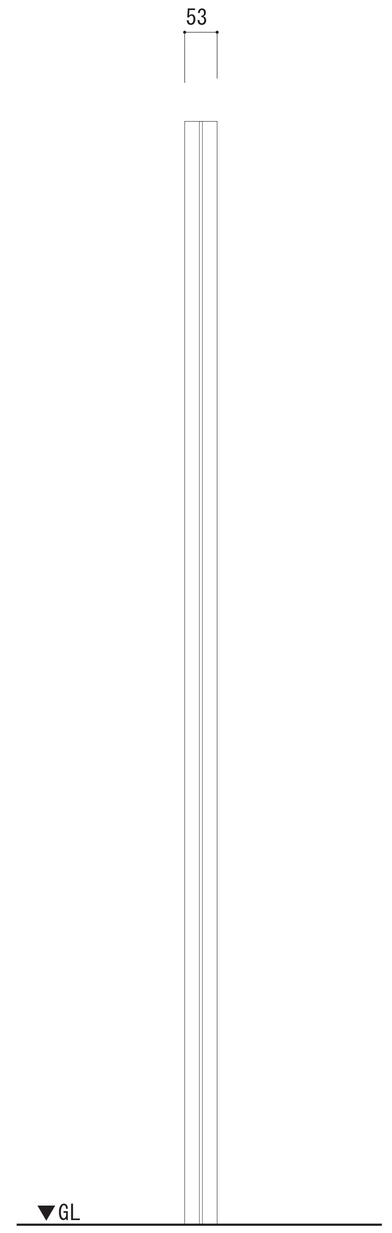
Scale	Project
Date 20070831	No. SN-16
Drawn shimo	Checked shimo



22__1 北面
22__2 南面



22__1 南面
22__2 北面



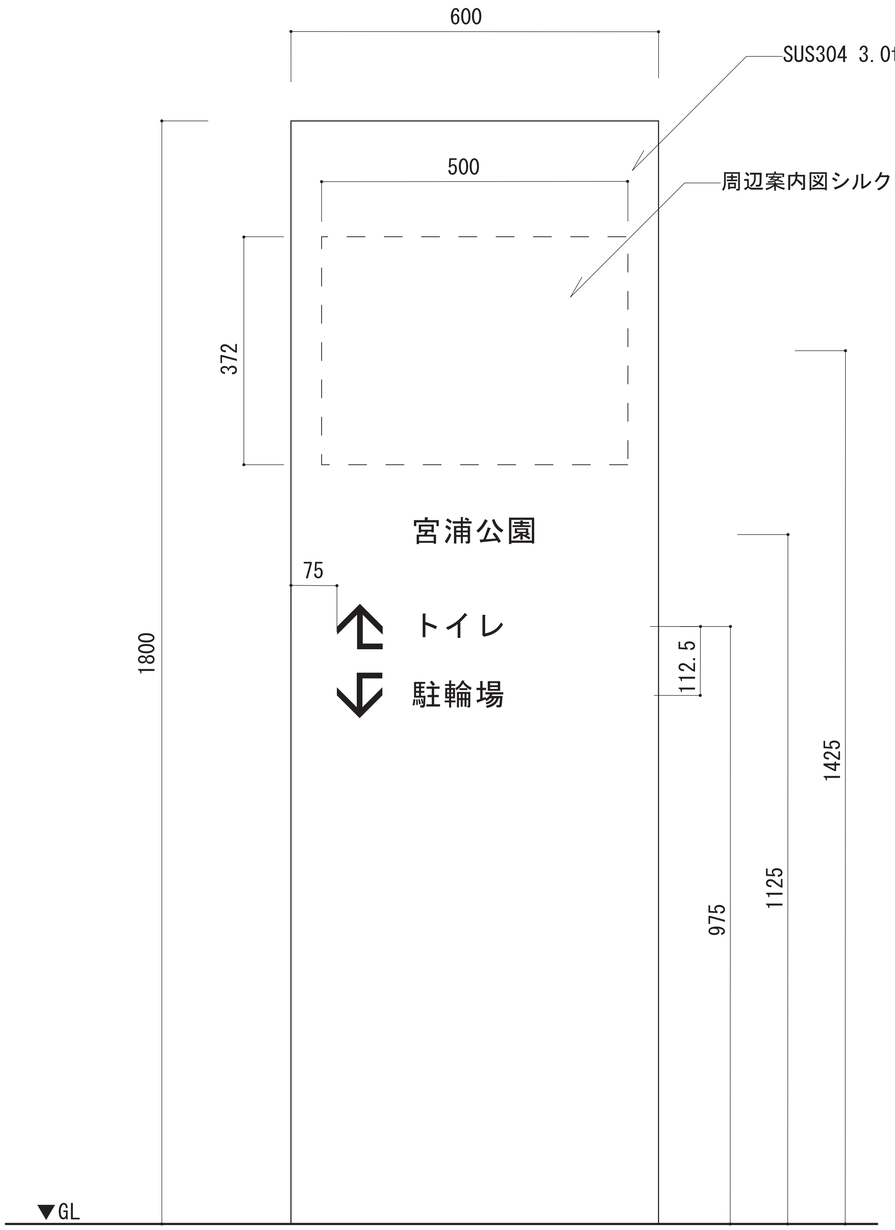
Scale1/10

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

Notes

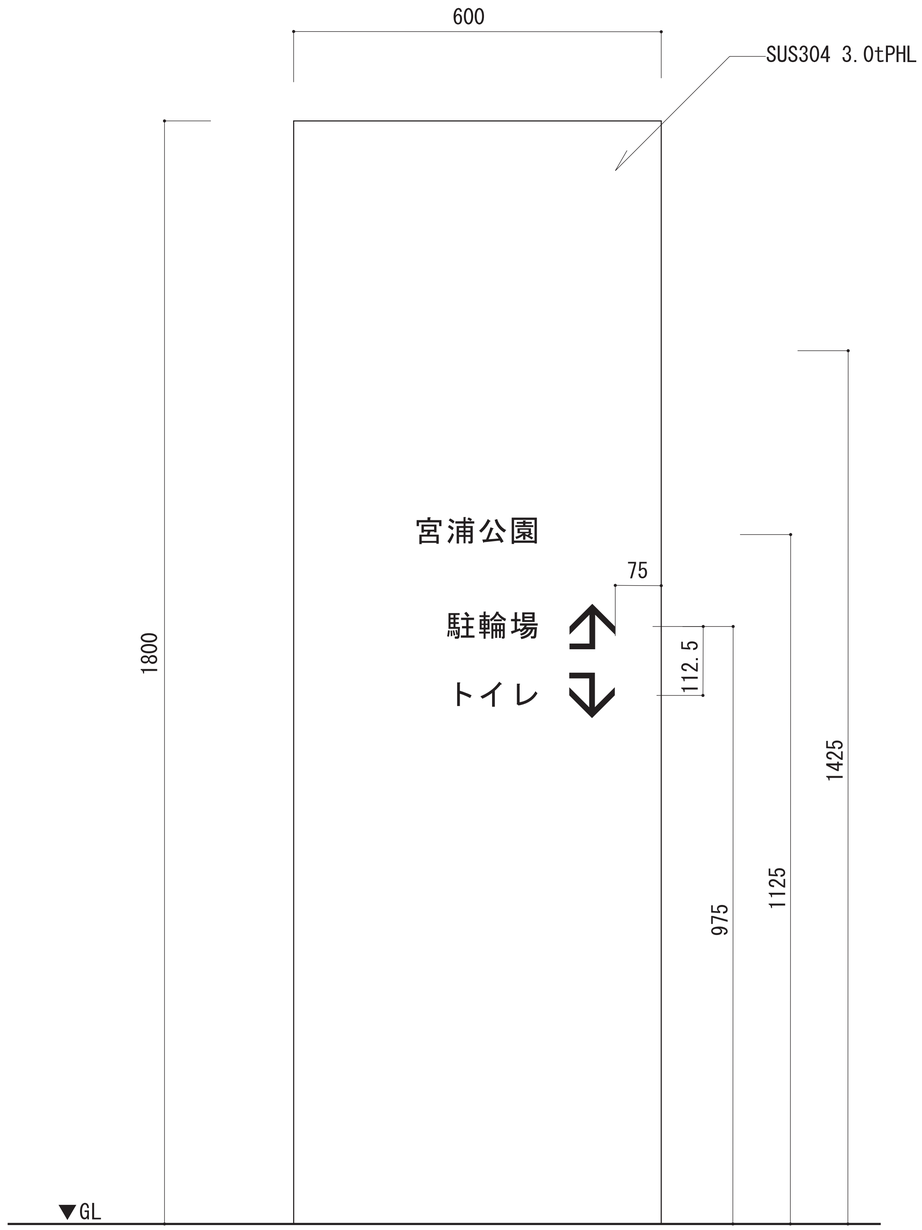
SORITSU
株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title: 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体
Subjects: CM-22_1（南側）, 22_2（北側）公園東出入口
Scale:
Date: 20070831
Drawn: shimo
Project:
No.: SN-17
Checked: shimo



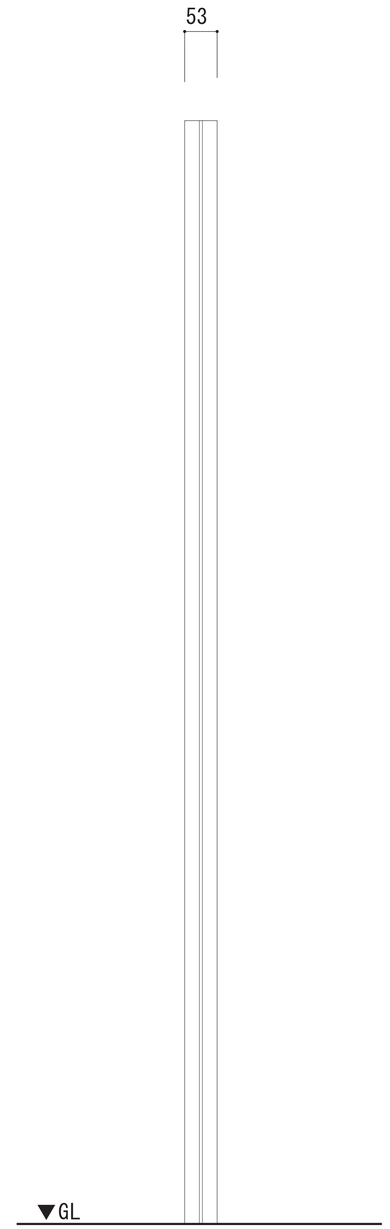
西面

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



東面

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



Scale1/10

Notes

株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title: 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体

Subjects: CM-22_3北駐輪場出入口

Scale:

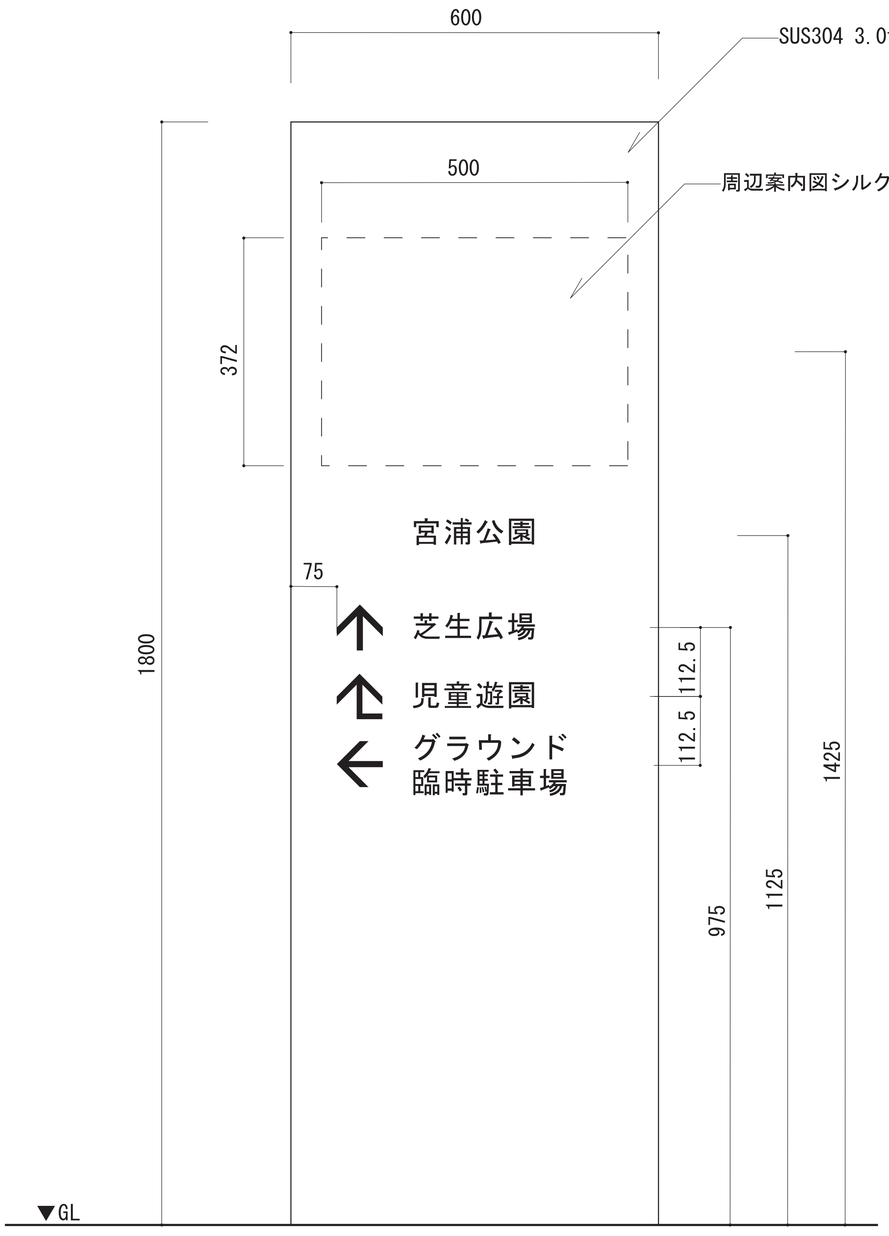
Date: 20070831

Drawn: shimo

Project:

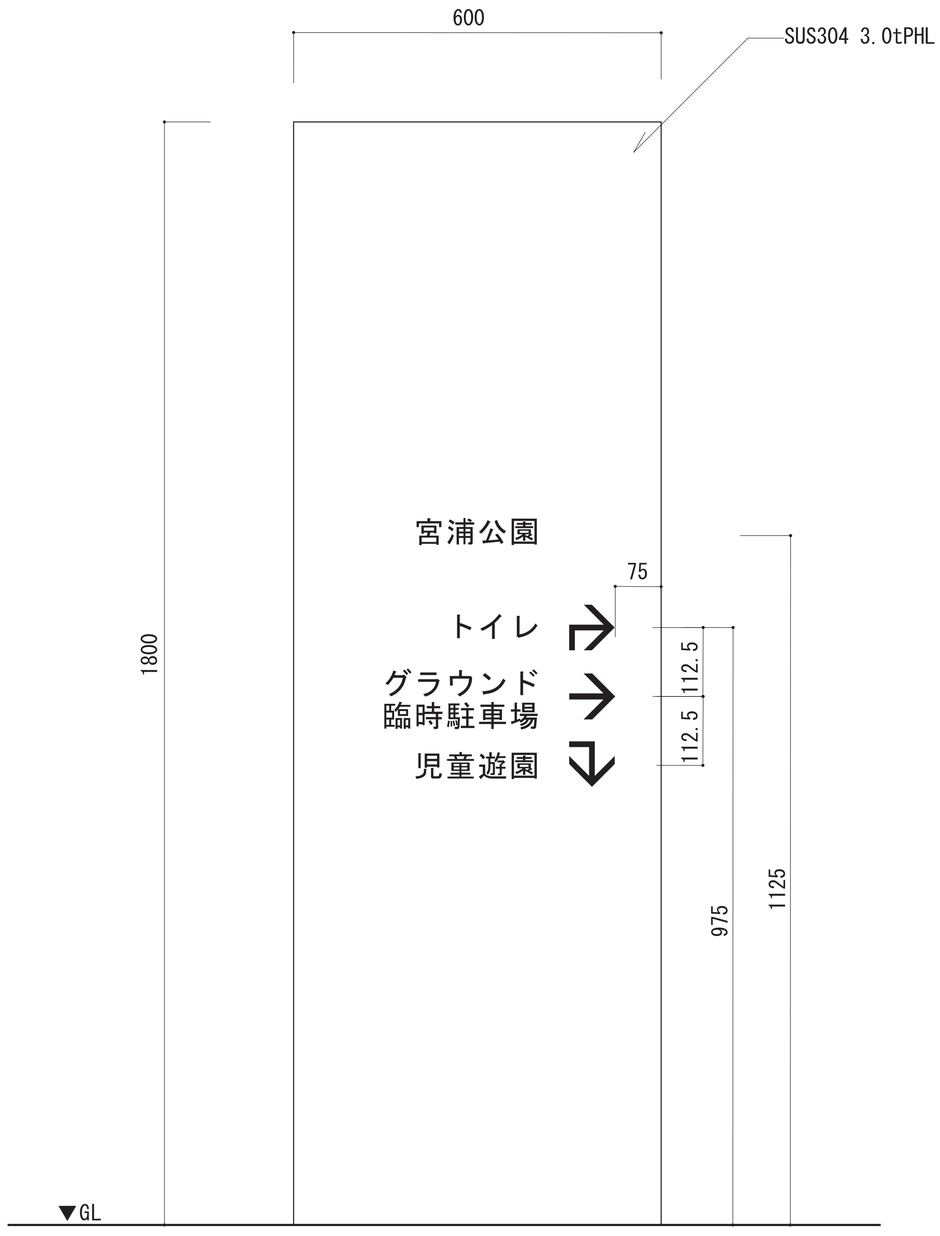
No.: SN-18

Checked: shimo



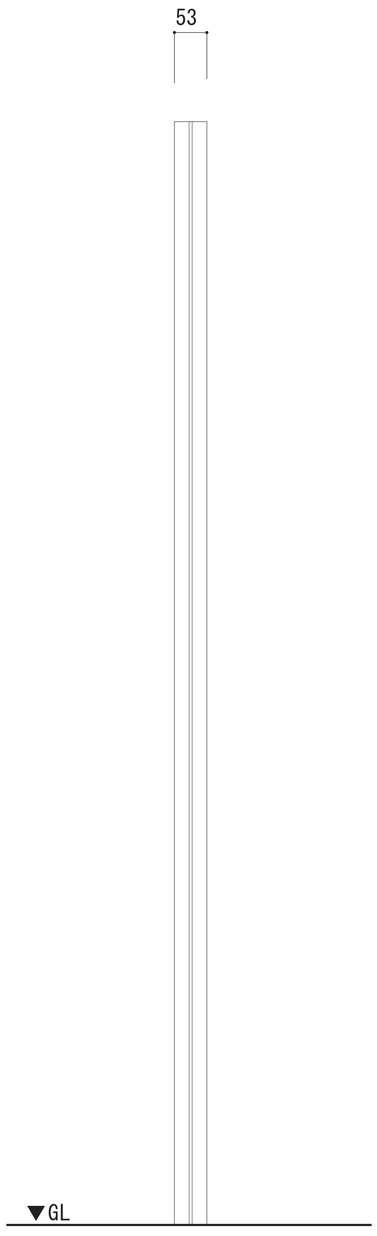
西面

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



東面

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



Scale1/10

Notes

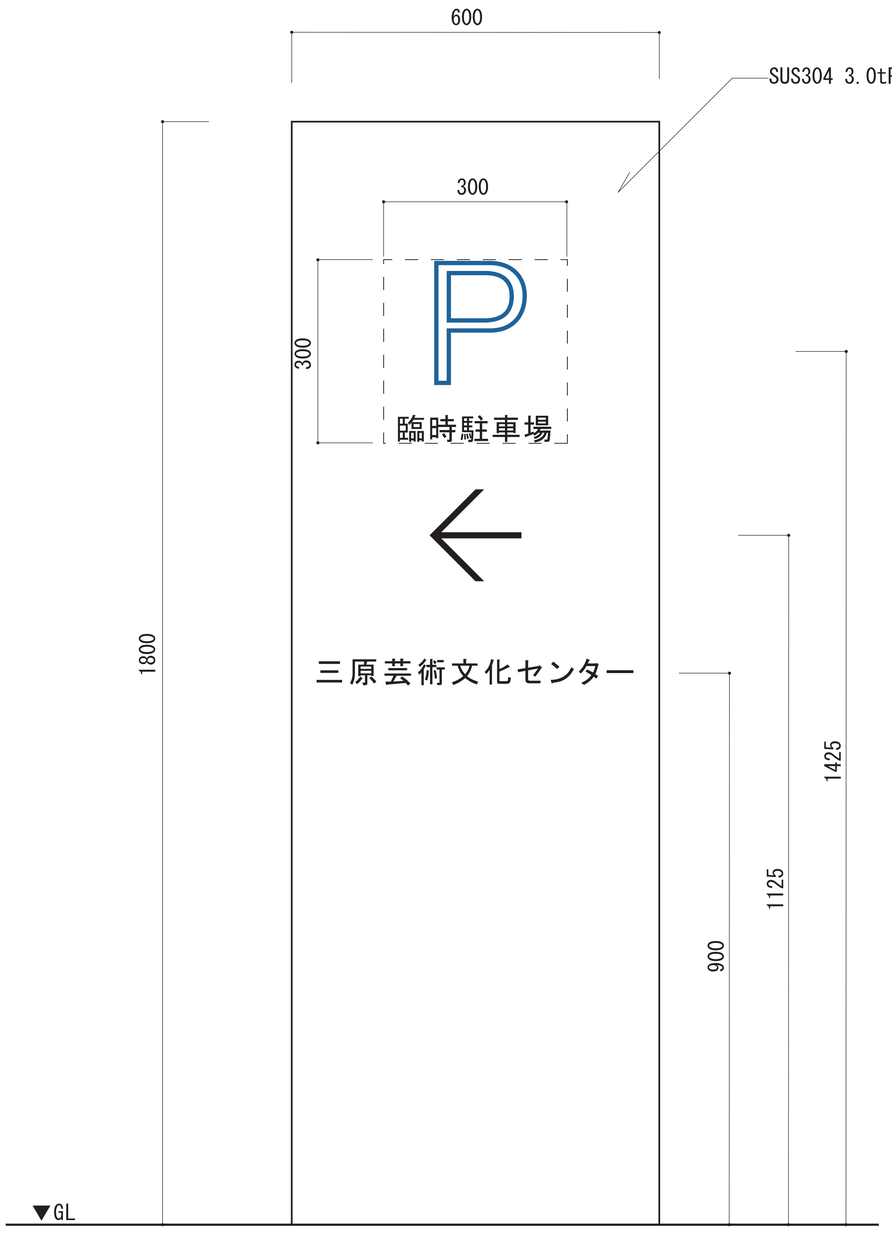
株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title: 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体

Subjects: CM-22_4グラウンド出入口

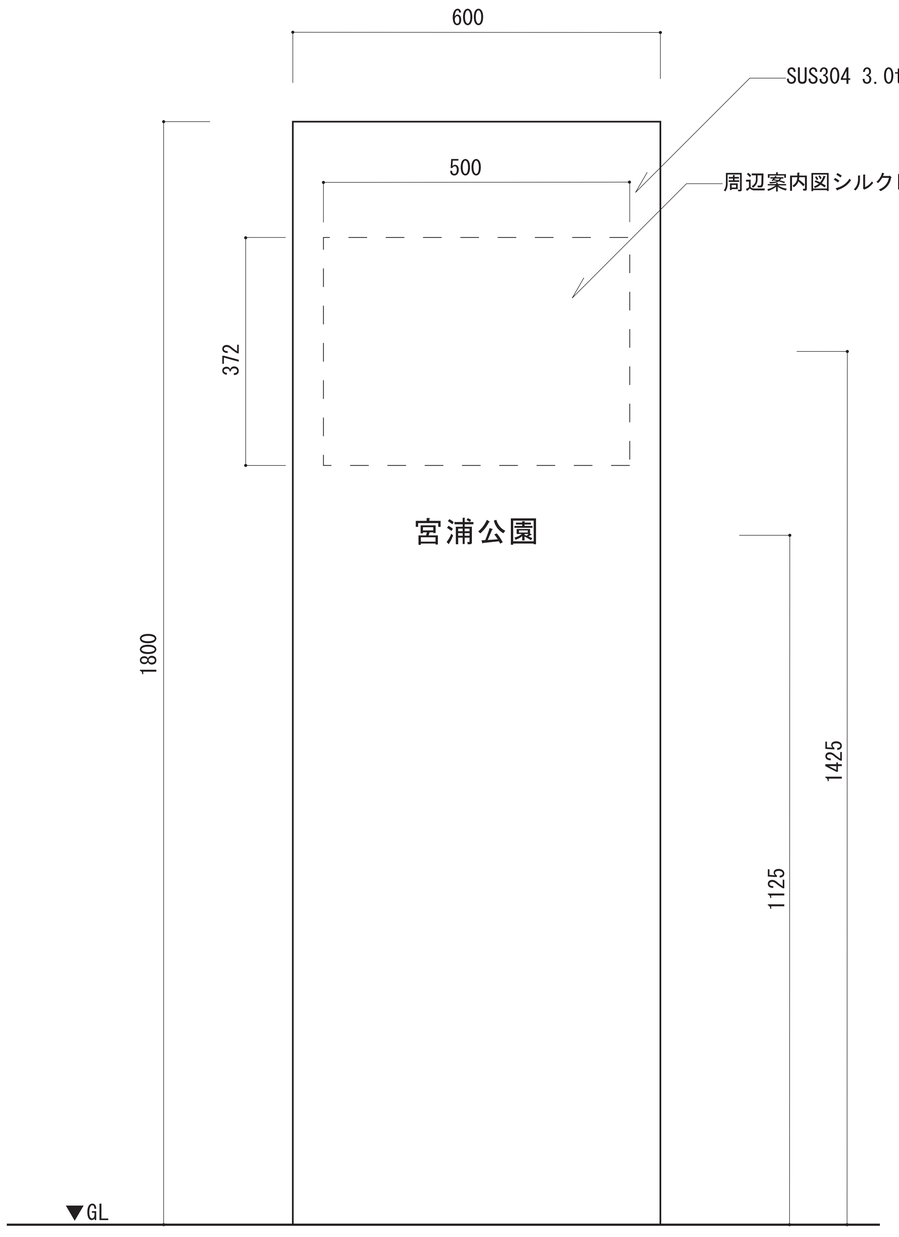
Scale	Project
Date 20070831	No. SN-19
Drawn shimo	Checked shimo

・表示面は北、南面でよろしいでしょうか



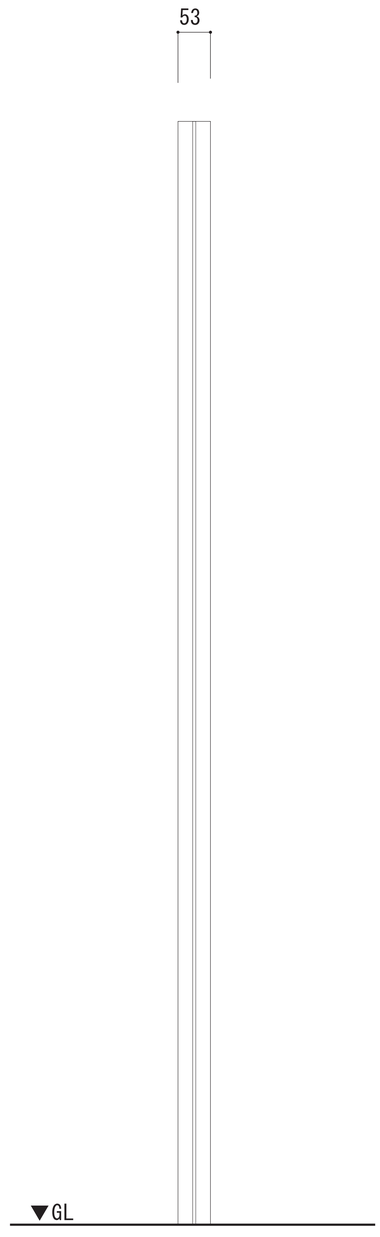
北面

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



南面

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

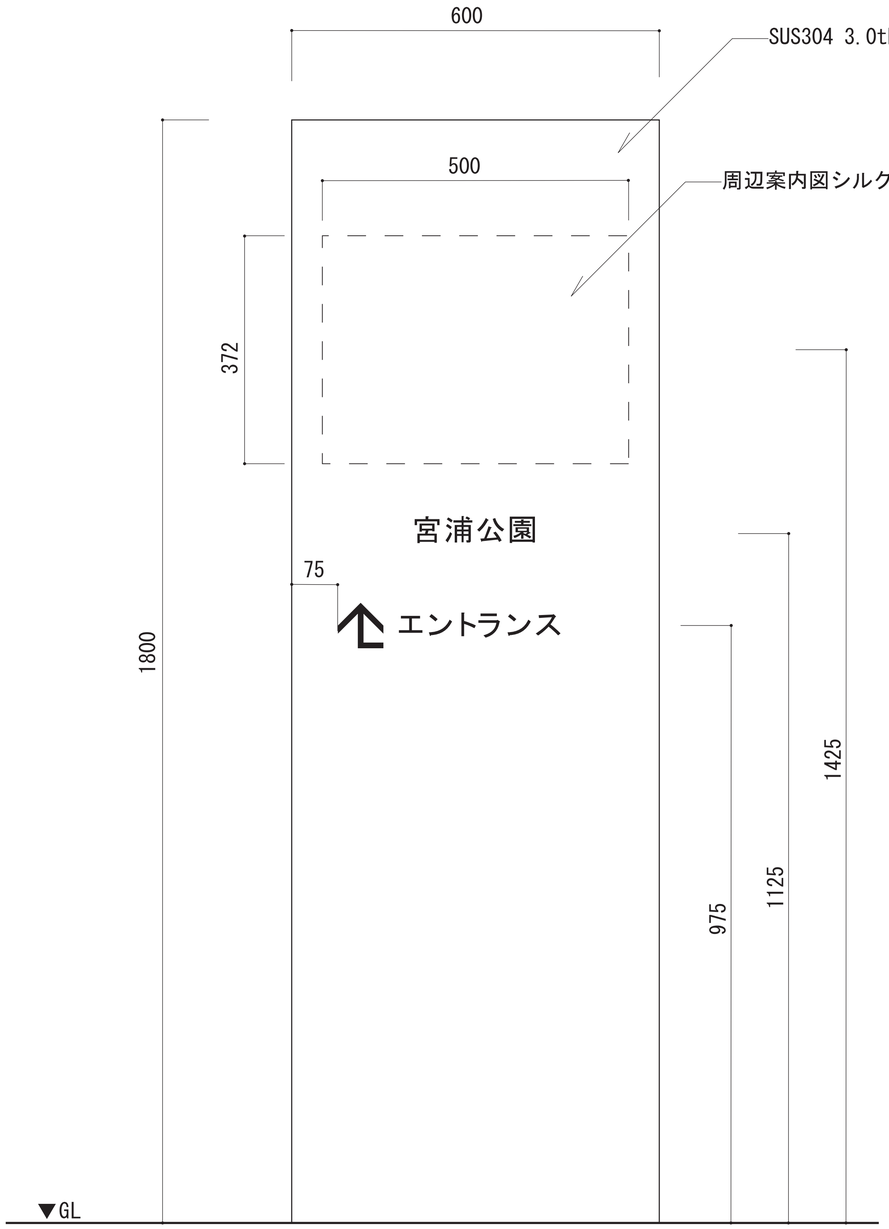


Scale1/10

Notes

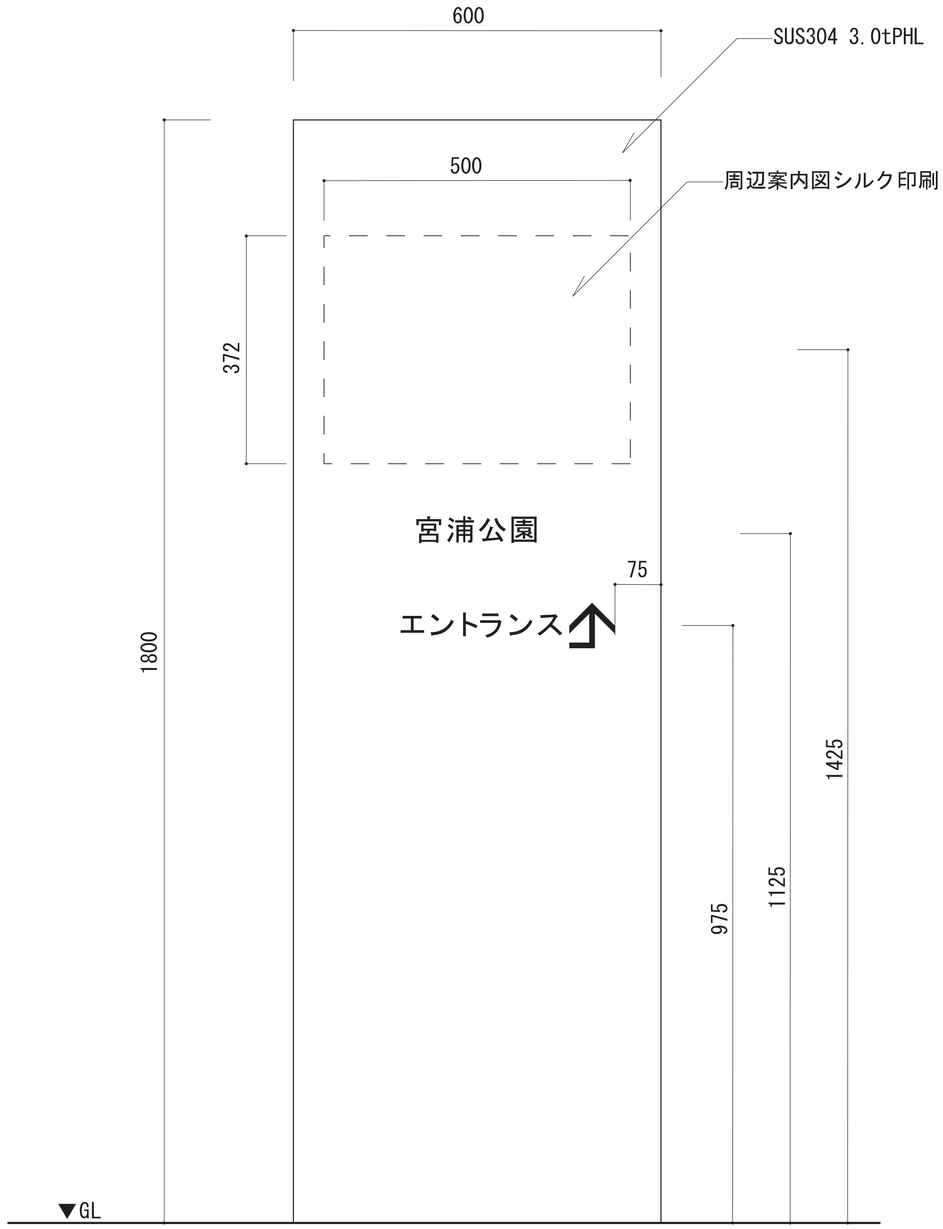
株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title: 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体
Subjects: CM-22_5公園北西出入口
Scale:
Date: 20070831
Drawn: shimo
Project:
No.: SN-20
Checked: shimo



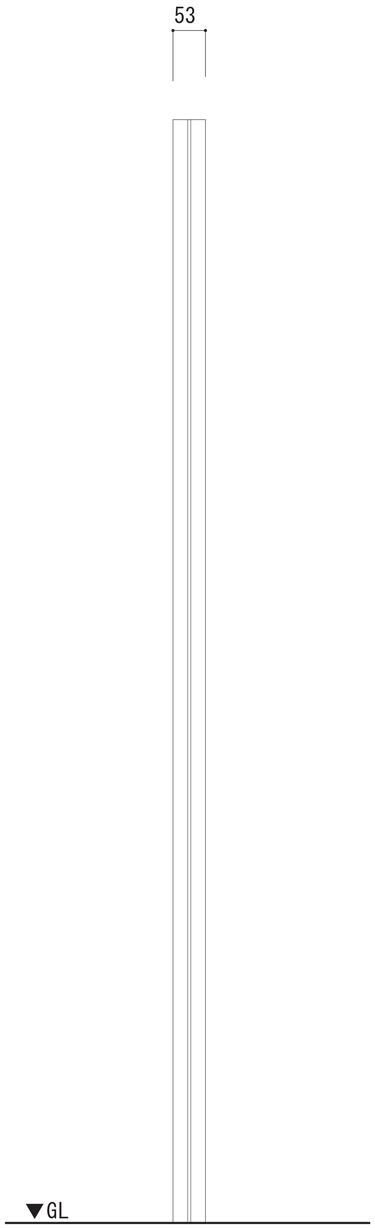
シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

北面



シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

南面



Scale1/10

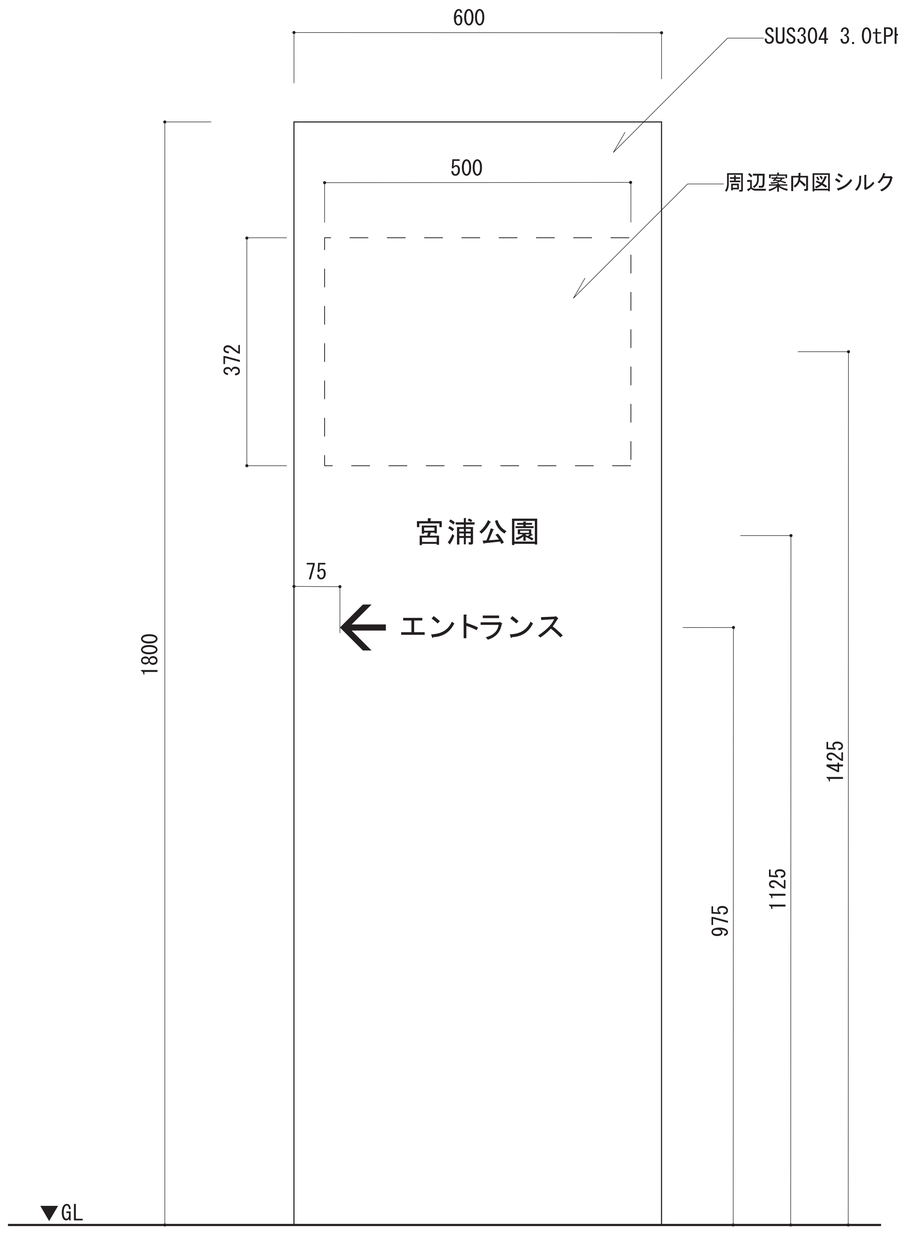
Notes

株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title: 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体

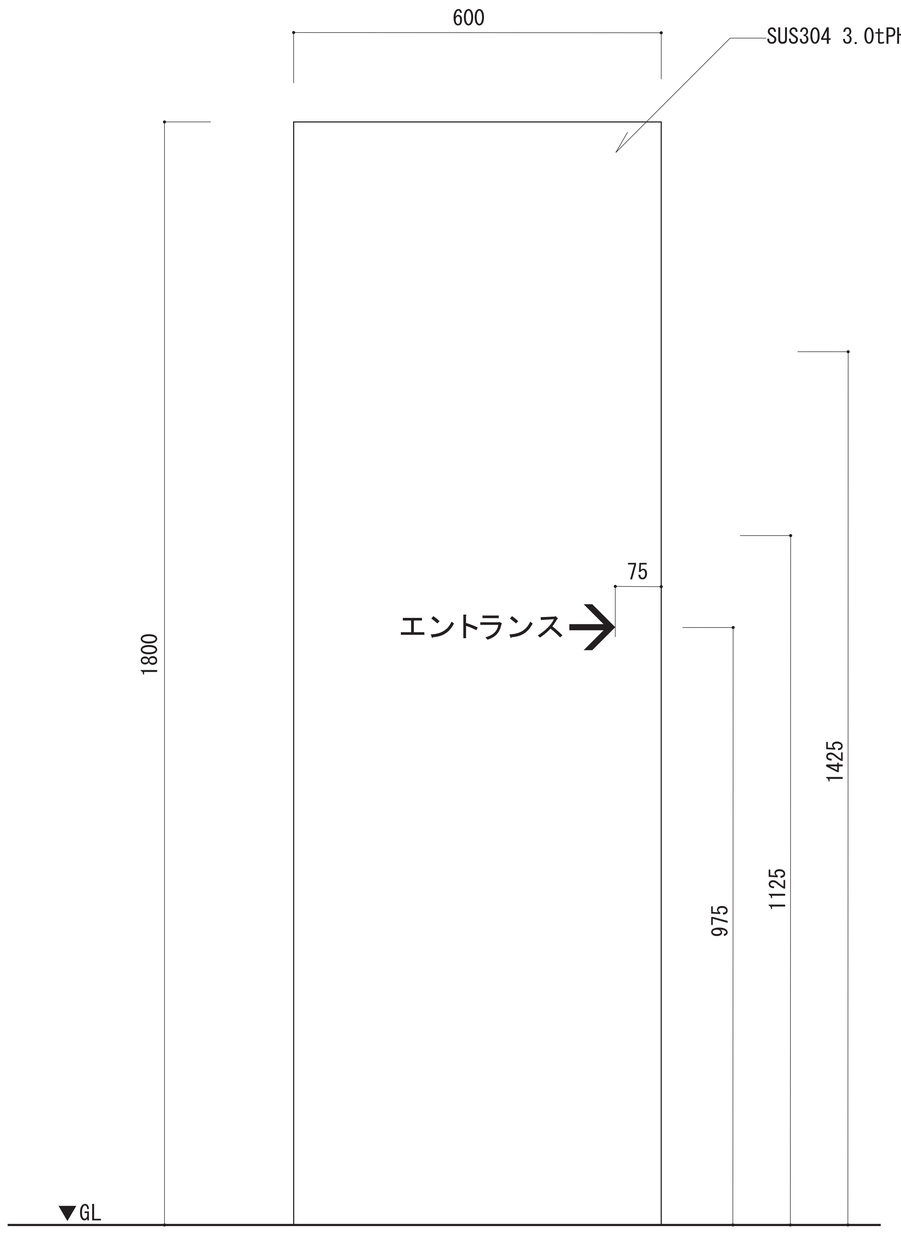
Subjects: CM-22_6アプローチプラザ（北側）

Scale	Project
Date: 20070831	No.: SN-21
Drawn: shimo	Checked: shimo



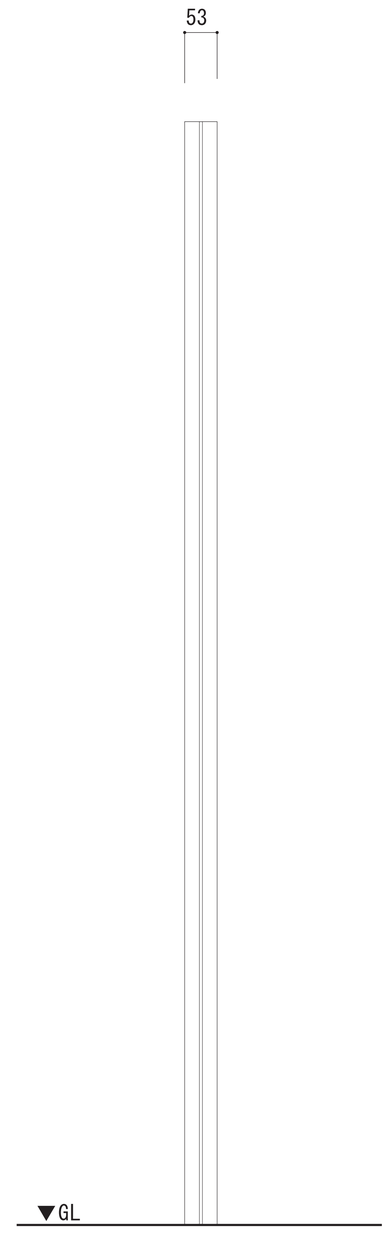
西面

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



東面

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



Scale1/10

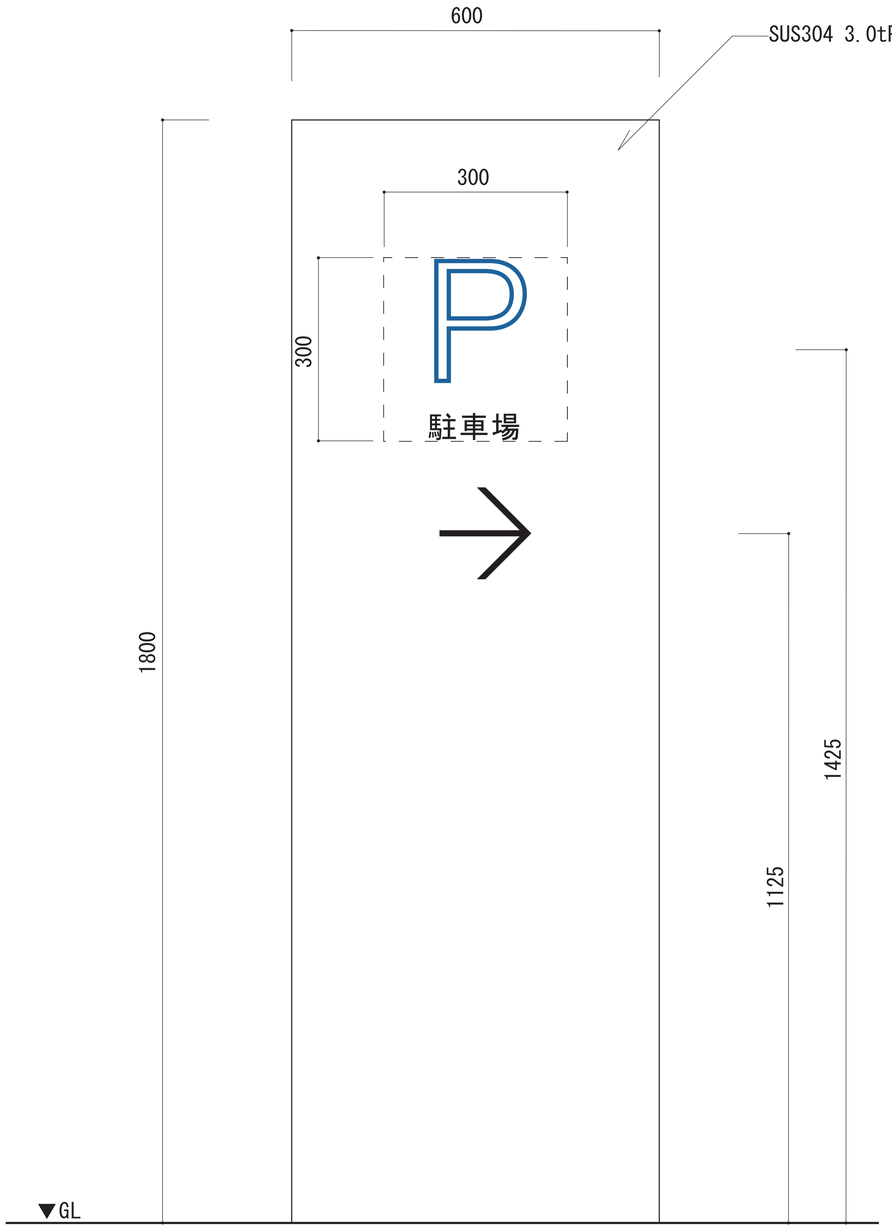
Notes

SORITSU
株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title: 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体

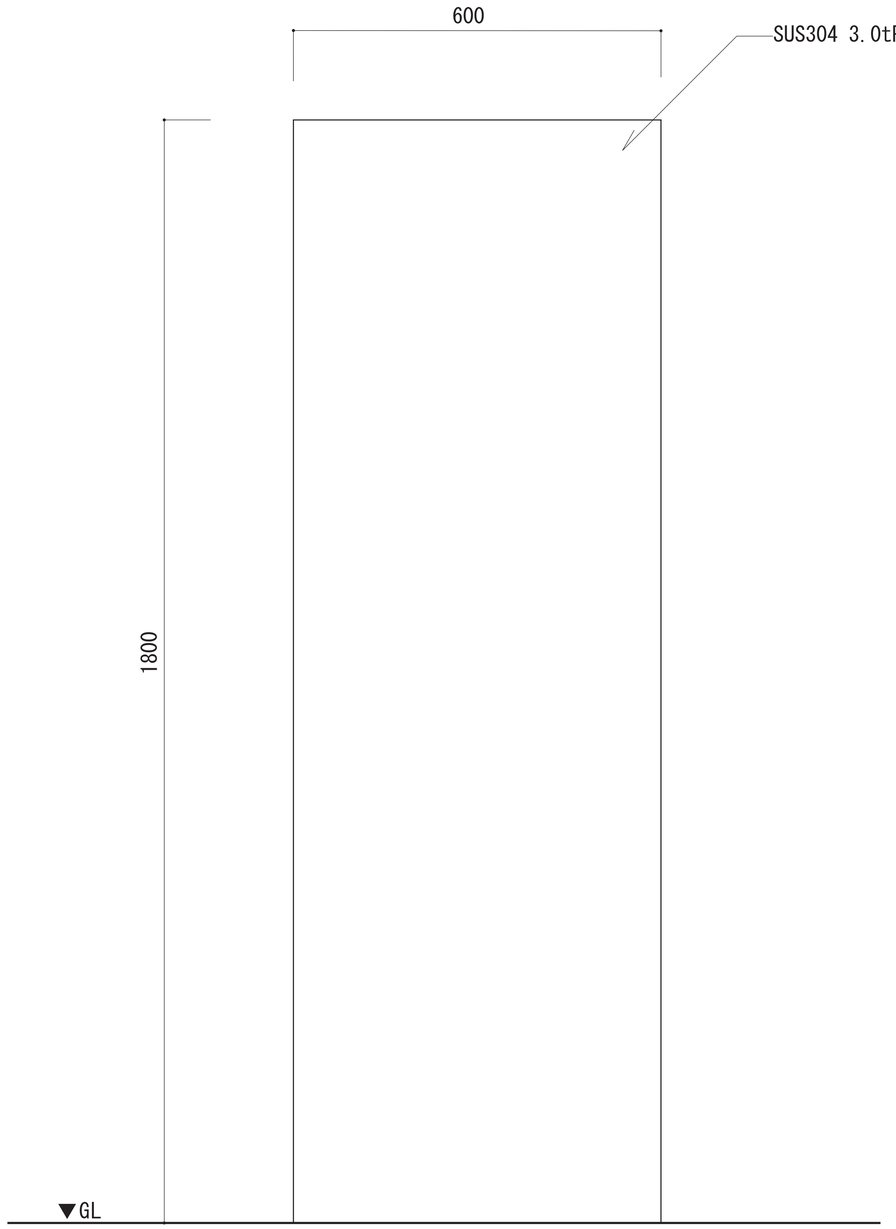
Subjects: CM-22_7アプローチプラザ（東側）

Scale	Project
Date: 20070831	No.: SN-22
Drawn: shimo	Checked: shimo



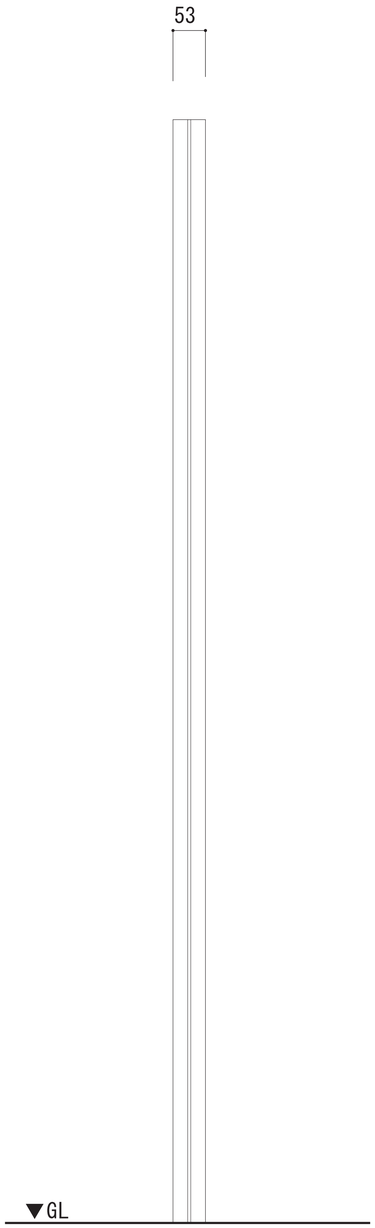
23__1 北面
23__2 北面

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



23__1 南面
23__2 南面

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色

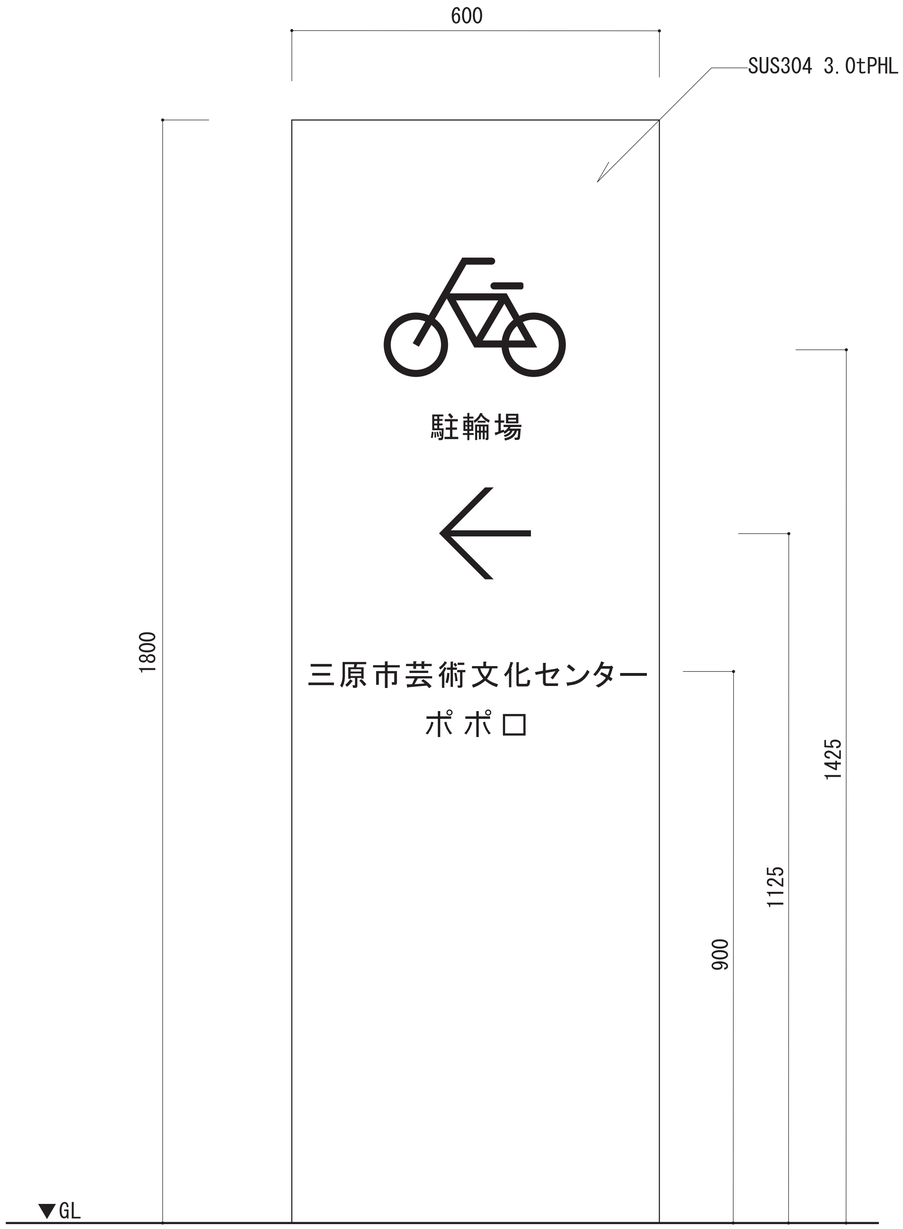


Scale1/10

Notes

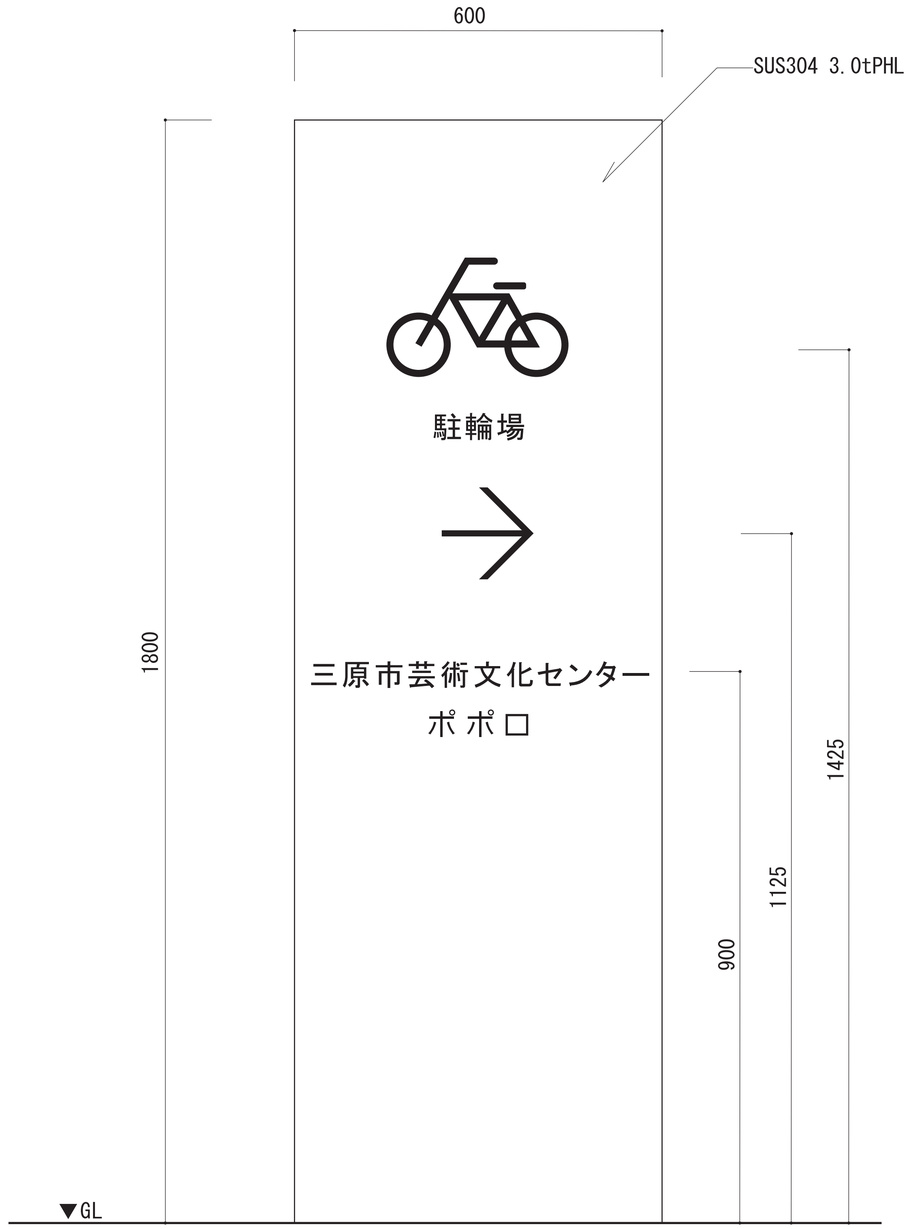
株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title: 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体
Subjects: CS-23_1(南側),23__2（北側）駐車場出入口
Scale:
Project:
Date: 20070831
No.: SN-23
Drawn: shimo
Checked: shimo



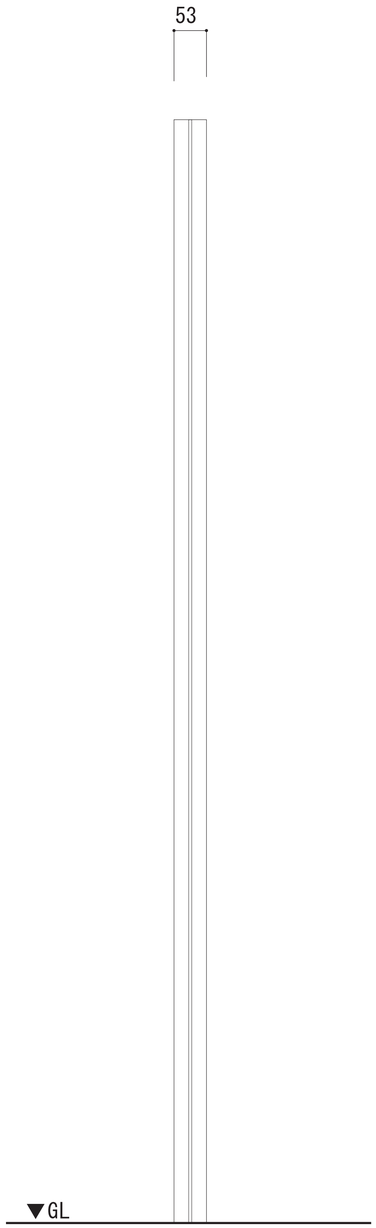
西面

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



東面

シルク印刷
JS-1502XL チャコールグレイ近似色



Scale1/10

Notes

SORITSU
株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title: 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体

Subjects: CS-24_1南駐輪場東出入口

Scale	Project
Date 20070831	No. SN-24
Drawn shimo	Checked shimo

A：和　ヒラギノ角ゴ W3

75

三原市芸術文化センター　ポポロ



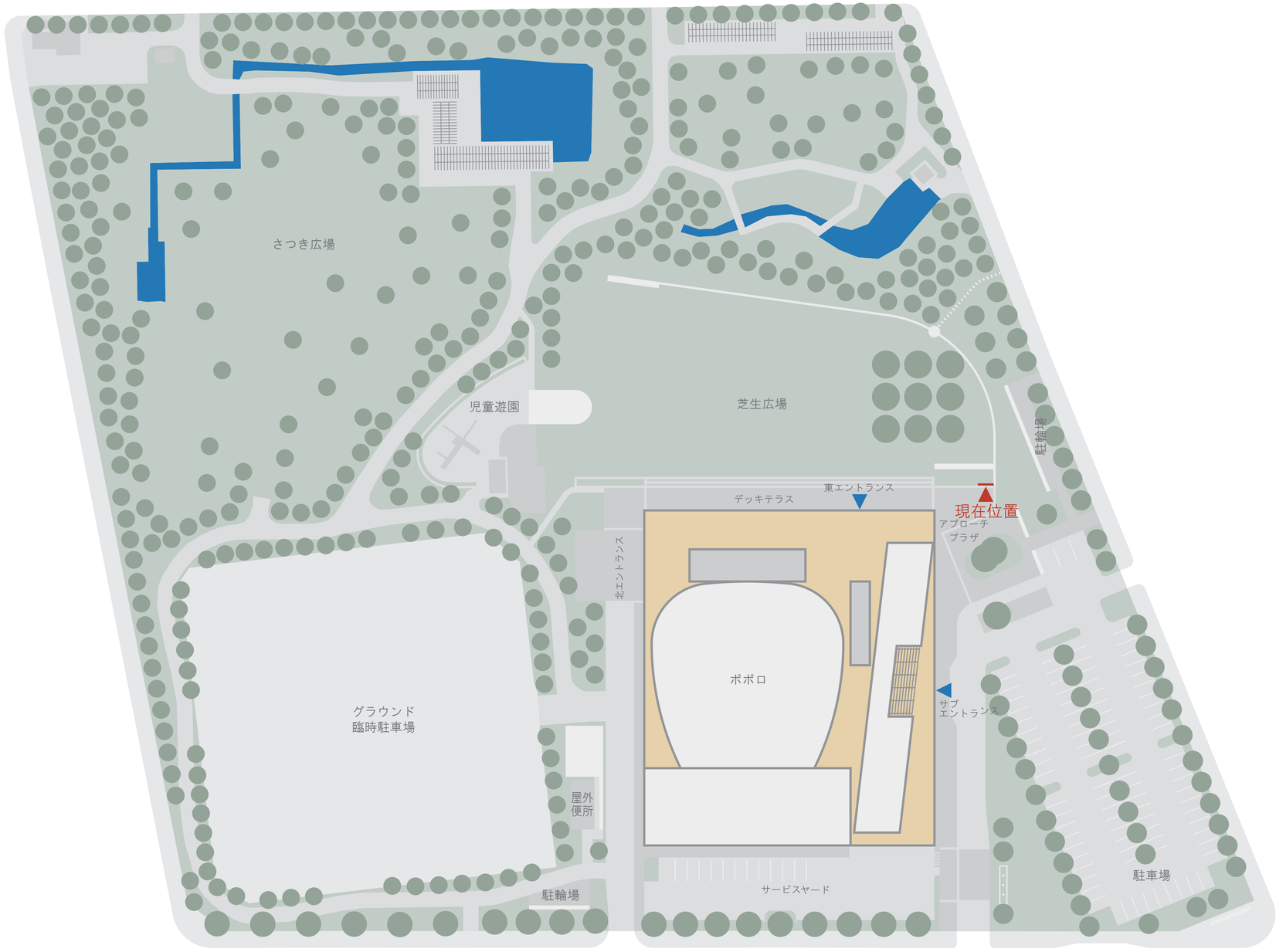
※詳細は別図参照

Scale1/10

Notes

SORITSU
株式会社　ソーリツ
164-0012 東京　都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title	三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体
Subjects	F-25_1 街角広場
Scale	
Date	20070831
Project	
No.	SN-30
Drawn	shimo
Checked	shimo



■　シルク印刷

C-37-60D（近似色）

C-45-60B（近似色）

CN-85（近似色）

JS-6611XL ラプソディ（近似色）

JS-1216XL リーズブルレッド（近似色）

JS-1502XL チャコールグレイ（近似色）

※　現在地により方向を変える

Notes

SORITSU
株式会社　ソーリツ
164-0012 東京都中野区本町2-46-4
サンブライトアネックス501
Tel: 03 5350 1121 Fax: 03 5350 5959

Title: 三原市新文化施設（仮称）建設工事／サイン本体

Subjects: 外構平面図グラフィック

Scale:

Date: 20070831

Drawn: shimo

Project:

No.: SN-41

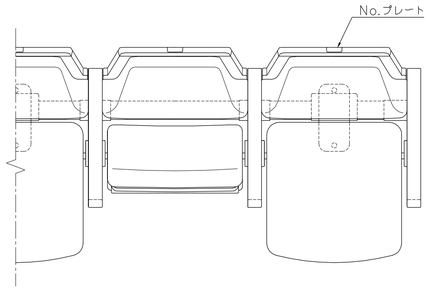
Checked: shimo

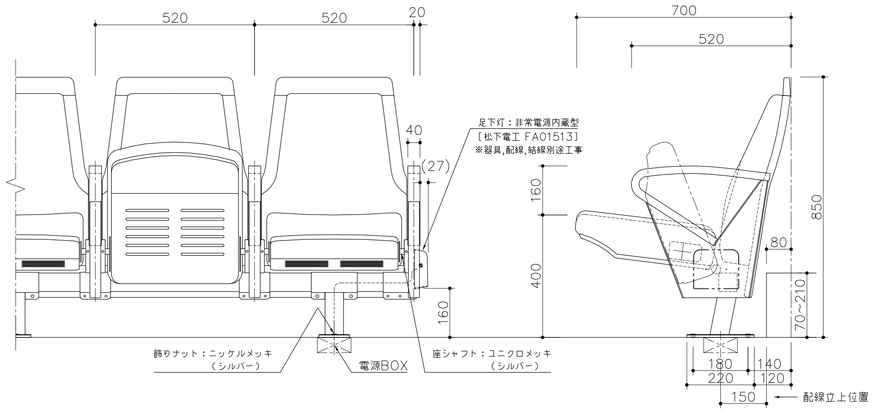
ホール椅子

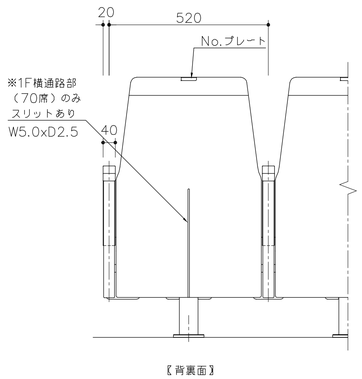
図面番号	図面名称	縮尺
CH-00	中表紙【ホール椅子】	-
CH-01	TS 特注品_姿-1	1/10
CH-02	TS 特注品_姿-2	1/10
CH-03	TS 特注品_配 1F	1/60
CH-04	TS 特注品_配 2F	1/60

1F 固定席：ローバックタイプ

上張り	FABRIKO ミックスチューン	
背	背裏化粧板：t25ブナ成形合板　表面カバ突板練付　ポリウレタン塗装	
	上部：カバ無垢材　ポリウレタン塗装	
	パッド芯材：t5.5成形合板　ウレタン入り張包み	
座	座裏化粧板：t13ブナ成形合板　表面カバ突板練付　ポリウレタン塗装	
	吸音用穴加工付（（10x140）x12ヶ）	
	パッド部：座枠／t5.5成形合板＋木枠組	
	□19xt1.6角鋼管フレーム　プルマフレックス張り　ウレタン入り張包み	
	座自動緩起立機構付	
肘	肘掛：t25ブナ成形合板　表面カバ突板練付（両面貼り）　ポリウレタン塗装	
	肘枠：木枠組　表面カバ突板練付　ポリウレタン塗装	
脚	連結管：□60xt2.3角鋼管　合成樹脂焼付塗装	
	支柱：φ60.5xt3.2鋼管　合成樹脂焼付塗装	
	ブラケット，クランプ：t4.5、3.2鋼板プレス　合成樹脂焼付塗装	
	ベース：t9鋼板　合成樹脂焼付塗装	
	床に固定	
	※木部塗装色：指定色	
	※金物塗装色：KC−900（シャフト受け等金物全て）	
	床固定用飾りナット：ニッケルメッキ（シルバー）	
	座シャフト：ユニクロメッキ（シルバー）	







〖背裏面〗

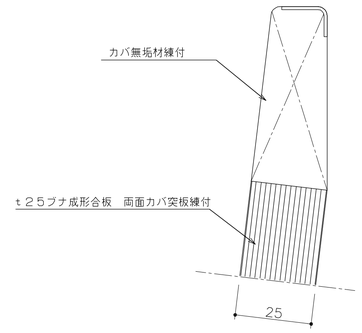
【ナンバープレート詳細図　S=1/1】

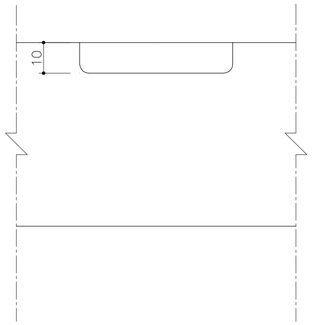
材質：t１。0ステンレス板加工品（ヘアライン仕上げ）
文字：エッチング処理　色差し
書体：丸ゴシック（黒色）
取付：掘り込み部に両面テープにて接着

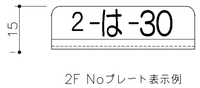


1F Noプレート表示例

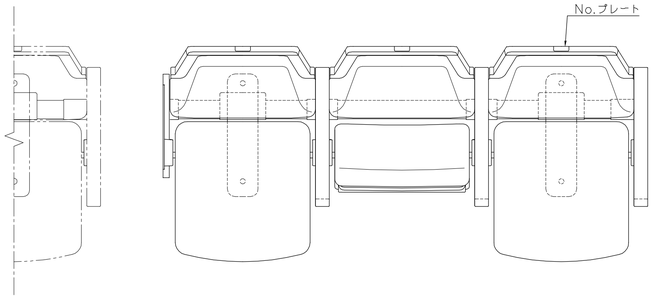
センター断面図





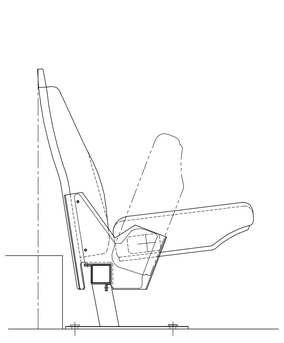


2F Noプレート表示例

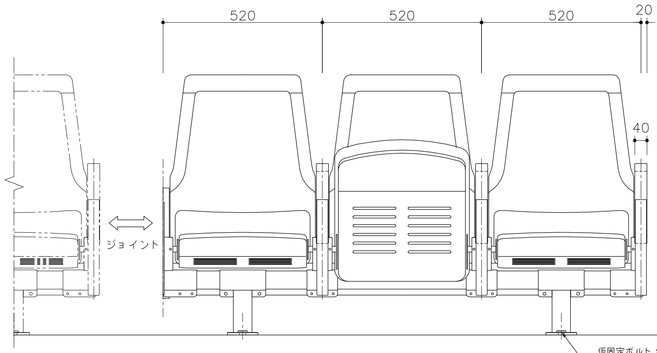


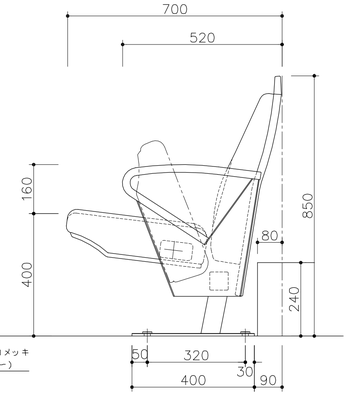
移動席

※仕様は固定席に準ずる。



〖ジョイント肘無肘〗





移動席用台車

t21ラワン合板　φ75自在キャスター





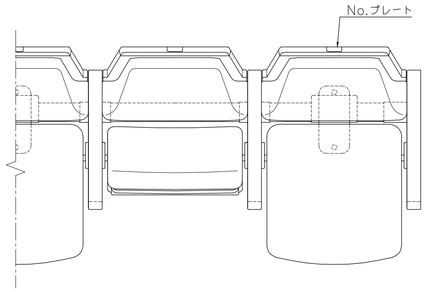
△1 決定仕様追記　足下灯追記	07.04.09	斉藤 . 古田 .			. .
△2 見本品に合わせて再作図	07.02.15	斉藤 . 古田 .			. .
△3		. .			. .
△4 1人掛移動席削除，移動席用台車追記，移動席3人掛に変更	05.10.07	武中 . 斉藤 .	Noプレート表示内容訂正	07.06.18	古田 . .
△5 移動席ベース補強削除　NO.プレート貼ちゅう	05.09.30	斉藤 . 古田 .	肘上部無垢材形状変更	07.05.21	日比野 . 古田 .

特注品：霧島〈H09385〉
名取〈H10001〉参照

△:\図研PLM実\案件実\H10001-H10500\H10097\H10097-0004G_W_TSR品_#-1.dwg

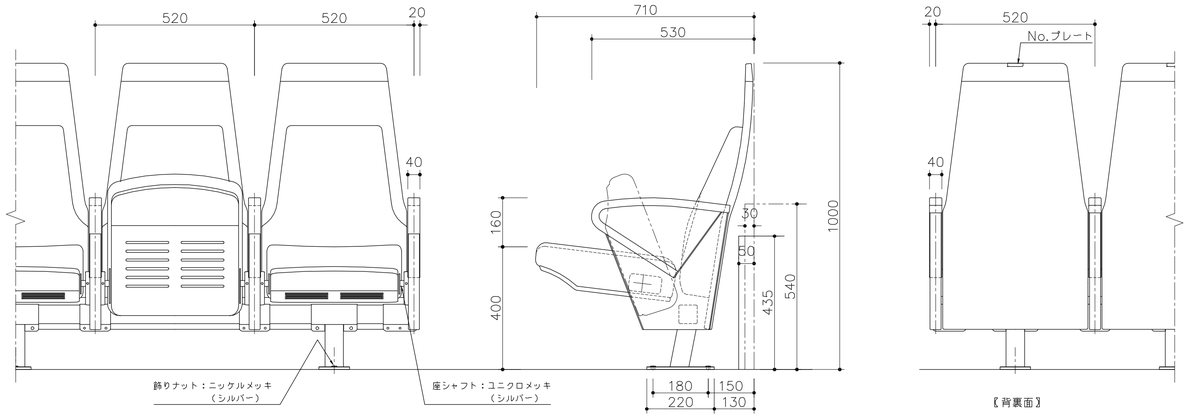
K・O・T・O・B・U・K・I
KOTOBUKI CORPORATION

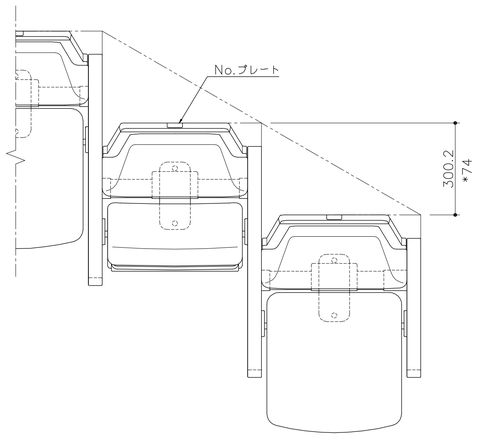
PROJECT	三原市新文化施設	DATE 2007/02/15	SCALE 1/10
	TS−特注品	DRAWN 斉藤 / CHECKED 古田	APPROVED .
	製品姿図−1	DWG.NO. H10097−0004G	FILE.NO. CH-01 . 070819



2F 固定席：ハイバックタイプ

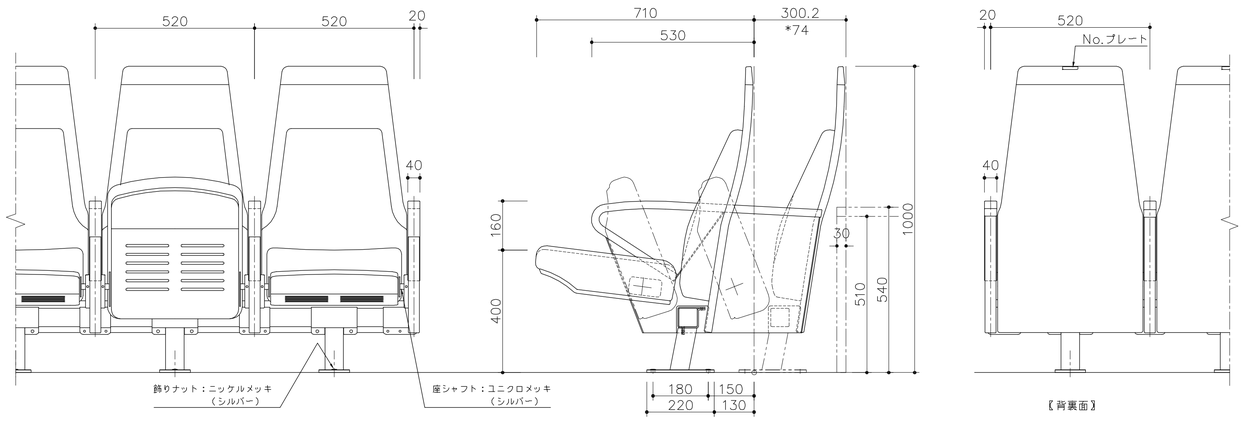
※仕様は1Fローバックタイプに準ずる。

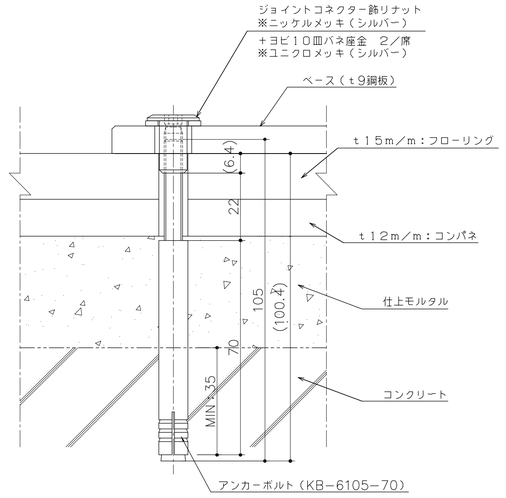




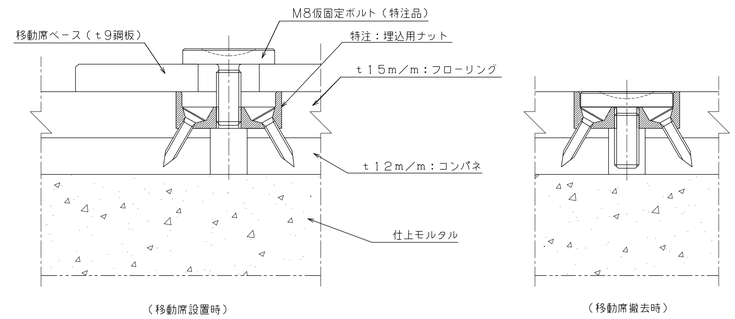
雁行席

※仕様は1Fローバックタイプに準ずる。





【固定席取付詳細図　S=1/1】



【移動席取付詳細図　S=1/1】

※床の構成、仕様の最終確認をお願い致します。
現状と異なる場合は取付方法の再設定が必要です。

⚠		. .	. .
⚠		. .	. .
⚠ 背上部無垢材形状変更	07.05.21	日出野 . 古田 .	. .
⚠ 見本品に合わせて再作図	07.02.15	斉藤 . 古田 .	. .
⚠ 雁行ずれ27.3タイプ削除	05.09.30	斉藤 . 古田 .	. .

特注品：背鳥（H09385）
名取（H10001）巻照

O:\設計ﾌｧｲﾙ\木構\製作承認\H10001−H10500\H10097\H10097−0005C_W_TS特注品_姿−2.dwg

K・O・T・O・B・U・K・I
KOTOBUKI CORPORATION

PROJECT	三原市新文化施設	DATE	2007/02/15
	TS−特注品	SCALE	1/10
	製品姿図−2	DRAWN	斉藤
		CHECKED	古田
		APPROVED	.
		DWG.NO.	H10097−0005C
		FILE.NO.	CH-02 . 070819

SA/RA床グリル	開口サイズ	数量
A	W180,L370	8
B	W205,L370	8
C	W223,L370	2
D	W225,L370	6
E	W260,L370	2
F	W135,L620	2
G	W180,L620	6
H	W205,L620	12
I	W216.5,L620	84
J	W223,L620	4
K	W225,L620	82
L	W260,L620	4

足下灯位置を示す　24ヶ所

▲ 背裏スリットあり席を示す　70席

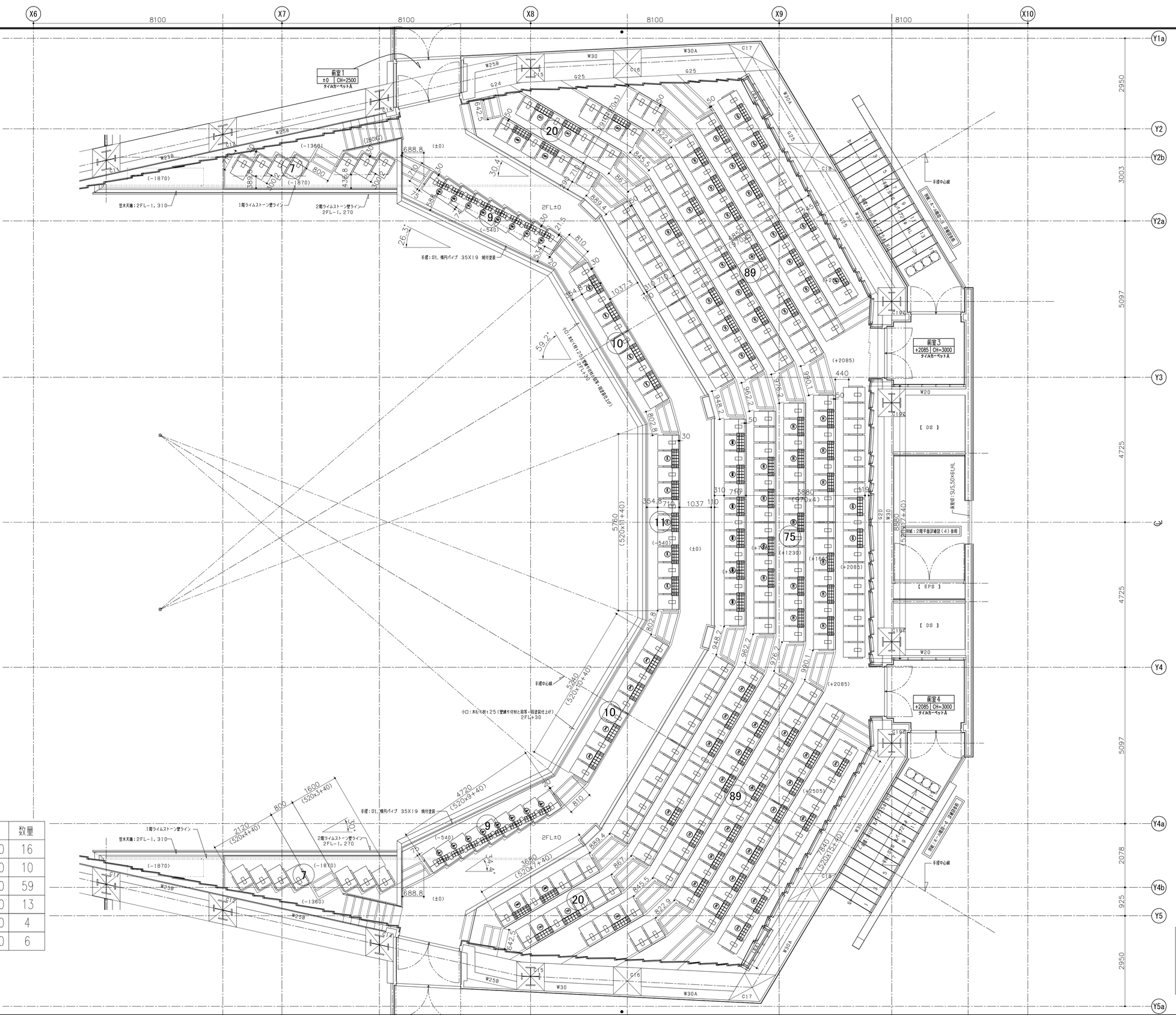
固定席（ローバック）	683席
移動席	170席
1F　席数	853席
2F　席数	356席
総席数	1209席

△1 新データにて床グリル再配置	07.05.28	佐藤	斉藤				
△2 先方指示補助段削除	07.04.27	斉藤	古田				
△3 足下灯位置追記	07.04.09	斉藤	古田				
△4 新データにて再配置	07.03.23	斉藤	古田				
△5 移動席を2・3人掛のみとする。移動席配置センター対応とする。	05.10.07	武中	斉藤	△6 背裏スリット席位置指示	07.07.27	斉藤	古田

K・O・T・O・B・U・K・I
KOTOBUKI CORPORATION

PROJECT	三原市新文化施設	DATE	2005/09/30	SCALE 1/60
	TS－特注品	DRAWN 斉藤	CHECKED 古田	APPROVED
	ホール客席椅子配置図－1F	DWG.NO.	H10097－0006F	1

FILE.NO. CH-03 . 070819



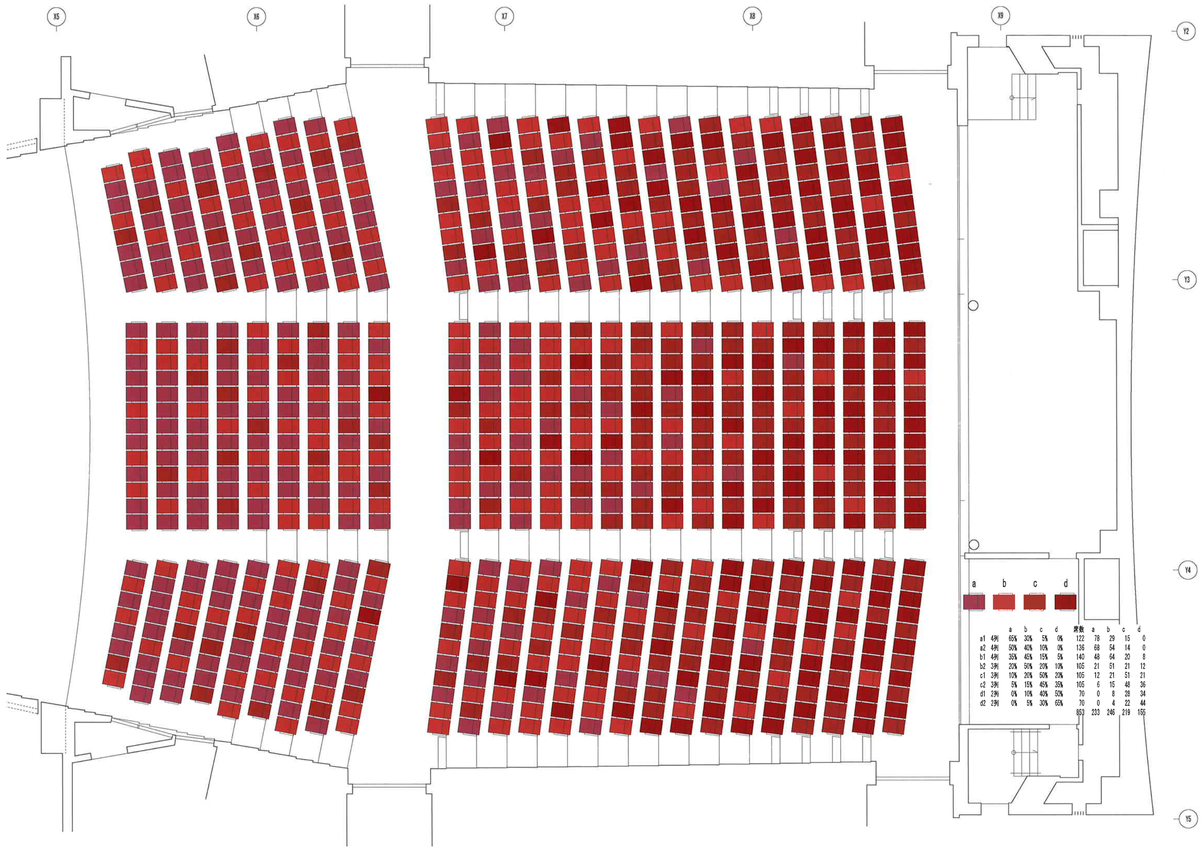
SA/RA床グリル	開口サイズ	数量
A	W180,L370	16
G	W180,L620	10
H	W205,L620	59
K	W225,L620	13
N	W230,L620	4
M	W250,L620	6

固定席（ハイバック） 324席
雁行席（ズレ幅74） 18席
（ズレ幅300.2）14席
2F席数 356席

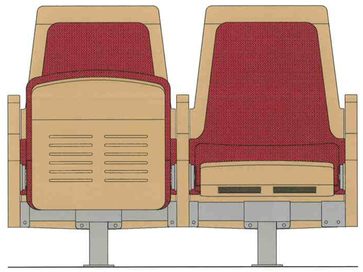
新データにて床グリル再配置、部位置再配置	07.05.28	佐藤	斉藤
新データに差替え	07.04.04	斉藤	古田
新データにて再配置	07.03.23	斉藤	古田
屋行ずれ27.3タイプ削除　300.2タイプ部法規幅守備体に修正	05.09.30	斉藤	古田

KOTOBUKI CORPORATION

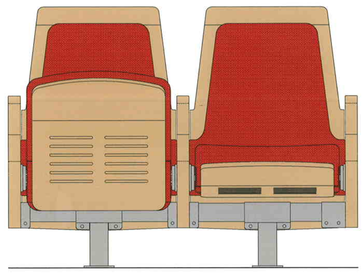
PROJECT	三原市新文化施設
	TS－特注品
	ホール客席椅子配置図－2F
DATE	2005/09/21
SCALE	1/60
DRAWN	斉藤
CHECKED	古田
APPROVED	.
DWG.NO.	H10097－0007D
FILE.NO.	CH-04 . 070819



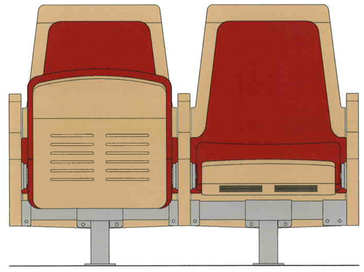
	a	b	c	d	席数	a	b	c	d
a1	4列	65%	35%	5%	0%	122	78	29	15	0
a2	4列	50%	40%	10%	0%	136	68	54	14	0
b1	4列	35%	45%	15%	5%	140	48	64	20	8
b2	3列	25%	50%	20%	10%	105	21	51	21	12
c1	3列	10%	20%	50%	20%	105	12	21	51	21
c2	3列	5%	15%	45%	35%	105	6	15	48	36
d1	2列	0%	10%	40%	50%	70	0	8	28	34
d2	2列	0%	5%	30%	65%	70	0	4	22	44
						853	233	246	219	155



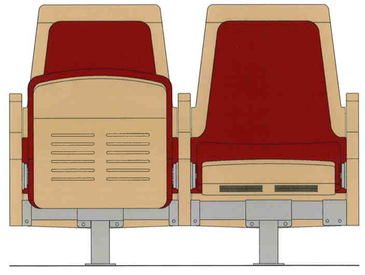
Fiore（フィオーレ）：a 277席



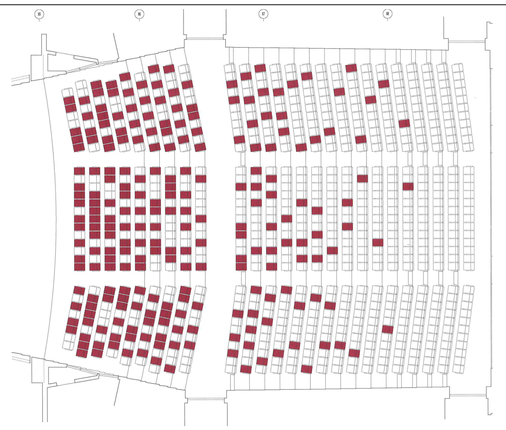
Maple Red（メープル レッド）：b 334席

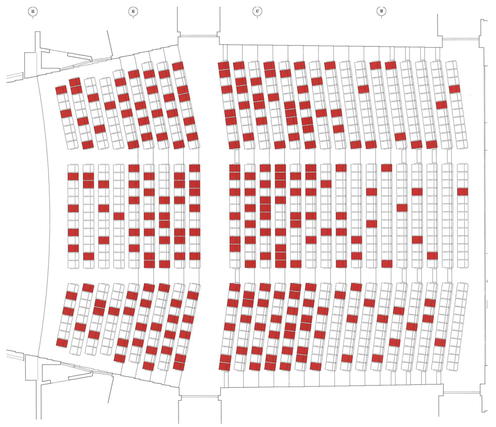


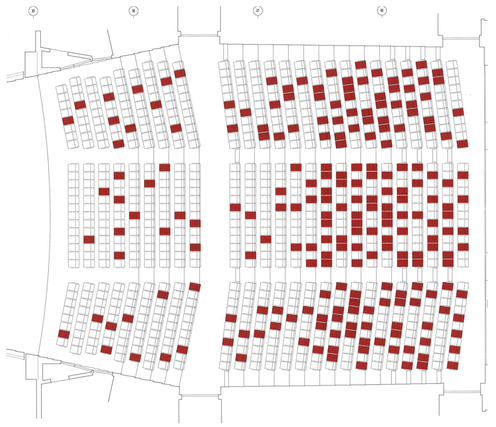
Rosetta（ロゼッタ）：c 344席

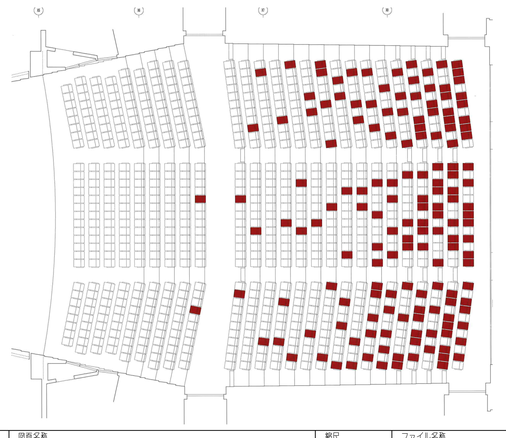


Calm Red（カーム レッド）：d 254席

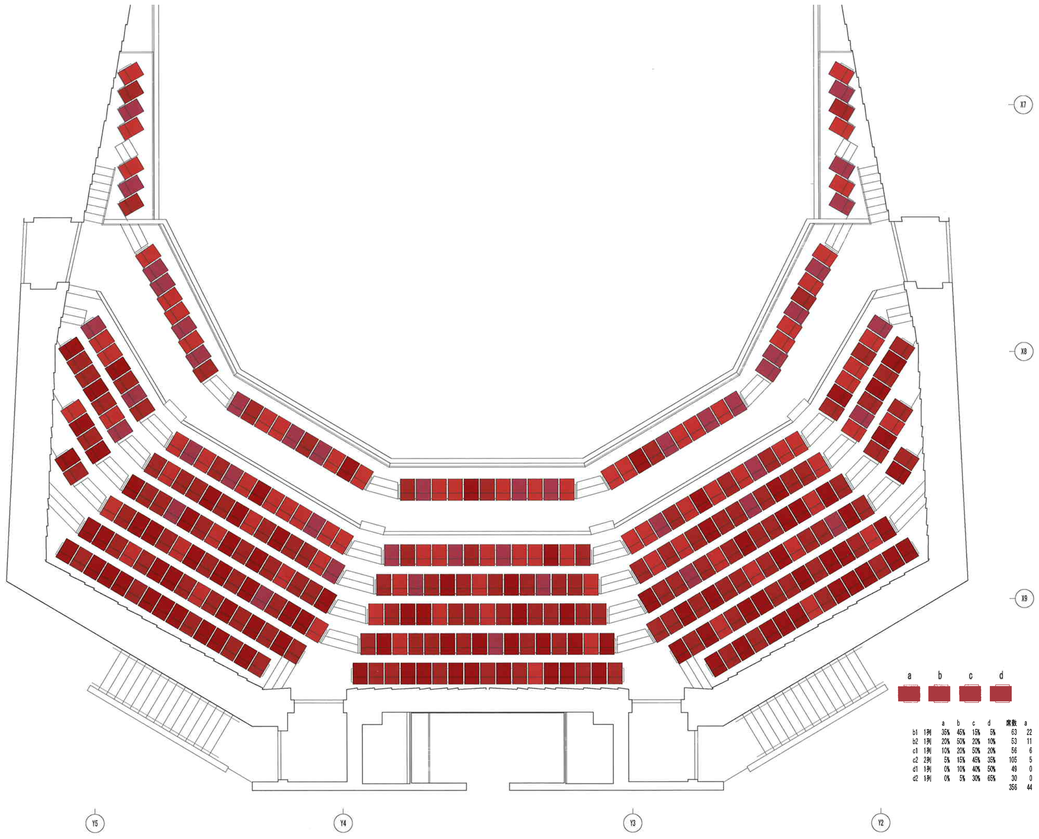




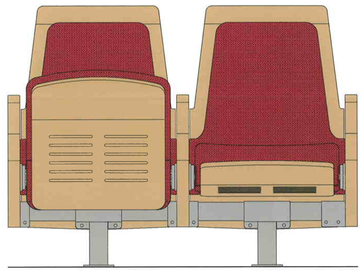




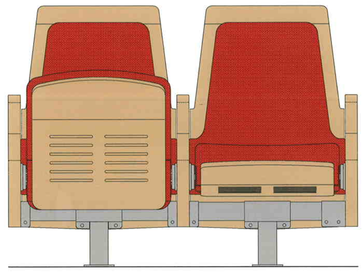
工事名称		株式会社			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（ホール椅子工事）		槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦		2007年 3月	張地指示図1	1:20 1:120,1:240	CH05張地指示図1	CH-05



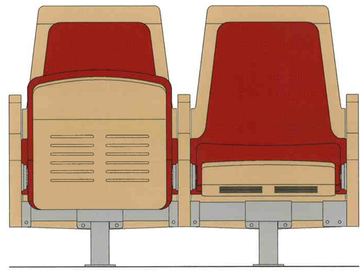
		a	b	c	d	席数	a	b	c	d
b1	1列	35%	45%	15%	5%	63	22	28	10	3
b2	1列	25%	55%	25%	15%	53	11	26	11	5
c1	1列	10%	25%	55%	20%	56	6	11	28	11
c2	2列	3%	5%	15%	35%	105	5	16	47	37
c3	1列	0%	0%	10%	90%	49	0	5	20	24
c4	1列	0%	0%	5%	30%	30	0	2	9	19
						356	44	88	125	99



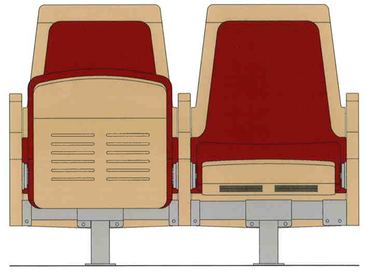
Fiore（フィオーレ）：a 277席



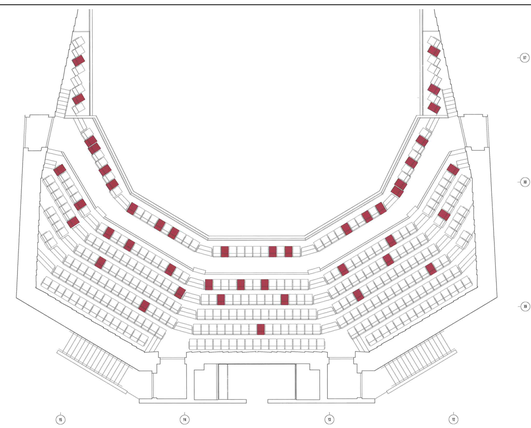
Maple Red（メープル レッド）：b 334席

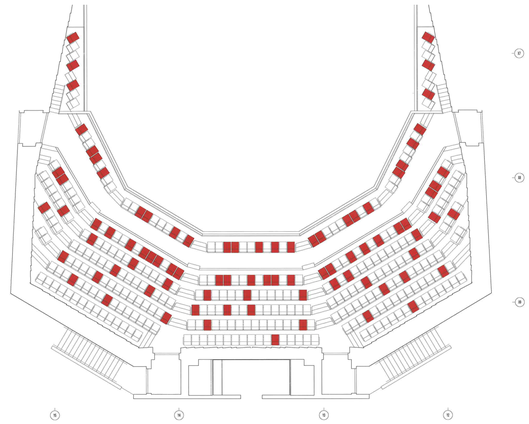


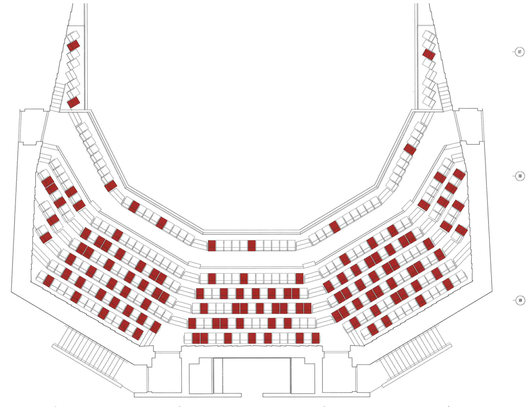
Rosetta（ロゼッタ）：c 344席

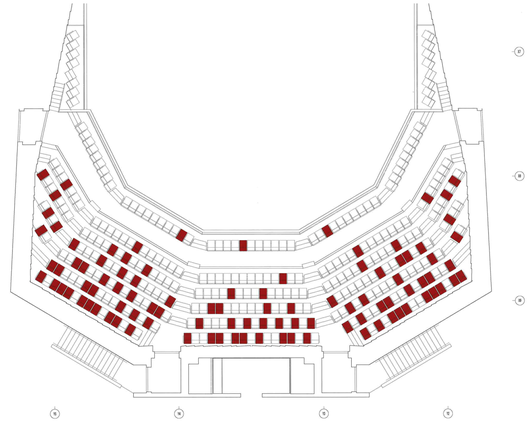


Calm Red（カーム レッド）：d 254席









工事名称		株式会社			年月日	図面名称	縮尺	ファイル名称	図面番号
三原市新文化施設（仮称）建設工事　（ホール椅子工事）		槇総合計画事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録 第12023号 一級建築士建設大臣登録 第37162号　槇 文彦		2007年 3月	張地指示図2	1:20 1:120,1:240	CH05張地指示図2	CH-06

参考数量書

工 事 名 称　　三原市芸術文化センター長寿命化改修工事（建築主体工事）

［工 事 概 要］　　三原市宮浦二丁目

用 途 , 構 造 , 面 積	劇場, 鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造, 床面積7,421.58㎡
工　事　範　囲	建築工事一式
別　途　工　事	電気設備工事, 機械設備工事, 舞台機構設備工事, 舞台音響設備工事, 舞台照明設備工事, 監視カメラ外
工　　期	契約締結日の翌日から　令和 5年12月28日までを工期とする.
一　般　事　項	

《工事予算内訳》　設 計 金 額　￥　　(税込み)

〈内　訳〉

区　　分		摘　　要
工　事　価　格		
消　費　税　額		
設　計　金　額		

工事費内訳

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接工事費				
直接工事費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接工事費	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
【A.外部床】				
A1 R階陸屋根	1	式		
A2 塔屋陸屋根、2階休憩ﾛﾋﾞｰ直上部 屋根、北ﾃﾗｽ	1	式		
A3 屋上ﾃﾗｽ、屋根	1	式		
小計				
【B.外壁】				
B1 1階南・北外壁、2階北壁、ﾌﾗｲﾀﾜｰ 東・西外壁、塔屋階立上り	1	式		
B2 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ・ｱﾙﾐ建具	1	式		
小計				
【C.外構】				
C1 駐車場、 ｻｰﾋﾞｽﾔｰﾄﾞ	1	式		
小計				
【D.内部】				
D1 壁	1	式		
D2 天井	1	式		

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
D3 床	1	式		
D4 楽屋	1	式		
小計				
【E.建具】				
E 建具	1	式		
小計				
【F.その他】				
F その他	1	式		
小計				
計				

A1 R階陸屋根

名　称	数　量	単 位	金　額	備　考
A1-1 硬化砕石､ｱｽﾌｧﾙﾄ防水	1	式		
計				

A2 塔屋陸屋根、2階休憩ﾛﾋﾞｰ直上部屋根、北ﾃﾗｽ

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
A2-1 改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水	1	式		
A2-2 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水、押えｺﾝ仕上	1	式		
計				

A3 屋上ﾃﾗｽ､屋根

名　称	数　量	単 位	金　額	備　考
A3-1 伸縮目地	1	式		
計				

B1　1階南・北外壁、2階北壁、ﾌﾗｲﾀﾜｰ東・西外壁、塔屋階立上り

名　称	数　量	単 位	金　額	備　考
B1-1 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	1	式		
計				

B2 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ･ｱﾙﾐ建具

名　称	数　量	単 位	金　額	備　考
B2-1 ｻｯｼ廻り､笠木廻等ｼｰﾘﾝｸﾞ打替え	1	式		
B2-2 各種取合い	1	式		
計				

C1 駐車場、ｻｰﾋﾞｽﾔｰﾄﾞ

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
C1-1 擬石ﾌﾞﾛｯｸ舗装	1	式		
C1-2 ﾗｲﾝ	1	式		
計				

D1 壁

名　称	数　量	単 位	金　額	備　考
D1-1 有孔ｹｲｶﾙ板EP	1	式		
D1-2 木練付有孔合板UC	1	式		
D1-3 木練付繊維石膏ﾎﾞｰﾄﾞUC	1	式		
D1-3’ 木練付珪酸ｶﾙｼｳﾑ板UC	1	式		
D1-4 S柱(耐火塗料)FE	1	式		
D1-5 ｺﾝｸﾘｰﾄ杉板打放SC (八画柱含む) 本改修の対象外				
D1-6 ｽﾀｯｺ	1	式		
D1-7 石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-U (D1-8石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-Uを含む)	1	式		
D1-8 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ多彩塗装 石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-Uに変更				
D1-9 鉄部SOP	1	式		
D1-10 木部SOP	1	式		
D1-10’ 木部UC	1	式		
D1-11 ｻﾗﾝﾈｯﾄﾊﾟﾈﾙ	1	式		
D1-12 鏡	1	式		
計				

D2 天井

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
D2-1 岩綿吸音板平型 対象箇所に本仕様の部分ﾅｼ				
D2-2 石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP	1	式		
D2-3 ｱﾙﾐｼｰﾑﾚｽﾙｰﾊﾞｰ	1	式		
計				

D3 床

名　称	数　量	単 位	金　額	備　考
D3-1 P系ｼｰﾄ	1	式		
D3-2 ｴﾝﾄﾗﾝｽﾏｯﾄ 対象箇所に本仕様の部分ﾅｼ				
D3-3 織じゅうたん 対象箇所に本仕様の部分ﾅｼ				
D3-4 ｺﾙｸﾀｲﾙ 対象箇所に本仕様の部分ﾅｼ				
D3-5 ｺﾝｸﾘｰﾄ防塵塗装 対象箇所に本仕様の部分ﾅｼ				
D3-6 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA	1	式		
D3-7 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	1	式		
D3-8 ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	1	式		
計				

D4 楽屋

名　称	数　量	単 位	金　額	備　考
D4 楽屋	1	式		
計				

E 建具

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
E1-1 鋼製建具SOP	1	式		
E1-1’ 鋼製建具木練付珪酸ｶﾙｼｳﾑ板UC張付け	1	式		
E1-1’’ 鋼製窓SOP	1	式		
E1-2 木製建具SOP	1	式		
E1-3 ｼｬｯﾀｰ 駆動部は本改修の対象外とする				
E1-4 ｼｬｯﾀｰSOP	1	式		
E1-5 自動ﾄﾞｱ 開閉装置は本改修の対象外とする				
計				

F その他

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
F1 ﾎｰﾙ椅子	1	式		
F2 ｻｲﾝ(外構)	1	式		
計				

A1 R階陸屋根　　A1-1 硬化砕石､ｱｽﾌｧﾙﾄ防水

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生 (屋上防水改修)	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(防水保護層共)	234.	㎡			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(防水保護層共)	234.	㎡			
(撤去)						
屋根 硬化砕石押え撤去	厚30 保護ｸﾛｽ･断熱材厚25共 集積共	4.	㎡			
(改修)						
屋根 硬化砕石押え部 再硬化	6号砕石 厚5+ｱｸﾘﾙ系散布材 [A-11･16･99]	230.	㎡			
屋根 硬化砕石押え	6号砕石 厚30+ｱｸﾘﾙ系散布材 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ製ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 硬質ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ系断熱材 厚25	4.	㎡			
	[A-11･16･99]					
屋根 硬化砕石押え部 ｹﾚﾝ･清掃	既存ｱｽﾌｧﾙﾄ防水面	4.	㎡			
屋根 硬化砕石押え部 砕石飛散防止材	ｽﾃﾝﾚｽ 厚1.0 L2000×H100 ﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞ加工 孔径5㎜ 中心距離 @8㎜	8.	か所			
	[A-11･16･99]					
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 平場 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共 [A-27n～30n]	26.3	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端 ｹﾚﾝ･清掃	ﾃﾞｯｷﾌﾞﾗｼがけ 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面	26.3	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立下 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 立上り 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共 [A-27n～30n]	22.4	㎡			

A1 R階陸屋根　　A1-1 硬化砕石､ｱｽﾌｧﾙﾄ防水

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立下 ｹﾚﾝ･清掃	ﾃﾞｯｷﾌﾞﾗｼがけ 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面	22.4	㎡			
(発生材)						
発生材積込	混合廃棄物	0.2	m3			
発生材運搬	混合廃棄物	0.2	m3			
発生材処分	混合廃棄物	0.2	m3			
計						

A2 塔屋陸屋根、2階休憩ﾛﾋﾞｰ直上部屋根、北ﾃﾗｽ　A2-1 改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・ｼｰﾄ)	159.	㎡			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・ｼｰﾄ)	159.	㎡			
(改修)						
屋根 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 平場 既存改質ｱｽﾌｧﾙﾄ露出防水面 下地調整共	159.	㎡			
	[A-16・27n～30n・99]					
屋根 高圧洗浄	既存改質ｱｽﾌｧﾙﾄ露出防水面 [A-16・99]	159.	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 平場 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共 [A-27n～30n]	17.7	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端 ｹﾚﾝ・清掃	ﾃﾞｯｷﾌﾞﾗｼがけ 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面	17.7	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立下 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 立上り 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共 [A-27n～30n]	13.9	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立下 ｹﾚﾝ・清掃	ﾃﾞｯｷﾌﾞﾗｼがけ 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面	13.9	㎡			
計						

A2 塔屋陸屋根、2階休憩ﾛﾋﾞｰ直上部屋根、北ﾃﾗｽ　A2-2 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水、押えｺﾝ仕上

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・ｼｰﾄ)	582.	㎡			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・ｼｰﾄ)	582.	㎡			
(改修)						
屋根 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-1工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 平場 既存防水押えｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共 [A-16・27n～30n・99]	582.	㎡			
屋根 高圧洗浄	既存防水押えｺﾝｸﾘｰﾄ面 [A-16・99]	582.	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 平場 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共 [A-27n～30n]	23.2	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端 ｹﾚﾝ・清掃	ﾃﾞｯｷﾌﾞﾗｼがけ 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面	23.2	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立下 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2工法 ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ程度 立上り 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共 [A-27n～30n]	26.7	㎡			
ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立下 ｹﾚﾝ・清掃	ﾃﾞｯｷﾌﾞﾗｼがけ 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面	26.7	㎡			
計						

A3 屋上ﾃﾗｽ､屋根　　A3-1 伸縮目地

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)	A-1・A-2工事に含む					
(撤去)						
屋根 伸縮目地撤去	W10×H45 成形伸縮目地材+発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ系心材 集積共	914.	m			
屋根 伸縮目地撤去	W25×H69 成形伸縮目地材+発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ系心材 集積共	506.	m			
屋根 伸縮目地撤去	W25×H100 成形伸縮目地材+発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ系心材 集積共	330.	m			
(改修)						
屋根 伸縮目地	W10×H45 成形伸縮目地材+ 発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ系心材	914.	m			
屋根 伸縮目地	W25×H69 成形伸縮目地材+ 発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ系心材	506.	m			
屋根 伸縮目地	W25×H100 成形伸縮目地材+ 発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ系心材	330.	m			
(発生材)						
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	2.5	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	2.5	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	2.5	m3			
計						

B1 1階南・北外壁、2階北壁、ﾌﾗｲﾀﾜｰ東・西外壁、塔屋階立上り B1-1 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(外壁改修)		636.	㎡			
整理清掃後片付け (外壁改修)		636.	㎡			
枠組本足場 (手すり先行方式)	900枠 H=12m未満 工期4ヶ月	1,028.	㎡			
枠組本足場 (手すり先行方式)	1200枠 H=22m未満 工期4ヶ月	355.	㎡			
枠組本足場 (手すり先行方式)	1200枠 H=22m未満 (東面金属屋根上部) 工期4ヶ月	504.	㎡			
枠組本足場 (手すり先行方式)	1200枠 H=22m以上 工期4ヶ月	1,444.	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 工期4ヶ月	305.	m			
養生ｼｰﾄ	工期4ヶ月	3,331.	㎡			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	1,028.	㎡			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅1200	1,799.	㎡			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅1200	504.	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	305.	m			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ類)		3,331.	㎡			
(撤去)						

B1 1階南・北外壁、2階北壁、ﾌﾗｲﾀﾜｰ東・西外壁、塔屋階立上り B1-1 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
伸縮目地 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 15×10 集積共	315.	m			
(改修)						
外壁 含浸撥水剤塗布	ｼﾗﾝ・ｼﾛｷｻﾝ系ｺﾝｸﾘｰﾄ含浸防水材 (Sｸﾘｰﾄｶﾞｰﾄﾞ) 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 下地調整共	3,099.	㎡			
	[A-17・18]					
外壁 高圧洗浄	既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面 [A-17・18]	3,099.	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 15×10	315.	m			
(発生材)						
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
計						

B2 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ･ｱﾙﾐ建具　　B2-1 ｻｯｼ廻り、笠木廻等ｼｰﾘﾝｸﾞ打替え

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
外部足場	ｺﾞﾝﾄﾞﾗ 工期4ヶ月	1.	台			
(撤去)						
笠木取合 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10 集積共	468.	m			
(改修)						
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	468.	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	1,076.	m			
(発生材)						
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
計						

B2 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ･ｱﾙﾐ建具　B2-2 各種取合い

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)	B2-1工事に含む					
(撤去)						
各種取合 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10 集積共	269.	m			
水切取合 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×10 集積共	88.5	m			
外壁取合水切取合 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 30×10 集積共	1.	m			
屋根端部 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 30×30 集積共	144.	m			
ﾀｲﾙ伸縮目地 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系(PS-2) 10×10 集積共	914.	m			
石取合 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系(PS-2) 15×10 集積共	50.7	m			
打継目地 ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	一般部 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 15×10 集積共	389.	m			
(改修)						
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	77.3	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	6.8	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	46.	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	4.8	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	134.	m			

B2 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ･ｱﾙﾐ建具　B2-2 各種取合い

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 25×10	88.5	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 30×10	1.	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 30×30	144.	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系(PS-2) 10×10	914.	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系(PS-2) 15×10	50.7	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 15×10	389.	m			
(発生材)						
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.4	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.4	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.4	m3			
計						

C1 駐車場、ｻｰﾋﾞｽﾔｰﾄﾞ　C1-1 擬石ﾌﾞﾛｯｸ舗装

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
直接仮設 (構内舗装)		37.3	㎡			
(撤去)						
擬石ﾌﾞﾛｯｸ舗装撤去	総厚410 ﾉﾐ切りｺﾝｸﾘｰﾄ平板: 300×300×厚80 研磨仕上	37.3	㎡			
	ﾓﾙﾀﾙ:厚30 ｺﾝｸﾘｰﾄ:厚150 基礎砕石:厚150					
	[L-32]					
(改修)						
擬石ﾌﾞﾛｯｸ舗装	総厚410 ﾉﾐ切りｺﾝｸﾘｰﾄ平板: 300×300×厚80 研磨仕上	37.3	㎡			
	化粧目地ﾓﾙﾀﾙ:W3×H80 伸縮目地貧配合ﾓﾙﾀﾙ: W3×H80					
	張り付けﾓﾙﾀﾙ:厚5 ﾚﾍﾞﾙ調整ﾓﾙﾀﾙ:厚25 ｺﾝｸﾘｰﾄ:厚150					
	溶融金網 6φ×150×150 伸縮目地: 発泡樹脂板 W10×H180					
	基礎砕石:厚150 [L-32]					
(発生材)						
発生材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	6.7	m3			
発生材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	3.	m3			

C1 駐車場、ｻｰﾋﾞｽﾔｰﾄﾞ　C1-1 擬石ﾌﾞﾛｯｸ舗装

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
発生材積込	砂利･砕石類	5.6	m3			
発生材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	6.7	m3			
発生材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	3.	m3			
発生材運搬	砂利･砕石類	5.6	m3			
発生材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	6.7	m3			
発生材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品	3.	m3			
発生材処分	砂利･砕石類	5.6	m3			
計						

C1 駐車場、ｻｰﾋﾞｽﾔｰﾄﾞ　C1-2 ﾗｲﾝ

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(改修)						
白線引き	W=150 3種1号 溶融式	777.	m			
計						

D1 壁　D1-1 有孔ｹｲｶﾙ板EP

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	63.6	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	63.6	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	63.6	㎡			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	63.6	㎡			
(撤去)						
練習室1壁 有孔珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 撤去	厚6 目透し 集積共	5.	㎡			
(改修)						
練習室1壁 有孔珪酸ｶﾙｼｳﾑ板	厚6 目透し	5.	㎡			
練習室1･2壁 防汚型ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	EP-U 既存有孔珪酸ｶﾙｼｳﾑ板面 下地調整RB種	151.	㎡			
練習室1壁 防汚型ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ	EP-U 新設有孔珪酸ｶﾙｼｳﾑ板面	5.	㎡			
(発生材)						
発生材積込	ﾎﾞｰﾄﾞ類	0.1	m3			
発生材運搬	ﾎﾞｰﾄﾞ類	0.1	m3			
発生材処分	ﾎﾞｰﾄﾞ類	0.1	m3			

D1 壁　D1-1 有孔ｹｲｶﾙ板EP

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
計						

D1 壁　　D1-2 木練付有孔合板UC

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	4.9	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	4.9	㎡			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 枠組棚足場 階高5.0m以上5.7m未満　平家用	4.9	㎡			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	5.0m以上5.7m未満	4.9	㎡			
(改修)						
ﾘﾊｰｻﾙ室壁 ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗替 え	UC 既存有孔珪酸ｶﾙｼｳﾑ板面 下地調整RB種	25.7	㎡			
計						

D1 壁　D1-3 木練付繊維石膏ﾎﾞｰﾄﾞUC

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	34.2	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	34.2	㎡			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 枠組棚足場 階高5.0m以上5.7m未満　平家用	6.6	㎡			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 枠組棚足場 階高5.7m以上7.4m未満　平家用	27.6	㎡			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	5.0m以上5.7m未満	6.6	㎡			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	5.7m以上7.4m未満	27.6	㎡			
(改修)						
ﾘﾊｰｻﾙ室壁 ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗替 え	UC 既存木ﾊﾟﾈﾙ面 下地調整RB種	149.	㎡			
計						

D1 壁　D1-3’ 木練付珪酸ｶﾙｼｳﾑ板UC

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	141.	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	141.	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	90.9	㎡			
内部階段仕上足場	RC造標準日数 修理費含む	26.2	㎡			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	90.9	㎡			
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		26.2	㎡			
(改修)						
壁 ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗替え	UC 既存木練付珪酸ｶﾙｼｳﾑ板面 下地調整RB種	270.	㎡			
計						

D1 壁　D1-4 S柱(耐火塗料)FE

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	93.8	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	93.8	㎡			
内部仕上足場	簡易型移動式足場(2段) 4.0m＜H＜5.0m 1ヶ月 運搬共	1.	台			
(改修)						
鉄骨柱部 ﾌﾀﾙ酸樹脂ｴﾅﾒﾙ塗 替え	FE 既存耐火塗料面 下地調整RB種	107.	㎡			
計						

D1 壁　D1-6 ｽﾀｯｺ

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	39.8	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	39.8	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	34.8	㎡			
内部階段仕上足場	RC造標準日数 修理費含む	5.	㎡			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	34.8	㎡			
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		5.	㎡			
(改修)						
壁 破損部分ﾀｯﾁｱｯﾌﾟ 補修	ｱｸﾘﾙ系塗料 2cm×1cm/1か所 既存ｽﾀｯｺ面	40.	か所			
壁 汚損部分研磨補修	水掛けによる白濁化を研磨補修 5cm×4.0m/1か所 既存ｽﾀｯｺ面	4.	か所			
計						

D1 壁　D1-7 石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-U　(D1-8石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-Uを含む)

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	772.	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	772.	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	592.	㎡			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満　平家用	110.	㎡			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	RC造標準日数 修理費含む 枠組棚足場 階高5.0m以上5.7m未満　平家用	33.6	㎡			
内部階段仕上足場	RC造標準日数 修理費含む	36.6	㎡			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	592.	㎡			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	4.0m超5.0m未満	110.	㎡			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	5.0m以上5.7m未満	33.6	㎡			
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		36.6	㎡			
(改修)						
壁 ﾊｯﾄ目地		13.9	m			
壁 防汚型ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	EP-U 既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整RB種	310.	㎡			
壁 防汚型ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	EP-U 既存ﾎﾞｰﾄﾞ面 下地調整RB種	1,793.	㎡			

D1 壁　　D1-7 石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-U　　(D1-8石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP-Uを含む)

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
計						

D1 壁　D1-9 鉄部SOP

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	500.	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	500.	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	17.7	㎡			
内部仕上足場	簡易型移動式足場(2段) 4.0m＜H＜5.0m 1ヶ月 運搬共	1.	台			
	※SOP塗替(D1-9)の項目まとめて ﾛｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰ1台で施工と考える。					
内部仕上足場	簡易型移動式足場(3段) 5.0m≦H＜5.7m 1ヶ月 運搬共	1.	台			
	※SOP塗替(D1-9)の項目まとめて ﾛｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰ1台で施工と考える。					
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	17.7	㎡			
(改修)						
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	SOP 既存鉄骨面 下地調整RB種	11.4	㎡			
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	SOP 既存鉄部面 下地調整RB種	414.	㎡			
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	SOP 細巾物 既存鉄部面 下地調整RB種	36.9	m			
計						

D1 壁　D1-10 木部SOP

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	603.	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	603.	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	44.	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場脚立足場)	平家建	44.	㎡			
(改修)						
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	SOP 細巾物 既存木部面 下地調整RB種	647.	m			
ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗替え	UC 既存木部面 下地調整RB種	14.1	㎡			
計						

D1 壁　　D1-10’ 木部UC

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	15.9	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	15.9	㎡			
内部仕上足場	枠組本足場	92.6	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 RC造標準日数 修理費含む 建築面積　300㎡	15.9	m			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	92.6	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	15.9	m			
計						

D1 壁　D1-11 ｻﾗﾝﾈｯﾄﾊﾟﾈﾙ

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	4.1	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	4.1	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	4.1	㎡			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	4.1	㎡			
(撤去)						
客席ｻｲﾄﾞｽﾋﾟｰｶｰ部 ｻﾗﾝﾈｯﾄ撤去	W2053×H3000 集積共 (ｱﾙﾐ型材・ｽﾁｰﾙ枠は残置)	2.	か所			
(改修)						
客席ｻｲﾄﾞｽﾋﾟｰｶｰ部 ｻﾗﾝﾈｯﾄ	W2053×H3000 既存ｱﾙﾐ型材面	2.	か所			
(発生材)						
発生材積込	混合廃棄物	0.1	m3			
発生材運搬	混合廃棄物	0.1	m3			
発生材処分	混合廃棄物	0.1	m3			
計						

D1 壁　D1-12 鏡

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	2.	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	2.	㎡			
(撤去)						
練習室2 姿見鏡撤去	厚6 W2000×H2000 下地合板共 集積共	1.	か所			
(改修)						
練習室2 姿見鏡	厚6 W2000×H2000 下地合板共	1.	か所			
(発生材)						
発生材積込	建設発生木材	0.1	m3			
発生材積込	ｶﾞﾗｽ屑	0.1	m3			
発生材運搬	建設発生木材	0.1	m3			
発生材運搬	ｶﾞﾗｽ屑	0.1	m3			
発生材処分	建設発生木材	0.1	m3			
発生材処分	ｶﾞﾗｽ屑	0.1	m3			
計						

D2 天井　　D2-2 石膏ﾎﾞｰﾄﾞEP

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	50.	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	50.	㎡			
内部仕上足場	簡易型移動式足場(4段) 5.7m≦H＜7.4m 1ヶ月 運搬共	1.	台			
(改修)						
合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	EP 既存ﾎﾞｰﾄﾞ面 下地調整RB種	16.8	㎡			
天井ｸﾗｯｸ部 ｸﾗｯｸ補修	寒冷紗張り ﾊﾟﾃしごき 既存ﾎﾞｰﾄﾞ面	10.	m			
天井ｸﾗｯｸ部 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	EP 細巾物 既存ﾎﾞｰﾄﾞ面	10.	m			
下り壁ｸﾗｯｸ部 ｸﾗｯｸ補修	寒冷紗張り ﾊﾟﾃしごき 既存ﾎﾞｰﾄﾞ面	1.	m			
下り壁ｸﾗｯｸ部 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	EP 細巾物 既存ﾎﾞｰﾄﾞ面	1.	m			
計						

D2 天井　　D2-3 ｱﾙﾐｼｰﾑﾚｽﾙｰﾊﾞｰ

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	8.9	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	8.9	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　　平家用	8.9	㎡			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	8.9	㎡			
(撤去)						
風除室3天井 ｱﾙﾐｼｰﾑﾚｽﾙｰﾊﾞｰ撤去	厚0.8 既製品 格子:25×25×25 ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ系樹脂焼付塗装	8.9	㎡			
	吊金物共 集積共 [A-36 A15]					
(改修)						
風除室3天井 ｱﾙﾐｼｰﾑﾚｽﾙｰﾊﾞｰ	厚0.8 既製品 格子:25×25×25 ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ系樹脂焼付塗装	8.9	㎡			
	吊金物共 [A-36 A15]					
(有価物)						
有価物売却費	ｱﾙﾐ屑	39.1	kg			
計						

D3 床　　D3-1 P系ｼｰﾄ

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	22.9	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	22.9	㎡			
(撤去)						
床 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ撤去	厚2.5 集積共	10.4	㎡			
守衛室床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB撤去	厚6.5 500×500 集積共	12.5	㎡			
(改修)						
床 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚2.5 既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整共	22.9	㎡			
(発生材)						
発生材積込	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
発生材積込	混合廃棄物	0.1	m3			
発生材運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
発生材運搬	混合廃棄物	0.1	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
発生材処分	混合廃棄物	0.1	m3			

D3 床　　D3-1 P系ｼｰﾄ

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
計						

D3 床　　D3-6 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	100.	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	100.	㎡			
(撤去)						
床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA撤去	厚7.5 500×500 集積共	100.	㎡			
(改修)						
床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA	厚7.5 500×500 既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整共	25.8	㎡			
床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA	厚7.5 500×500 既存ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ面 下地調整共	74.2	㎡			
床 注意喚起用点字鋲 取外し・再取付	ｽﾃﾝﾚｽ 22φ 1か所/25個	8.	か所			
(発生材)						
発生材積込	混合廃棄物	0.8	m3			
発生材運搬	混合廃棄物	0.8	m3			
発生材処分	混合廃棄物	0.8	m3			
計						

D3 床　　D3-7 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	51.4	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	51.4	㎡			
(撤去)						
床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB撤去	厚6.5 500×500 集積共	51.4	㎡			
(改修)						
床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	厚6.5 500×500 既存合板面 下地調整共	4.3	㎡			
床 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	厚6.5 500×500 既存ﾓﾙﾀﾙ面 下地調整共	47.1	㎡			
床 誘導用点字鋲取外し・再取付	ｽﾃﾝﾚｽ 27×280 1か所/4本	1.	か所			
床 注意喚起用点字鋲取外し・再取付	ｽﾃﾝﾚｽ 22φ 1か所/25個	11.	か所			
(発生材)						
発生材積込	混合廃棄物	0.4	m3			
発生材運搬	混合廃棄物	0.4	m3			
発生材処分	混合廃棄物	0.4	m3			
計						

D3 床　　D3-8 ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	1,547.	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	1,547.	㎡			
(撤去)						
ﾎﾜｲｴ1床 床ﾎﾞｰﾀﾞｰ撤去	130×15 集積共 ﾊﾞｰﾁ無垢材	8.1	m			
(改修)						
ﾎﾜｲｴ1床 床ﾎﾞｰﾀﾞｰ	130×15 ﾊﾞｰﾁ無垢材 (1.35m×6本) [A-34]	8.1	m			
床 ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗替え	UC 既存ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ面 研磨の上再塗装	1,547.	㎡			
(発生材)						
発生材積込	建設発生木材	0.1	m3			
発生材運搬	建設発生木材	0.1	m3			
発生材処分	建設発生木材	0.1	m3			
計						

D4 楽屋　　D4 楽屋

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	13.3	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	13.3	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　　平家用	13.3	㎡			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	13.3	㎡			
(改修)						
大・中楽屋ｸﾛｰｾﾞｯﾄ 小口塞ぎ	50×30 ﾊﾞｰﾁ無垢材 既存ｸﾛｰｾﾞｯﾄ小口面	46.2	m			
大楽屋化粧ｶｳﾝﾀｰ 照明ﾎﾞｯｸｽ部 ﾌﾞﾗｹｯﾄ	ｽﾁｰﾙ W425×H20～80 厚8 ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ:150×80 厚8 ｱﾝｶｰ共	3.	か所			
	[A-64]					
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り	SOP 細巾物 新設鉄部	1.3	m			
ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り	UC 細巾物 新設木部	46.2	m			
計						

E 建具　E1-1 鋼製建具SOP

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	27.8	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	27.8	㎡			
(改修)						
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	SOP 既存鋼製建具面 下地調整RB種	482.	㎡			
計						

E 建具　E1-1’ 鋼製建具木練付珪酸ｶﾙｼｳﾑ板U　C張付け

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)	D1～D4工事に含む					
(改修)						
SD-113 木練付珪酸ｶﾙｼｳﾑ 板	厚6.0(北欧産) UC工場塗装共	2.6	㎡			
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	SOP 既存鋼製建具面 下地調整RB種	19.6	㎡			
計						

E 建具　E1-1'' 鋼製窓SOP

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	0.6	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	0.6	㎡			
(改修)						
SW-202B FIX窓	W708.6×H2500 方立右側下枠取外し､ｶﾞﾗｽ取外し･下枠再取付･ｶﾞﾗｽ再取付	1.	か所			
防汚型ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	EP-U 既存ﾎﾞｰﾄﾞ面 下地調整RB種	0.2	㎡			
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り	SOP 既存ｻｯｼ面 下枠固定用ﾋﾞｽ廻り	3.	か所			
計						

E 建具　E1-2 木製建具SOP

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	17.4	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	17.4	㎡			
(改修)						
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	SOP 既存木製建具面 下地調整RB種	88.1	㎡			
計						

E 建具　E1-4 ｼｬｯﾀｰSOP

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)	D1～D4工事に含む					
(改修)						
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗替え	SOP 既存鋼製建具面 下地調整RB種	16.8	㎡			
計						

F その他　F1 ﾎｰﾙ椅子

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
(直接仮設)						
養生(内部改修)	個別改修	18.2	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	18.2	㎡			
(改修)						
ﾎｰﾙ椅子 張地の調整	全1209席の約2% [CH-01～04]	25.	か所			
ﾎｰﾙ椅子 座自動緩起立機構 の調整	全1209席の約2% [CH-01～04]	25.	か所			
計						

F その他　F2 ｻｲﾝ(外構)

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(改修)						
CL-9 ﾎﾟｽﾀｰ掲示 再印刷	W700×H1800×D125 ｼﾝｸ印刷等々以上の 耐候性を有する印刷、	2.	か所			
	若しくはｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ (20%程度の補修) [SN-13･14]					
CL-21 総合案内 再印刷	W700×H1800×D125 ｼﾝｸ印刷等々以上の 耐候性を有する印刷、	2.	か所			
	若しくはｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ (20%程度の補修) [SN-15･16]					
CM-22 施設誘導 再印刷	W600×H1800×D53 ｼﾝｸ印刷等々以上の 耐候性を有する印刷、	7.	か所			
	若しくはｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ (20%程度の補修) [SN-17～22]					
CS-23 駐車場誘導 再印刷	W600×H1800×D53 ｼﾝｸ印刷等々以上の 耐候性を有する印刷、	2.	か所			
	若しくはｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ (20%程度の補修) [SN-23]					
CS-24 駐輪場誘導 再印刷	W600×H1800×D53 ｼﾝｸ印刷等々以上の 耐候性を有する印刷、	1.	か所			
	若しくはｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ (20%程度の補修) [SN-24]					
F-25 館名表示 再印刷	W1620×H180 洗浄 [SN-30]	1.	か所			
周辺案内図 再印刷	ｼﾝｸ印刷等々以上の 耐候性を有する印刷、 若しくはﾗｯﾋﾟﾝｸﾞｼｰﾄ	8.	か所			
	[SN-00～41]					
計						

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
交通誘導員	B	88.	人			
計						

現場管理費（積上分）　明細

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
広島県工事中情報共有システム		1	式			
計						